

令和6年度

安曇野市市民意識調査報告書

安曇野市

目次

| | |
|------------------------|------------|
| 第1章 調査概要 | 1 |
| 1. 調査の目的..... | 1 |
| 2. 調査の概要..... | 1 |
| 第2章 調査結果 | 2 |
| 1. あなたやご家族のことについて..... | 2 |
| 2. 安曇野市での暮らしについて..... | 10 |
| 3. 安曇野市の行政に関すること..... | 32 |
| 市の全般的な施策等について..... | 32 |
| (1) 自然環境について..... | 56 |
| (2) 医療・福祉・人権について..... | 58 |
| (3) 子育て支援について..... | 62 |
| (4) スポーツについて..... | 63 |
| (8) 防災・防犯について..... | 67 |
| (13) 地域ブランドについて..... | 70 |
| その他..... | 71 |
| 設問別 その他の意見（自由記載）..... | 109 |
| 第3章 参考資料 | 118 |
| アンケート票..... | 118 |

第1章 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の意見を把握し、ニーズに対応した効果的な市政運営を図ることを目的に実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

- ・ 市内 18 歳以上の市民 2,000 人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

- ・ 令和 7 年 2 月 25 日（火）～ 3 月 10 日（月）

(3) 調査方法

- ・ 配布方法：郵送による配布
- ・ 回収方法：郵送または WEB による回答

(4) 回収状況

- ・ 回答者数 861 人（うち WEB による回答者 151 人）
- ・ 回収率 43.1%

(5) その他

① 過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査及び調査概要は以下の通り。

| |
|--|
| 調査対象：安曇野市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出) ※居住地域・年代・性別を考慮して抽出 |
| 調査期間：令和 6 年 1 月 31 日（水）～2 月 26 日（月） |
| 調査方法：郵送配布・郵送回収または WEB 回答 |
| 回収状況：回答者数 877 人(うち WEB による回答者 162 人) 回収率 43.9% |

② その他の注意事項

- ・ 四捨五入の関係から、構成比合計が 100%にならない箇所がある。
- ・ 四捨五入の関係から、今回調査と前回調査の数値の差と、表記した増減のポイントとが一致しない箇所がある。
- ・ 図表中の「n」は回答総数または該当する有効回答数を表している。

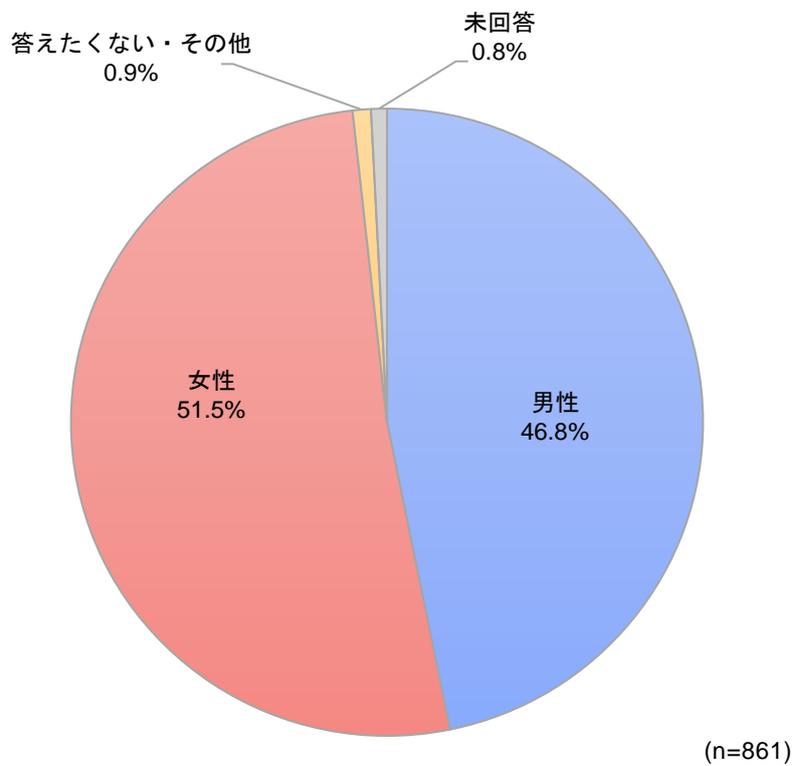
第2章 調査結果

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

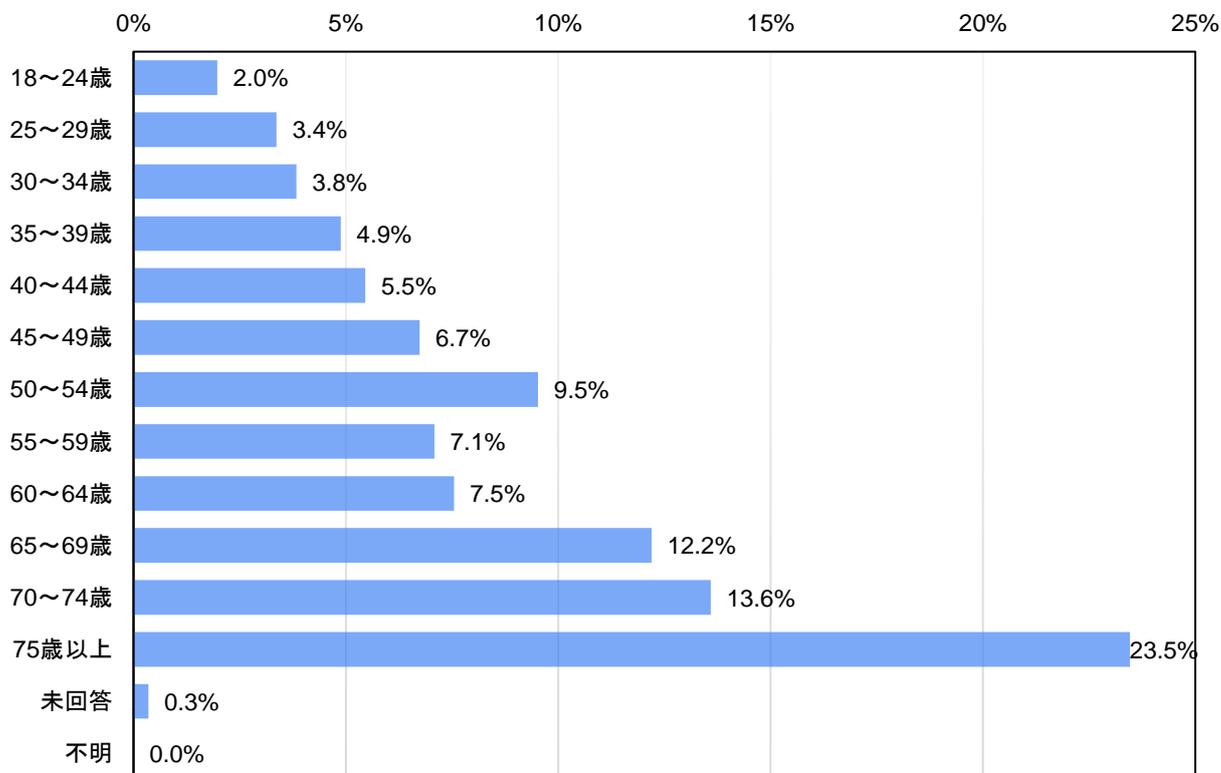
(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

図表 1 性別



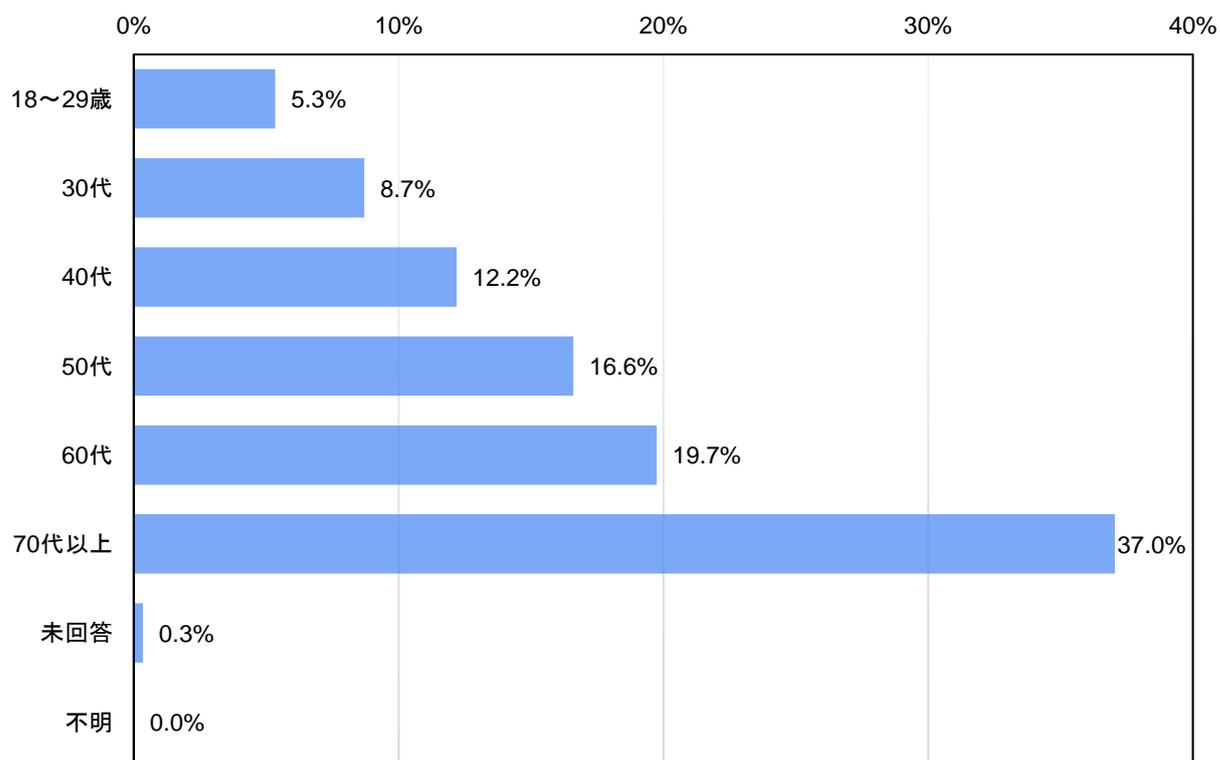
(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

図表 2 年齢



(n=861)

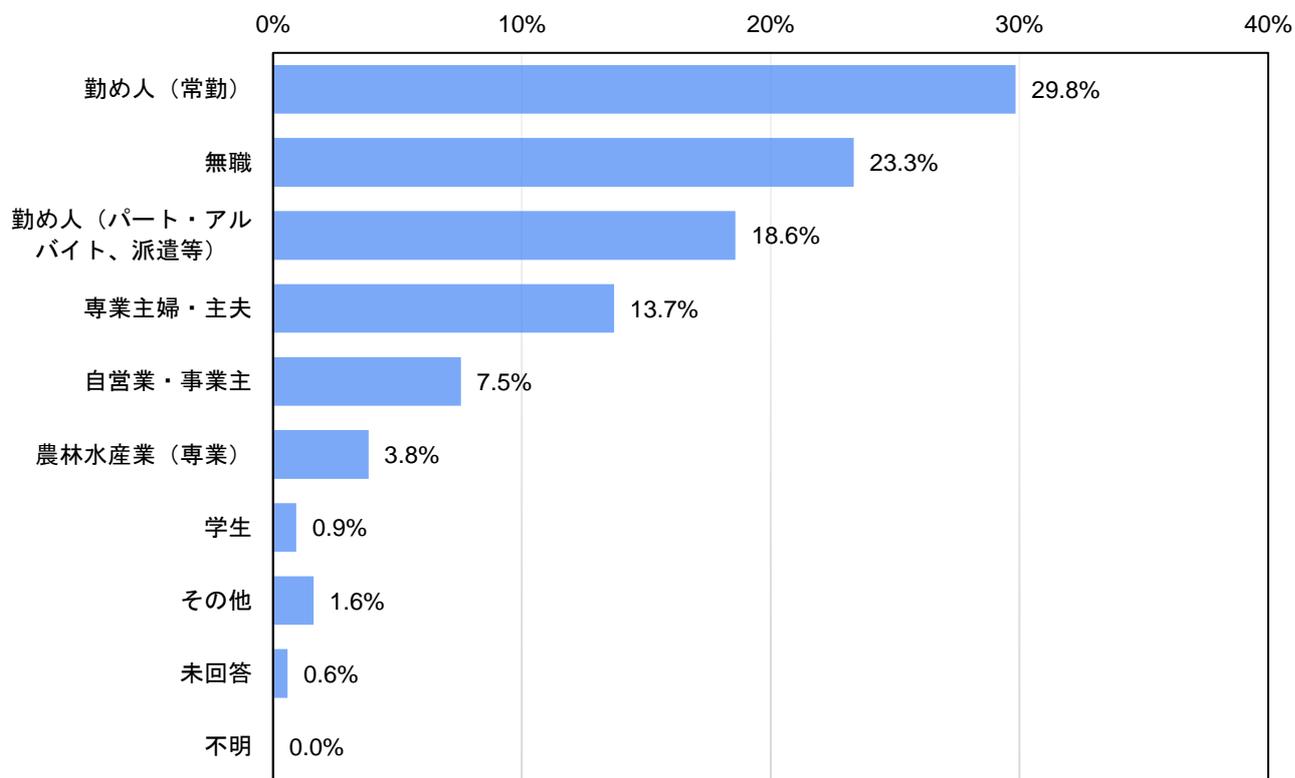
図表 3 年代



(n=861)

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

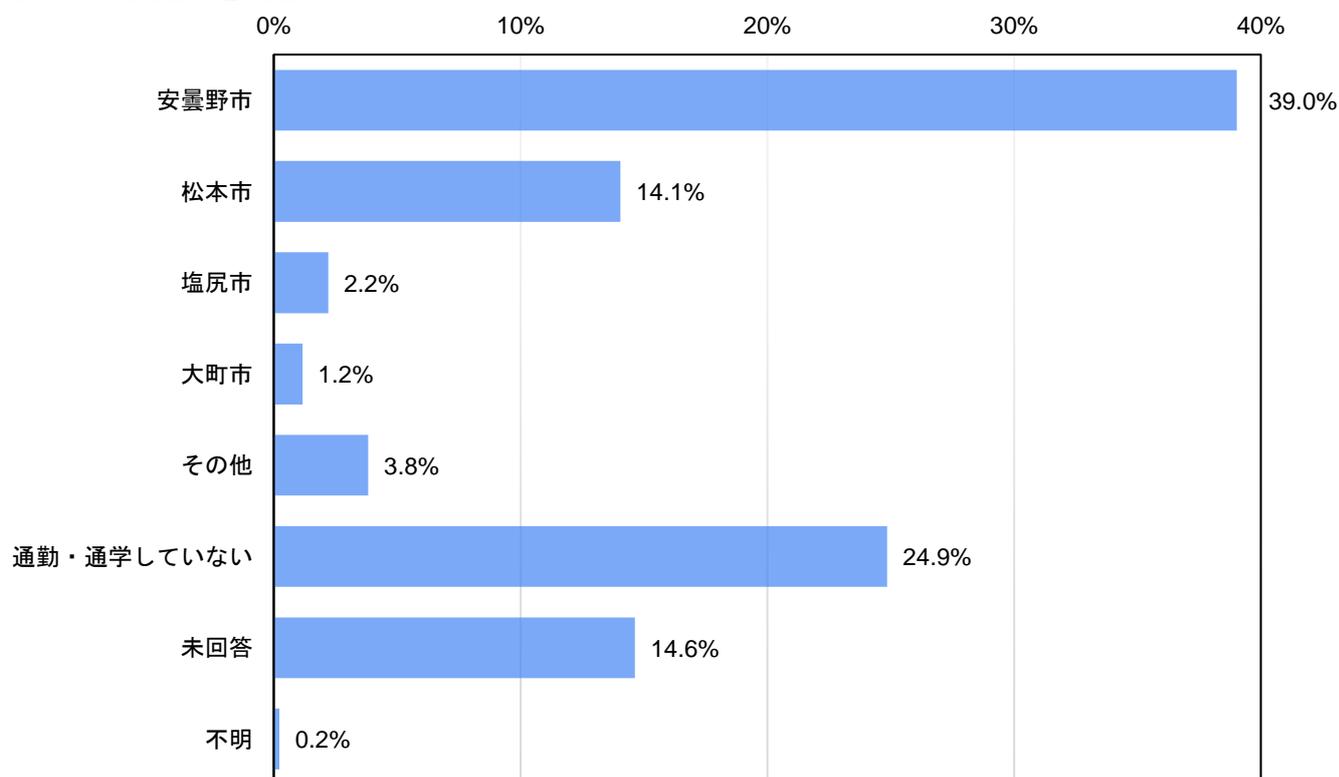
図表 4 職業等



(n=861)

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

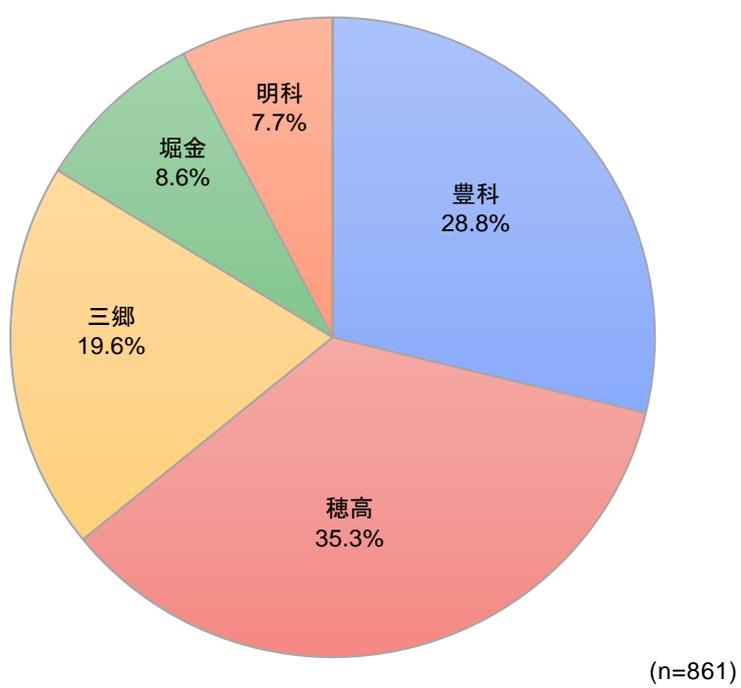
図表 5 勤務先、通勤先



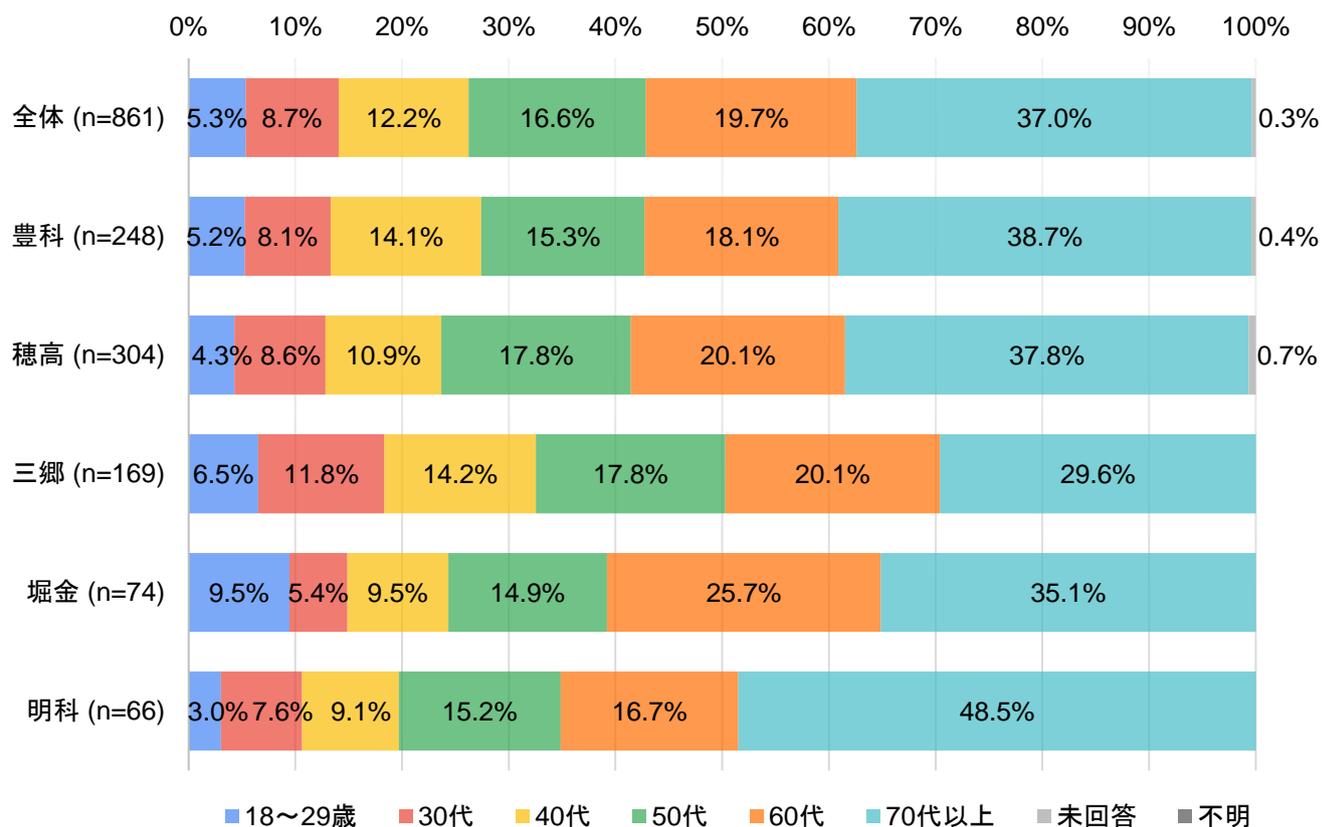
(n=861)

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

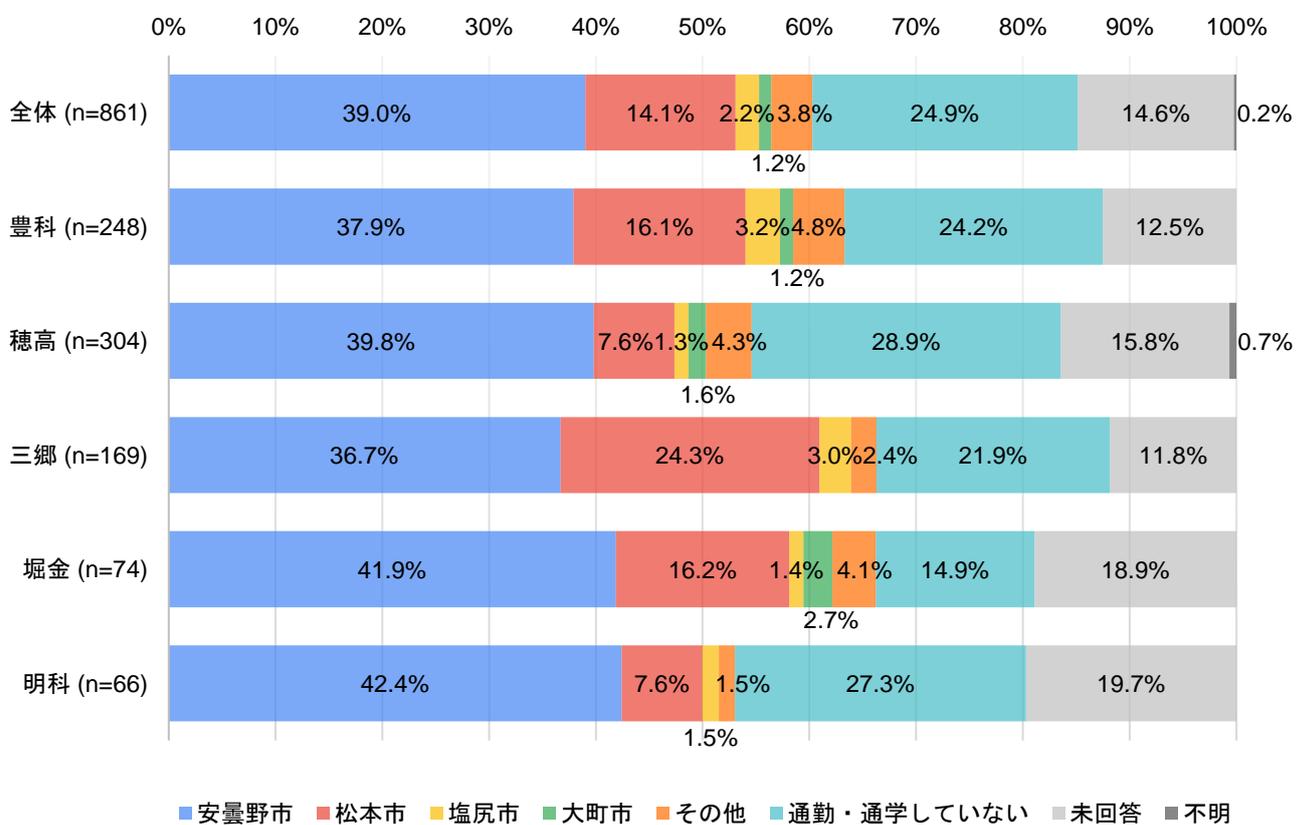
図表 6 居住地域



図表 7 【居住地域別】年代



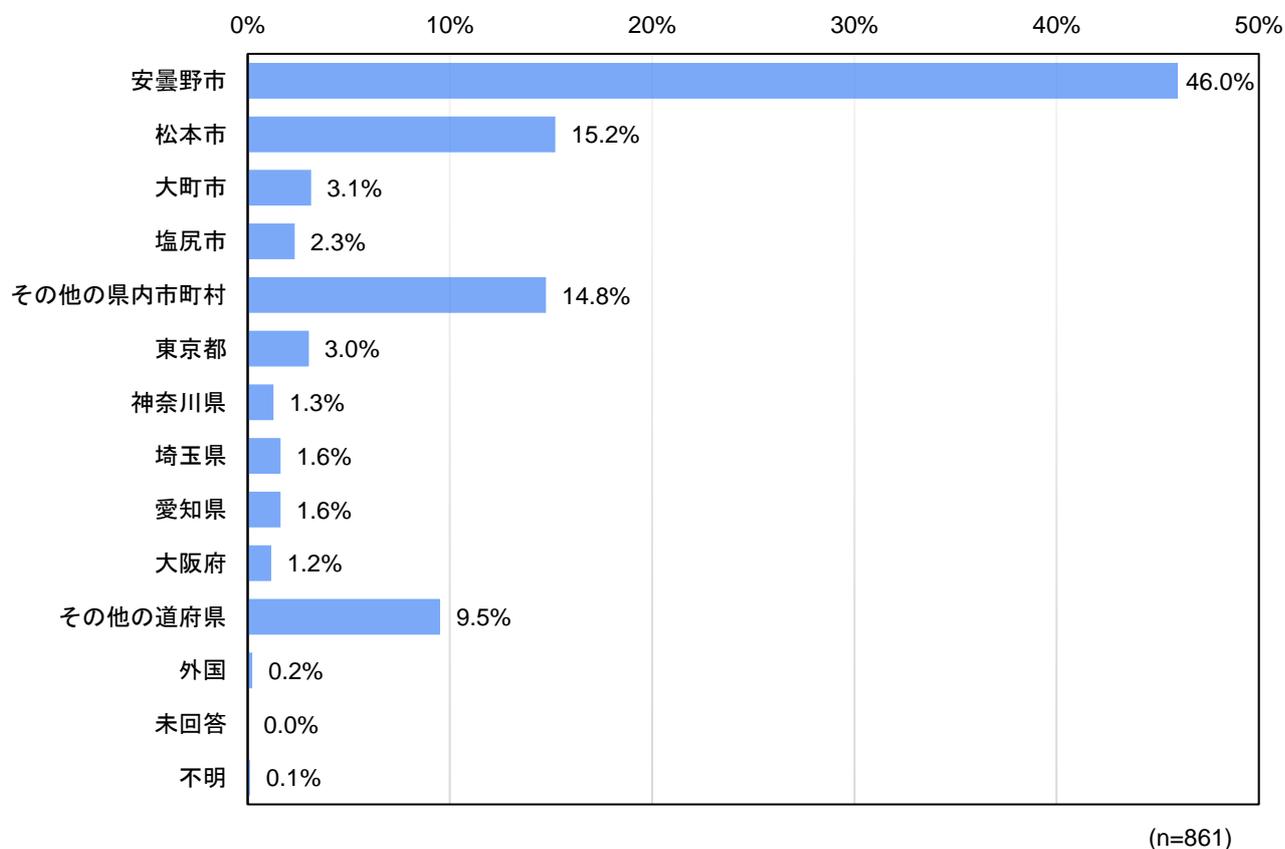
図表 8 【居住地域別】通勤先、通学先



(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

図表 9 出身地

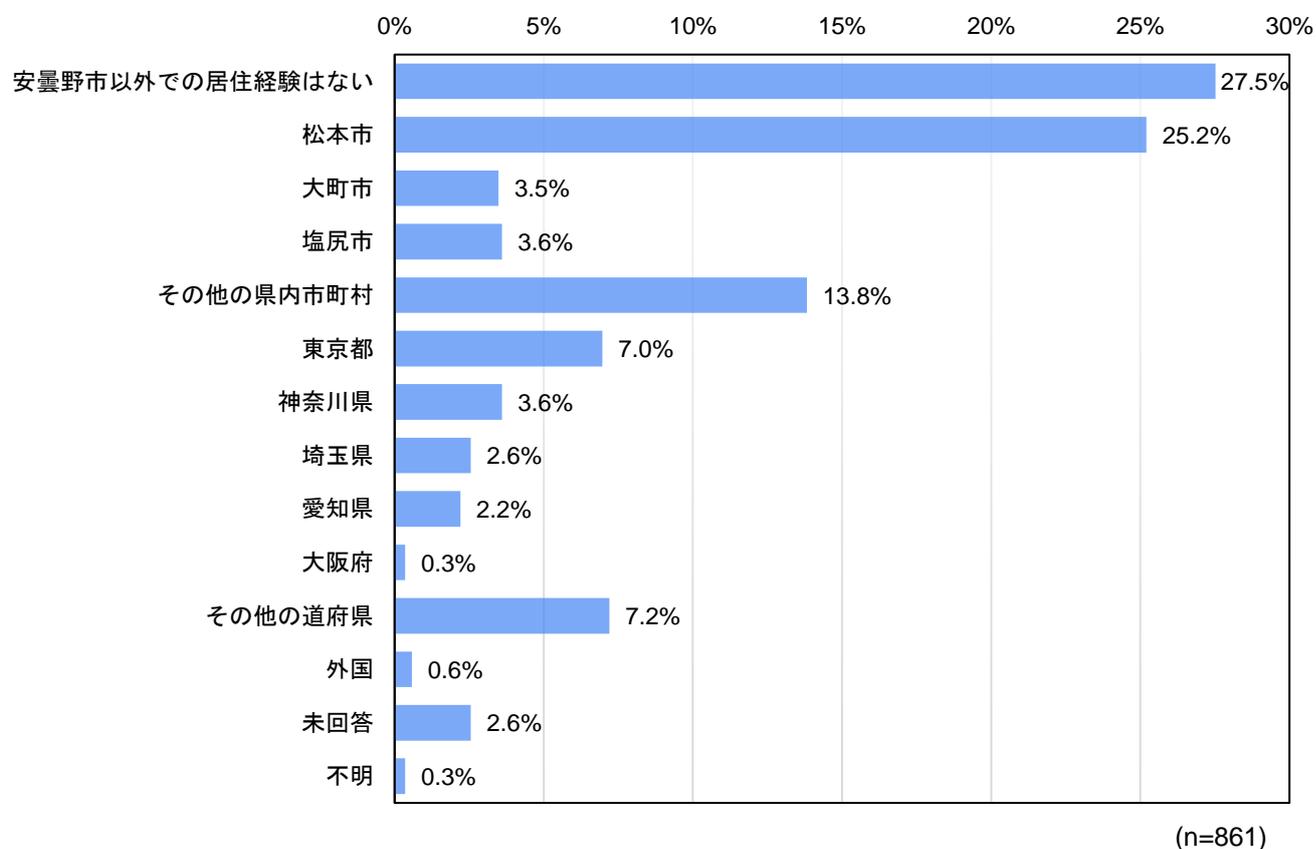


図表 10 【居住地域別】出身地

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) | 未回答 (n=0) |
|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 安曇野市 | 46.0% | 49.2% | 44.1% | 40.8% | 48.6% | 53.0% | 0.0% |
| 松本市 | 15.2% | 16.1% | 11.8% | 24.3% | 13.5% | 6.1% | 0.0% |
| 大町市 | 3.1% | 4.0% | 3.6% | 0.6% | 4.1% | 3.0% | 0.0% |
| 塩尻市 | 2.3% | 2.0% | 1.6% | 3.6% | 2.7% | 3.0% | 0.0% |
| その他の県内市町村 | 14.8% | 15.7% | 15.5% | 13.0% | 12.2% | 15.2% | 0.0% |
| 東京都 | 3.0% | 1.2% | 4.6% | 3.0% | 1.4% | 4.5% | 0.0% |
| 神奈川県 | 1.3% | 1.2% | 1.6% | 1.2% | 0.0% | 1.5% | 0.0% |
| 埼玉県 | 1.6% | 0.8% | 2.6% | 1.8% | 0.0% | 1.5% | 0.0% |
| 愛知県 | 1.6% | 1.6% | 2.0% | 1.8% | 0.0% | 1.5% | 0.0% |
| 大阪府 | 1.2% | 0.8% | 2.0% | 0.0% | 2.7% | 0.0% | 0.0% |
| その他の道府県 | 9.5% | 7.3% | 9.9% | 10.1% | 13.5% | 10.6% | 0.0% |
| 外国 | 0.2% | 0.0% | 0.3% | 0.0% | 1.4% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。
 (1つに○)

図表 11 安曇野市の転居前に居住していた地域

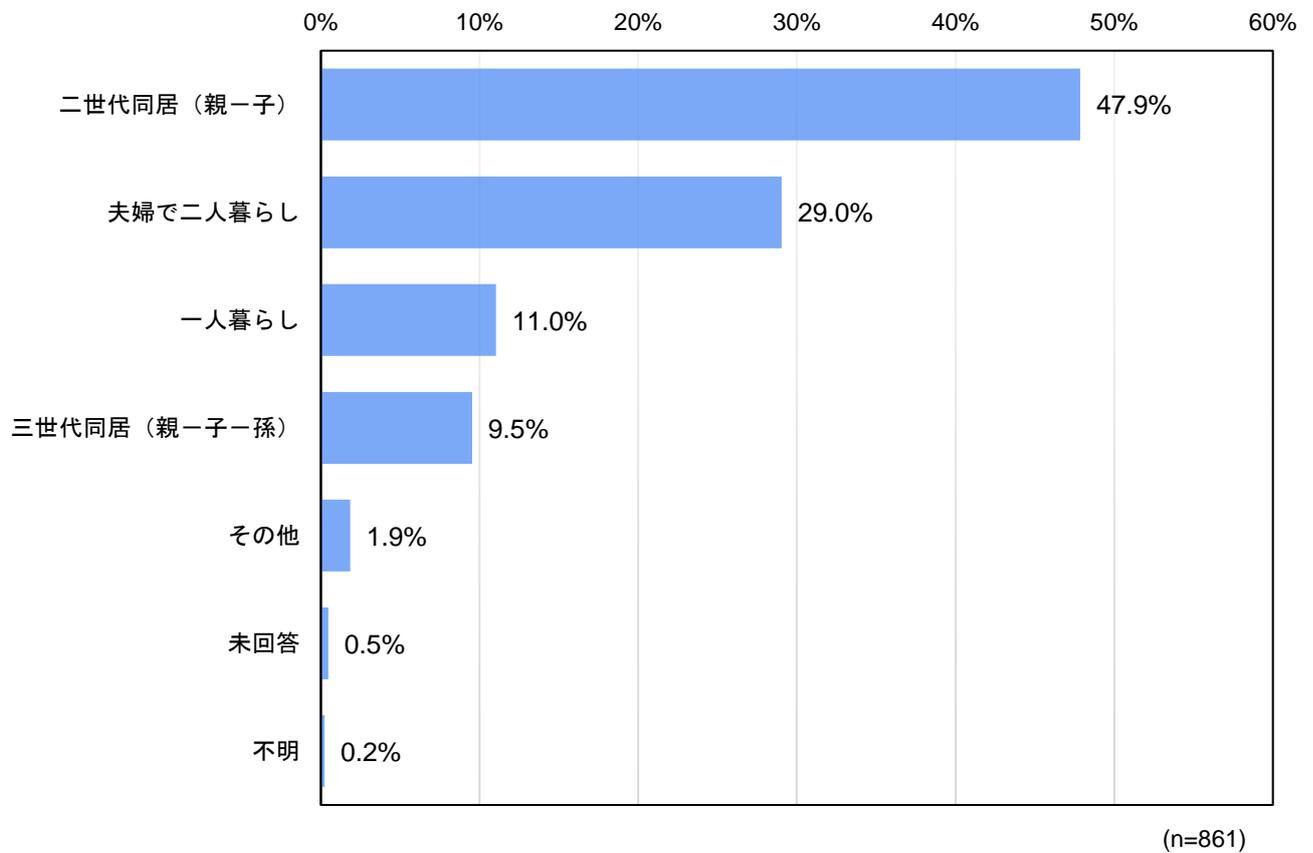


図表 12 【居住地域別】安曇野市の転居前に居住していた地域

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) | 未回答 (n=0) |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 安曇野市以外での居住経験はない | 27.5% | 27.4% | 27.3% | 24.9% | 29.7% | 33.3% | 0.0% |
| 松本市 | 25.2% | 28.6% | 20.4% | 34.3% | 21.6% | 15.2% | 0.0% |
| 大町市 | 3.5% | 3.2% | 4.6% | 1.2% | 6.8% | 1.5% | 0.0% |
| 塩尻市 | 3.6% | 3.2% | 3.6% | 4.1% | 2.7% | 4.5% | 0.0% |
| その他の県内市町村 | 13.8% | 12.5% | 15.8% | 13.6% | 8.1% | 16.7% | 0.0% |
| 東京都 | 7.0% | 8.5% | 6.3% | 4.1% | 5.4% | 13.6% | 0.0% |
| 神奈川県 | 3.6% | 3.2% | 5.3% | 3.0% | 2.7% | 0.0% | 0.0% |
| 埼玉県 | 2.6% | 1.6% | 4.3% | 2.4% | 1.4% | 0.0% | 0.0% |
| 愛知県 | 2.2% | 1.2% | 3.6% | 1.2% | 2.7% | 1.5% | 0.0% |
| 大阪府 | 0.3% | 0.4% | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他の道府県 | 7.2% | 6.9% | 5.6% | 8.3% | 10.8% | 9.1% | 0.0% |
| 外国 | 0.6% | 0.4% | 0.7% | 0.0% | 2.7% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 2.6% | 2.4% | 1.3% | 3.0% | 5.4% | 4.5% | 0.0% |
| 不明 | 0.3% | 0.4% | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 13 世帯状況



図表 14 【居住地域別】世帯状況

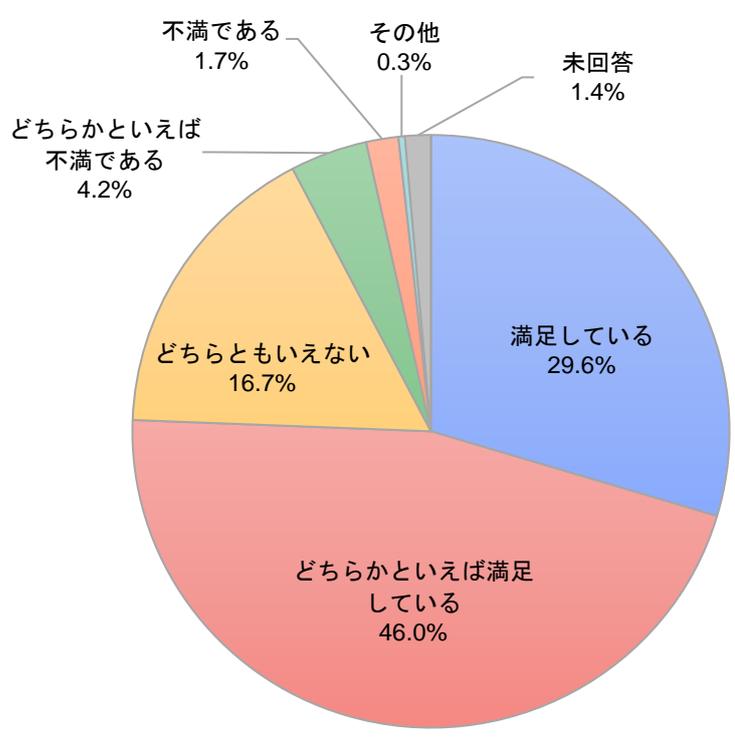
| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) | 未回答 (n=0) |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 二世世代同居 (親一子) | 47.9% | 46.8% | 46.4% | 57.4% | 44.6% | 37.9% | 0.0% |
| 夫婦で二人暮らし | 29.0% | 26.6% | 31.3% | 24.9% | 29.7% | 37.9% | 0.0% |
| 一人暮らし | 11.0% | 14.5% | 9.9% | 8.9% | 8.1% | 12.1% | 0.0% |
| 三世世代同居 (親一子一孫) | 9.5% | 10.5% | 10.2% | 5.9% | 13.5% | 7.6% | 0.0% |
| その他 | 1.9% | 0.8% | 2.0% | 2.4% | 2.7% | 3.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.5% | 0.0% | 0.3% | 0.6% | 1.4% | 1.5% | 0.0% |
| 不明 | 0.2% | 0.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

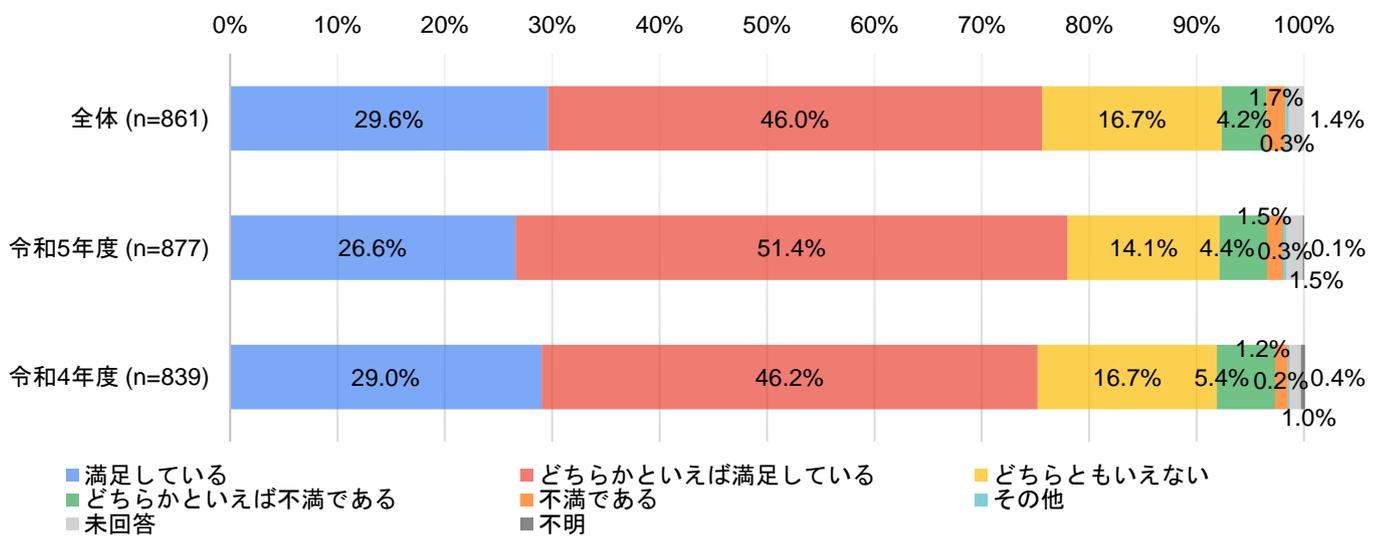
「どちらかといえば満足している」(46.0%) が最も高く、次いで「満足している」(29.6%)、「どちらともいえない」(16.7%) の順となった。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた75.6%が満足していると答え、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた不満と答えた5.9%を大きく上回った。

図表 15 安曇野市での生活の満足度



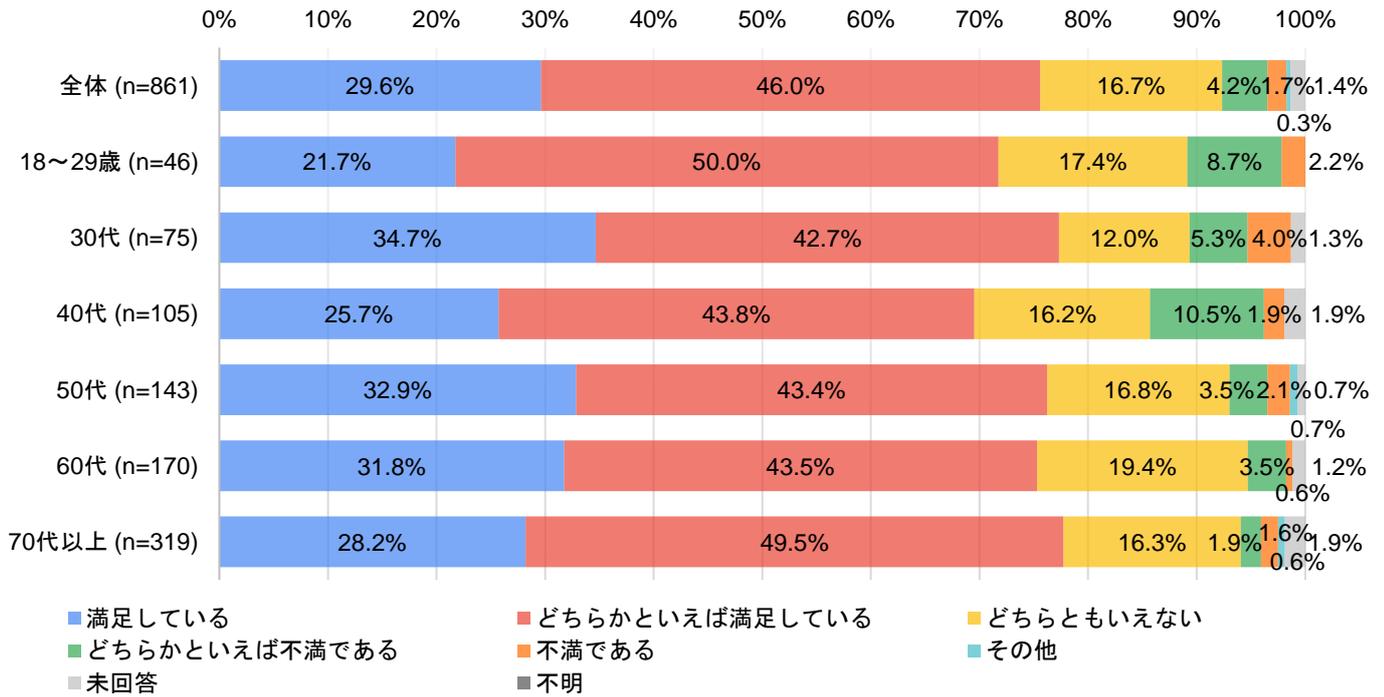
(n=861)

図表 16 【過去比較】安曇野市での生活の満足度



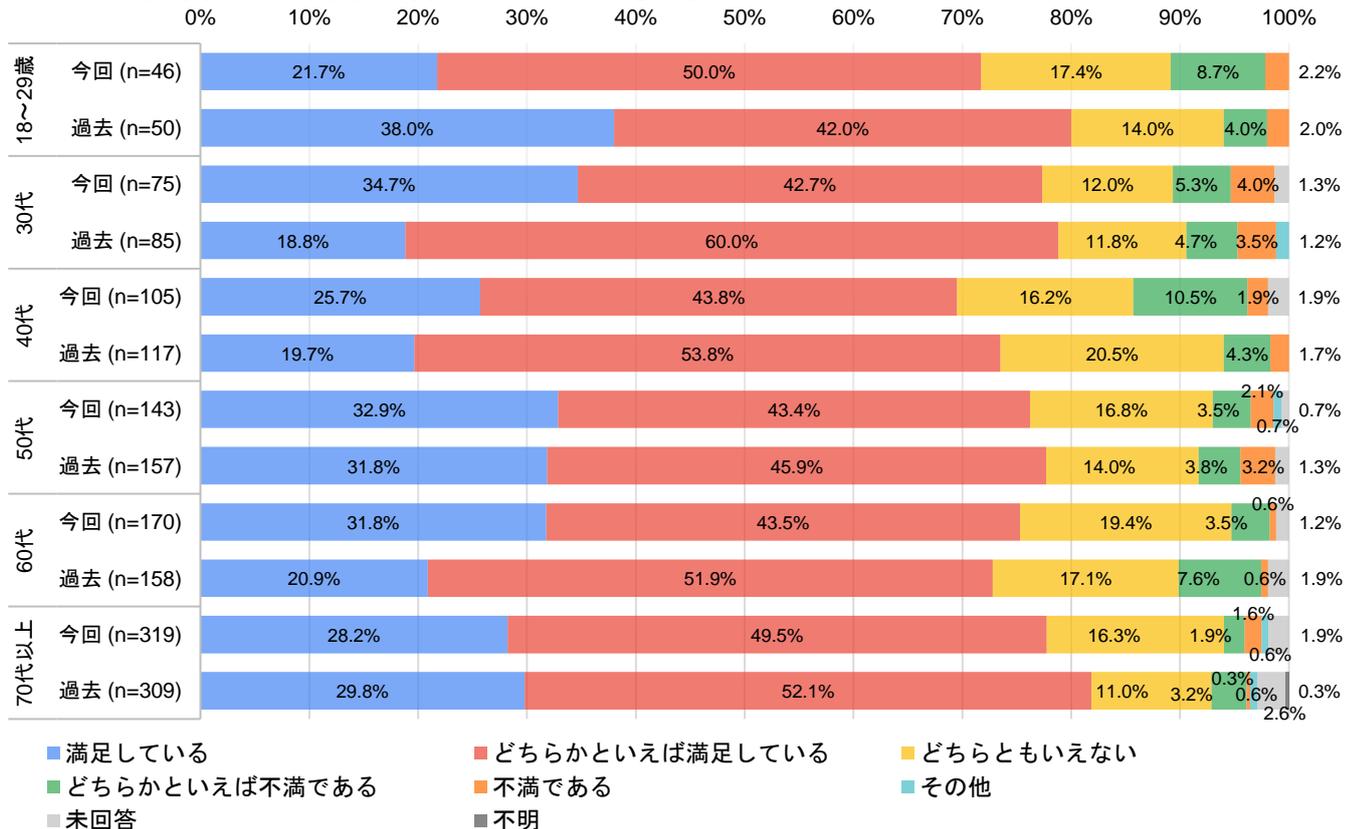
年代別では、40代の「どちらかといえば不満である」(10.5%)が高かった。

図表 17 【年代別】安曇野市での生活の満足度



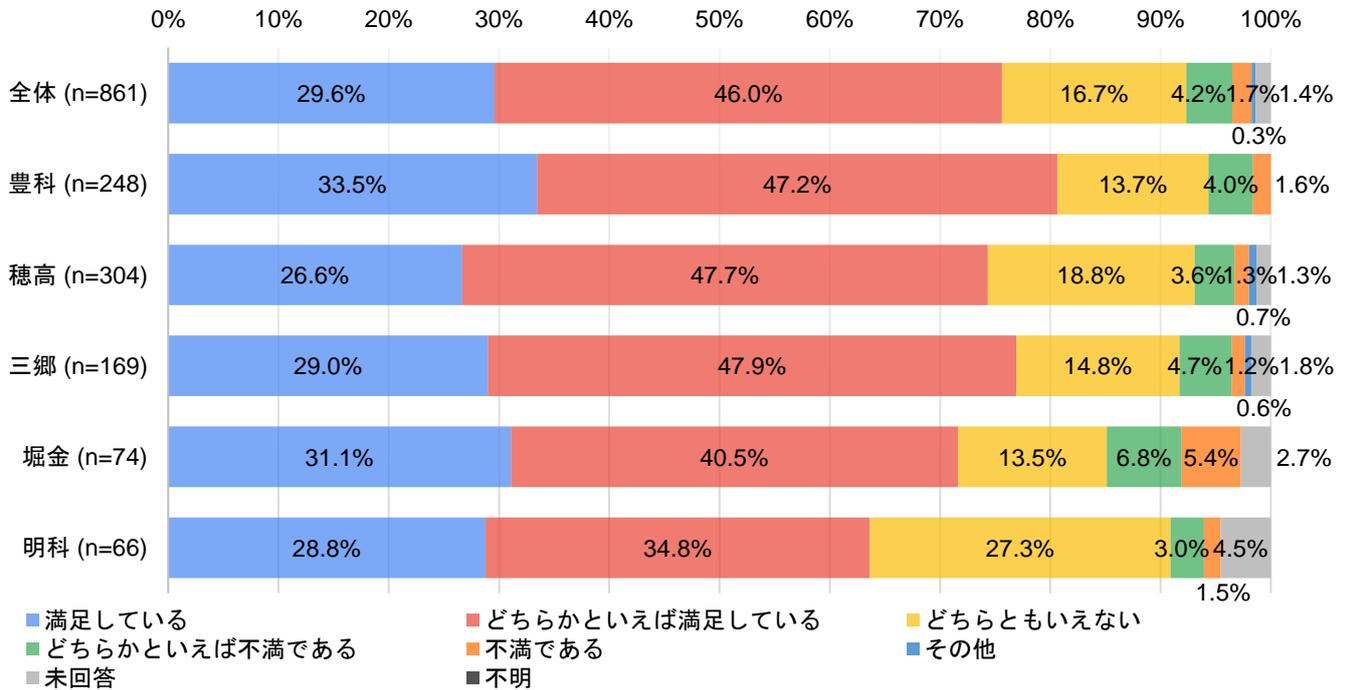
過去調査（令和5年）と比較すると、18~29歳の「満足している」が38.0%から16.3ポイント減少し、21.7%となった。一方で、30代の「満足している」が18.8%から15.9ポイント増加し、34.7%となり、60代の「満足している」が20.9%から10.9ポイント増加し、31.8%となった。

図表 18 【年代別過去比較】安曇野市での生活の満足度



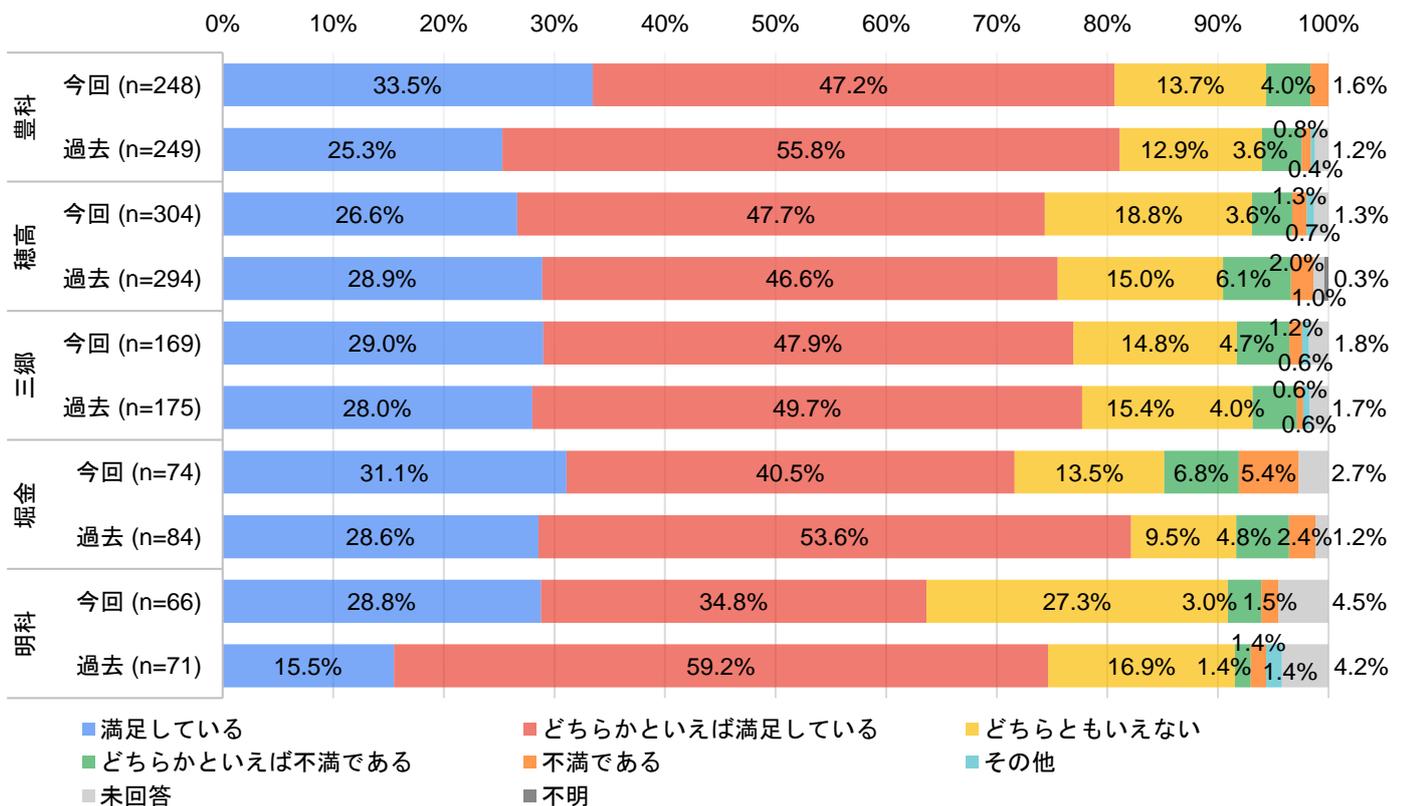
図表 19 【居住地域別】安曇野市での生活の満足度

居住地域別では、堀金の「不満である」(5.4%)、明科の「どちらともいえない」(27.3%)が高かった。



過去調査（令和5年）と比較すると、豊科の「満足している」が25.3%から8.2ポイント増加し、33.5%となり、明科の「満足している」が15.5%から13.3ポイント増加し、28.8%となった。

図表 20 【居住地域別過去比較】安曇野市での生活の満足度

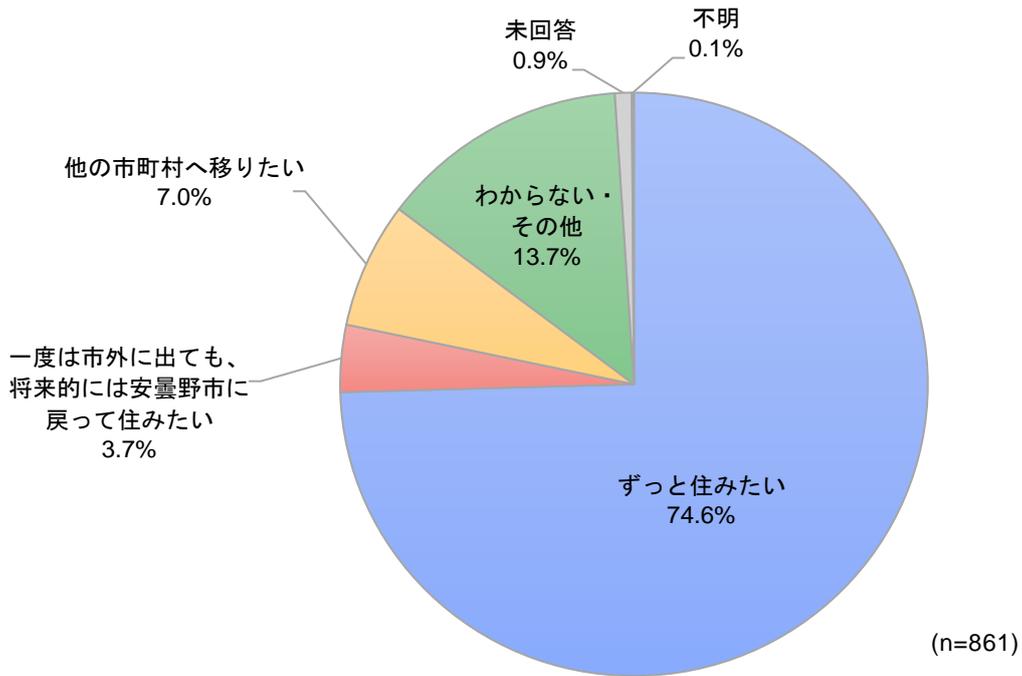


問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

「ずっと住みたい」(74.6%)が最も高く、次いで「わからない・その他」(13.7%)、「他の市町村へ移りたい」(7.0%)の順となった。

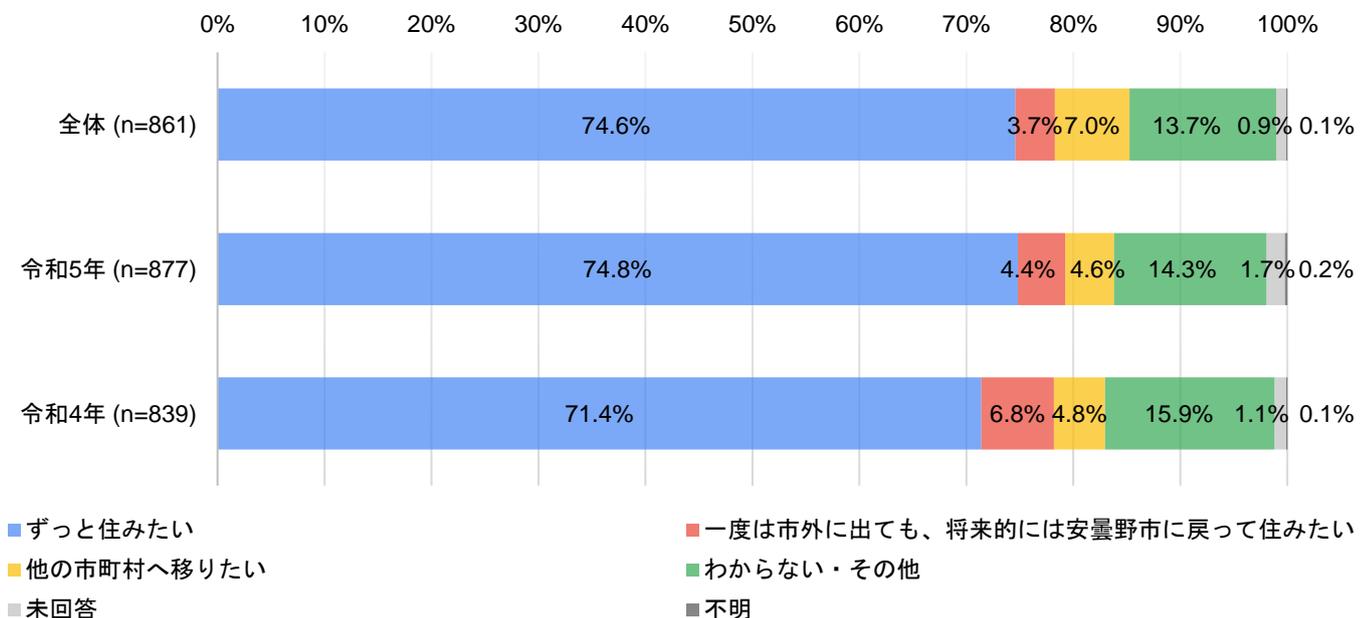
「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合わせた約8割(78.3%)が安曇野市に住み続けたいと答えた。

図表 21 安曇野市での定住意向



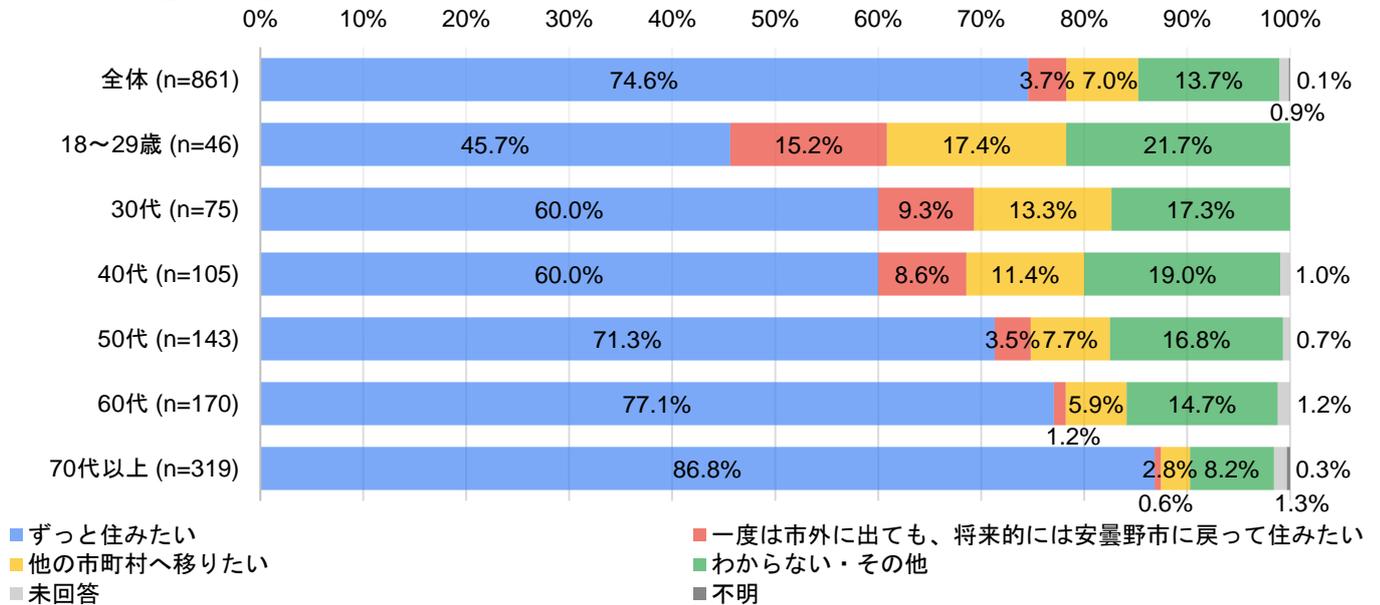
過去調査(令和5年)と比較すると、「他の市町村へ移りたい」が4.6%から2.4ポイント増加し、7.0%となった。

図表 22 【過去比較】安曇野市での定住意向



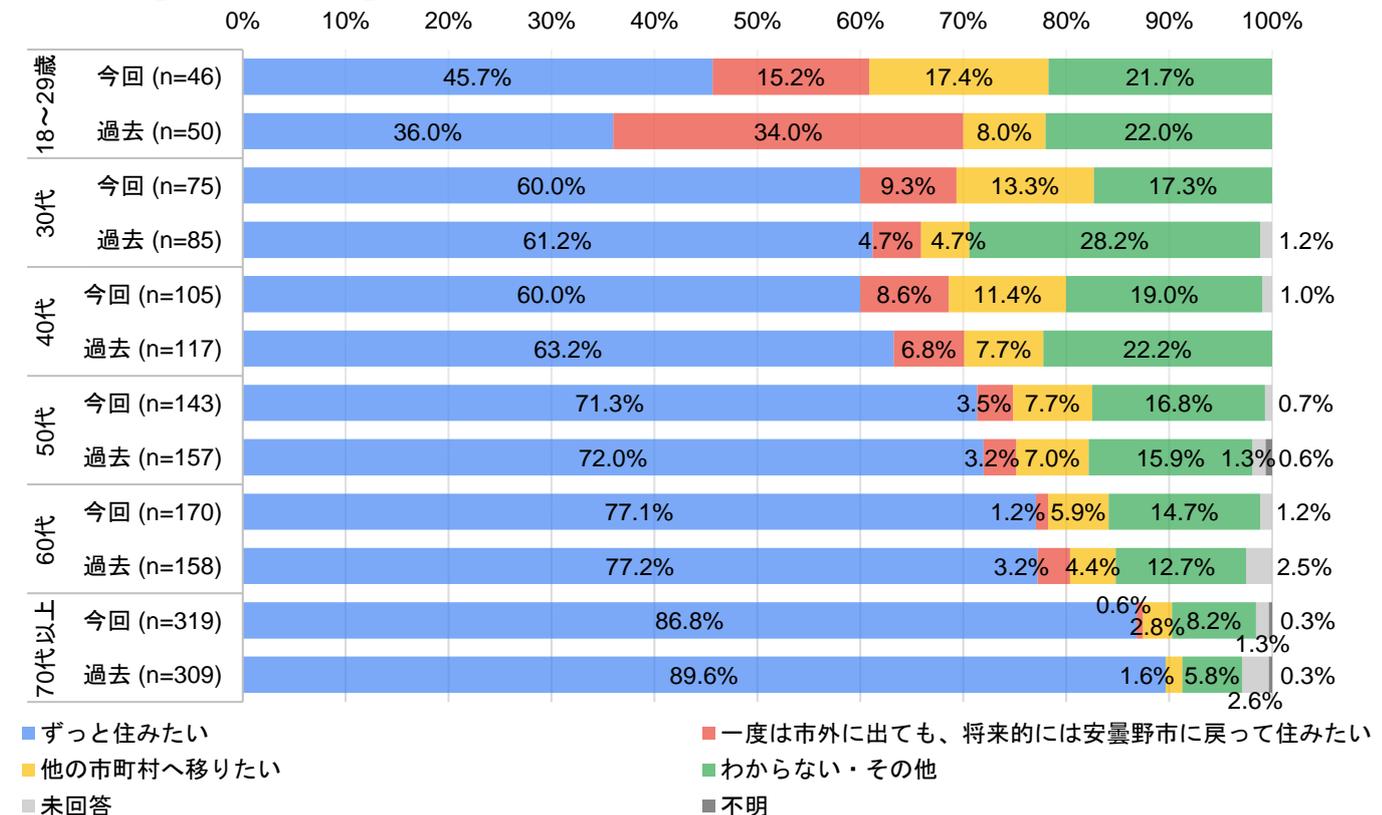
年代別では、「ずっと住みたい」は18～29歳（45.7%）で低く、70代以上（86.8%）が高かった。「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」は18～29歳（15.2%）、30代（9.3%）、40代（8.6%）が高く、70代以上（0.6%）で低かった。「他の市町村へ移りたい」は、18～29歳（17.4%）、30代（13.3%）が高く、70代以上（2.8%）で低かった。「わからない・その他」は70代以上（8.2%）で低かった。

図表 23 【年代別】安曇野市での定住意向

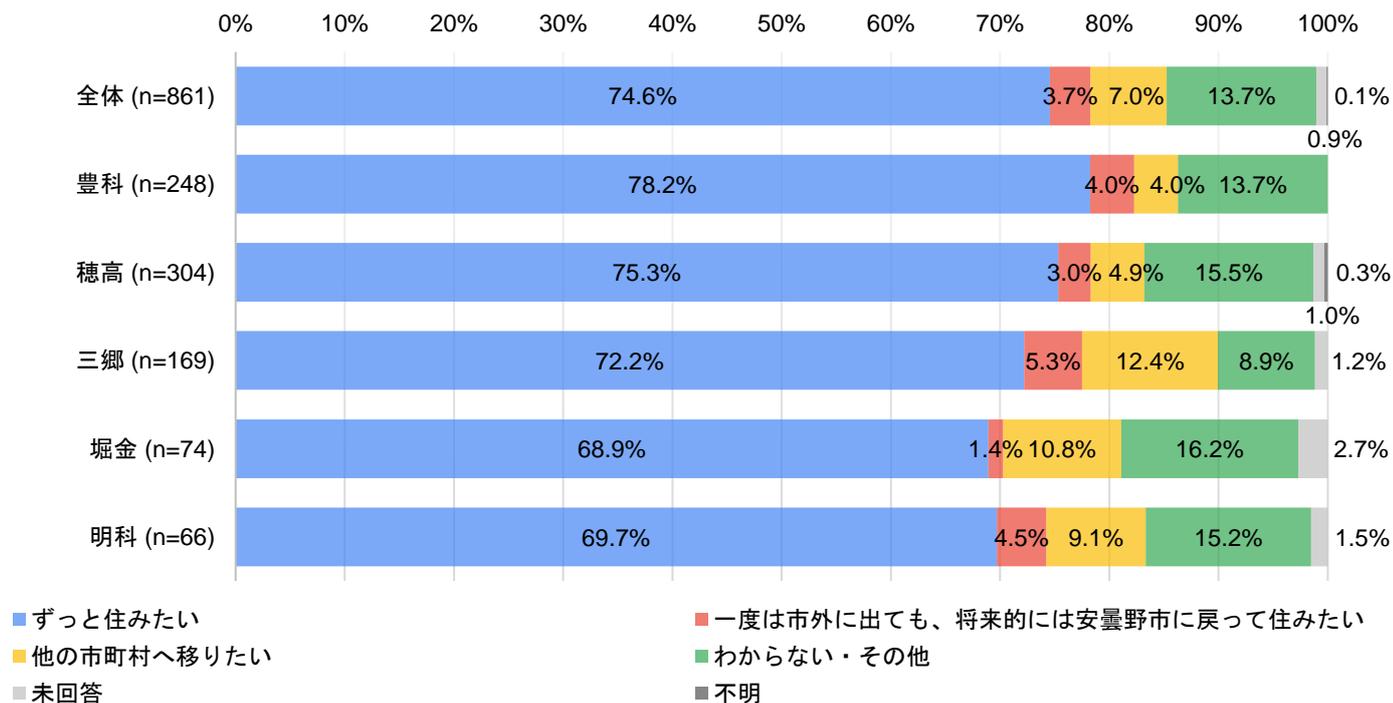


年代別で過去調査（令和5年）と比較すると、18～29歳において「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」が34.0%から18.8ポイント減少し、15.2%となった。

図表 24 【年代別過去比較】安曇野市での定住意向

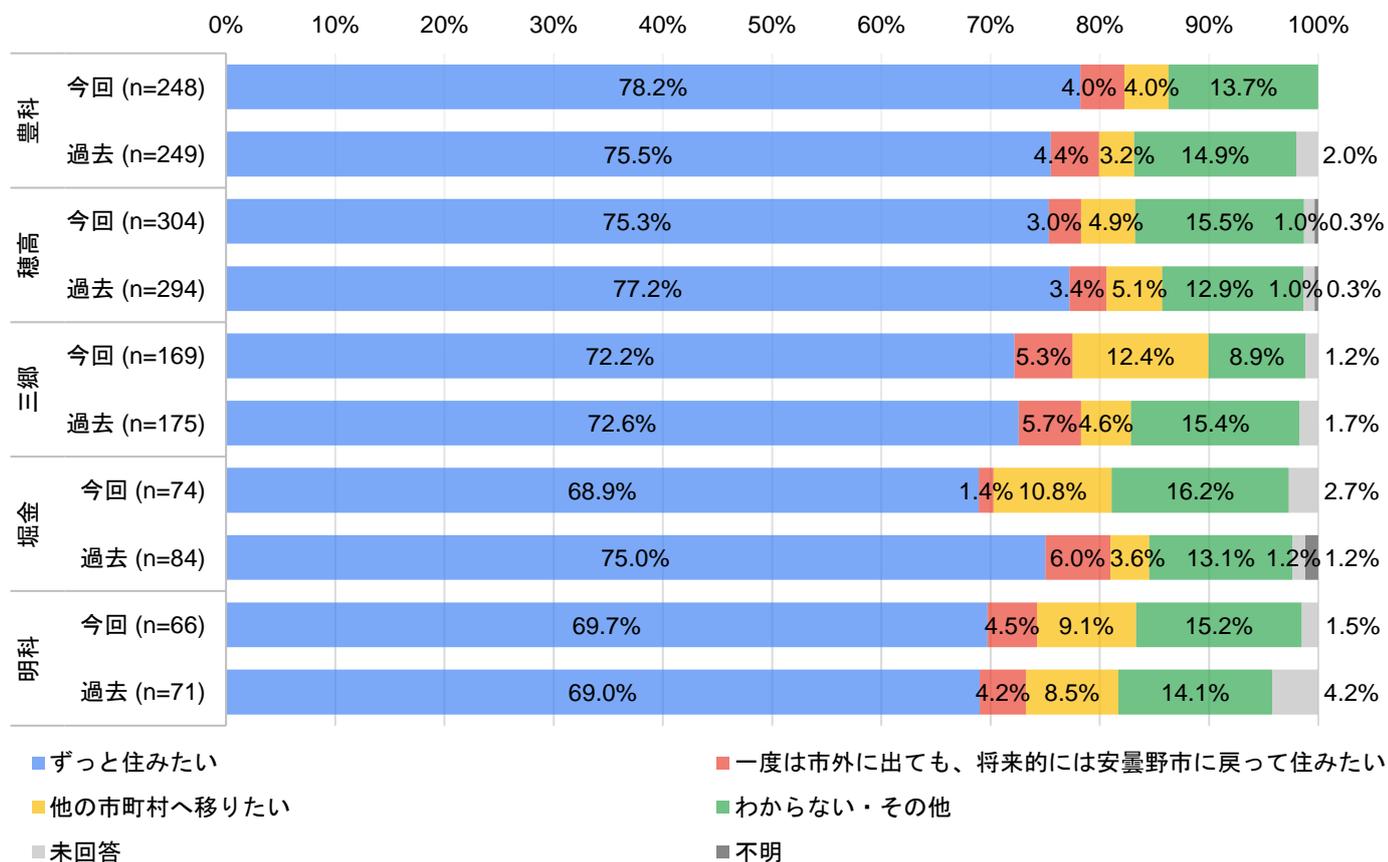


図表 25 【居住地域別】安曇野市での定住意向



居住地域別で過去調査（令和5年）と比較すると、「他の市町村へ移りたい」が三郷において、4.6%から7.8ポイント増加し、12.4%、堀金において3.6%から7.2ポイント増加し、10.8%となった。堀金において「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」が6.0%から4.6ポイント減少し、1.4%となった。

図表 26 【居住地域別過去比較】安曇野市での定住意向



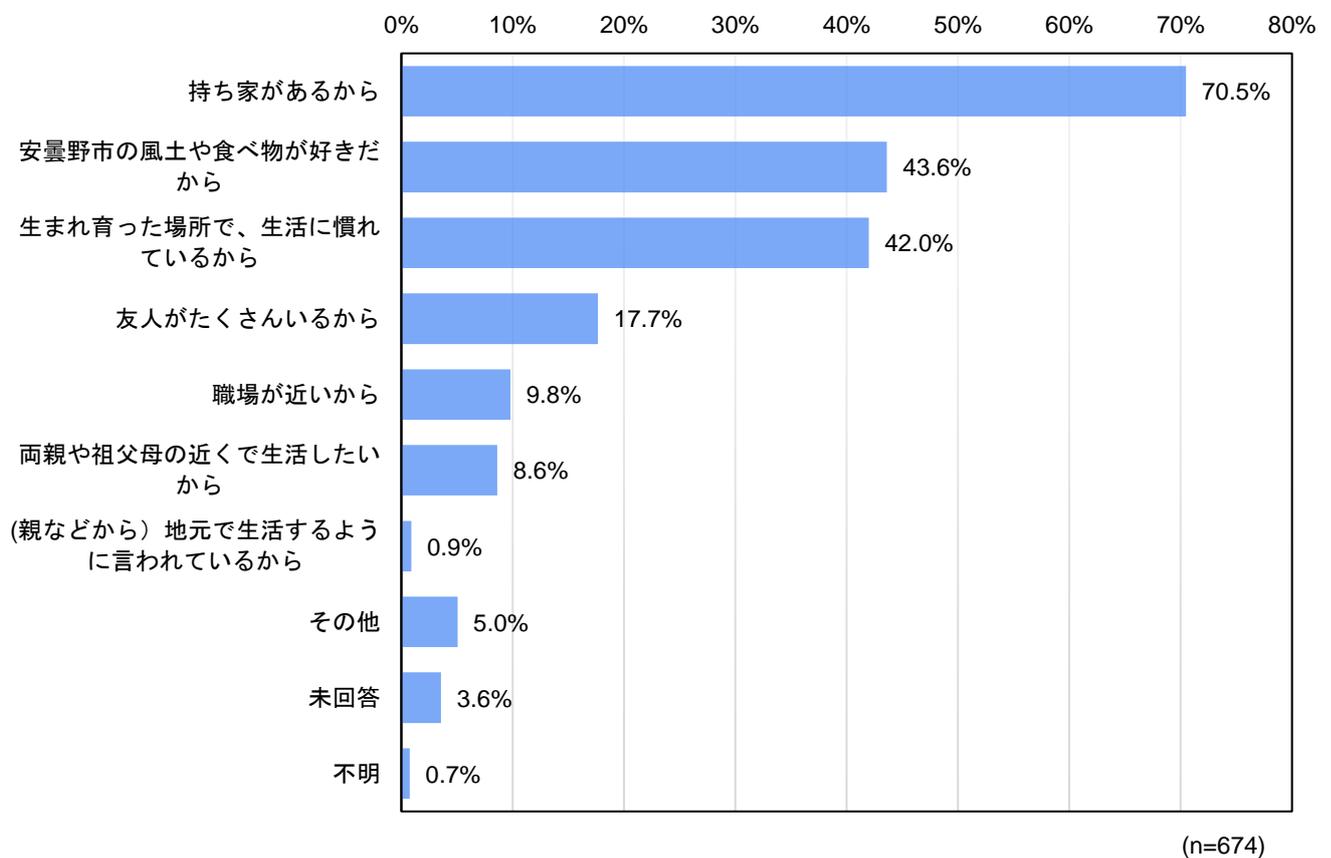
問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

安曇野市に住みたいと回答した方に聞いたところ、「持ち家があるから」(70.5%)が最も高く、次いで「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」(43.6%)、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(42.0%)の順となった。

年代別では、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」は18～29歳(53.6%)が高かった。「職場が近いから」は18～29歳(28.6%)、40代(23.6%)が高く、70代以上(2.2%)が低かった。「両親や祖父母の近くで生活したいから」は18～29歳(39.3%)、30代(21.1%)、40代(20.8%)が高く、70代以上(1.4%)で低かった。

図表 27 安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



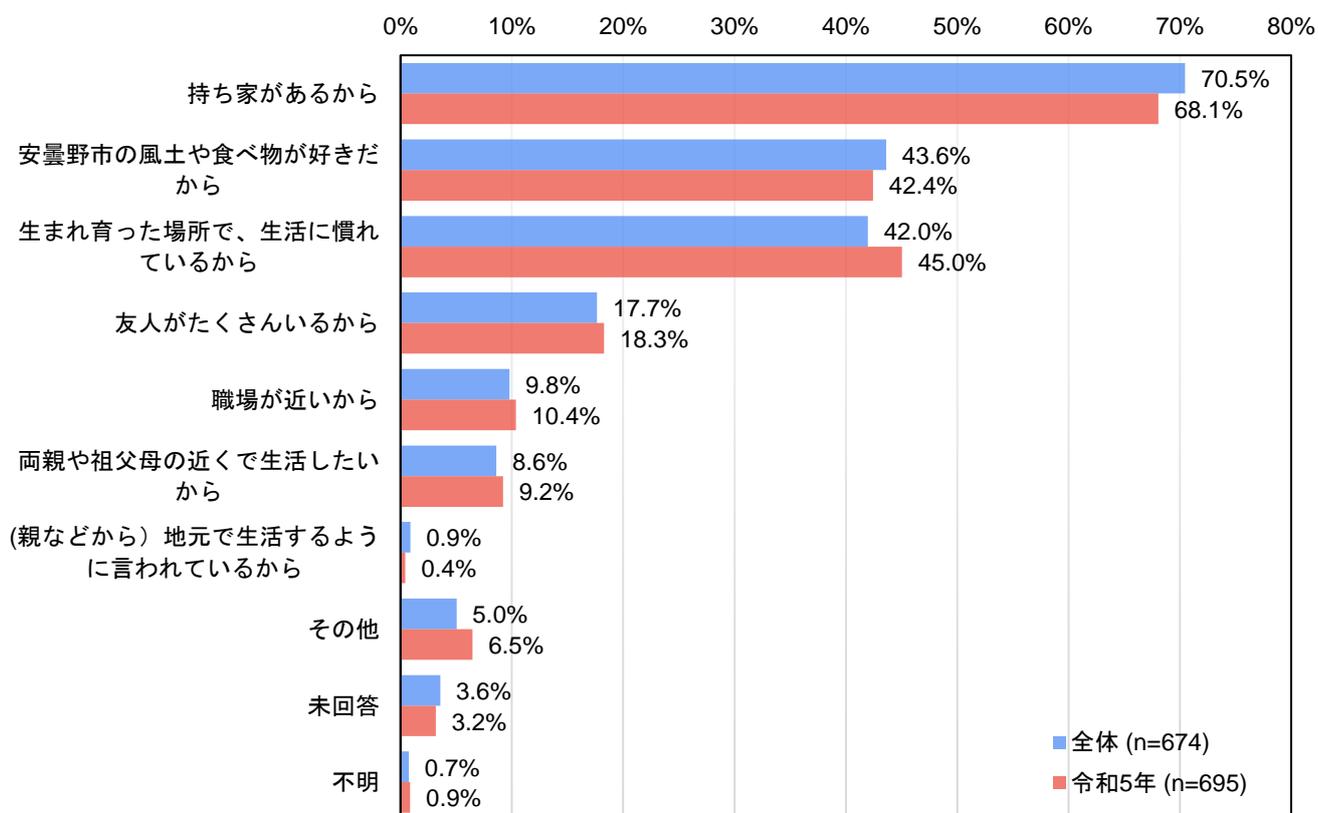
図表 28 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=674) | 18～29歳 (n=28) | 30代 (n=52) | 40代 (n=72) | 50代 (n=107) | 60代 (n=133) | 70代以上 (n=279) | 未回答 (n=3) |
|----------------------------|---------------|------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 持ち家があるから | 70.5% | 32.1% | 50.0% | 77.8% | 62.6% | 80.5% | 74.6% | 66.7% |
| 安曇野市の風土や食べ物が好きだから | 43.6% | 39.3% | 48.1% | 44.4% | 44.9% | 42.1% | 43.4% | 33.3% |
| 生まれ育った場所で、生活に慣れているから | 42.0% | 53.6% | 34.6% | 34.7% | 41.1% | 44.4% | 43.7% | 0.0% |
| 友人がたくさんいるから | 17.7% | 14.3% | 17.3% | 8.3% | 12.1% | 20.3% | 21.5% | 0.0% |
| 職場が近いから | 9.8% | 28.6% | 9.6% | 23.6% | 12.1% | 11.3% | 2.2% | 66.7% |
| 両親や祖父母の近くで生活したいから | 8.6% | 39.3% | 21.2% | 20.8% | 11.2% | 3.8% | 1.4% | 0.0% |
| (親などから) 地元で生活するように言われているから | 0.9% | 3.6% | 0.0% | 0.0% | 0.9% | 0.0% | 1.4% | 0.0% |
| その他 | 5.0% | 10.7% | 9.6% | 2.8% | 3.7% | 8.3% | 3.2% | 0.0% |
| 未回答 | 3.6% | 0.0% | 7.7% | 0.0% | 4.7% | 2.3% | 4.3% | 0.0% |
| 不明 | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.8% | 1.4% | 0.0% |

図表 29 【居住地域別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=674) | 豊科 (n=204) | 穂高 (n=238) | 三郷 (n=131) | 堀金 (n=52) | 明科 (n=49) | 未回答 (n=0) | 不明 (n=0) |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 持ち家があるから | 70.5% | 71.6% | 71.0% | 68.7% | 65.4% | 73.5% | 0.0% | 0.0% |
| 安曇野市の風土や食べ物が好きだから | 43.6% | 44.1% | 42.9% | 48.1% | 36.5% | 40.8% | 0.0% | 0.0% |
| 生まれ育った場所で、生活に慣れているから | 42.0% | 45.6% | 40.3% | 38.2% | 46.2% | 40.8% | 0.0% | 0.0% |
| 友人がたくさんいるから | 17.7% | 12.3% | 19.7% | 18.3% | 25.0% | 20.4% | 0.0% | 0.0% |
| 職場が近いから | 9.8% | 11.3% | 9.2% | 7.6% | 13.5% | 8.2% | 0.0% | 0.0% |
| 両親や祖父母の近くで生活したいから | 8.6% | 10.8% | 6.7% | 9.9% | 7.7% | 6.1% | 0.0% | 0.0% |
| (親などから) 地元で生活するように言われているから | 0.9% | 2.0% | 0.0% | 1.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 5.0% | 4.9% | 6.7% | 3.1% | 3.8% | 4.1% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 3.6% | 3.4% | 4.2% | 2.3% | 3.8% | 4.1% | 0.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.7% | 2.0% | 0.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 30 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

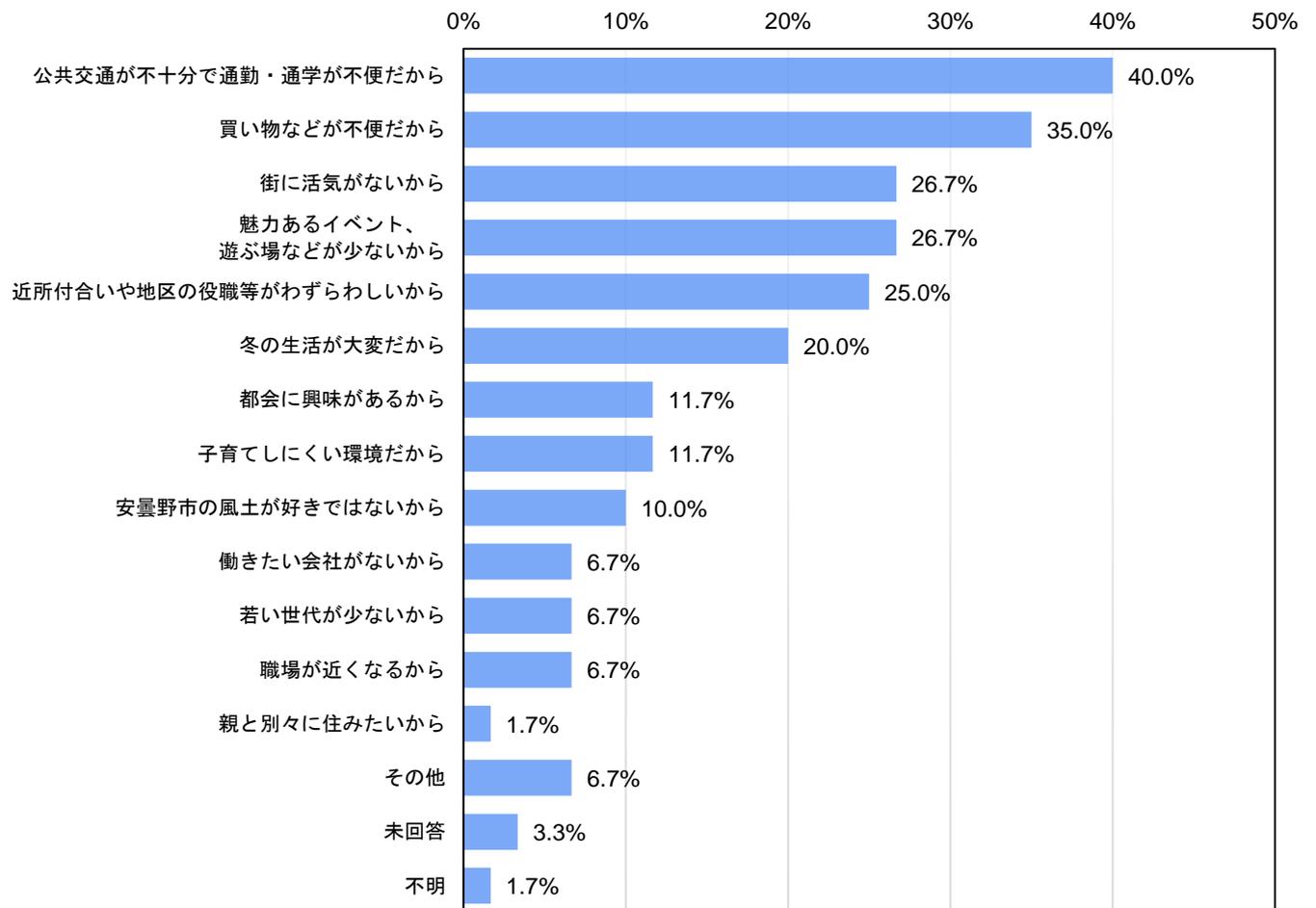


問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで)

他の市町村へ移りたいと回答した方に聞いたところ、「公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから」(40.0%)が最も高く、次いで「買い物などが不便だから」(35.0%)、「街に活気がないから」(26.7%)、「魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから」(26.7%)の順となった。

図表 31 他の市町村へ移りたい理由 (“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)



(n=60)

年代別では、「買い物などが不便だから」が60代（60.0%）で高かった。居住地域別では、「安曇野市の風土が好きではないから」は堀金（37.5%）が高かった。「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」は明科（66.7%）が高く、三郷（4.8%）が低かった。

図表 32 【年代別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=60) | 18~29歳 (n=8) | 30代 (n=10) | 40代 (n=12) | 50代 (n=11) | 60代 (n=10) | 70代以上 (n=9) | 未回答 (n=0) |
|------------------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------|
| 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 40.0% | 25.0% | 50.0% | 41.7% | 36.4% | 40.0% | 44.4% | 0.0% |
| 買い物などが不便だから | 35.0% | 12.5% | 30.0% | 25.0% | 36.4% | 60.0% | 44.4% | 0.0% |
| 街に活気がないから | 26.7% | 37.5% | 20.0% | 16.7% | 18.2% | 30.0% | 44.4% | 0.0% |
| 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから | 26.7% | 50.0% | 40.0% | 25.0% | 9.1% | 20.0% | 22.2% | 0.0% |
| 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 25.0% | 0.0% | 20.0% | 16.7% | 45.5% | 30.0% | 33.3% | 0.0% |
| 冬の生活が大変だから | 20.0% | 12.5% | 10.0% | 8.3% | 45.5% | 20.0% | 22.2% | 0.0% |
| 都会に興味があるから | 11.7% | 25.0% | 10.0% | 8.3% | 9.1% | 10.0% | 11.1% | 0.0% |
| 子育てしにくい環境だから | 11.7% | 0.0% | 40.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 安曇野市の風土が好きではないから | 10.0% | 0.0% | 10.0% | 16.7% | 9.1% | 20.0% | 0.0% | 0.0% |
| 働きたい会社がないから | 6.7% | 25.0% | 0.0% | 8.3% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% |
| 若い世代が少ないから | 6.7% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | 9.1% | 0.0% | 22.2% | 0.0% |
| 職場が近くなるから | 6.7% | 25.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% |
| 親と別々に住みたいから | 1.7% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 8.3% | 9.1% | 10.0% | 11.1% | 0.0% |
| 未回答 | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 8.3% | 9.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 不明 | 1.7% | 0.0% | 0.0% | 8.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

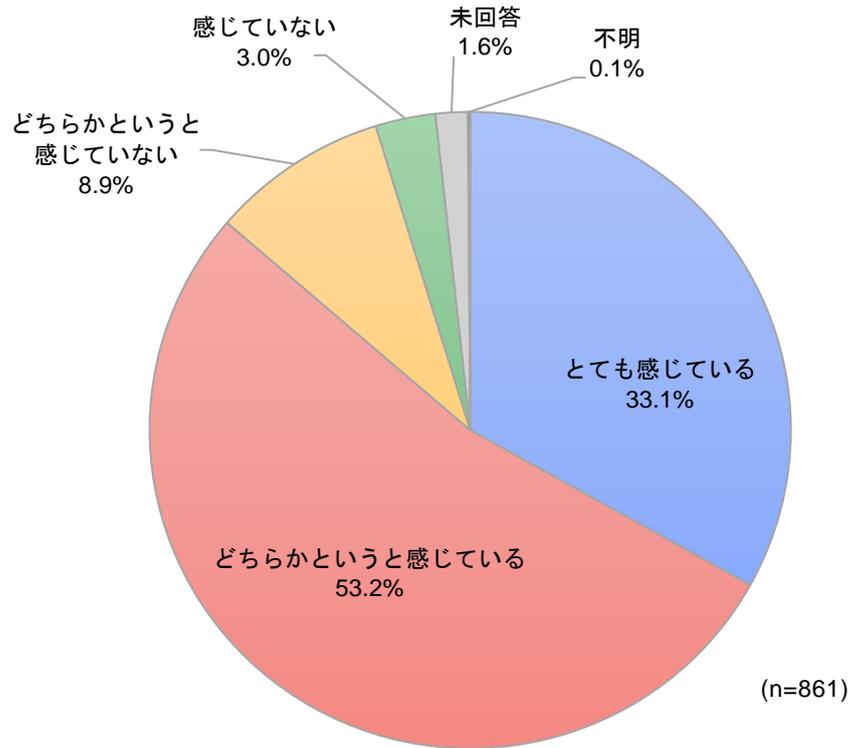
図表 33 【居住地域別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=60) | 豊科 (n=10) | 穂高 (n=15) | 三郷 (n=21) | 堀金 (n=8) | 明科 (n=6) | 未回答 (n=0) |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|----------|--------------|
| 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 40.0% | 60.0% | 46.7% | 38.1% | 25.0% | 16.7% | 0.0% |
| 買い物などが不便だから | 35.0% | 40.0% | 26.7% | 38.1% | 12.5% | 66.7% | 0.0% |
| 街に活気がないから | 26.7% | 0.0% | 26.7% | 33.3% | 25.0% | 50.0% | 0.0% |
| 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから | 26.7% | 10.0% | 33.3% | 33.3% | 37.5% | 0.0% | 0.0% |
| 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 25.0% | 30.0% | 33.3% | 4.8% | 25.0% | 66.7% | 0.0% |
| 冬の生活が大変だから | 20.0% | 40.0% | 6.7% | 19.0% | 25.0% | 16.7% | 0.0% |
| 都会に興味があるから | 11.7% | 0.0% | 6.7% | 23.8% | 12.5% | 0.0% | 0.0% |
| 子育てしにくい環境だから | 11.7% | 30.0% | 6.7% | 14.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 安曇野市の風土が好きではないから | 10.0% | 10.0% | 13.3% | 0.0% | 37.5% | 0.0% | 0.0% |
| 働きたい会社がないから | 6.7% | 0.0% | 6.7% | 4.8% | 25.0% | 0.0% | 0.0% |
| 若い世代が少ないから | 6.7% | 0.0% | 13.3% | 0.0% | 12.5% | 16.7% | 0.0% |
| 職場が近くなるから | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 12.5% | 0.0% | 0.0% |
| 親と別々に住みたいから | 1.7% | 0.0% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 6.7% | 10.0% | 13.3% | 0.0% | 0.0% | 16.7% | 0.0% |
| 未回答 | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 4.8% | 0.0% | 16.7% | 0.0% |
| 不明 | 1.7% | 0.0% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

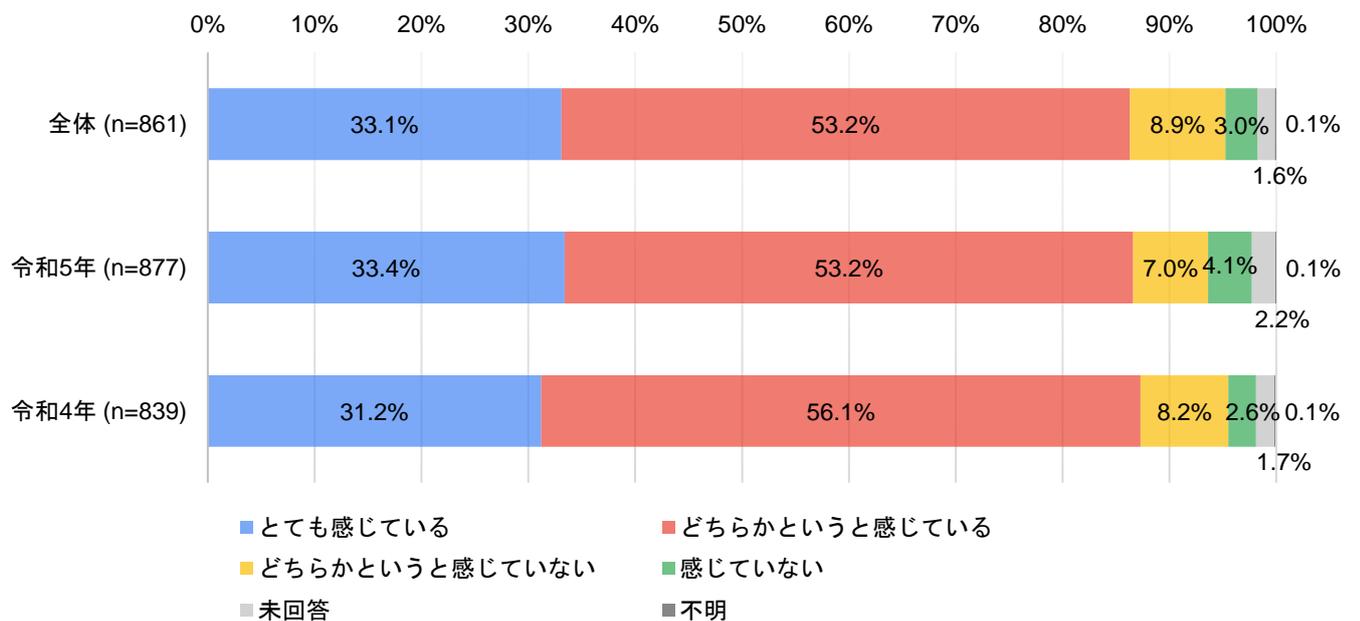
問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

「どちらかというと感じている」(53.2%)が最も高く、次いで「とても感じている」(33.1%)、「どちらかというと感じていない」(8.9%)の順となった。「どちらかというと感じている」、「とても感じている」を合わせた86.3%が感じていると答えた。

図表 34 安曇野市への愛着

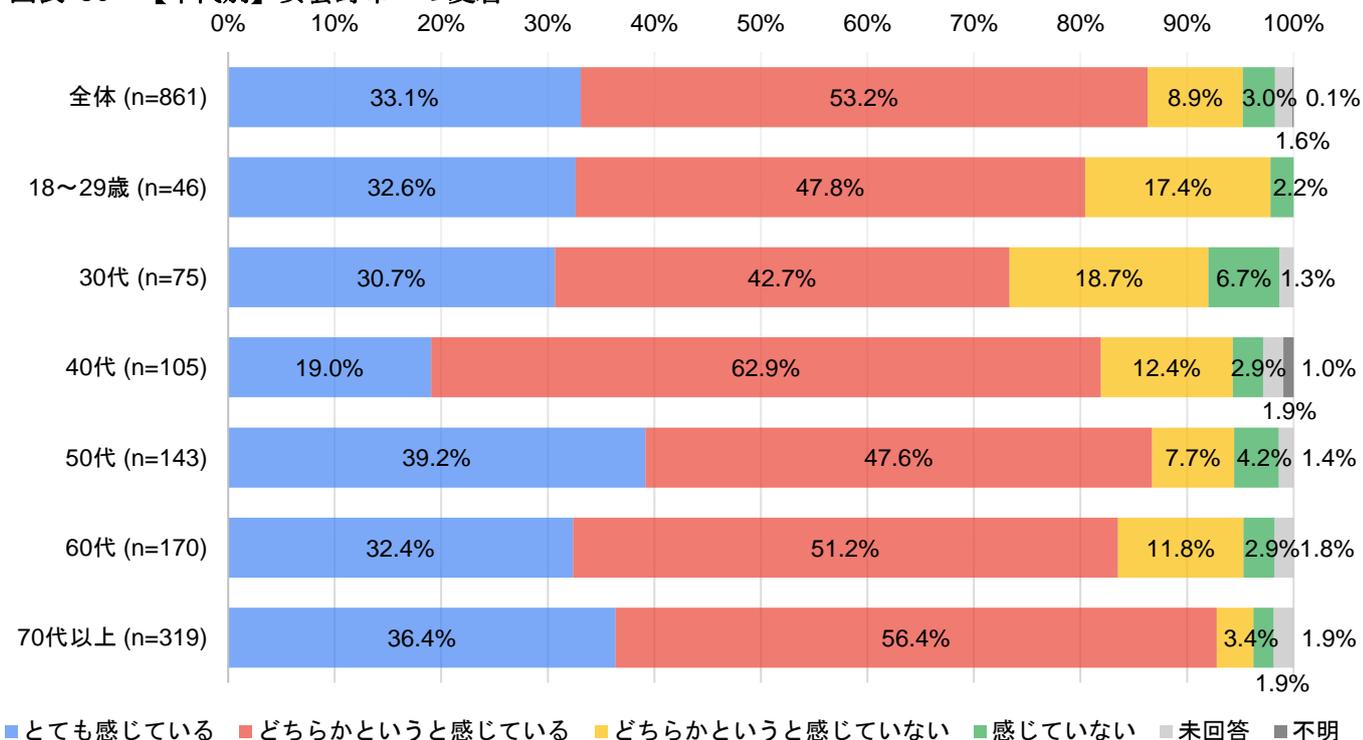


図表 35 【過去比較】安曇野市への愛着



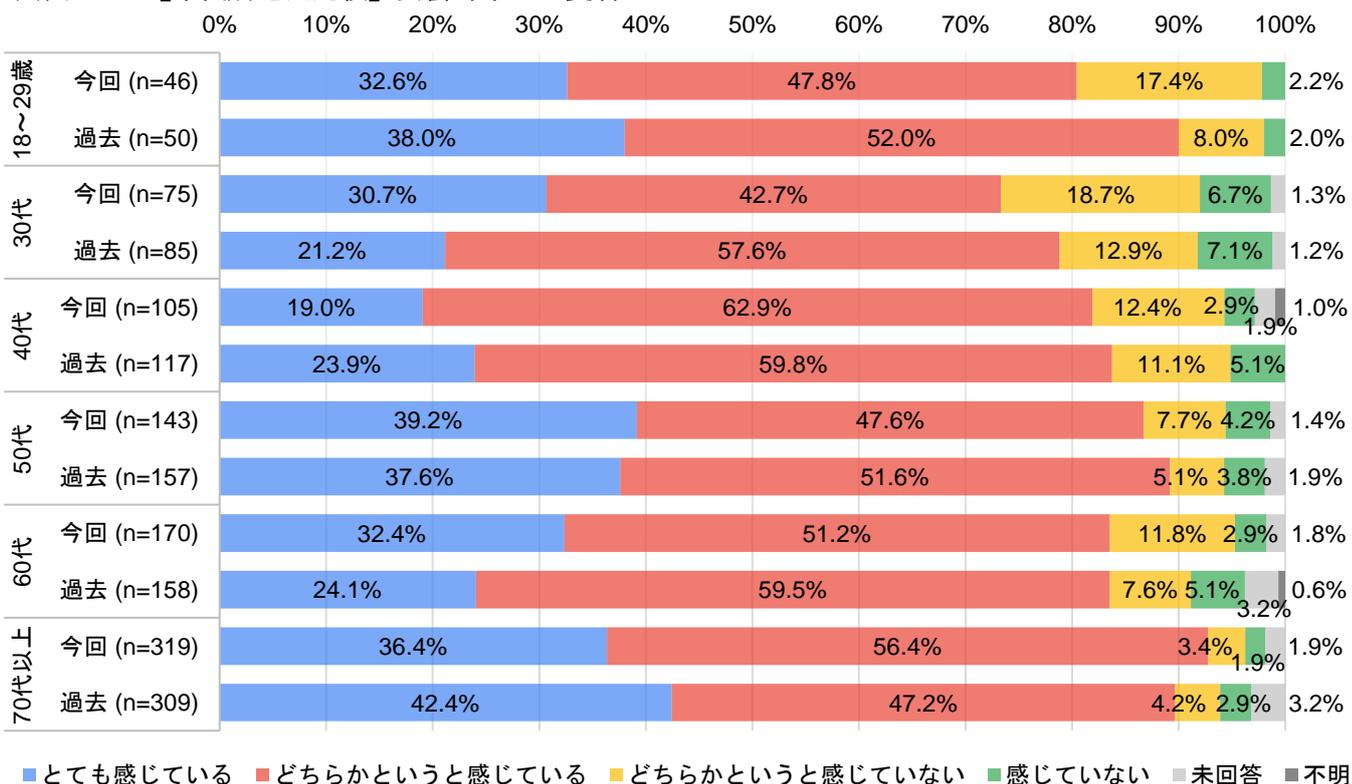
年代別では、「とても感じている」は40代（19.0%）で低く、「どちらかというと感じていない」は30代（18.7%）で高く、70代以上（3.4%）で低かった。

図表 36 【年代別】安曇野市への愛着



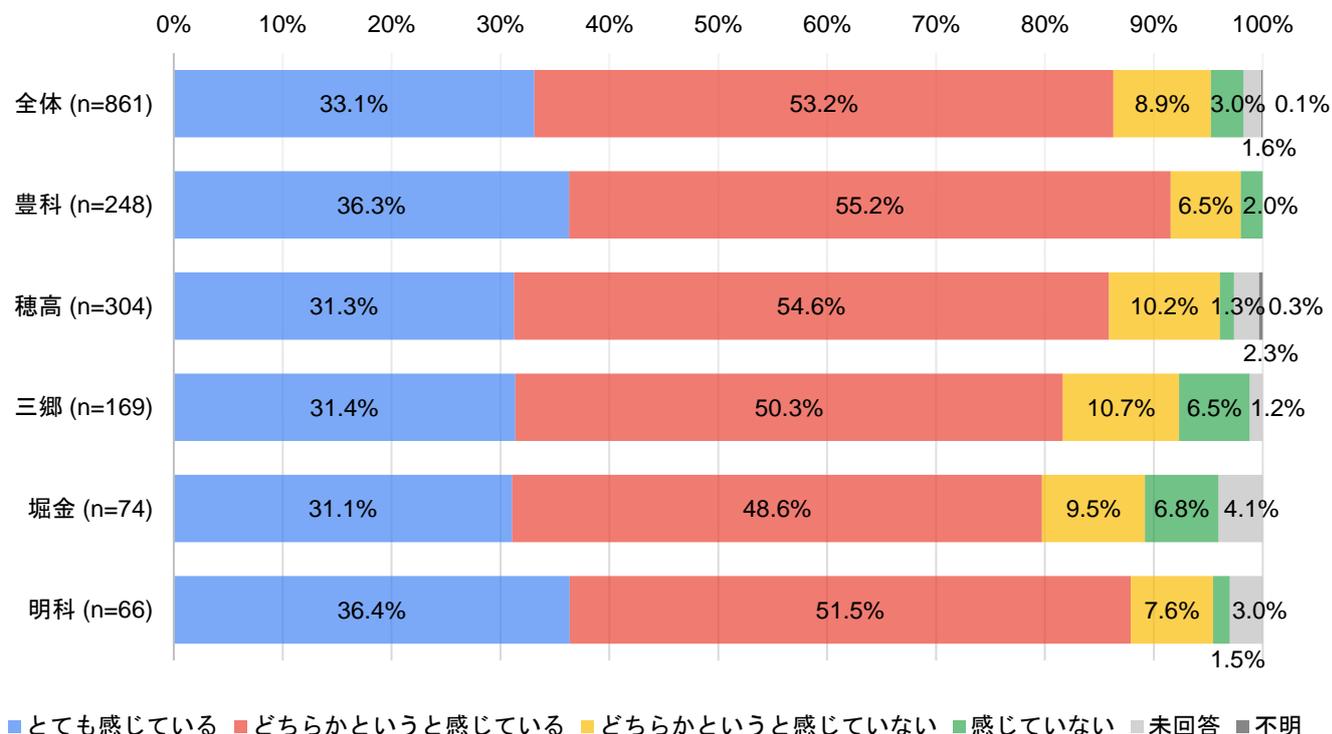
過去調査（令和5年）と比較すると、「とても感じている」が30代で21.2%から9.5ポイント増加し、30.7%となり、60代で24.1%から8.3ポイント増加し、32.4%となった。18~29歳では「どちらかというと感じていない」が8.0%から9.4ポイント増加し、17.4%となった。

図表 37 【年代別過去比較】安曇野市への愛着



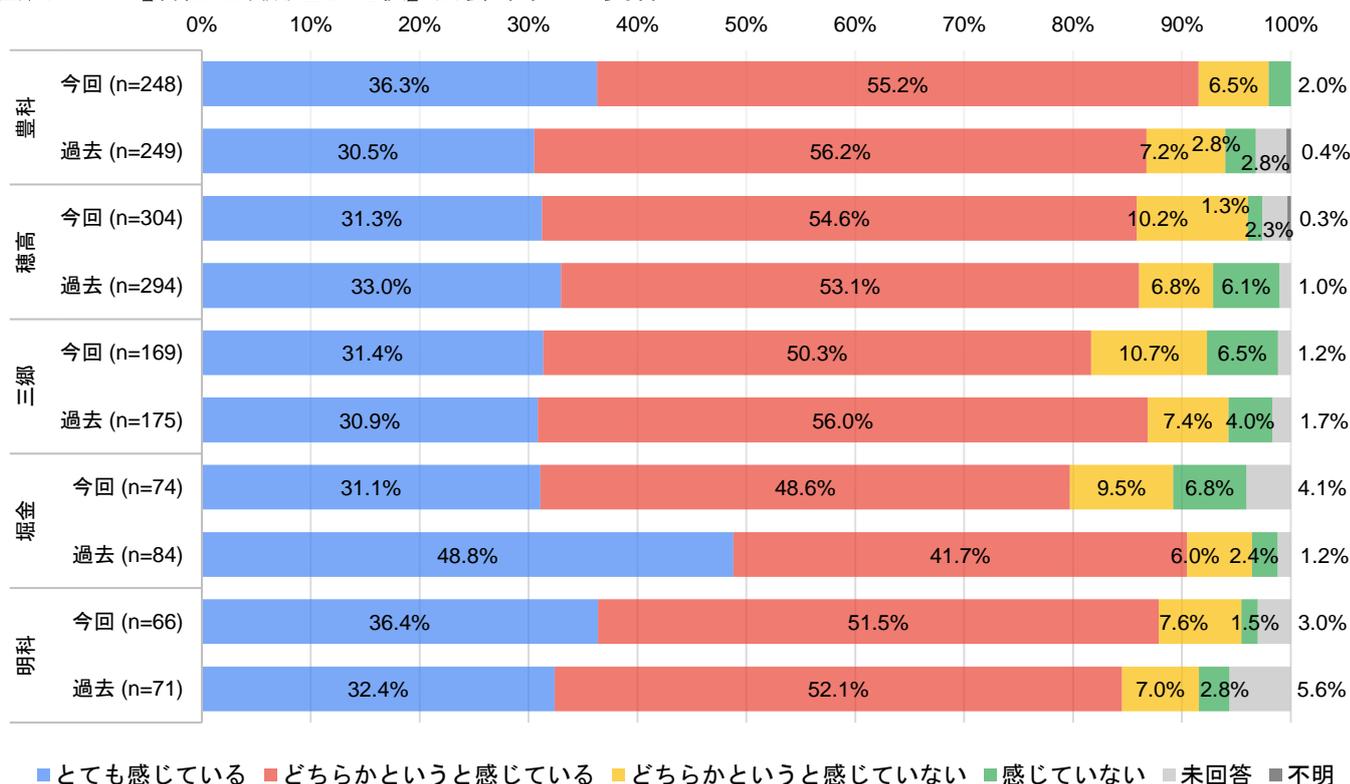
居住地域別では、「感じていない」が堀金（6.8%）、三郷（6.5%）で高かった。

図表 38 【居住地域別】安曇野市への愛着



過去調査（令和5年）と比較すると、堀金の「とても感じている」が48.8%から17.7ポイント減少し、31.1%となった。

図表 39 【居住地域別過去比較】安曇野市への愛着

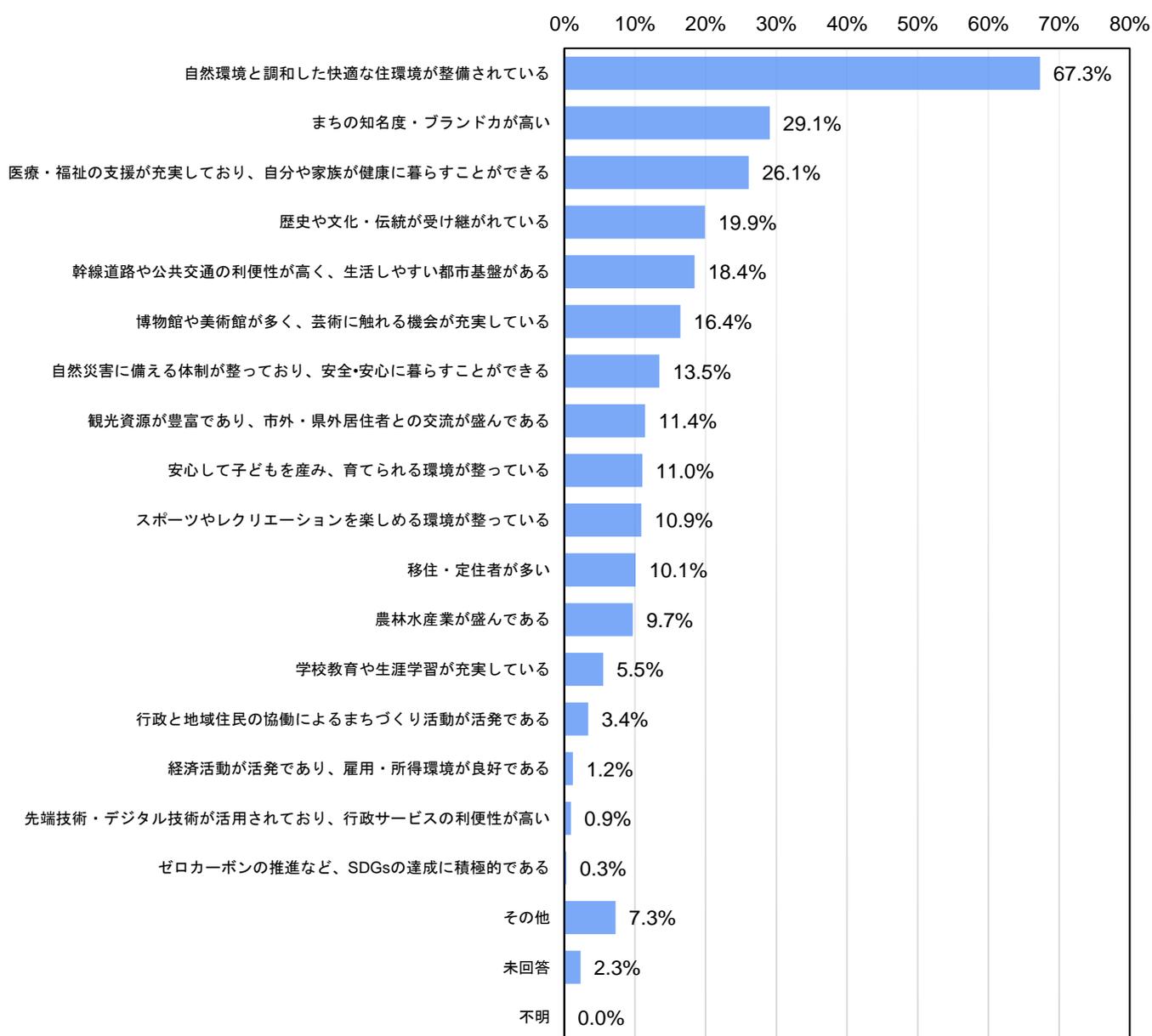


問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「とても感じている」または「どちらかというと感じている」と回答した方に聞いたところ、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(67.3%)が最も高く、次いで「まちの知名度・ブランド力が高い」(29.1%)、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる」(26.1%)の順となった。

図表 40 安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）



(n=743)

年代別では、「まちの知名度・ブランド力が高い」は50代（39.5%）で高かった。70代以上では、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる」（36.5%）、「歴史や文化・伝統が受け継がれている」（25.7%）、「自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる」（22.3%）の順で高かった。「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている」は18～29歳（24.3%）、40代（18.6%）で高かった。

図表 41 【年代別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=743) | 18～29歳 (n=37) | 30代 (n=55) | 40代 (n=86) | 50代 (n=124) | 60代 (n=142) | 70代以上 (n=296) | 未回答 (n=3) |
|------------------------------------|---------------|------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている | 67.3% | 56.8% | 72.7% | 62.8% | 72.6% | 66.9% | 66.6% | 100.0% |
| まちの知名度・ブランド力が高い | 29.1% | 21.6% | 20.0% | 27.9% | 39.5% | 31.7% | 26.0% | 66.7% |
| 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる | 26.1% | 10.8% | 16.4% | 14.0% | 21.8% | 23.9% | 36.5% | 0.0% |
| 歴史や文化・伝統が受け継がれている | 19.9% | 10.8% | 12.7% | 15.1% | 16.9% | 19.0% | 25.7% | 0.0% |
| 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある | 18.4% | 10.8% | 9.1% | 16.3% | 16.1% | 23.9% | 20.3% | 0.0% |
| 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している | 16.4% | 2.7% | 16.4% | 16.3% | 12.9% | 13.4% | 21.3% | 0.0% |
| 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる | 13.5% | 8.1% | 7.3% | 5.8% | 4.0% | 12.0% | 22.3% | 0.0% |
| 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである | 11.4% | 8.1% | 10.9% | 10.5% | 12.1% | 13.4% | 10.8% | 33.3% |
| 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている | 11.0% | 24.3% | 18.2% | 18.6% | 10.5% | 9.9% | 6.8% | 0.0% |
| スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている | 10.9% | 2.7% | 10.9% | 7.0% | 8.9% | 9.9% | 14.5% | 0.0% |
| 移住・定住者が多い | 10.1% | 8.1% | 12.7% | 11.6% | 9.7% | 8.5% | 10.1% | 33.3% |
| 農林水産業が盛んである | 9.7% | 8.1% | 5.5% | 10.5% | 4.8% | 11.3% | 11.8% | 0.0% |
| 学校教育や生涯学習が充実している | 5.5% | 0.0% | 3.6% | 4.7% | 3.2% | 2.8% | 9.1% | 0.0% |
| 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である | 3.4% | 8.1% | 1.8% | 0.0% | 1.6% | 1.4% | 5.7% | 0.0% |
| 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である | 1.2% | 0.0% | 1.8% | 0.0% | 0.0% | 2.1% | 1.7% | 0.0% |
| 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い | 0.9% | 0.0% | 1.8% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 1.7% | 0.0% |
| ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 0.3% | 0.0% |
| その他 | 7.3% | 10.8% | 3.6% | 9.3% | 8.9% | 7.7% | 6.1% | 0.0% |
| 未回答 | 2.3% | 2.7% | 1.8% | 3.5% | 2.4% | 2.1% | 2.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

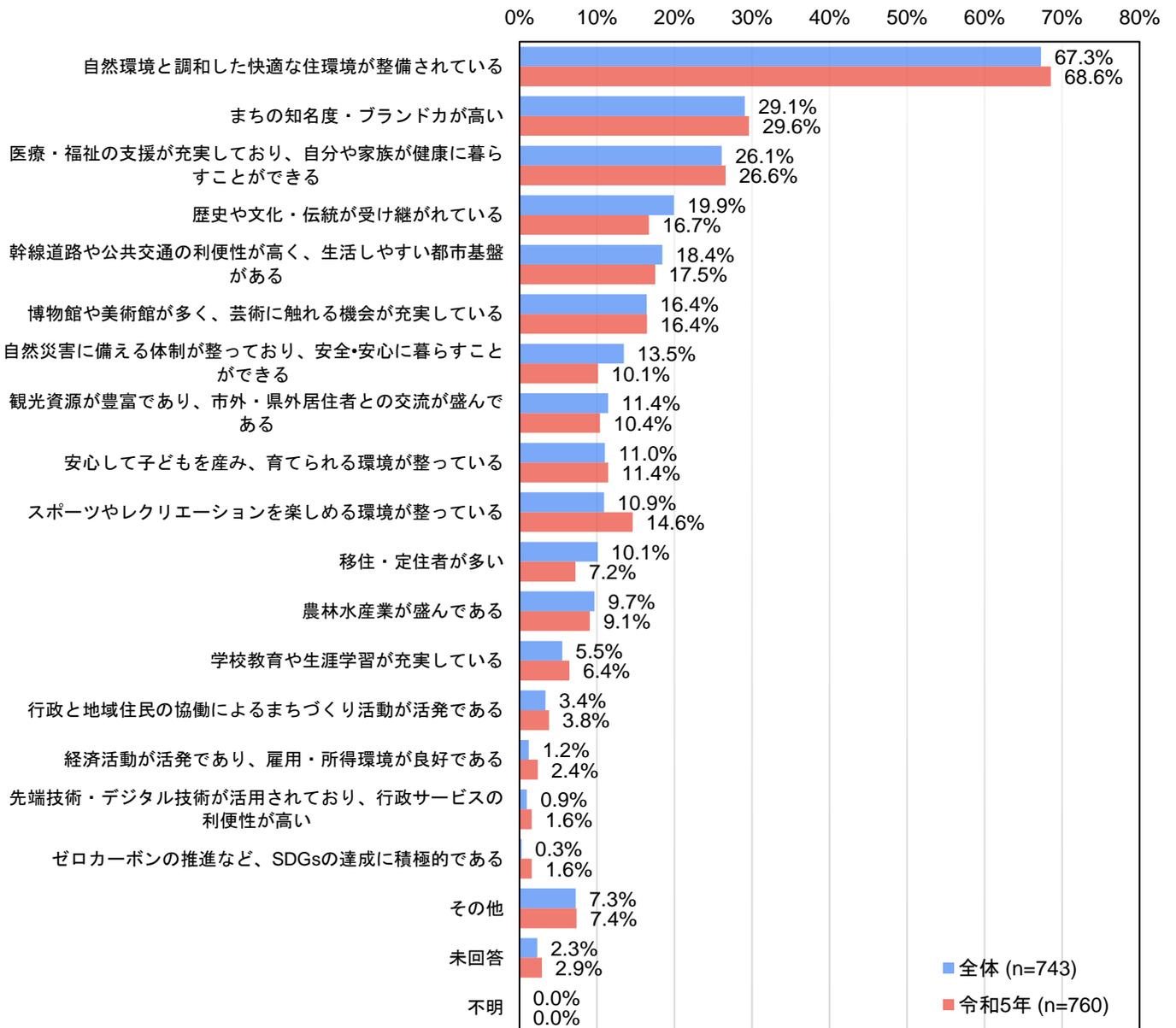
居住地域別では、「幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある」は豊科(26.4%)で高かった。「博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している」は穂高(24.5%)で高く、三郷(7.2%)で低かった。「自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる」は堀金(22.0%)で高かった。「移住・定住者が多い」は穂高(18.0%)で高く、豊科(4.0%)で低かった。

図表 42 【居住地域別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=743) | 豊科 (n=227) | 穂高 (n=261) | 三郷 (n=138) | 堀金 (n=59) | 明科 (n=58) | 未回答 (n=0) |
|------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている | 67.3% | 70.9% | 64.4% | 70.3% | 61.0% | 65.5% | 0.0% |
| まちの知名度・ブランド力が高い | 29.1% | 28.6% | 30.7% | 30.4% | 22.0% | 27.6% | 0.0% |
| 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる | 26.1% | 26.9% | 25.7% | 26.1% | 25.4% | 25.9% | 0.0% |
| 歴史や文化・伝統が受け継がれている | 19.9% | 17.6% | 22.6% | 18.8% | 15.3% | 24.1% | 0.0% |
| 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある | 18.4% | 26.4% | 17.6% | 15.2% | 8.5% | 8.6% | 0.0% |
| 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している | 16.4% | 15.9% | 24.5% | 7.2% | 6.8% | 13.8% | 0.0% |
| 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる | 13.5% | 14.1% | 13.4% | 10.9% | 22.0% | 8.6% | 0.0% |
| 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである | 11.4% | 12.8% | 10.0% | 13.8% | 8.5% | 10.3% | 0.0% |
| 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている | 11.0% | 9.7% | 11.9% | 11.6% | 15.3% | 6.9% | 0.0% |
| スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている | 10.9% | 11.5% | 9.6% | 10.1% | 13.6% | 13.8% | 0.0% |
| 移住・定住者が多い | 10.1% | 4.0% | 18.0% | 7.2% | 10.2% | 5.2% | 0.0% |
| 農林水産業が盛んである | 9.7% | 9.7% | 6.5% | 14.5% | 11.9% | 10.3% | 0.0% |
| 学校教育や生涯学習が充実している | 5.5% | 4.0% | 5.0% | 8.0% | 8.5% | 5.2% | 0.0% |
| 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である | 3.4% | 4.0% | 2.7% | 3.6% | 1.7% | 5.2% | 0.0% |
| 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である | 1.2% | 0.9% | 1.5% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い | 0.9% | 1.3% | 0.4% | 1.4% | 0.0% | 1.7% | 0.0% |
| ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である | 0.3% | 0.0% | 0.4% | 0.0% | 1.7% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 7.3% | 7.0% | 6.9% | 5.8% | 13.6% | 6.9% | 0.0% |
| 未回答 | 2.3% | 1.8% | 3.4% | 2.2% | 0.0% | 1.7% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

過去調査（令和5年）と比較したところ、「歴史や文化、伝統が受け継がれている」は16.7%から3.2ポイント増加し、19.9%となった。「自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる」は、10.1%から3.4ポイント増加し、13.5%となった。「スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている」は14.6%から3.7ポイント減少し、10.9%となった。「移住・定住者が多い」は7.2%から2.9ポイント増加し、10.1%となった。「ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である」は1.6%から1.3ポイント減少し、0.3%となった。

図表 43 【過去比較】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

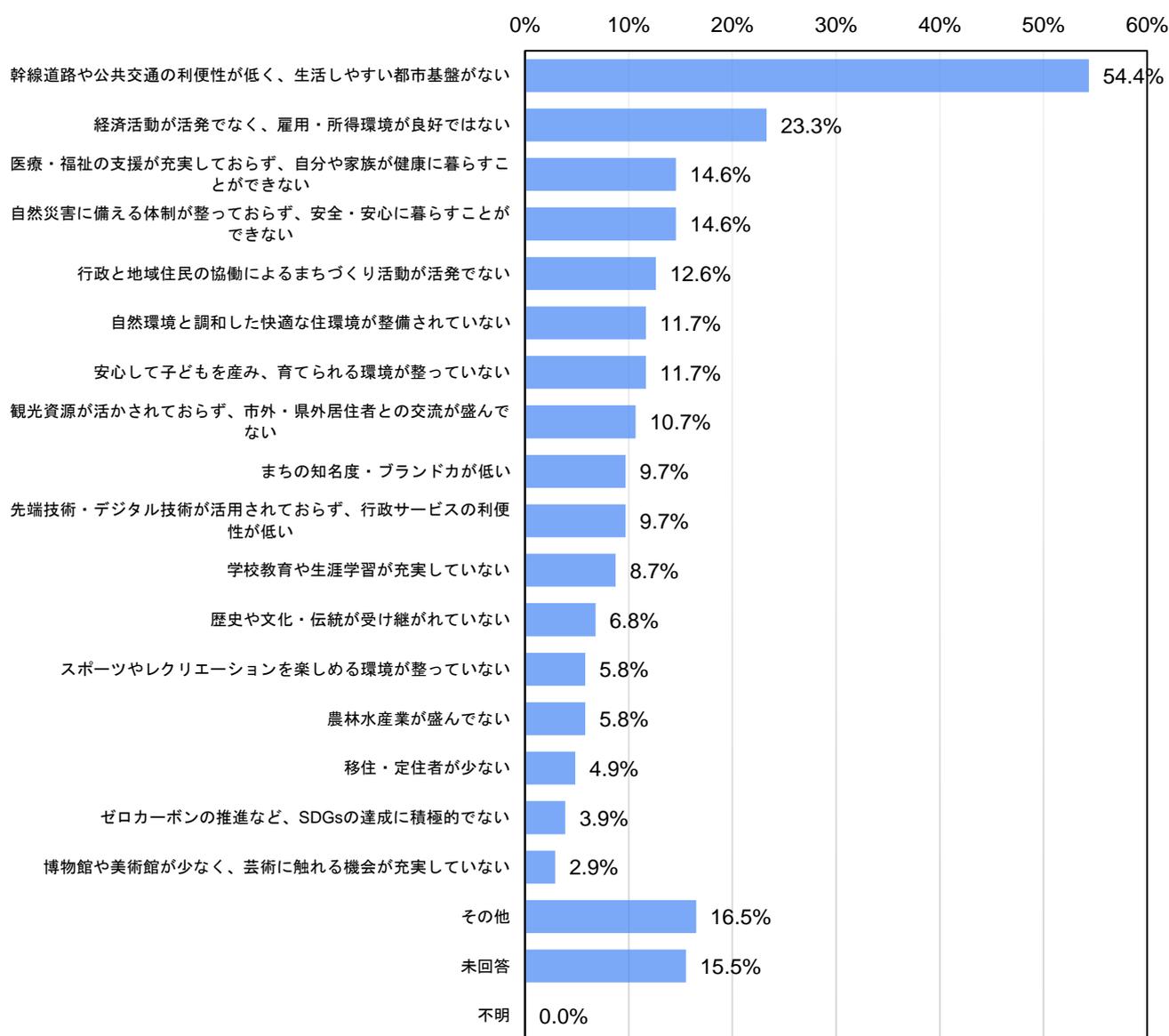


問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「どちらかというと感じていない」または「感じていない」と回答した方に聞いたところ、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」(54.4%)が最も高く、次いで「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」(23.3%)、「医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない」(14.6%)、「自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない」(14.6%)の順となった。

図表 44 安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



(n=103)

図表 45 【年代別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

| | 全体 (n=103) | 18~29歳 (n=9) | 30代 (n=19) | 40代 (n=16) | 50代 (n=17) | 60代 (n=25) | 70代以上 (n=17) | 未回答 (n=0) |
|--------------------------------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|
| 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない | 54.4% | 77.8% | 42.1% | 56.3% | 52.9% | 56.0% | 52.9% | 0.0% |
| 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない | 23.3% | 44.4% | 21.1% | 37.5% | 11.8% | 24.0% | 11.8% | 0.0% |
| 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない | 14.6% | 22.2% | 5.3% | 12.5% | 5.9% | 20.0% | 23.5% | 0.0% |
| 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない | 14.6% | 22.2% | 10.5% | 18.8% | 5.9% | 20.0% | 11.8% | 0.0% |
| 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない | 12.6% | 11.1% | 5.3% | 12.5% | 17.6% | 16.0% | 11.8% | 0.0% |
| 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない | 11.7% | 0.0% | 5.3% | 0.0% | 17.6% | 20.0% | 17.6% | 0.0% |
| 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない | 11.7% | 0.0% | 15.8% | 6.3% | 5.9% | 16.0% | 17.6% | 0.0% |
| 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない | 10.7% | 22.2% | 5.3% | 12.5% | 5.9% | 12.0% | 11.8% | 0.0% |
| まちの知名度・ブランド力が低い | 9.7% | 11.1% | 5.3% | 6.3% | 17.6% | 8.0% | 11.8% | 0.0% |
| 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い | 9.7% | 11.1% | 5.3% | 18.8% | 5.9% | 12.0% | 5.9% | 0.0% |
| 学校教育や生涯学習が充実していない | 8.7% | 0.0% | 5.3% | 12.5% | 5.9% | 16.0% | 5.9% | 0.0% |
| 歴史や文化・伝統が受け継がれていない | 6.8% | 0.0% | 0.0% | 6.3% | 0.0% | 16.0% | 11.8% | 0.0% |
| スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない | 5.8% | 0.0% | 5.3% | 6.3% | 0.0% | 12.0% | 5.9% | 0.0% |
| 農林水産業が盛んでない | 5.8% | 0.0% | 10.5% | 12.5% | 5.9% | 0.0% | 5.9% | 0.0% |
| 移住・定住者が少ない | 4.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | 11.8% | 0.0% | 11.8% | 0.0% |
| ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない | 3.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 4.0% | 11.8% | 0.0% |
| 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない | 2.9% | 0.0% | 0.0% | 6.3% | 0.0% | 4.0% | 5.9% | 0.0% |
| その他 | 16.5% | 11.1% | 15.8% | 18.8% | 11.8% | 24.0% | 11.8% | 0.0% |
| 未回答 | 15.5% | 11.1% | 31.6% | 18.8% | 17.6% | 4.0% | 11.8% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

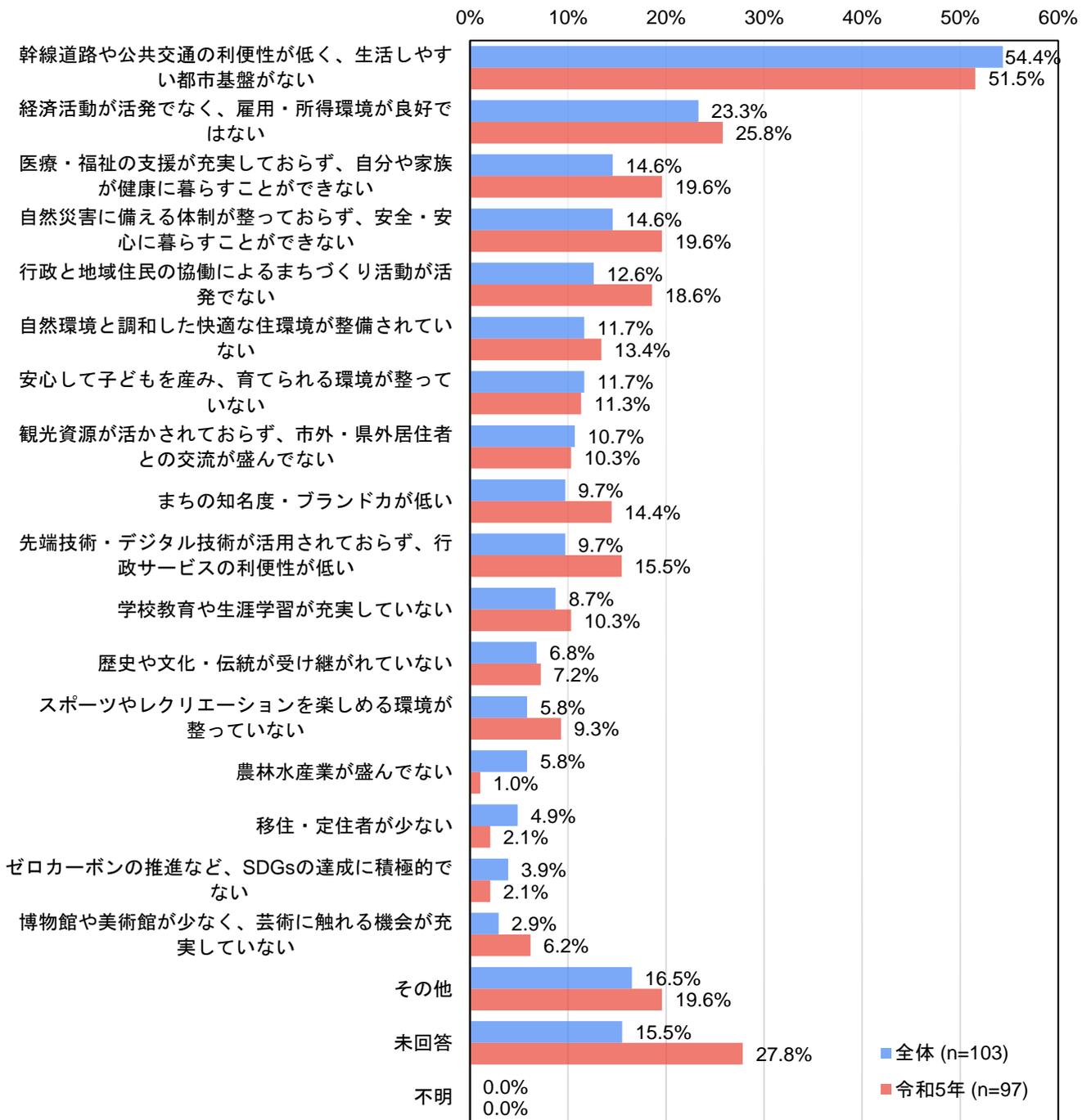
居住地域別では、明科において「行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない」(33.3%)、「まちの知名度・ブランド力が低い」(33.3%)、「スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない」(33.3%)、「移住・定住者が少ない」(33.3%)が高かった。

図表 46 【居住地域別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

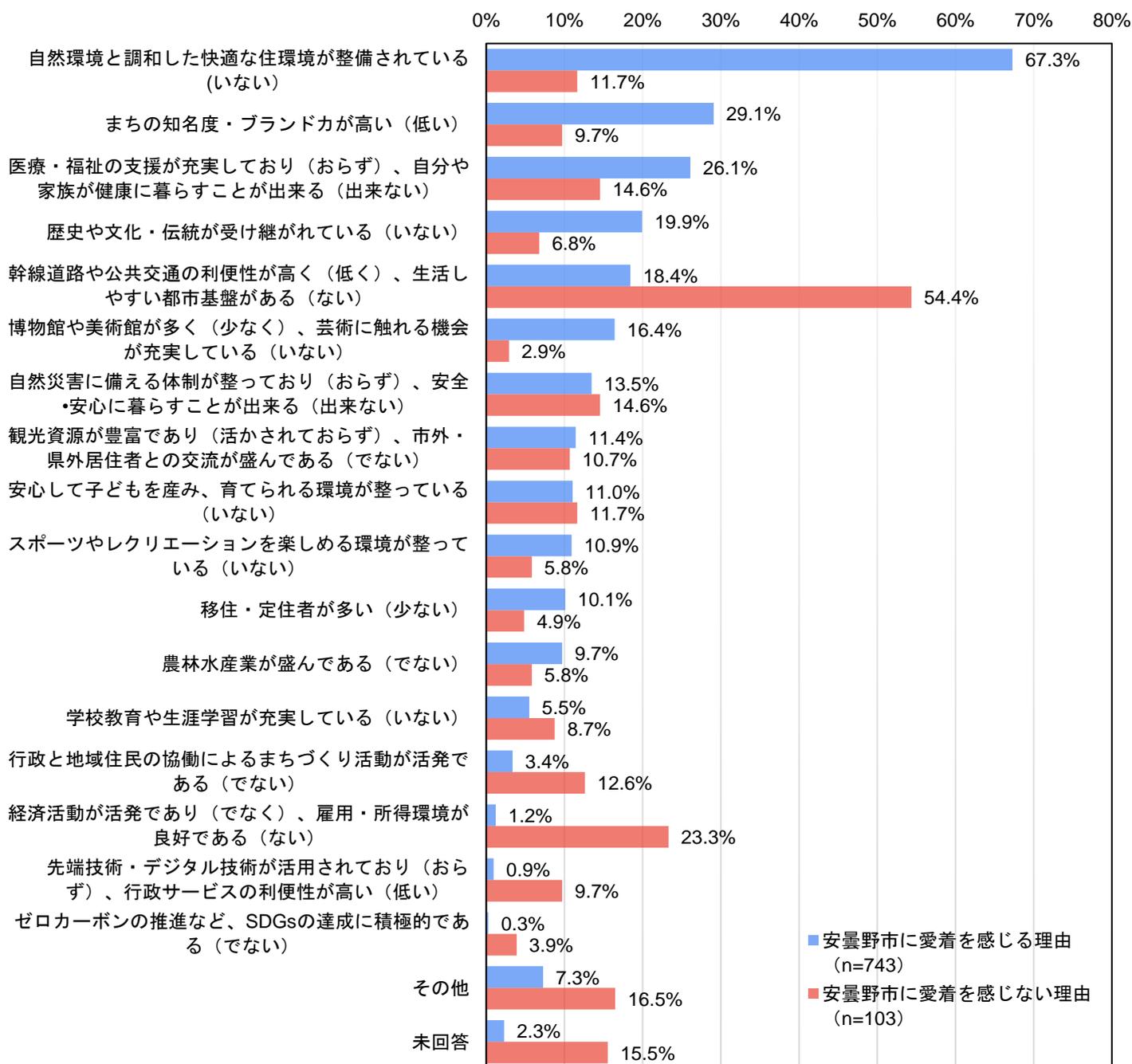
| | 全体 (n=103) | 豊科 (n=21) | 穂高 (n=35) | 三郷 (n=29) | 堀金 (n=12) | 明科 (n=6) | 未回答 (n=0) |
|--------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない | 54.4% | 52.4% | 57.1% | 51.7% | 41.7% | 83.3% | 0.0% |
| 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない | 23.3% | 9.5% | 34.3% | 10.3% | 41.7% | 33.3% | 0.0% |
| 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない | 14.6% | 14.3% | 14.3% | 17.2% | 16.7% | 0.0% | 0.0% |
| 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない | 14.6% | 9.5% | 22.9% | 6.9% | 16.7% | 16.7% | 0.0% |
| 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない | 12.6% | 14.3% | 14.3% | 6.9% | 8.3% | 33.3% | 0.0% |
| 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない | 11.7% | 4.8% | 17.1% | 6.9% | 16.7% | 16.7% | 0.0% |
| 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない | 11.7% | 23.8% | 11.4% | 6.9% | 0.0% | 16.7% | 0.0% |
| 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない | 10.7% | 9.5% | 17.1% | 6.9% | 0.0% | 16.7% | 0.0% |
| まちの知名度・ブランド力が低い | 9.7% | 0.0% | 14.3% | 6.9% | 8.3% | 33.3% | 0.0% |
| 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い | 9.7% | 9.5% | 8.6% | 10.3% | 8.3% | 16.7% | 0.0% |
| 学校教育や生涯学習が充実していない | 8.7% | 19.0% | 8.6% | 3.4% | 0.0% | 16.7% | 0.0% |
| 歴史や文化・伝統が受け継がれていない | 6.8% | 9.5% | 11.4% | 0.0% | 8.3% | 0.0% | 0.0% |
| スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない | 5.8% | 9.5% | 2.9% | 3.4% | 0.0% | 33.3% | 0.0% |
| 農林水産業が盛んでない | 5.8% | 9.5% | 2.9% | 10.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 移住・定住者が少ない | 4.9% | 0.0% | 2.9% | 3.4% | 8.3% | 33.3% | 0.0% |
| ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない | 3.9% | 4.8% | 5.7% | 0.0% | 8.3% | 0.0% | 0.0% |
| 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない | 2.9% | 0.0% | 2.9% | 3.4% | 8.3% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 16.5% | 33.3% | 8.6% | 24.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 15.5% | 4.8% | 25.7% | 10.3% | 25.0% | 0.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

過去調査（令和5年）と比較すると、「医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない」と「自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない」は19.6%から5.0ポイント減少し、14.6%となった。「行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない」は18.6%から6.0ポイント減少し、12.6%となった。「まちの知名度・ブランド力が低い」は14.4%から4.7ポイント減少し、9.7%となった。「先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い」は15.5%から5.8ポイント減少し、9.7%となった。

図表 47 【過去比較】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



図表 48 愛着を感じている理由・愛着を感じていない理由の比較



3. 安曇野市の行政に関すること

市の全般的な施策等について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

- ・市の17分野に関する52の施策について、「現状の満足度」と「今後の重要度」を調査した。
- ・本調査報告書では全52施策について図表49の通り略称を用いて表記する。

図表 49 施策一覧及び施策の略称

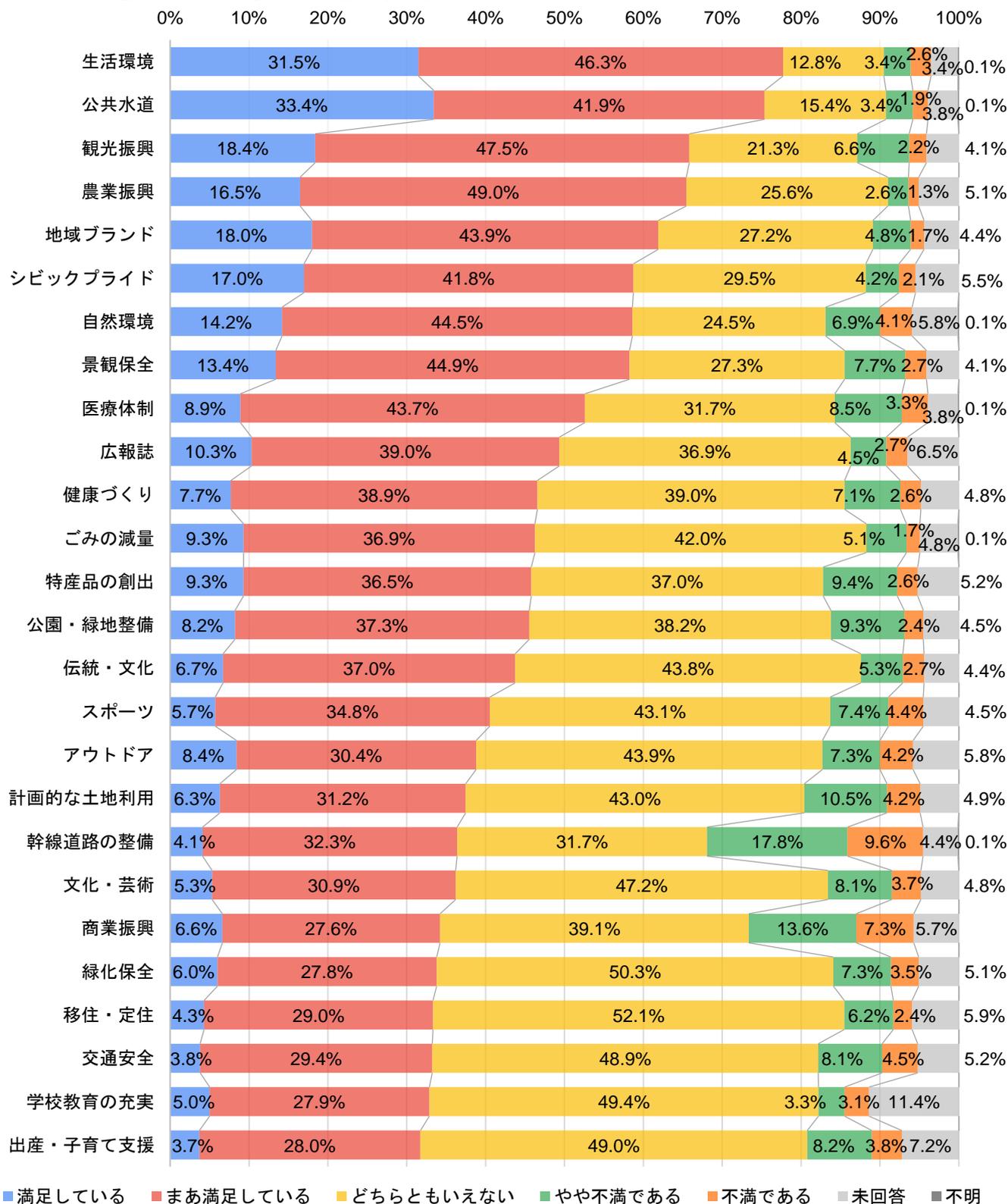
| 分野 | 施策名 | 施策名（略称） |
|----------------------------|---|-------------|
| 自然環境 | 河川、山林などの自然環境が保全されている | 自然環境 |
| | きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている | 生活環境 |
| | 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している | 自然エネルギーの普及 |
| | ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる | ごみの減量 |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている | 健康づくり |
| | 医療体制が整っている | 医療体制 |
| | 地域において、支え合える関係が築けている | 地域福祉 |
| | 障がい者が安心して生活していける地域である | 障がい者福祉 |
| | 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている | 高齢者福祉 |
| | 高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている | 介護支援 |
| | 生活に困ったときに相談できる体制が整っている | 生活困窮者支援 |
| | 性別に関わらず、能力を発揮できる地域である | 男女共同参画 |
| | 互いの個性や立場を尊重している地域である | 多様性の尊重 |
| 性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である | 性的マイノリティ | |
| 子育て支援 | 出産、子育てしやすい地域である | 出産・子育て支援 |
| スポーツ | スポーツを楽しめる環境が整っている | スポーツ |
| | アウトドアを楽しめる環境が整っている | アウトドア |
| 教育・学習 | 小中学校での教育が充実している | 学校教育の充実 |
| | 小中学校と地域・家庭の連携が図られている | 学校と地域・家庭の連携 |
| | 年代に関わらず、学びの機会が提供されている | 生涯学習 |
| 地域の伝統 | 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている | 伝統・文化 |
| 文化・芸術 | 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている | 文化・芸術 |
| 防災・防犯 | 地域において、地震や台風などへの備えができています | 防災対策 |
| | 交通安全の取り組みが行われている | 交通安全 |
| | 防犯対策が行われている | 防犯対策 |
| | 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている | 消費者保護 |
| 都市基盤 | 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている | 計画的な土地利用 |
| | 安曇野らしい景観が保全されている | 景観保全 |
| | 緑地の保全、普及が進められている | 緑化保全 |
| | 公園、緑地の整備・維持管理がされている | 公園・緑地整備 |
| | 国道、県道などの幹線道路が整備されている | 幹線道路の整備 |
| | 生活道路である市道が整備されている | 生活道路の整備 |
| | 公共交通網が整備されている | 公共交通網 |
| | 安全でおいしい水が利用できる | 公共水道 |
| 農林水産業 | 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている | 農業振興 |
| 経済活動 | 市内に個性的で魅力的なお店が増えている | 商業振興 |
| | 工業・製造業が盛んな地域である | 工業振興 |
| | 働きやすい地域である | 労働・雇用環境 |
| 観光 | 安曇野市は魅力的な観光地である | 観光振興 |
| | 安曇野らしい産品が生み出されている | 特産品の創出 |
| 地域ブランド | 全国的に「安曇野市」の地名が知られている | 地域ブランド |
| | 市外在住者に誇ることのできる地域である | シビックプライド |
| 移住・定住 | 移住者、定住者が多く活気のあるまちである | 移住・定住 |
| 協働・コミュニティ活動 | 地域住民によるコミュニティ活動が行われている | コミュニティ活動 |
| | NPO、ボランティア活動が行われている | ボランティア活動 |
| | まちづくりへの市民参画が進んでいる | 市民参画 |
| デジタル社会・行政サービス | 情報化社会に対応した基盤が整備されている | 地域の情報化 |
| | 行政運営の効率化が図られている | 効率的な行政運営 |
| | 市政に関する情報が入手しやすい | 市政情報の入手 |
| | 広報紙「広報あづみの」が充実している | 広報誌 |
| SDGs | 市公式ホームページ、SNSが充実している | 市のHP・SNS |
| | SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である | SDGs達成への取組 |

① 市の施策に対する現状の満足度

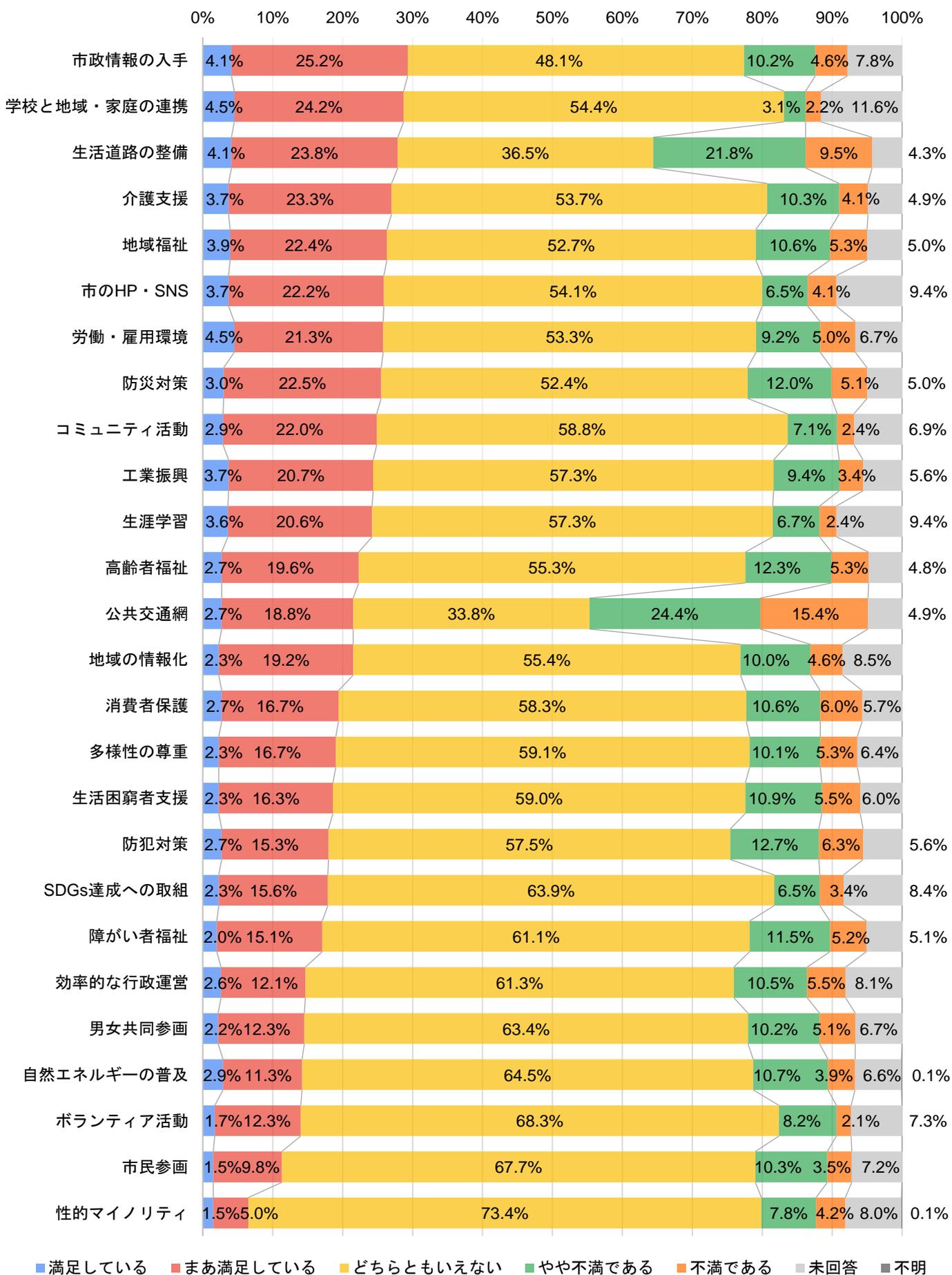
「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合の上位3項目は「生活環境」(77.8%)、「公共水道」(75.3%)、「観光振興」(65.9%)、下位3項目は「性的マイノリティ」(6.5%)、「市民参画」(11.3%)、「ボランティア活動」(14.0%)となった。

「やや不満である」「不満である」を合わせた割合の上位3項目は「公共交通網」(39.8%)、「生活道路の整備」(31.3%)、「幹線道路の整備」(27.4%)、下位3項目は「農業振興」(3.9%)、「公共水道」(5.3%)、「学校と地域・家庭の連携」(5.3%)であった。

図表 50 市の施策に対する現状の満足度（満足上位26項目）



図表 51 市の施策に対する現状の満足度（満足下位 27 項目）

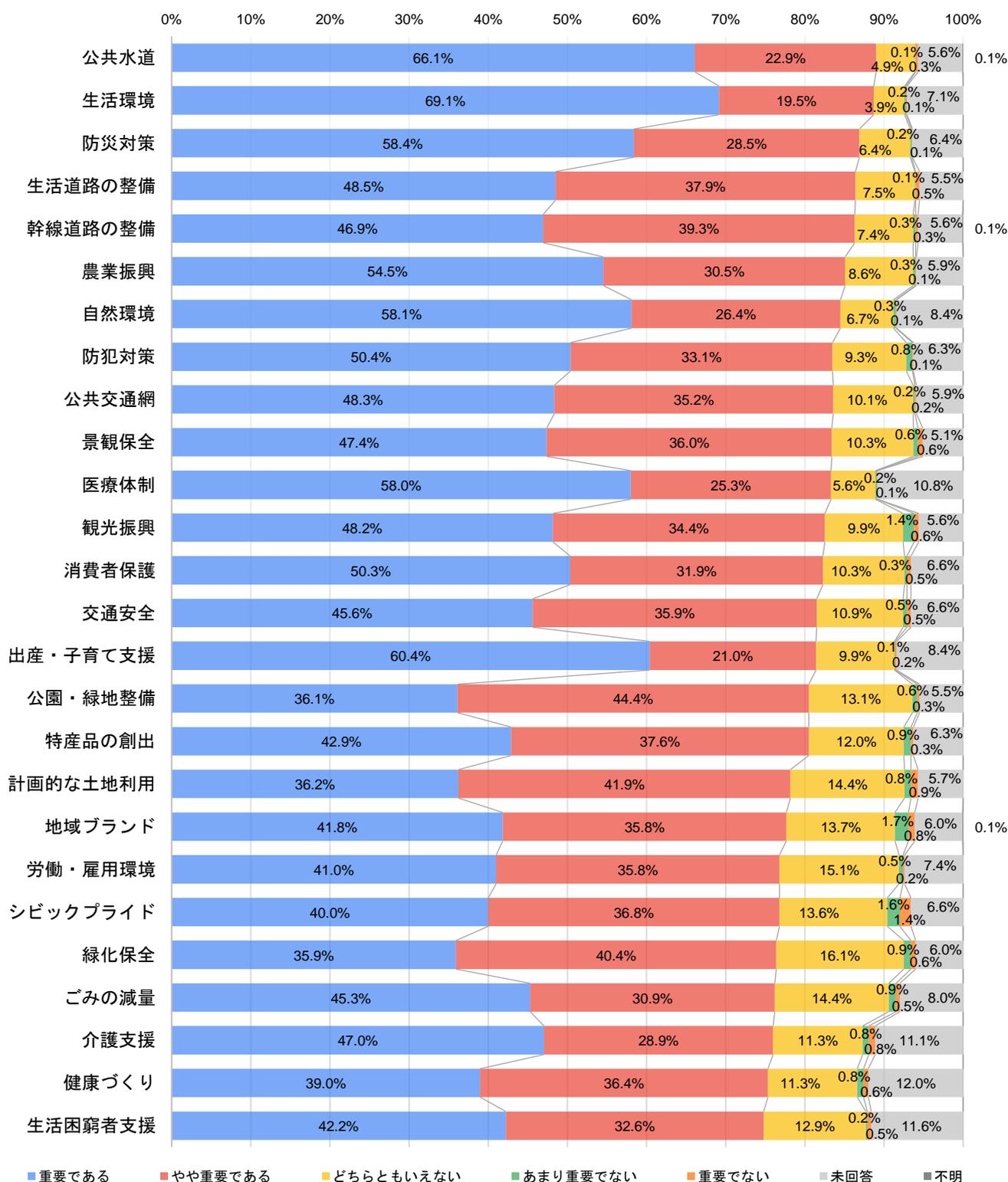


② 市の施策に対する今後の重要度

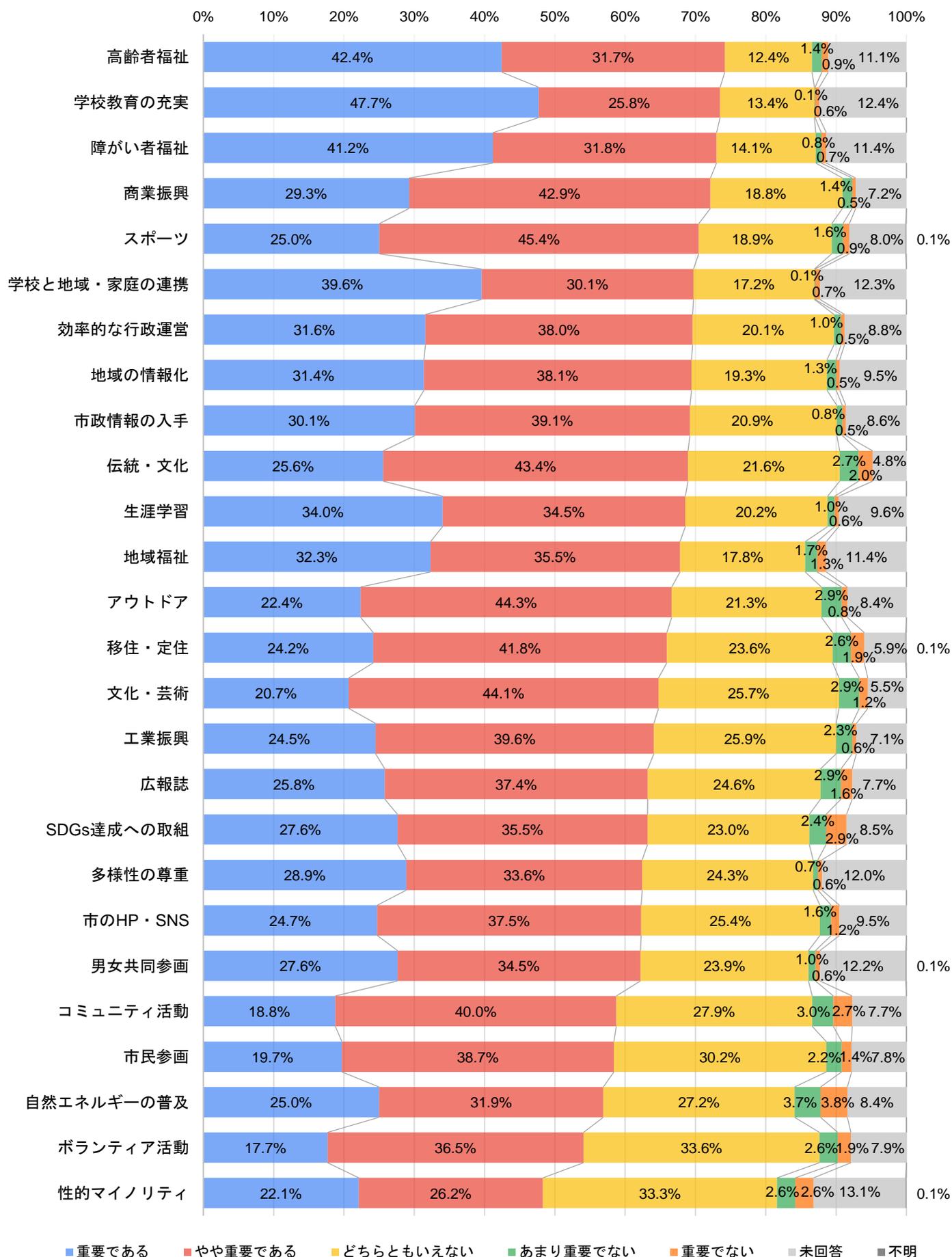
「重要である」「やや重要である」を合わせた割合の上位3項目は「公共水道」(89.0%)、「生活環境」(88.6%)、「防災対策」(86.9%)、下位3項目は「性的マイノリティ」(48.3%)「ボランティア活動」(54.2%)、「自然エネルギーの普及」(56.9%)となった。

「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた割合の上位3項目は「自然エネルギーの普及」(7.5%)、「コミュニティ活動」(5.7%)、「SDGs達成への取組」(5.3%)、下位4項目は「出産・子育て支援」(0.3%)、「医療体制」(0.3%)、「防災対策」(0.3%)、「生活環境」(0.3%)であった。

図表 52 市の施策に対する今後の重要度（重要上位26項目）



図表 53 市の施策に対する今後の重要度（重要下位 27 項目）



③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

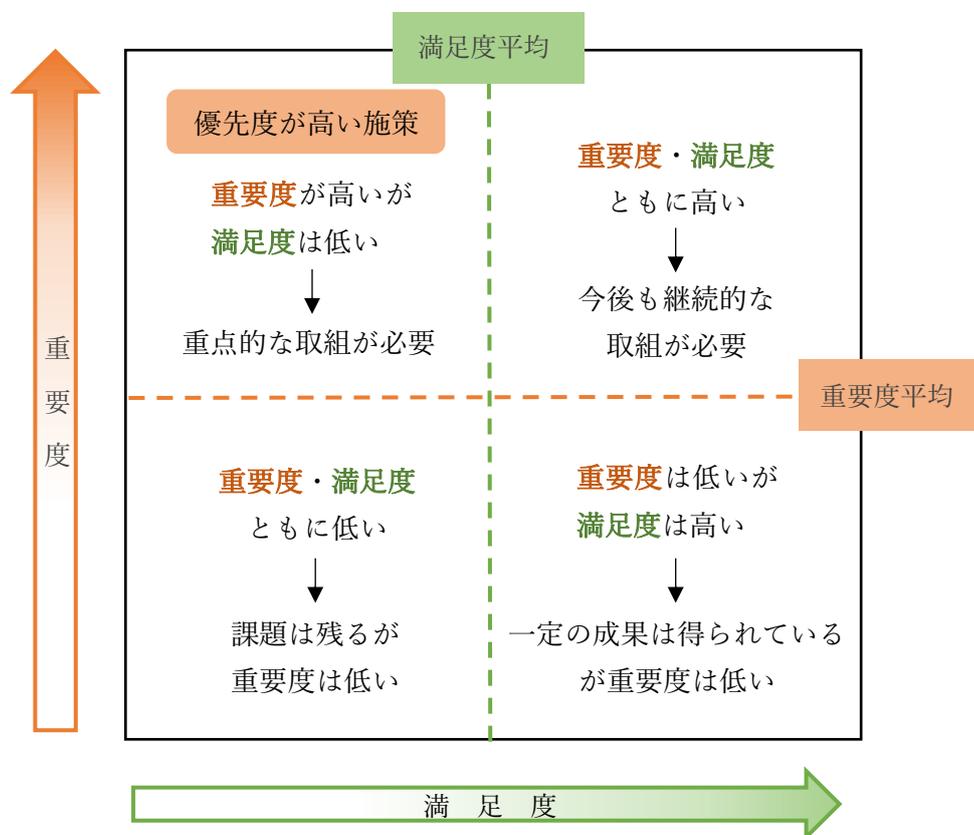
● マトリクス作成方法

- ・市の施策 17 分野 52 項目について、「現状の満足度」（以下、「満足度」という）と「今後の重要度」（以下、「重要度」という）の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。（ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。）
- ・全 52 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

| | | | | |
|-----|--------|----------|----------|-------|
| 満足度 | 満足している | まあ満足している | やや不満である | 不満である |
| 重要度 | 重要である | やや重要である | あまり重要でない | 重要でない |
| 点数 | 4 | 3 | 2 | 1 |

● マトリクスの見方

- ・ **満足度**【横方向】：市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、住民からの評価が高い。
- ・ **重要度**【縦方向】：住民が考える各施策の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



1. 全体

全 52 施策中 13 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。

図表 54 マトリクス分析結果一覧

| 分野 | 施策名(略称) | 満足度 | 重要度 | 重要度：高 | 重要度：高 | 重要度：低 | 重要度：低 |
|---------------|-------------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 満足度：高 | 満足度：低 | 満足度：低 | 満足度：高 |
| 自然環境 | 自然環境 | 2.99 | 3.68 | ● | | | |
| | 生活環境 | 3.27 | 3.77 | ● | | | |
| | 自然エネルギーの普及 | 2.46 | 3.21 | | | ● | |
| | ごみの減量 | 3.01 | 3.56 | ● | | | |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくり | 2.92 | 3.48 | ● | | | |
| | 医療体制 | 2.91 | 3.69 | ● | | | |
| | 地域福祉 | 2.59 | 3.40 | | | ● | |
| | 障がい者福祉 | 2.41 | 3.52 | | ● | | |
| | 高齢者福祉 | 2.49 | 3.51 | | ● | | |
| | 介護支援 | 2.64 | 3.57 | | ● | | |
| | 生活困窮者支援 | 2.44 | 3.54 | | ● | | |
| | 男女共同参画 | 2.39 | 3.40 | | | ● | |
| | 多様性の尊重 | 2.46 | 3.42 | | | ● | |
| | 性的マイノリティ | 2.21 | 3.27 | | | ● | |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.72 | 3.73 | | ● | | |
| スポーツ | スポーツ | 2.80 | 3.29 | | | | ● |
| | アウトドア | 2.85 | 3.25 | | | | ● |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | 2.88 | 3.63 | ● | | | |
| | 学校と地域・家庭の連携 | 2.91 | 3.54 | ● | | | |
| | 生涯学習 | 2.76 | 3.45 | | | | ● |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | 2.92 | 3.26 | | | | ● |
| 文化・芸術 | 文化・芸術 | 2.79 | 3.22 | | | | ● |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.55 | 3.66 | | ● | | |
| | 交通安全 | 2.71 | 3.54 | | ● | | |
| | 防犯対策 | 2.39 | 3.58 | | ● | | |
| | 消費者保護 | 2.45 | 3.59 | | ● | | |
| 都市基盤 | 計画的な土地利用 | 2.76 | 3.42 | | | | ● |
| | 景観保全 | 3.01 | 3.54 | ● | | | |
| | 緑化保全 | 2.82 | 3.43 | | | | ● |
| | 公園・緑地整備 | 2.90 | 3.43 | | | | ● |
| | 幹線道路の整備 | 2.48 | 3.53 | | ● | | |
| | 生活道路の整備 | 2.38 | 3.55 | | ● | | |
| | 公共交通網 | 2.14 | 3.57 | | ● | | |
| | 公共水道 | 3.33 | 3.73 | ● | | | |
| 農林水産業 | 農業振興 | 3.16 | 3.63 | ● | | | |
| 経済活動 | 商業振興 | 2.61 | 3.36 | | | ● | |
| | 工業振興 | 2.67 | 3.31 | | | ● | |
| | 労働・雇用環境 | 2.63 | 3.52 | | ● | | |
| 観光 | 観光振興 | 3.10 | 3.54 | ● | | | |
| | 特産品の創出 | 2.91 | 3.50 | ● | | | |
| 地域ブランド | 地域ブランド | 3.14 | 3.48 | ● | | | |
| | シビックプライド | 3.13 | 3.45 | | | | ● |
| 移住・定住 | 移住・定住 | 2.84 | 3.25 | | | | ● |
| 協働・コミュニティ活動 | コミュニティ活動 | 2.74 | 3.16 | | | | ● |
| | ボランティア活動 | 2.56 | 3.19 | | | ● | |
| | 市民参画 | 2.37 | 3.24 | | | ● | |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 2.53 | 3.41 | | | ● | |
| | 効率的な行政運営 | 2.38 | 3.42 | | | ● | |
| | 市政情報の入手 | 2.65 | 3.40 | | | ● | |
| | 広報誌 | 3.01 | 3.29 | | | | ● |
| | 市のHP・SNS | 2.70 | 3.32 | | | ● | |
| SDGs | SDGs達成への取組 | 2.61 | 3.28 | | | ● | |
| 平均値 | | 2.72 | 3.46 | | | | |

図表 55 県内他市との比較（重要度が高いが満足度は低い施策等）

佐久市（令和6年度アンケート結果）

| 50 項目中 13 項目が該当 | |
|-----------------|-----------------|
| 1 | 就労・雇用 |
| 2 | 少子化対策 |
| 3 | 住宅 |
| 4 | 農業 |
| 5 | 地球温暖化対策 |
| 6 | ひとり親家庭支援・低所得者福祉 |
| 7 | 商業・サービス業 |
| 8 | 地域交通ネットワーク |
| 9 | 医療保険・国民年金 |
| 10 | 防犯 |
| 11 | 障がい者福祉 |
| 12 | 環境保全 |
| 13 | 高校教育・高等教育 |

諏訪市（令和6年度アンケート結果）

| 33 項目中 8 項目が該当 | |
|----------------|--------------|
| 1 | 子ども・子育て |
| 2 | 地域公共交通 |
| 3 | 都市空間 |
| 4 | 雇用・スタートアップ支援 |
| 5 | 障がい者福祉 |
| 6 | 高齢者福祉 |
| 7 | 社会保障制度 |
| 8 | 防災・危機管理 |

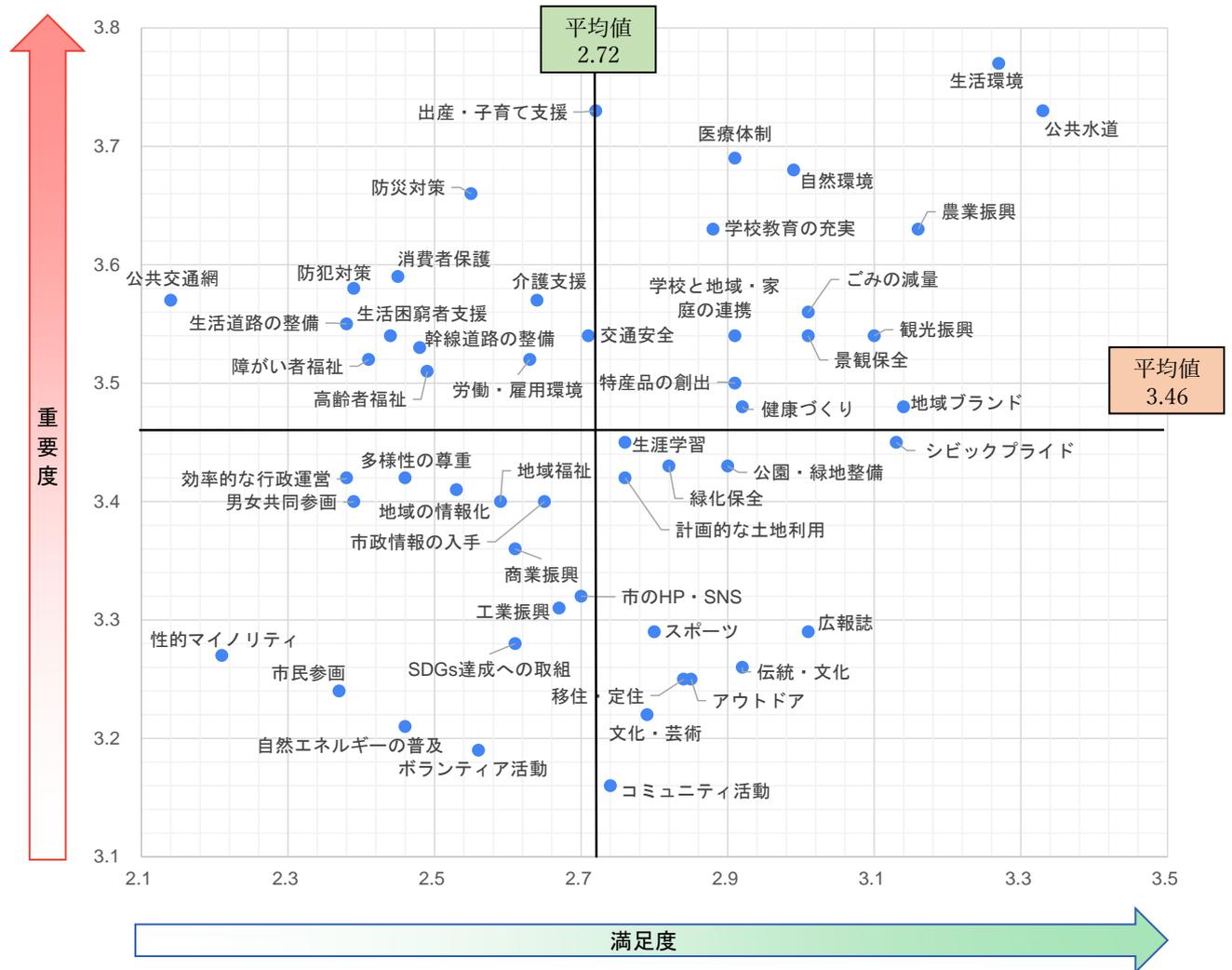
千曲市（令和6年度アンケート結果）

| 30 項目中 5 項目が該当 | |
|----------------|--------|
| 1 | 交通 |
| 2 | 商工業振興 |
| 3 | 都市基盤 |
| 4 | 地球環境保全 |
| 5 | 行政経営 |

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【全体】

今後重点的に取り組むべき施策（13 施策）を分野ごとに見ると「医療・福祉・人権」4 施策、「子育て支援」1 施策、「防災・防犯」4 施策、「都市基盤」3 施策、「経済活動」1 施策となった。

図表 56 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 57 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【全体】

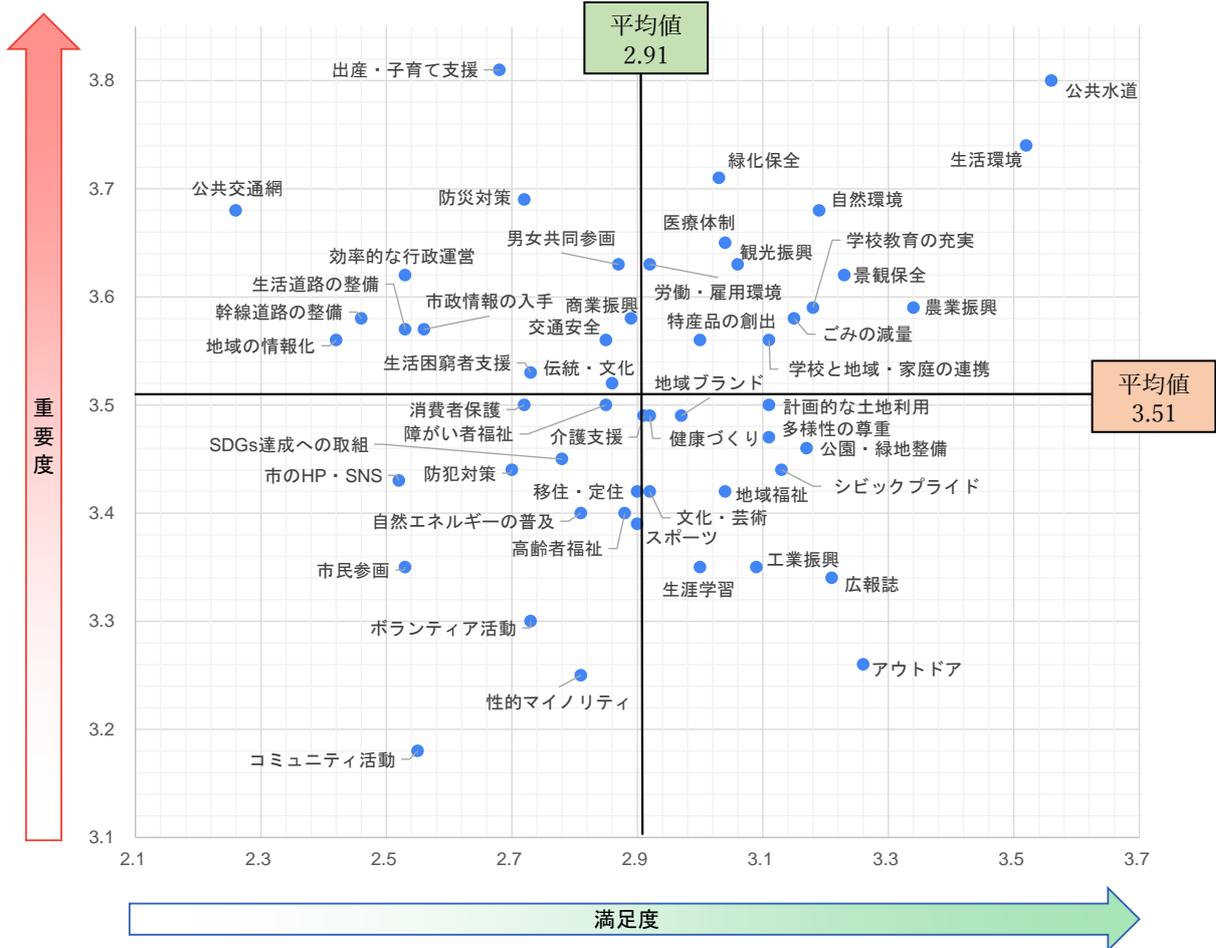
| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.41 | 3.52 |
| | 高齢者福祉 | 2.49 | 3.51 |
| | 介護支援 | 2.64 | 3.57 |
| | 生活困窮者支援 | 2.44 | 3.54 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.72 | 3.73 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.55 | 3.66 |
| | 交通安全 | 2.71 | 3.54 |
| | 防犯対策 | 2.39 | 3.58 |
| | 消費者保護 | 2.45 | 3.59 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.48 | 3.53 |
| | 生活道路の整備 | 2.38 | 3.55 |
| | 公共交通網 | 2.14 | 3.57 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.63 | 3.52 |

II. 年代別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【18～29歳】

18～29歳では満足度の平均が2.91となり、全体の平均2.72に比べて0.19ポイント高かった。全52施策中13施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。18～29歳の特徴として、全体では見られなかった「男女共同参画」「伝統・文化」「商業振興」「地域の情報化」「効率的な行政運営」「市政情報の入手」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 58 満足度×重要度マトリクス分析【18～29歳】



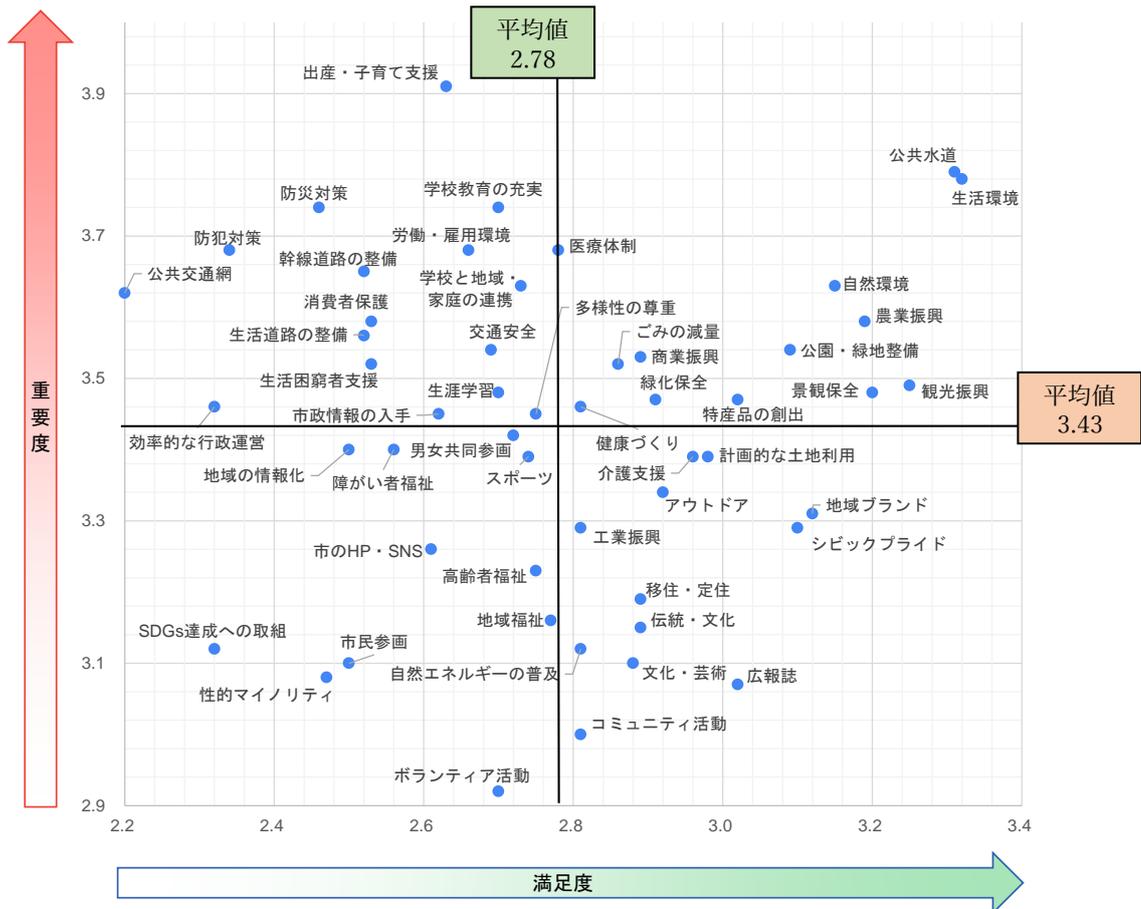
図表 59 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【18～29歳】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|---------------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 生活困窮者支援 | 2.73 | 3.53 |
| | 男女共同参画 | 2.87 | 3.63 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.68 | 3.81 |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | 2.86 | 3.52 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.72 | 3.69 |
| | 交通安全 | 2.85 | 3.56 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.46 | 3.58 |
| | 生活道路の整備 | 2.53 | 3.57 |
| | 公共交通網 | 2.26 | 3.68 |
| 経済活動 | 商業振興 | 2.89 | 3.58 |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 2.42 | 3.56 |
| | 効率的な行政運営 | 2.53 | 3.62 |
| | 市政情報の入手 | 2.56 | 3.57 |

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【30代】

30代では満足度の平均が2.78となり、全体の平均2.72に比べて0.06ポイント高かった。全52施策中16施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。30代の特徴として、全体では見られなかった「多様性の尊重」「学校教育の充実」「学校と地域・家庭の連携」「生涯学習」「効率的な行政運営」「市政情報の入手」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 60 満足度×重要度マトリクス分析【30代】



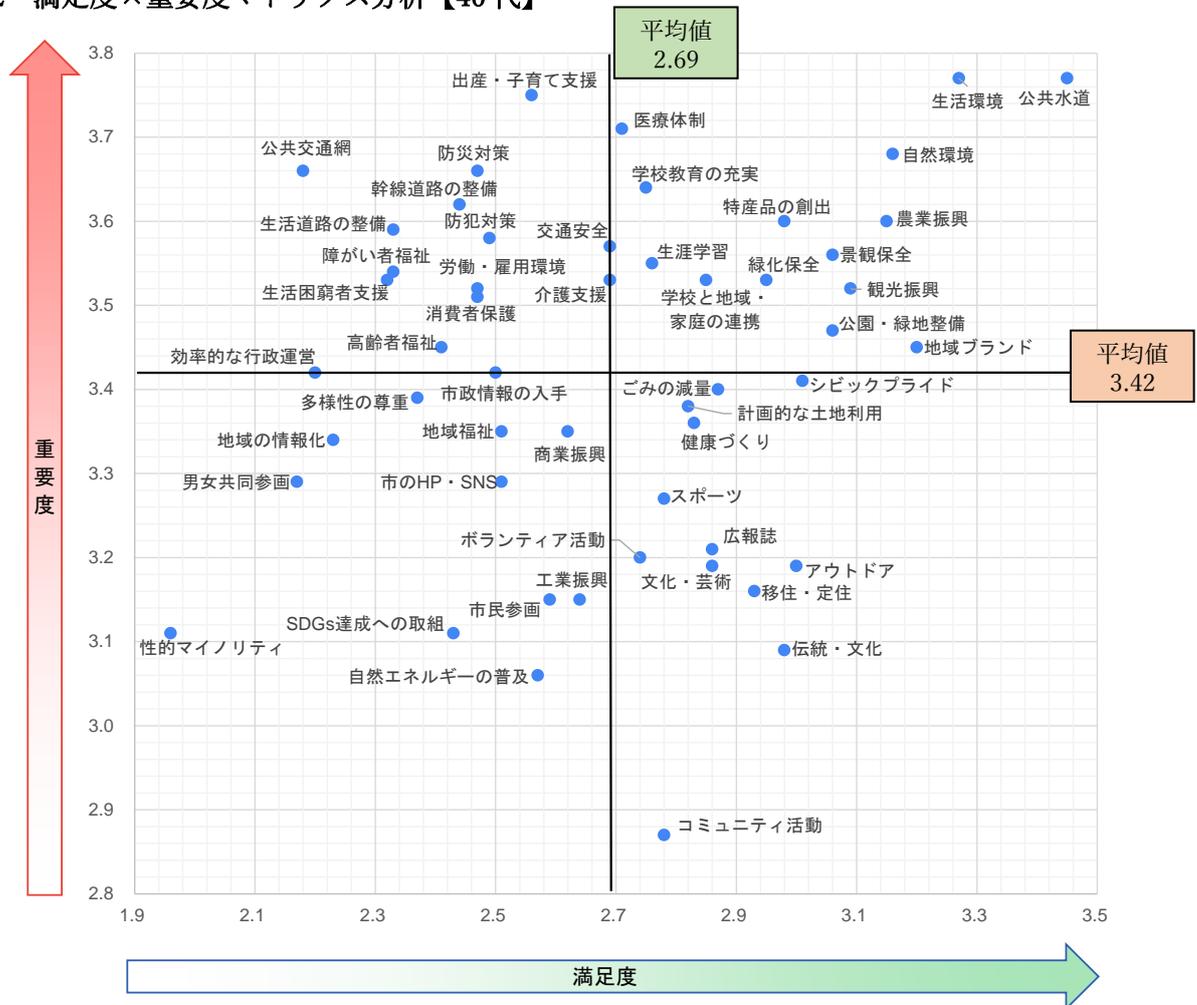
図表 61 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【30代】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|---------------|-------------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 生活困窮者支援 | 2.53 | 3.52 |
| | 多様性の尊重 | 2.75 | 3.45 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.63 | 3.91 |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | 2.70 | 3.74 |
| | 学校と地域・家庭の連携 | 2.73 | 3.63 |
| | 生涯学習 | 2.70 | 3.48 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.46 | 3.74 |
| | 交通安全 | 2.69 | 3.54 |
| | 防犯対策 | 2.34 | 3.68 |
| | 消費者保護 | 2.53 | 3.58 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.52 | 3.65 |
| | 生活道路の整備 | 2.52 | 3.56 |
| | 公共交通網 | 2.20 | 3.62 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.66 | 3.68 |
| デジタル社会・行政サービス | 効率的な行政運営 | 2.32 | 3.46 |
| | 市政情報の入手 | 2.62 | 3.45 |

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【40代】

40代では満足度の平均が2.69となり、全体の平均2.72に比べて0.03ポイント低かった。全52施策中13施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。40代であった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 62 満足度×重要度マトリクス分析【40代】



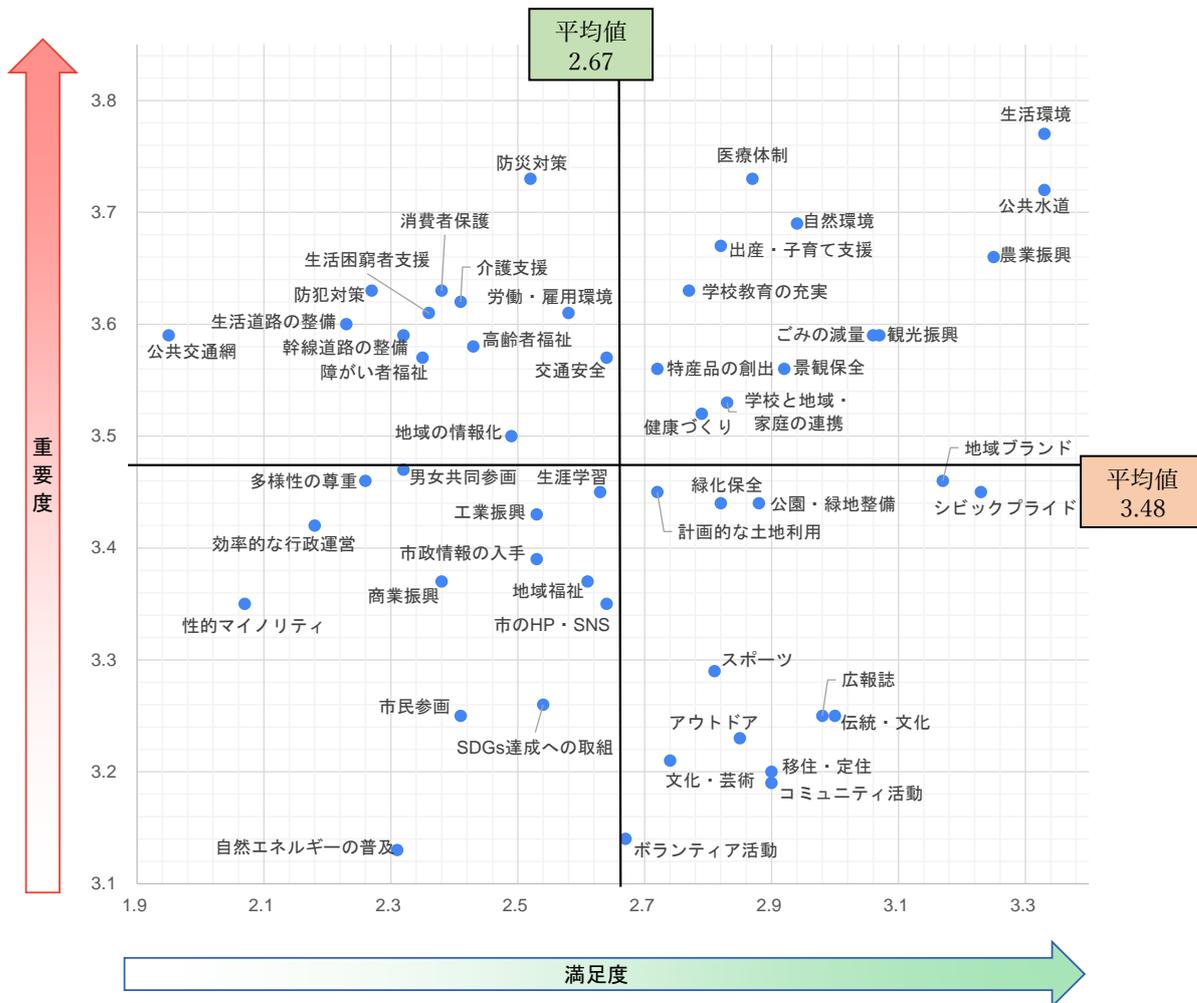
図表 63 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【40代】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.33 | 3.54 |
| | 高齢者福祉 | 2.41 | 3.45 |
| | 介護支援 | 2.69 | 3.53 |
| | 生活困窮者支援 | 2.32 | 3.53 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.56 | 3.75 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.47 | 3.66 |
| | 交通安全 | 2.69 | 3.57 |
| | 防犯対策 | 2.49 | 3.58 |
| | 消費者保護 | 2.47 | 3.51 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.44 | 3.62 |
| | 生活道路の整備 | 2.33 | 3.59 |
| | 公共交通網 | 2.18 | 3.66 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.47 | 3.52 |

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【50代】

50代では満足度の平均が2.67となり、全体の平均2.72に比べて0.05ポイント低かった。全52施策中13施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。50代の特徴として、全体では見られなかった「地域の情報化」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 64 満足度×重要度マトリクス分析【50代】



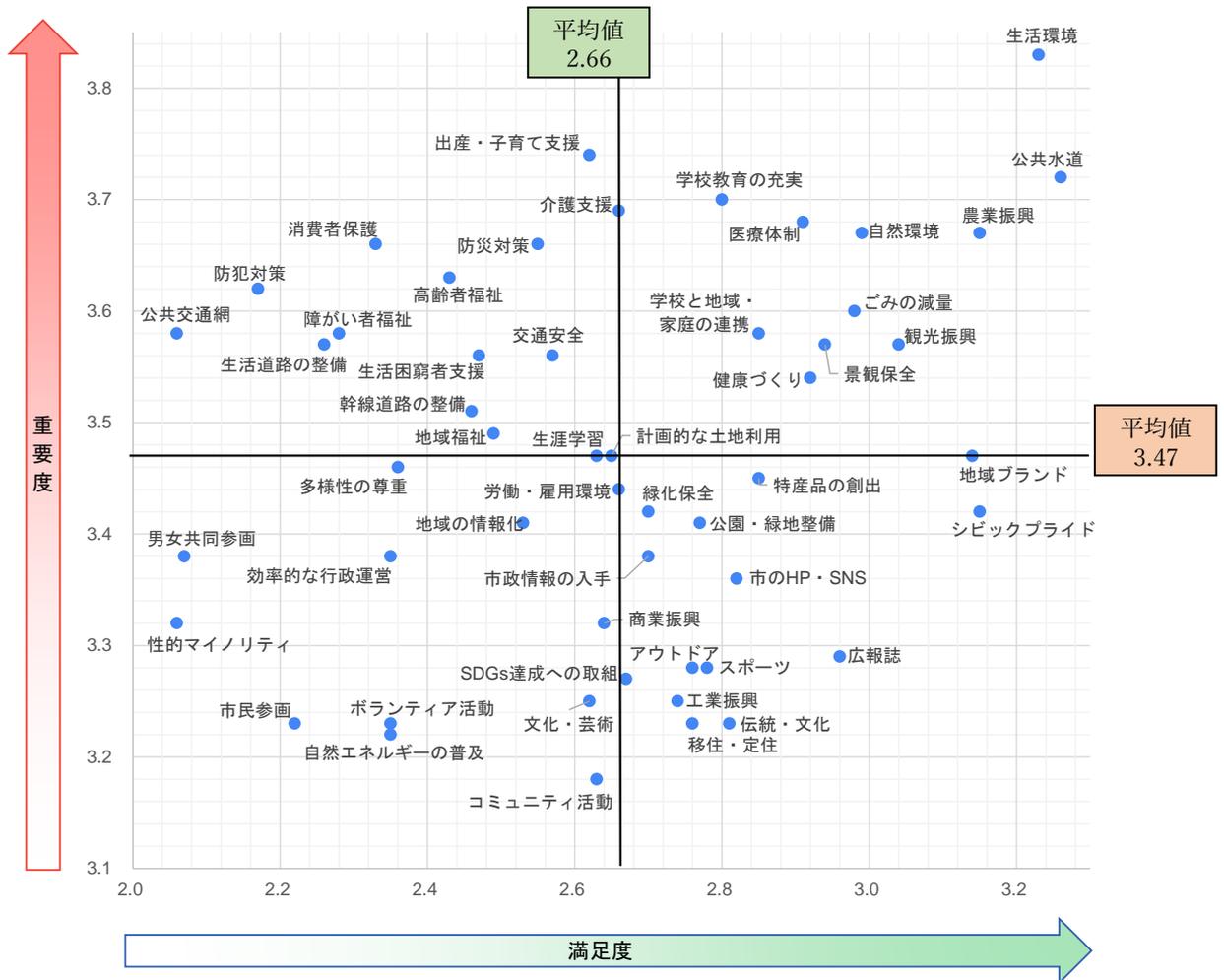
図表 65 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【50代】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|---------------|---------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.35 | 3.57 |
| | 高齢者福祉 | 2.43 | 3.58 |
| | 介護支援 | 2.41 | 3.62 |
| | 生活困窮者支援 | 2.36 | 3.61 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.52 | 3.73 |
| | 交通安全 | 2.64 | 3.57 |
| | 防犯対策 | 2.27 | 3.63 |
| | 消費者保護 | 2.38 | 3.63 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.32 | 3.59 |
| | 生活道路の整備 | 2.23 | 3.60 |
| | 公共交通網 | 1.95 | 3.59 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.58 | 3.61 |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 2.49 | 3.50 |

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【60代】

60代では満足度の平均が2.66となり、全体の平均2.72に比べて0.06ポイント低かった。全52施策中12施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。60代の特徴として、全体では見られなかった「地域福祉」が今後重点的に取り組むべき施策としてあった。

図表 66 満足度×重要度マトリクス分析【60代】



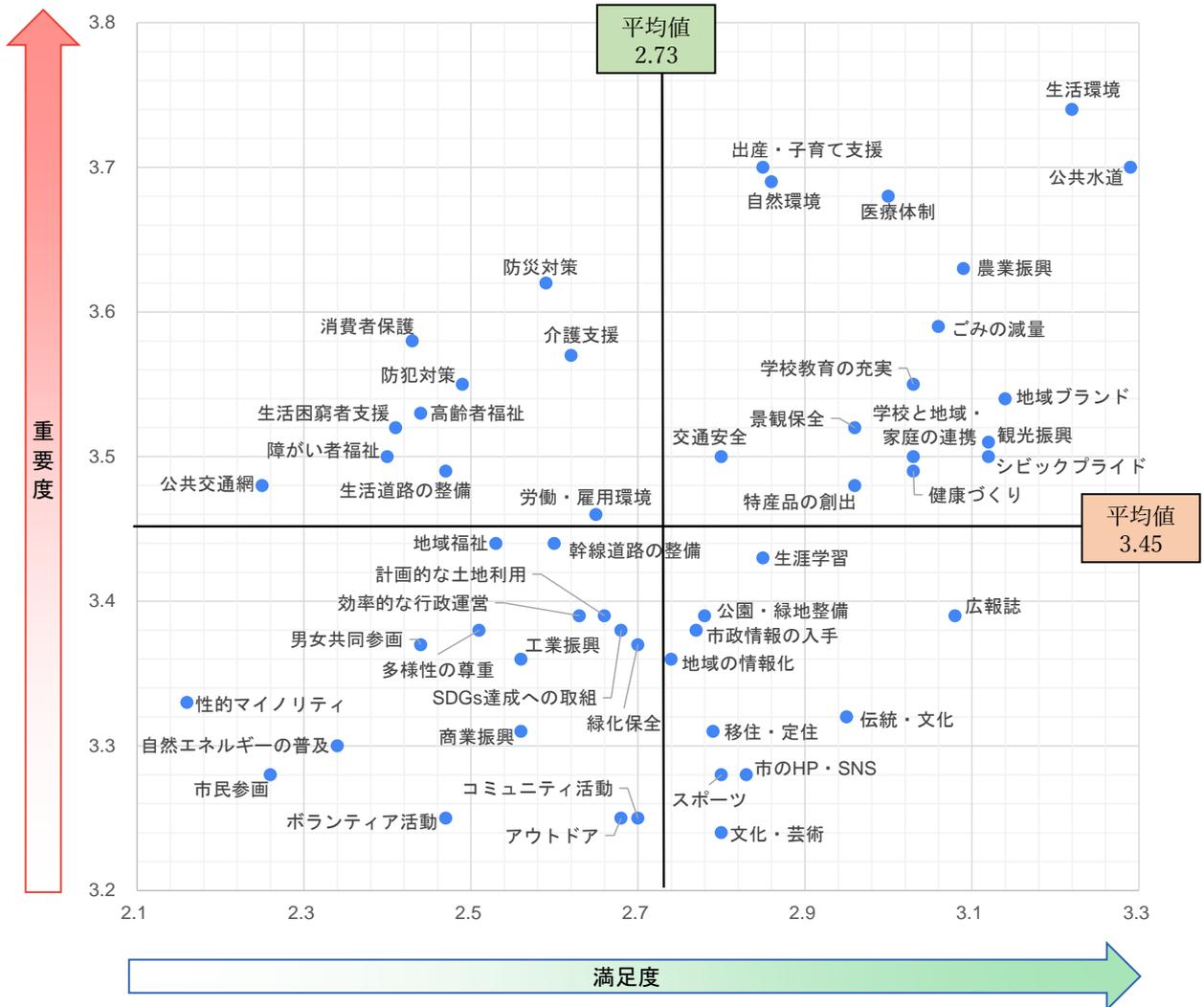
図表 67 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【60代】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 地域福祉 | 2.49 | 3.49 |
| | 障がい者福祉 | 2.28 | 3.58 |
| | 高齢者福祉 | 2.43 | 3.63 |
| | 生活困窮者支援 | 2.47 | 3.56 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.62 | 3.74 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.55 | 3.66 |
| | 交通安全 | 2.57 | 3.56 |
| | 防犯対策 | 2.17 | 3.62 |
| | 消費者保護 | 2.33 | 3.66 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.46 | 3.51 |
| | 生活道路の整備 | 2.26 | 3.57 |
| | 公共交通網 | 2.06 | 3.58 |

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】

70代以上では満足度の平均が2.73となり、全体の平均2.72より0.01ポイント高かった。全52施策中10施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。70代であった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 68 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】



図表 69 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【70代以上】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|---------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.40 | 3.50 |
| | 高齢者福祉 | 2.44 | 3.53 |
| | 介護支援 | 2.62 | 3.57 |
| | 生活困窮者支援 | 2.41 | 3.52 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.59 | 3.62 |
| | 防犯対策 | 2.49 | 3.55 |
| | 消費者保護 | 2.43 | 3.58 |
| 都市基盤 | 生活道路の整備 | 2.47 | 3.49 |
| | 公共交通網 | 2.25 | 3.48 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.65 | 3.46 |

(vii) 満足度×重要度マトリクス分析【年代別結果一覧】

すべての年代で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「生活困窮者支援」「防災対策」「生活道路の整備」及び「公共交通網」の4施策だった。

図表 70 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

●…全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

○…全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

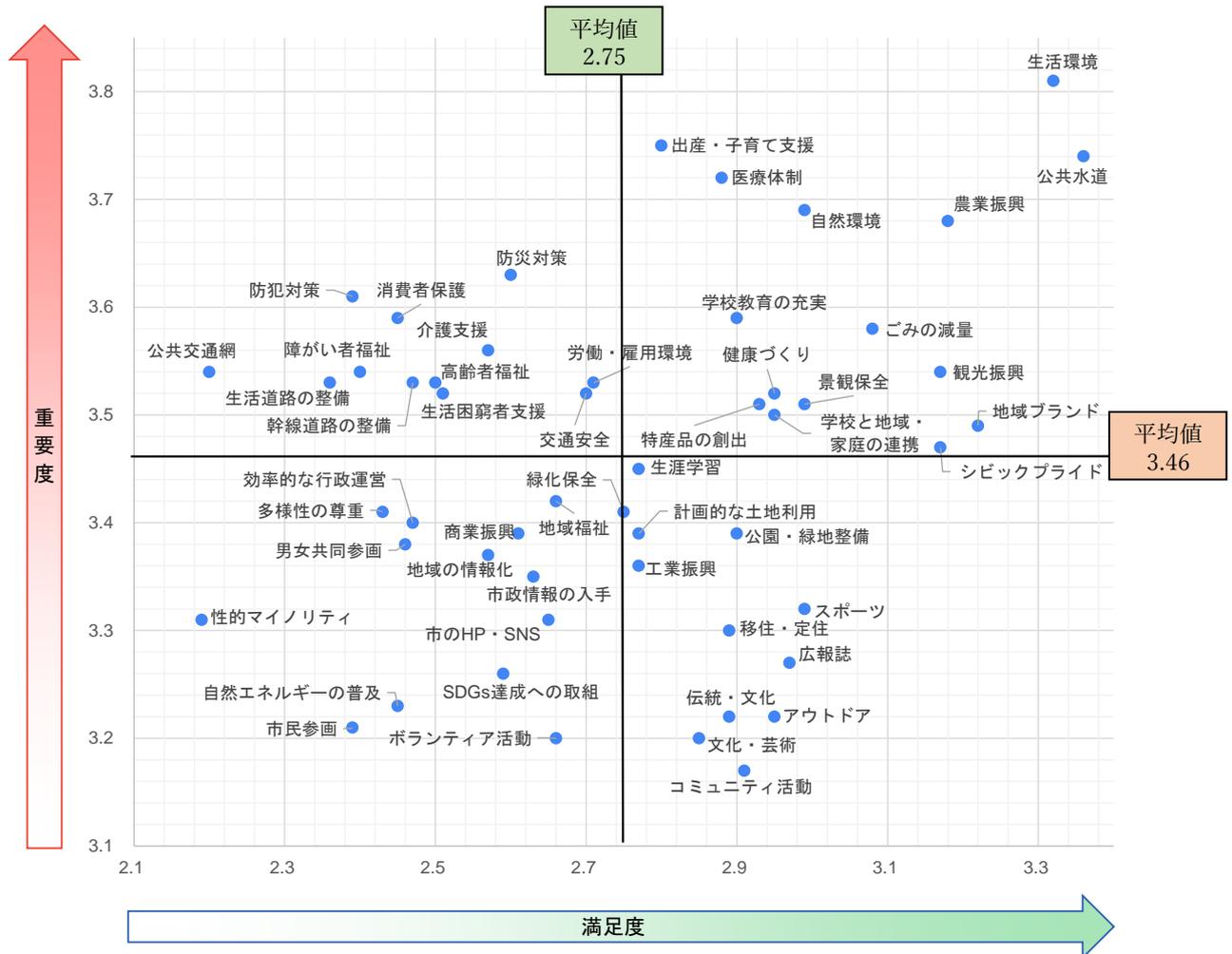
| 分野 | 施策名（略称） | 全体 | 18～29歳 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|---------------|-------------|----|--------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 自然環境 | 自然環境 | | | | | | | |
| | 生活環境 | | | | | | | |
| | 自然エネルギーの普及 | | | | | | | |
| | ごみの減量 | | | | | | | |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくり | | | | | | | |
| | 医療体制 | | | | | | | |
| | 地域福祉 | | | | | | ○ | |
| | 障がい者福祉 | ● | | | ● | ● | ● | ● |
| | 高齢者福祉 | ● | | | ● | ● | ● | ● |
| | 介護支援 | ● | | | ● | ● | ● | ● |
| | 生活困窮者支援 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 男女共同参画 | | ○ | | | | | |
| | 多様性の尊重 | | | ○ | | | | |
| | 性的マイノリティ | | | | | | | |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| スポーツ | スポーツ | | | | | | | |
| | アウトドア | | | | | | | |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | | | ○ | | | | |
| | 学校と地域・家庭の連携 | | | ○ | | | | |
| | 生涯学習 | | | ○ | | | | |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | | ○ | | | | | |
| 文化・芸術 | 文化・芸術 | | | | | | | |
| 防災・防犯 | 防災対策 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 交通安全 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 防犯対策 | ● | | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 消費者保護 | ● | | ● | ● | ● | ● | ● |
| 都市基盤 | 計画的な土地利用 | | | | | | | |
| | 景観保全 | | | | | | | |
| | 緑化保全 | | | | | | | |
| | 公園・緑地整備 | | | | | | | |
| | 幹線道路の整備 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 生活道路の整備 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 公共交通網 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 公共水道 | | | | | | | | |
| 農林水産業 | 農業振興 | | | | | | | |
| 経済活動 | 商業振興 | | ○ | | | | | |
| | 工業振興 | | | | | | | |
| | 労働・雇用環境 | ● | | ● | ● | ● | | ● |
| 観光 | 観光振興 | | | | | | | |
| | 特産品の創出 | | | | | | | |
| 地域ブランド | 地域ブランド | | | | | | | |
| | シビックプライド | | | | | | | |
| 移住・定住 | 移住・定住 | | | | | | | |
| 協働・コミュニティ活動 | コミュニティ活動 | | | | | | | |
| | ボランティア活動 | | | | | | | |
| | 市民参画 | | | | | | | |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | | ○ | | | ○ | | |
| | 効率的な行政運営 | | ○ | ○ | | | | |
| | 市政情報の入手 | | ○ | ○ | | | | |
| | 広報誌 | | | | | | | |
| SDGs | 市のHP・SNS | | | | | | | |
| | SDGs達成への取組 | | | | | | | |

III. 居住地域別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】

豊科では満足度の平均が 2.75 となり、全体の平均 2.72 より 0.03 ポイント高かった。全 52 施策中 12 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。豊科であがった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 71 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



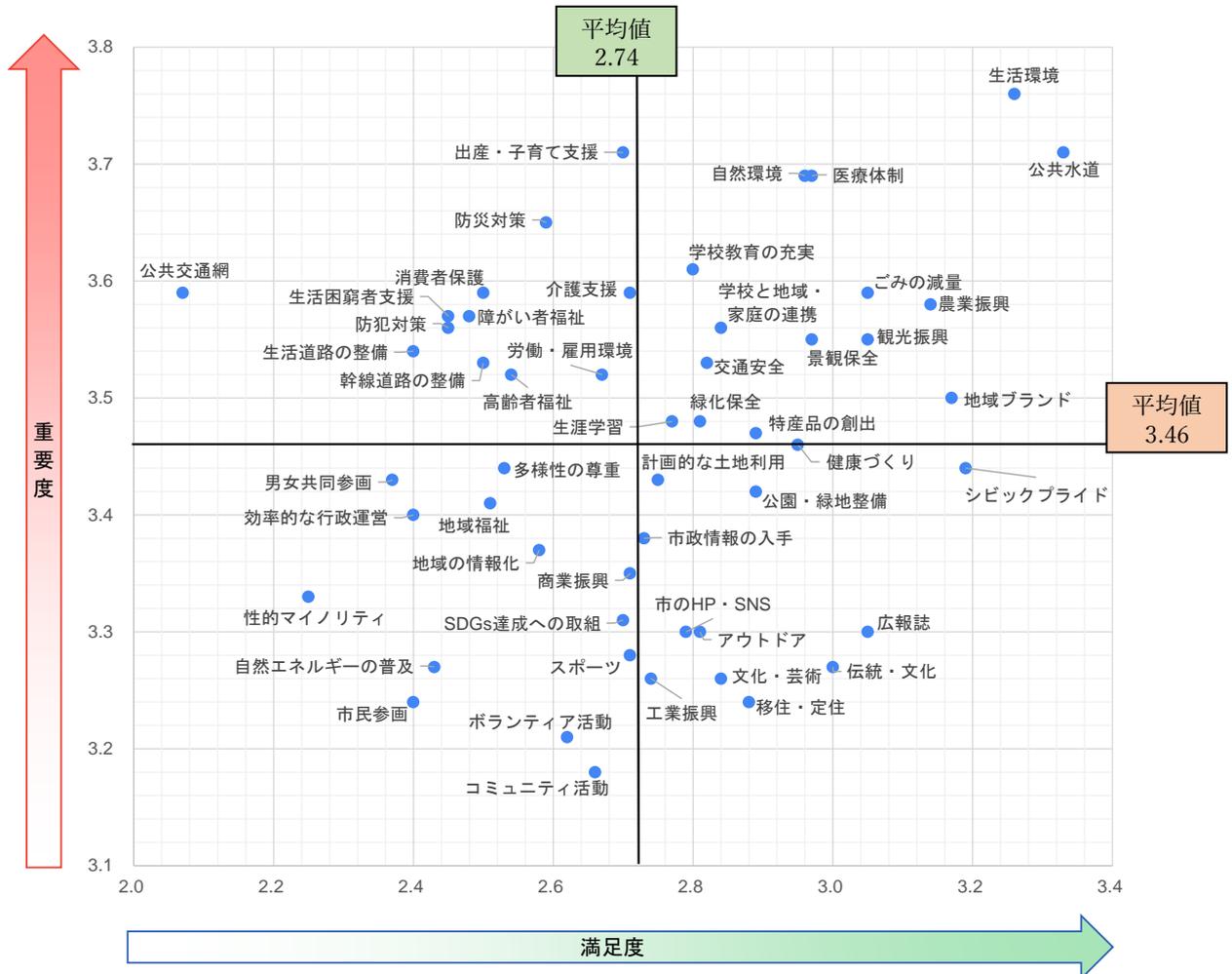
図表 72 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【豊科】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|---------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.40 | 3.54 |
| | 高齢者福祉 | 2.50 | 3.53 |
| | 介護支援 | 2.57 | 3.56 |
| | 生活困窮者支援 | 2.51 | 3.52 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.60 | 3.63 |
| | 交通安全 | 2.70 | 3.52 |
| | 防犯対策 | 2.39 | 3.61 |
| | 消費者保護 | 2.45 | 3.59 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.47 | 3.53 |
| | 生活道路の整備 | 2.36 | 3.53 |
| | 公共交通網 | 2.20 | 3.54 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.71 | 3.53 |

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】

穂高では満足度の平均が2.74となり、全体の平均2.72より0.02ポイント高かった。全52施策中12施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。穂高であがった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 73 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】



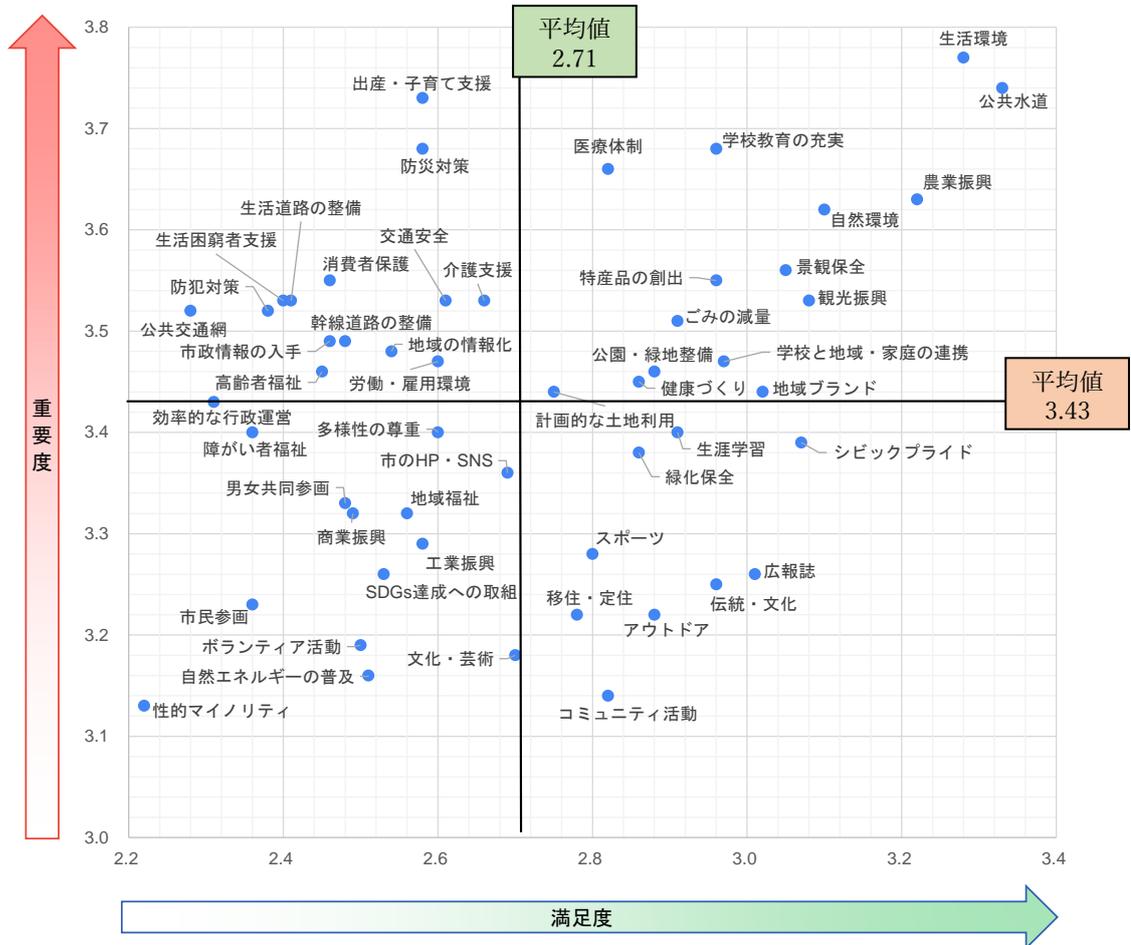
図表 74 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【穂高】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|----------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.48 | 3.57 |
| | 高齢者福祉 | 2.54 | 3.52 |
| | 介護支援 | 2.71 | 3.59 |
| | 生活困窮者支援 | 2.45 | 3.57 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.70 | 3.71 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.59 | 3.65 |
| | 防犯対策 | 2.45 | 3.56 |
| | 消費者保護 | 2.50 | 3.59 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.50 | 3.53 |
| | 生活道路の整備 | 2.40 | 3.54 |
| | 公共交通網 | 2.07 | 3.59 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.67 | 3.52 |

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】

三郷では満足度の平均が 2.71 となり、全体の平均 2.72 より 0.01 ポイント低かった。全 52 施策中 14 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。三郷の特徴として、全体では見られなかった「地域の情報化」、「市政情報の入手」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 75 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】



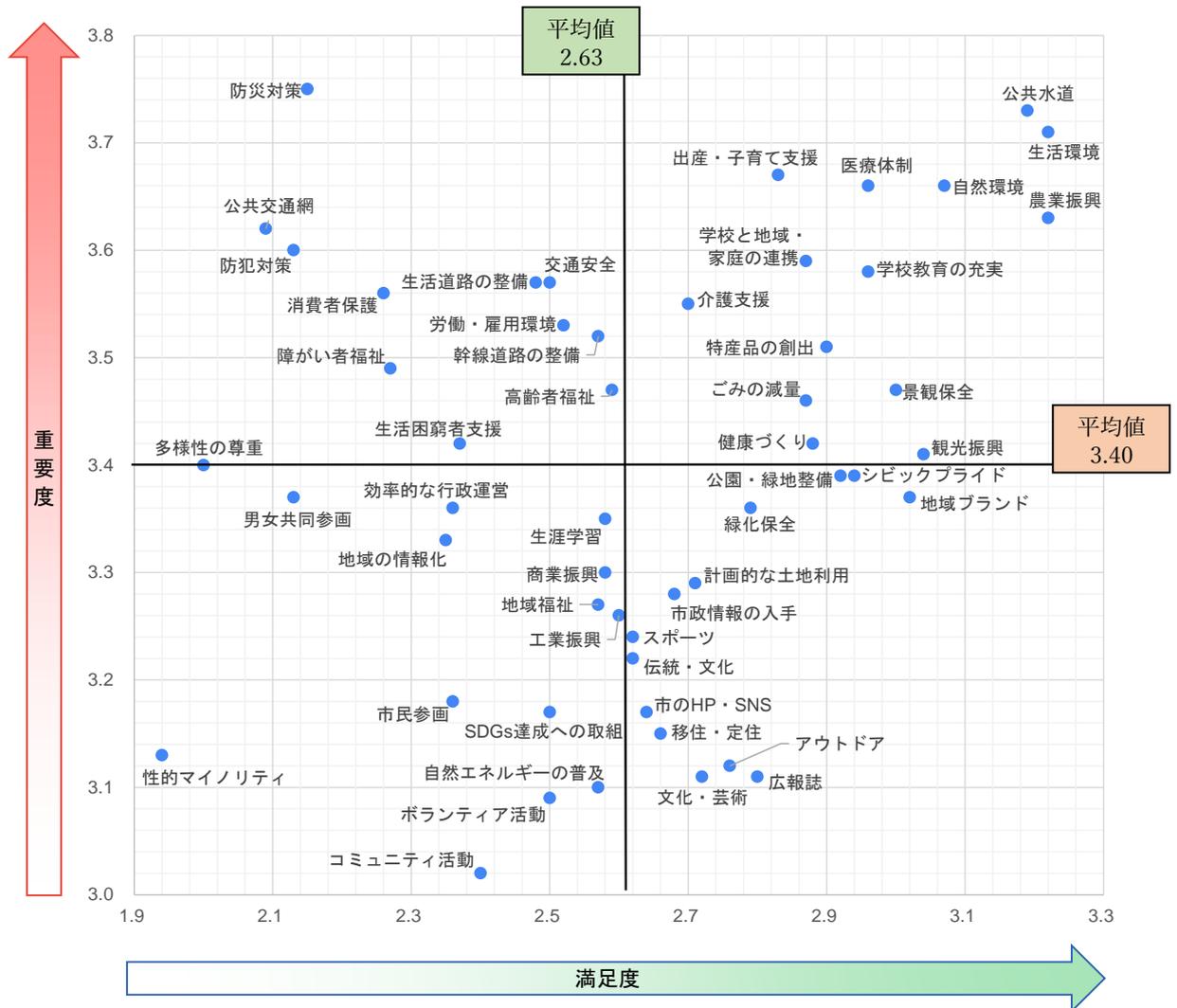
図表 76 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【三郷】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|---------------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 高齢者福祉 | 2.45 | 3.46 |
| | 介護支援 | 2.66 | 3.53 |
| | 生活困窮者支援 | 2.40 | 3.53 |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.58 | 3.73 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.58 | 3.68 |
| | 交通安全 | 2.61 | 3.53 |
| | 防犯対策 | 2.38 | 3.52 |
| | 消費者保護 | 2.46 | 3.55 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.48 | 3.49 |
| | 生活道路の整備 | 2.41 | 3.53 |
| | 公共交通網 | 2.28 | 3.52 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.60 | 3.47 |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 2.54 | 3.48 |
| | 市政情報の入手 | 2.46 | 3.49 |

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】

堀金では満足度の平均が2.63となり、全体の平均2.72より0.09ポイント低かった。全52施策中12施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。堀金の特徴として、全体では見られなかった「多様性の尊重」が今後重点的に取り組むべき施策としてあった。

図表 77 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】



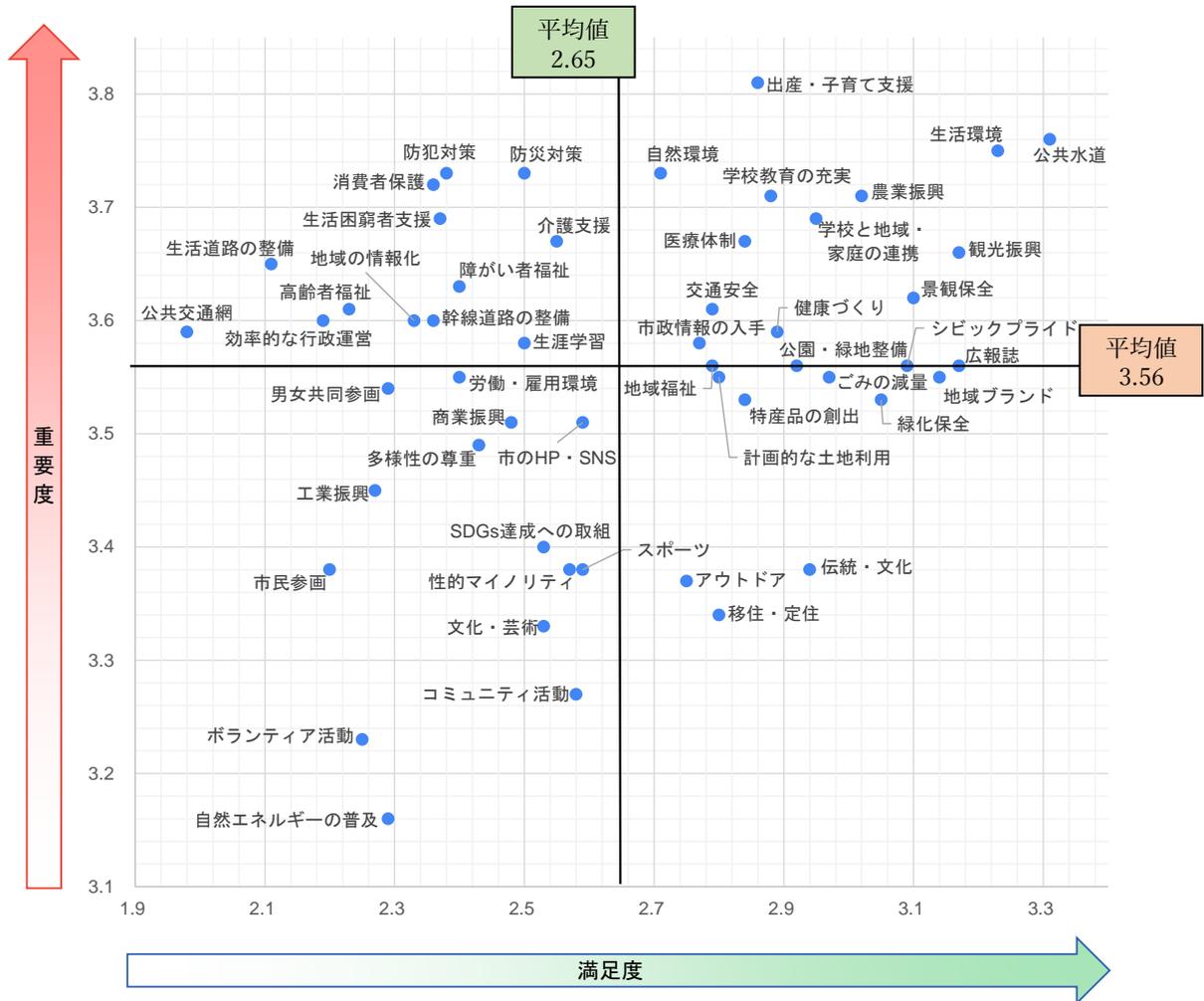
図表 78 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【堀金】

| 分野 | 施策名 (略称) | 満足度 | 重要度 |
|----------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.27 | 3.49 |
| | 高齢者福祉 | 2.59 | 3.47 |
| | 生活困窮者支援 | 2.37 | 3.42 |
| | 多様性の尊重 | 2.00 | 3.40 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 2.15 | 3.75 |
| | 交通安全 | 2.50 | 3.57 |
| | 防犯対策 | 2.13 | 3.60 |
| | 消費者保護 | 2.26 | 3.56 |
| 都市基盤 | 幹線道路の整備 | 2.57 | 3.52 |
| | 生活道路の整備 | 2.48 | 3.57 |
| | 公共交通網 | 2.09 | 3.62 |
| 経済活動 | 労働・雇用環境 | 2.52 | 3.53 |

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【明科】

明科では満足度の平均が 2.65 となり、全体の平均 2.72 より 0.07 ポイント低かった。全 52 施策中 13 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。明科の特徴として、全体では見られなかった「生涯学習」「地域の情報化」「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 79 満足度×重要度マトリクス分析【明科】



図表 80 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【明科】

| 分野 | 施策名（略称） | 満足度 | 重要度 |
|---------------|----------|------|------|
| 医療・福祉・人権 | 障がい者福祉 | 2.40 | 3.63 |
| | 高齢者福祉 | 2.23 | 3.61 |
| | 介護支援 | 2.55 | 3.67 |
| | 生活困窮者支援 | 2.37 | 3.69 |
| 防災・防犯 | 生涯学習 | 2.50 | 3.58 |
| | 防災対策 | 2.50 | 3.73 |
| | 防災対策 | 2.38 | 3.73 |
| 都市基盤 | 消費者保護 | 2.36 | 3.72 |
| | 幹線道路の整備 | 2.36 | 3.60 |
| | 生活道路の整備 | 2.11 | 3.65 |
| デジタル社会・行政サービス | 公共交通網 | 1.98 | 3.59 |
| | 地域の情報化 | 2.33 | 3.60 |
| | 効率的な行政運営 | 2.19 | 3.60 |

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【居住地域別一覧】

すべての居住地域で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「高齢者福祉」「生活困窮者支援」「防災対策」「防犯対策」「消費者保護」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」及び「公共交通網」の8施策だった。

図表 81 今後重点的に取り組むべき施策【居住地域別一覧】

●…全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

○…全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

| 分野 | 施策名(略称) | 全体 | 豊科 | 穂高 | 三郷 | 堀金 | 明科 |
|---------------|-------------|----|----|----|----|----|----|
| 自然環境 | 自然環境 | | | | | | |
| | 生活環境 | | | | | | |
| | 自然エネルギーの普及 | | | | | | |
| | ごみの減量 | | | | | | |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくり | | | | | | |
| | 医療体制 | | | | | | |
| | 地域福祉 | | | | | | |
| | 障がい者福祉 | ● | ● | ● | | ● | ● |
| | 高齢者福祉 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 介護支援 | ● | ● | ● | ● | | ● |
| | 生活困窮者支援 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 男女共同参画 | | | | | | |
| | 多様性の尊重 | | | | | ○ | |
| 性的マイノリティ | | | | | | | |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | ● | | ● | ● | | |
| スポーツ | スポーツ | | | | | | |
| | アウトドア | | | | | | |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | | | | | | |
| | 学校と地域・家庭の連携 | | | | | | |
| | 生涯学習 | | | | | | ○ |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | | | | | | |
| 文化・芸術 | 文化・芸術 | | | | | | |
| 防災・防犯 | 防災対策 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 交通安全 | ● | ● | | ● | ● | |
| | 防犯対策 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 消費者保護 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 都市基盤 | 計画的な土地利用 | | | | | | |
| | 景観保全 | | | | | | |
| | 緑化保全 | | | | | | |
| | 公園・緑地整備 | | | | | | |
| | 幹線道路の整備 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 生活道路の整備 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 公共交通網 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 公共水道 | | | | | | | |
| 農林水産業 | 農業振興 | | | | | | |
| 経済活動 | 商業振興 | | | | | | |
| | 工業振興 | | | | | | |
| | 労働・雇用環境 | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 観光 | 観光振興 | | | | | | |
| | 特産品の創出 | | | | | | |
| 地域ブランド | 地域ブランド | | | | | | |
| | シビックプライド | | | | | | |
| 移住・定住 | 移住・定住 | | | | | | |
| 協働・コミュニティ活動 | コミュニティ活動 | | | | | | |
| | ボランティア活動 | | | | | | |
| | 市民参画 | | | | | | |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | | | | ○ | | ○ |
| | 効率的な行政運営 | | | | | | ○ |
| | 市政情報の入手 | | | | ○ | | |
| | 広報誌 | | | | | | |
| | 市のHP・SNS | | | | | | |
| SDGs | SDGs達成への取組 | | | | | | |

IV. 過去調査（令和5年）との比較

(i) 満足度

満足度について、過去調査（令和5年）と比較した上昇幅が大きい上位10施策を分野ごとに見ると、「自然環境」「医療・福祉・人権」「地域の伝統」「防災・防犯」「経済活動」がそれぞれ1施策、「デジタル社会・行政サービス」3施策、「都市基盤」4施策となった。

図表 82 満足度 過去調査（令和5年）との比較

過去調査（令和5年）と比較したポイント差の上位12施策

過去調査（令和5年）と比較したポイント差の下位9施策

| 分野 | 施策名（略称） | 過去（R5） → 今回 | | ポイント差 | 順位 |
|---------------|-------------|-------------|--------|--------|----|
| | | 過去（R5） | 今回 | | |
| 自然環境 | 自然環境 | 2.99 | → 2.99 | 0.00 | 15 |
| | 生活環境 | 3.32 | → 3.27 | ▲ 0.05 | 33 |
| | 自然エネルギーの普及 | 2.40 | → 2.46 | 0.06 | 3 |
| | ごみの減量 | 3.01 | → 3.01 | 0.00 | 15 |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくり | 2.97 | → 2.92 | ▲ 0.05 | 36 |
| | 医療体制 | 2.93 | → 2.91 | ▲ 0.02 | 24 |
| | 地域福祉 | 2.63 | → 2.59 | ▲ 0.04 | 29 |
| | 障がい者福祉 | 2.39 | → 2.41 | 0.02 | 13 |
| | 高齢者福祉 | 2.51 | → 2.49 | ▲ 0.02 | 23 |
| | 介護支援 | 2.64 | → 2.64 | 0.00 | 15 |
| | 生活困窮者支援 | 2.48 | → 2.44 | ▲ 0.04 | 29 |
| | 男女共同参画 | 2.33 | → 2.39 | 0.06 | 3 |
| | 多様性の尊重 | 2.48 | → 2.46 | ▲ 0.02 | 24 |
| 性的マイノリティ | 2.22 | → 2.21 | ▲ 0.01 | 20 | |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 2.78 | → 2.72 | ▲ 0.06 | 37 |
| スポーツ | スポーツ | 2.87 | → 2.80 | ▲ 0.07 | 43 |
| | アウトドア | 2.92 | → 2.85 | ▲ 0.07 | 42 |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | 2.99 | → 2.88 | ▲ 0.11 | 48 |
| | 学校と地域・家庭の連携 | 2.96 | → 2.91 | ▲ 0.05 | 33 |
| | 生涯学習 | 2.80 | → 2.76 | ▲ 0.04 | 29 |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | 2.89 | → 2.92 | 0.03 | 10 |
| 文化・芸術 | 文化・芸術 | 2.85 | → 2.79 | ▲ 0.06 | 38 |
| | 防災対策 | 2.49 | → 2.55 | 0.06 | 5 |
| 防災・防犯 | 交通安全 | 2.77 | → 2.71 | ▲ 0.06 | 38 |
| | 防犯対策 | 2.52 | → 2.39 | ▲ 0.13 | 50 |
| | 消費者保護 | 2.59 | → 2.45 | ▲ 0.14 | 51 |
| | 計画的な土地利用 | 2.67 | → 2.76 | 0.09 | 1 |
| 都市基盤 | 景観保全 | 2.96 | → 3.01 | 0.05 | 6 |
| | 緑化保全 | 2.85 | → 2.82 | ▲ 0.03 | 27 |
| | 公園・緑地整備 | 2.86 | → 2.90 | 0.04 | 7 |
| | 幹線道路の整備 | 2.53 | → 2.48 | ▲ 0.05 | 33 |
| | 生活道路の整備 | 2.41 | → 2.38 | ▲ 0.03 | 27 |
| | 公共交通網 | 2.07 | → 2.14 | 0.07 | 2 |
| | 公共水道 | 3.40 | → 3.33 | — | — |
| 農林水産業 | 農業振興 | 3.22 | → 3.16 | ▲ 0.06 | 38 |
| 経済活動 | 商業振興 | 2.72 | → 2.61 | ▲ 0.11 | 48 |
| | 工業振興 | 2.67 | → 2.67 | 0.00 | 15 |
| | 労働・雇用環境 | 2.59 | → 2.63 | 0.04 | 7 |
| 観光 | 観光振興 | 3.12 | → 3.10 | ▲ 0.02 | 24 |
| | 特産品の創出 | 2.95 | → 2.91 | ▲ 0.04 | 29 |
| 地域ブランド | 地域ブランド | 3.15 | → 3.14 | ▲ 0.01 | 19 |
| | シビックプライド | 3.19 | → 3.13 | ▲ 0.06 | 38 |
| 移住・定住 | 移住・定住 | 2.85 | → 2.84 | ▲ 0.01 | 20 |
| 協働・コミュニティ活動 | コミュニティ活動 | 2.73 | → 2.74 | 0.01 | 14 |
| | ボランティア活動 | 2.66 | → 2.56 | ▲ 0.10 | 46 |
| | 市民参画 | 2.47 | → 2.37 | ▲ 0.10 | 46 |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 2.50 | → 2.53 | 0.03 | 10 |
| | 効率的な行政運営 | 2.45 | → 2.38 | ▲ 0.07 | 43 |
| | 市政情報の入手 | 2.62 | → 2.65 | 0.03 | 10 |
| | 広報誌 | 3.02 | → 3.01 | ▲ 0.01 | 20 |
| | 市のHP・SNS | 2.67 | → 2.70 | 0.03 | 9 |
| SDGs | SDGs達成への取組 | 2.68 | → 2.61 | ▲ 0.07 | 43 |
| 平均値 | | 2.74 | → 2.72 | ▲ 0.02 | |

(ii) 重要度

重要度について、過去調査（令和5年）と比較した上昇幅が大きい上位10施策を分野ごとに見ると、「自然環境」「医療・福祉・人権」「子育て支援」「防災・防犯」「農林水産業」「経済活動」「協働・コミュニティ活動」及び「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策、「スポーツ」2施策、「教育・学習」3施策となった。

図表 83 重要度 過去調査（令和5年）との比較

過去調査（令和5年）と比較したポイント差の上位13施策

過去調査（令和5年）と比較したポイント差の下位9施策

| 分野 | 施策名（略称） | 過去（R5） → 今回 | | ポイント差 | 順位 | |
|---------------|-------------|-------------|------|--------|--------|----|
| | | | | | | |
| 自然環境 | 自然環境 | 3.69 | → | 3.68 | ▲ 0.01 | 7 |
| | 生活環境 | 3.79 | → | 3.77 | ▲ 0.02 | 16 |
| | 自然エネルギーの普及 | 3.23 | → | 3.21 | ▲ 0.02 | 16 |
| | ごみの減量 | 3.60 | → | 3.56 | ▲ 0.04 | 30 |
| 医療・福祉・人権 | 健康づくり | 3.55 | → | 3.48 | ▲ 0.07 | 47 |
| | 医療体制 | 3.75 | → | 3.69 | ▲ 0.06 | 43 |
| | 地域福祉 | 3.41 | → | 3.40 | ▲ 0.01 | 14 |
| | 障がい者福祉 | 3.57 | → | 3.52 | ▲ 0.05 | 39 |
| | 高齢者福祉 | 3.54 | → | 3.51 | ▲ 0.03 | 26 |
| | 介護支援 | 3.61 | → | 3.57 | ▲ 0.04 | 30 |
| | 生活困窮者支援 | 3.55 | → | 3.54 | ▲ 0.01 | 7 |
| | 男女共同参画 | 3.46 | → | 3.40 | ▲ 0.06 | 43 |
| | 多様性の尊重 | 3.46 | → | 3.42 | ▲ 0.04 | 30 |
| 性的マイノリティ | 3.34 | → | 3.27 | ▲ 0.07 | 47 | |
| 子育て支援 | 出産・子育て支援 | 3.72 | → | 3.73 | 0.01 | 3 |
| スポーツ | スポーツ | 3.30 | → | 3.29 | ▲ 0.01 | 7 |
| | アウトドア | 3.26 | → | 3.25 | ▲ 0.01 | 7 |
| 教育・学習 | 学校教育の充実 | 3.54 | → | 3.63 | 0.09 | 1 |
| | 学校と地域・家庭の連携 | 3.53 | → | 3.54 | 0.01 | 2 |
| | 生涯学習 | 3.45 | → | 3.45 | 0.00 | 4 |
| 地域の伝統 | 伝統・文化 | 3.29 | → | 3.26 | ▲ 0.03 | 26 |
| 文化・芸術 | 文化・芸術 | 3.25 | → | 3.22 | ▲ 0.03 | 22 |
| 防災・防犯 | 防災対策 | 3.73 | → | 3.66 | ▲ 0.07 | 47 |
| | 交通安全 | 3.57 | → | 3.54 | ▲ 0.03 | 22 |
| | 防犯対策 | 3.60 | → | 3.58 | ▲ 0.02 | 16 |
| | 消費者保護 | 3.59 | → | 3.59 | 0.00 | 4 |
| 都市基盤 | 計画的な土地利用 | 3.48 | → | 3.42 | ▲ 0.06 | 43 |
| | 景観保全 | 3.57 | → | 3.54 | ▲ 0.03 | 22 |
| | 緑化保全 | 3.48 | → | 3.43 | ▲ 0.05 | 39 |
| | 公園・緑地整備 | 3.47 | → | 3.43 | ▲ 0.04 | 30 |
| | 幹線道路の整備 | 3.58 | → | 3.53 | ▲ 0.05 | 42 |
| | 生活道路の整備 | 3.59 | → | 3.55 | ▲ 0.04 | 30 |
| | 公共交通網 | 3.59 | → | 3.57 | ▲ 0.02 | 16 |
| 公共水道 | 3.76 | → | 3.73 | — | — | |
| 農林水産業 | 農業振興 | 3.63 | → | 3.63 | 0.00 | 4 |
| 経済活動 | 商業振興 | 3.38 | → | 3.36 | ▲ 0.02 | 16 |
| | 工業振興 | 3.32 | → | 3.31 | ▲ 0.01 | 7 |
| | 労働・雇用環境 | 3.56 | → | 3.52 | ▲ 0.04 | 30 |
| 観光 | 観光振興 | 3.61 | → | 3.54 | ▲ 0.07 | 47 |
| | 特産品の創出 | 3.52 | → | 3.50 | ▲ 0.02 | 16 |
| 地域ブランド | 地域ブランド | 3.52 | → | 3.48 | ▲ 0.04 | 30 |
| | シビックプライド | 3.50 | → | 3.45 | ▲ 0.05 | 39 |
| 移住・定住 | 移住・定住 | 3.31 | → | 3.25 | ▲ 0.06 | 43 |
| 協働・コミュニティ活動 | コミュニティ活動 | 3.19 | → | 3.16 | ▲ 0.03 | 22 |
| | ボランティア活動 | 3.23 | → | 3.19 | ▲ 0.04 | 30 |
| | 市民参画 | 3.25 | → | 3.24 | ▲ 0.01 | 7 |
| デジタル社会・行政サービス | 地域の情報化 | 3.45 | → | 3.41 | ▲ 0.04 | 30 |
| | 効率的な行政運営 | 3.45 | → | 3.42 | ▲ 0.03 | 26 |
| | 市政情報の入手 | 3.41 | → | 3.40 | ▲ 0.01 | 14 |
| | 広報誌 | 3.30 | → | 3.29 | ▲ 0.01 | 7 |
| | 市のHP・SNS | 3.35 | → | 3.32 | ▲ 0.03 | 26 |
| SDGs | SDGs達成への取組 | 3.41 | → | 3.28 | ▲ 0.13 | 51 |
| 平均値 | | 3.48 | → | 3.46 | ▲ 0.02 | |

(1) 自然環境について

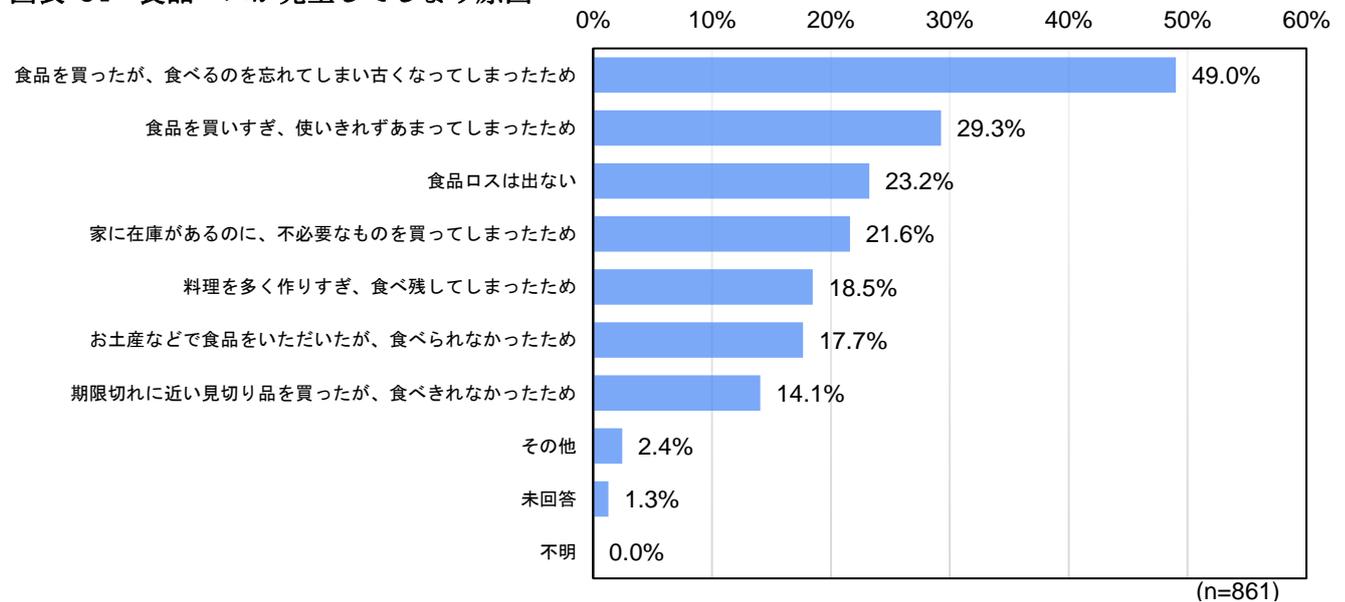
問6. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」(49.0%)が最も高く、次いで「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」(29.3%)、「食品ロスは出ない」(23.2%)の順となった。

年代別では、30代の「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」(64.0%)が高かった。

居住地域別では、穂高「食品ロスは出ない」(29.3%)、明科「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」(43.9%)、「料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため」(28.8%)が高く、明科「食品ロスは出ない」(9.1%)が低かった。

図表 84 食品ロスが発生してしまう原因



図表 85 【年代別】食品ロスが発生してしまう原因

| | 全体 (n=861) | 18～29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-------------------------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため | 49.0% | 50.0% | 64.0% | 40.0% | 53.1% | 51.8% | 44.8% | 66.7% |
| 食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため | 29.3% | 34.8% | 33.3% | 23.8% | 29.4% | 30.0% | 29.2% | 0.0% |
| 食品ロスは出ない | 23.2% | 10.9% | 17.3% | 24.8% | 26.6% | 21.8% | 25.4% | 0.0% |
| 家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため | 21.6% | 15.2% | 20.0% | 23.8% | 16.1% | 21.8% | 24.5% | 33.3% |
| 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため | 18.5% | 23.9% | 12.0% | 21.0% | 14.7% | 17.1% | 21.0% | 0.0% |
| お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため | 17.7% | 26.1% | 21.3% | 19.0% | 22.4% | 11.8% | 16.3% | 0.0% |
| 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため | 14.1% | 8.7% | 6.7% | 13.3% | 15.4% | 15.9% | 15.0% | 33.3% |
| その他 | 2.4% | 2.2% | 2.7% | 1.9% | 3.5% | 1.8% | 2.5% | 0.0% |
| 未回答 | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% | 2.4% | 1.9% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 86 【居住地域別】食品ロスが発生してしまう原因

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため | 49.0% | 48.0% | 48.4% | 53.3% | 44.6% | 50.0% |
| 食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため | 29.3% | 34.3% | 23.7% | 27.2% | 27.0% | 43.9% |
| 食品ロスは出ない | 23.2% | 23.0% | 29.3% | 20.1% | 18.9% | 9.1% |
| 家に在庫があるのに、 unnecessaryなものを買ってしまったため | 21.6% | 23.0% | 20.7% | 23.1% | 18.9% | 19.7% |
| 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため | 18.5% | 18.1% | 16.4% | 20.1% | 14.9% | 28.8% |
| お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため | 17.7% | 18.1% | 16.4% | 21.9% | 14.9% | 13.6% |
| 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため | 14.1% | 14.1% | 15.5% | 13.0% | 12.2% | 12.1% |
| その他 | 2.4% | 2.4% | 3.0% | 0.6% | 5.4% | 1.5% |
| 未回答 | 1.3% | 2.4% | 0.3% | 0.0% | 5.4% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

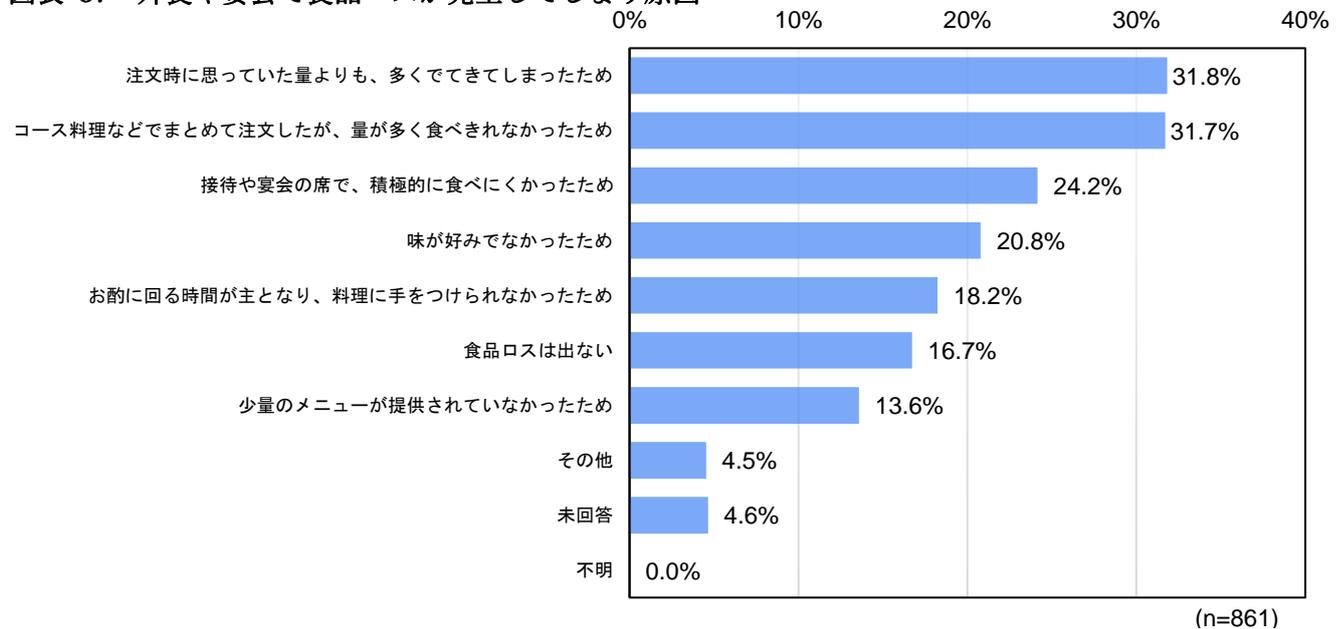
問7. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」(31.8%) が最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため」(31.7%)、「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」(24.2%) の順となった。

年代別では、18～29歳「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」(50.0%)、50代「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」(32.9%) が高く、30代「少量のメニューが提供されていなかったため」(5.3%)、70代以上「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」(17.2%) が低かった。

居住地域別では、明科「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」(43.9%) が高く、堀金「少量のメニューが提供されていなかったため」(5.4%) が低かった。

図表 87 外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因



図表 88 【年代別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

| | 全体 (n=861) | 18～29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|----------------------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため | 31.8% | 50.0% | 33.3% | 31.4% | 33.6% | 27.1% | 30.7% | 33.3% |
| コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため | 31.7% | 32.6% | 40.0% | 35.2% | 35.7% | 25.3% | 30.1% | 33.3% |
| 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため | 24.2% | 30.4% | 29.3% | 27.6% | 32.9% | 24.1% | 17.2% | 0.0% |
| 味が好みでなかったため | 20.8% | 10.9% | 21.3% | 21.0% | 22.4% | 21.8% | 21.0% | 0.0% |
| お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため | 18.2% | 17.4% | 16.0% | 20.0% | 22.4% | 22.4% | 14.4% | 0.0% |
| 食品ロスは出ない | 16.7% | 10.9% | 10.7% | 15.2% | 16.1% | 17.1% | 19.4% | 33.3% |
| 少量のメニューが提供されていなかったため | 13.6% | 10.9% | 5.3% | 14.3% | 8.4% | 15.9% | 16.9% | 0.0% |
| その他 | 4.5% | 0.0% | 5.3% | 1.9% | 5.6% | 5.3% | 5.0% | 0.0% |
| 未回答 | 4.6% | 0.0% | 1.3% | 1.9% | 1.4% | 3.5% | 9.1% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 89 【居住地域別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|----------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため | 31.8% | 29.8% | 34.9% | 26.6% | 27.0% | 43.9% |
| コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため | 31.7% | 29.8% | 34.9% | 32.0% | 31.1% | 24.2% |
| 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため | 24.2% | 29.8% | 20.1% | 22.5% | 23.0% | 27.3% |
| 味が好みでなかったため | 20.8% | 21.8% | 21.4% | 20.7% | 16.2% | 19.7% |
| お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため | 18.2% | 21.8% | 15.8% | 20.7% | 14.9% | 13.6% |
| 食品ロスは出ない | 16.7% | 12.5% | 18.1% | 17.2% | 25.7% | 15.2% |
| 少量のメニューが提供されていなかったため | 13.6% | 17.3% | 12.8% | 11.2% | 5.4% | 18.2% |
| その他 | 4.5% | 3.6% | 5.3% | 5.3% | 4.1% | 3.0% |
| 未回答 | 4.6% | 6.5% | 3.3% | 5.3% | 5.4% | 1.5% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

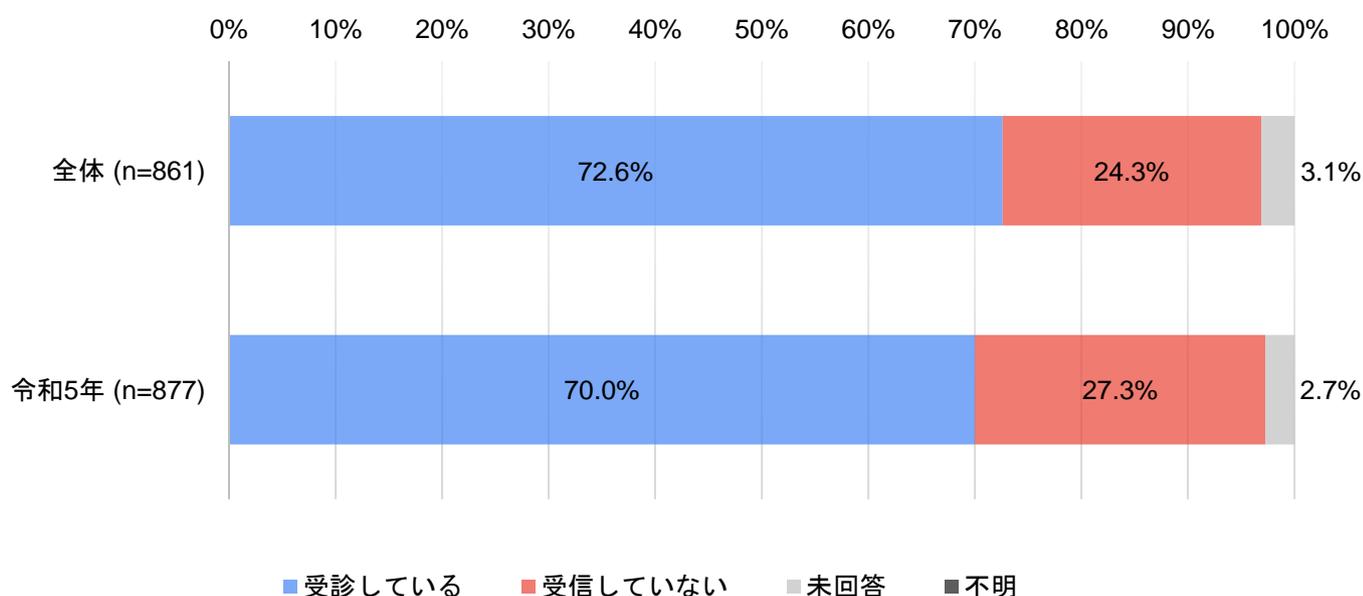
(2) 医療・福祉・人権について

問 8. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。（1つに○）

「受診している」（72.6%）、「受診していない」（24.3%）となった。

年代別では、「受診している」は40代（81.9%）、50代（81.8%）で高く、70代以上（63.0%）で低かった。「受診していない」は70代以上（31.0%）が高かった。

図表 90 毎年の健康診断の受診状況



図表 91 【年代別】毎年の健康診断の受診状況

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|---------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 受診している | 72.6% | 80.4% | 74.7% | 81.9% | 81.8% | 73.5% | 63.0% | 100.0% |
| 受診していない | 24.3% | 15.2% | 25.3% | 18.1% | 17.5% | 23.5% | 31.0% | 0.0% |
| 未回答 | 3.1% | 4.3% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 2.9% | 6.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 92 【居住地域別】毎年の健康診断の受診状況

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 受診している | 72.6% | 72.6% | 72.0% | 76.3% | 71.6% | 66.7% |
| 受診していない | 24.3% | 24.2% | 24.7% | 21.3% | 24.3% | 30.3% |
| 未回答 | 3.1% | 3.2% | 3.3% | 2.4% | 4.1% | 3.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

問8で「2. 受けていない」と回答した方のみご回答ください。

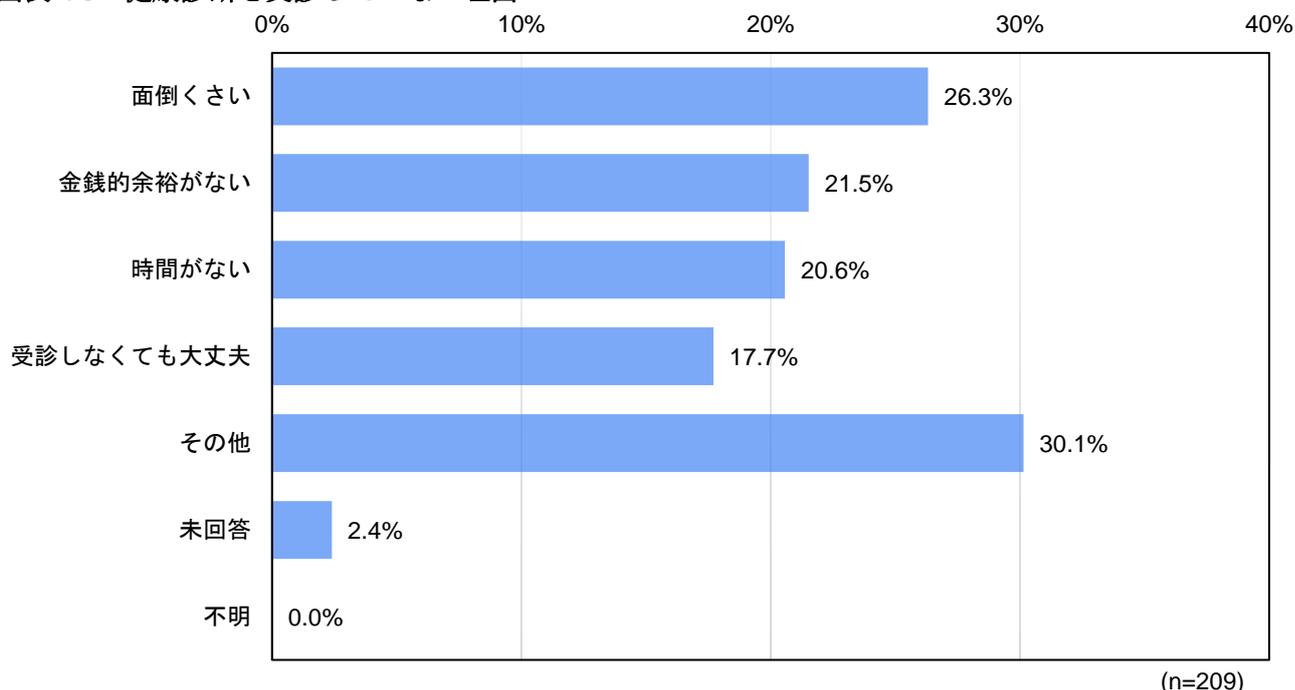
(1) 健康診断を受診していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

健康診断を毎年「受けていない」と回答した方に聞いたところ、「面倒くさい」(26.3%)が最も高く、次いで「金銭的余裕がない」(21.5%)、「時間がない」(20.6%)の順となった。

年代別では、「金銭的余裕がない」は18～29歳(57.1%)で高かった。「時間がない」は30代(47.4%)、40代(52.6%)で高く、70代以上(5.1%)で低かった。

居住地域別では、三郷「時間がない」(38.9%)、明科「受診しなくても大丈夫」(40.0%)が高かった。

図表 93 健康診断を受診していない理由



図表 94 【年代別】健康診断を受診していない理由

| | 全体 (n=209) | 18～29歳 (n=7) | 30代 (n=19) | 40代 (n=19) | 50代 (n=25) | 60代 (n=40) | 70代以上 (n=99) | 未回答 (n=0) |
|------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|
| 面倒くさい | 26.3% | 28.6% | 21.1% | 26.3% | 20.0% | 37.5% | 24.2% | 0.0% |
| 金銭的余裕がない | 21.5% | 57.1% | 36.8% | 15.8% | 24.0% | 25.0% | 15.2% | 0.0% |
| 時間がない | 20.6% | 14.3% | 47.4% | 52.6% | 32.0% | 25.0% | 5.1% | 0.0% |
| 受診しなくても大丈夫 | 17.7% | 14.3% | 5.3% | 5.3% | 12.0% | 25.0% | 21.2% | 0.0% |
| その他 | 30.1% | 14.3% | 21.1% | 15.8% | 28.0% | 20.0% | 40.4% | 0.0% |
| 未回答 | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 5.1% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 95 【居住地域別】健康診断を受診していない理由

| | 全体 (n=209) | 豊科 (n=60) | 穂高 (n=75) | 三郷 (n=36) | 堀金 (n=18) | 明科 (n=20) |
|------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 面倒くさい | 26.3% | 26.7% | 26.7% | 25.0% | 27.8% | 25.0% |
| 金銭的余裕がない | 21.5% | 25.0% | 24.0% | 19.4% | 5.6% | 20.0% |
| 時間がない | 20.6% | 15.0% | 22.7% | 38.9% | 5.6% | 10.0% |
| 受診しなくても大丈夫 | 17.7% | 18.3% | 13.3% | 16.7% | 11.1% | 40.0% |
| その他 | 30.1% | 31.7% | 29.3% | 27.8% | 38.9% | 25.0% |
| 未回答 | 2.4% | 1.7% | 2.7% | 0.0% | 11.1% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

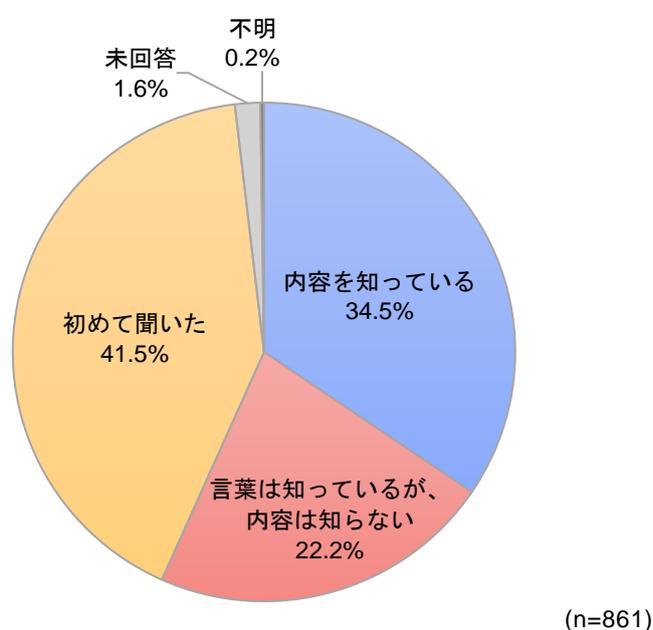
問9. 安曇野市では市民の健康長寿に向けて、フレイル予防の普及啓発に取り組んでいます。あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(1つに○)

「初めて聞いた」(41.5%)が最も高く、次いで「内容を知っている」(34.5%)、「言葉は知っているが、内容は知らない」(22.2%)の順となった。

年代別では、「初めて聞いた」は18～29歳(67.4%)、40代(52.4%)及び50代(51.0%)で高く、60代(32.4%)、70代(32.6%)で低かった。「内容を知っている」は18～29歳(15.2%)で低く、「言葉は知っているが、内容は知らない」は70代以上(28.5%)で高く、50代(14.7%)で低かった。

居住地域別では、三郷で「初めて聞いた」(50.9%)が高く、「内容を知っている」(24.9%)が低かった。

図表 96 「フレイル」という言葉の認知度



図表 97 【年代別】「フレイル」という言葉の認知度

| | 全体 (n=861) | 18～29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 内容を知っている | 34.5% | 15.2% | 32.0% | 27.6% | 33.6% | 41.8% | 36.4% | 66.7% |
| 言葉は知っているが、内容は知らない | 22.2% | 15.2% | 17.3% | 19.0% | 14.7% | 22.9% | 28.5% | 0.0% |
| 初めて聞いた | 41.5% | 67.4% | 50.7% | 52.4% | 51.0% | 32.4% | 32.6% | 33.3% |
| 未回答 | 1.6% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% | 2.9% | 2.5% | 0.0% |
| 不明 | 0.2% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 98 【居住地域別】「フレイル」という言葉の認知度

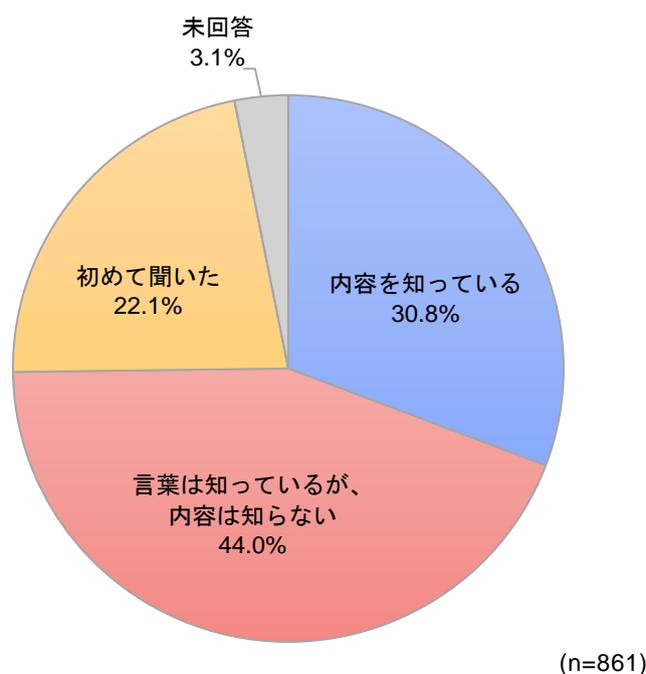
| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 内容を知っている | 34.5% | 36.7% | 35.5% | 24.9% | 37.8% | 42.4% |
| 言葉は知っているが、内容は知らない | 22.2% | 24.2% | 21.4% | 21.9% | 23.0% | 18.2% |
| 初めて聞いた | 41.5% | 37.5% | 41.4% | 50.9% | 36.5% | 37.9% |
| 未回答 | 1.6% | 1.6% | 1.3% | 2.4% | 1.4% | 1.5% |
| 不明 | 0.2% | 0.0% | 0.3% | 0.0% | 1.4% | 0.0% |

問 10. 「子どもの権利」を知っていますか。(1つに○)

「言葉は知っているが、内容は知らない」(44.0%) が最も高く、次いで「内容を知っている」(30.8%)、「初めて聞いた」(22.1%) の順となった。

年代別では、70代以上の「初めて聞いた」(13.8%) が低かった。

図表 99 「子どもの権利」の認知度



図表 100 【年代別】「子どもの権利」の認知度

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-------------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 内容を知っている | 30.8% | 39.1% | 34.7% | 27.6% | 29.4% | 30.0% | 30.1% | 100.0% |
| 言葉は知っているが、内容は知らない | 44.0% | 32.6% | 34.7% | 49.5% | 42.7% | 38.2% | 50.2% | 0.0% |
| 初めて聞いた | 22.1% | 28.3% | 29.3% | 22.9% | 28.0% | 27.6% | 13.8% | 0.0% |
| 未回答 | 3.1% | 0.0% | 1.3% | 0.0% | 0.0% | 4.1% | 6.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 101 【居住地域別】「子どもの権利」の認知度

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 内容を知っている | 30.8% | 33.5% | 30.3% | 28.4% | 32.4% | 27.3% |
| 言葉は知っているが、内容は知らない | 44.0% | 44.8% | 43.4% | 45.0% | 39.2% | 47.0% |
| 初めて聞いた | 22.1% | 19.4% | 23.0% | 23.1% | 24.3% | 22.7% |
| 未回答 | 3.1% | 2.4% | 3.3% | 3.6% | 4.1% | 3.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(3) 子育て支援について

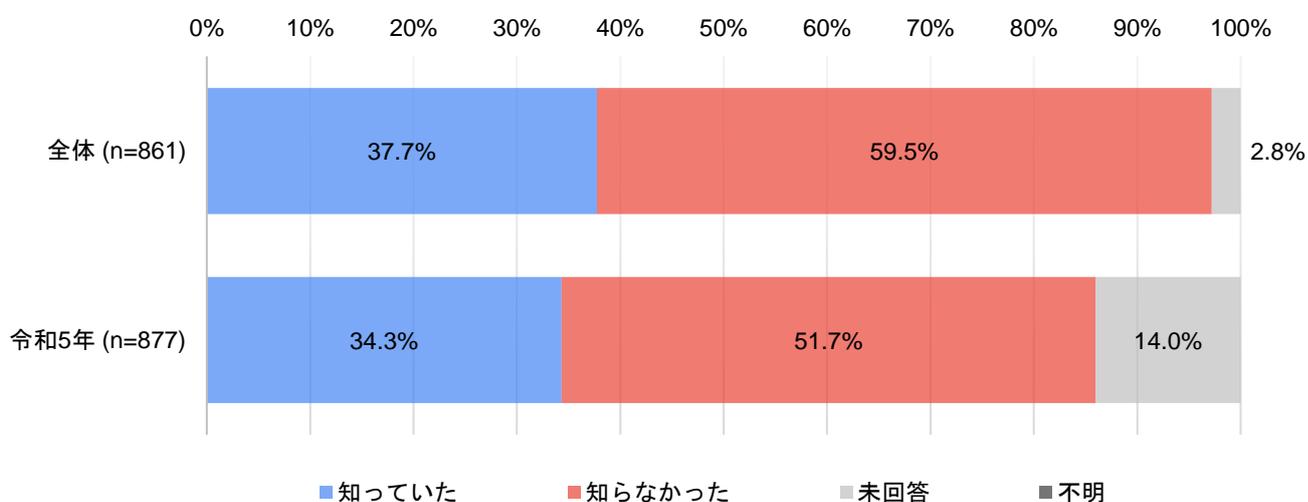
問 11. 安曇野市では豊かな自然環境を保育に取り入れ、子どもたちの学びや感性を育む「自然保育」に取り組んでいます。そのことを知っていましたか。(1つに○)

「知っていた」(37.7%)、「知らなかった」(59.5%)となった。

年代別では、「知っていた」は30代(52.0%)及び40代(49.5%)で高かった。「知らなかった」は、70代以上(58.3%)で高かった。

居住地域別では、明科の「知っていた」(57.6%)が高かった。

図表 102 「自然保育」への取り組みについての認知度



図表 103 【年代別】「自然保育」への取り組みについての認知度

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|--------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 知っていた | 37.7% | 34.8% | 52.0% | 49.5% | 33.6% | 30.6% | 36.4% | 66.7% |
| 知らなかった | 59.5% | 63.0% | 48.0% | 48.6% | 66.4% | 67.1% | 58.3% | 33.3% |
| 未回答 | 2.8% | 2.2% | 0.0% | 1.9% | 0.0% | 2.4% | 5.3% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 104 【居住地域別】「自然保育」への取り組みについての認知度

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 知っていた | 37.7% | 39.5% | 34.9% | 35.5% | 31.1% | 57.6% |
| 知らなかった | 59.5% | 56.9% | 63.5% | 60.9% | 64.9% | 40.9% |
| 未回答 | 2.8% | 3.6% | 1.6% | 3.6% | 4.1% | 1.5% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(4) スポーツについて

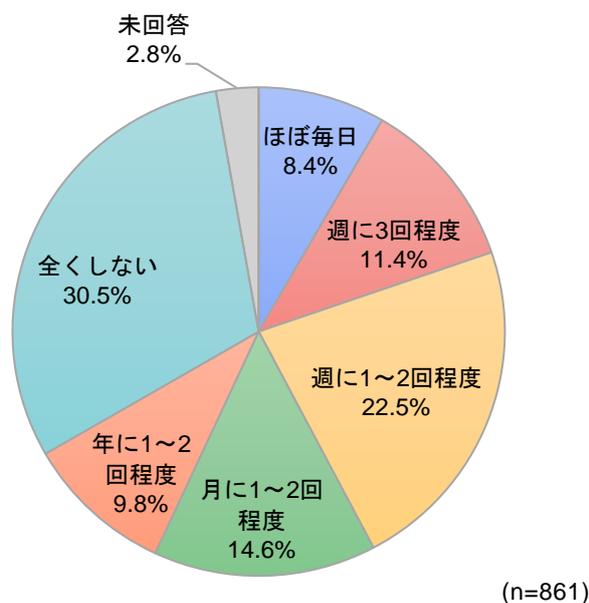
問 12. あなたの運動またはスポーツの頻度について教えてください。(1つに○)

「全くしない」(30.5%) が最も高く、次いで「週に1~2回程度」(22.5%)、「月に1~2回程度」(14.6%) の順となった。

年代別では、40代の「週1~2回程度」(29.5%)、18~29歳の「月に1~2回程度」(26.1%) 及び「年に1~2回程度」(21.7%) が高かった。

居住地域別では、明科の「年に1~2回程度」(18.2%) が高かった。

図表 105 運動またはスポーツの頻度



図表 106 【年代別】運動またはスポーツの頻度

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|----------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 8.4% | 2.2% | 6.7% | 2.9% | 7.7% | 8.2% | 11.9% | 0.0% |
| 週に3回程度 | 11.4% | 4.3% | 13.3% | 8.6% | 6.3% | 14.7% | 13.5% | 0.0% |
| 週に1~2回程度 | 22.5% | 26.1% | 20.0% | 29.5% | 23.8% | 24.1% | 18.8% | 33.3% |
| 月に1~2回程度 | 14.6% | 26.1% | 18.7% | 21.9% | 13.3% | 12.9% | 10.7% | 66.7% |
| 年に1~2回程度 | 9.8% | 21.7% | 10.7% | 10.5% | 13.3% | 7.1% | 7.5% | 0.0% |
| 全くしない | 30.5% | 19.6% | 30.7% | 26.7% | 35.7% | 31.2% | 31.0% | 0.0% |
| 未回答 | 2.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.8% | 6.6% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 107 【居住地域別】運動またはスポーツの頻度

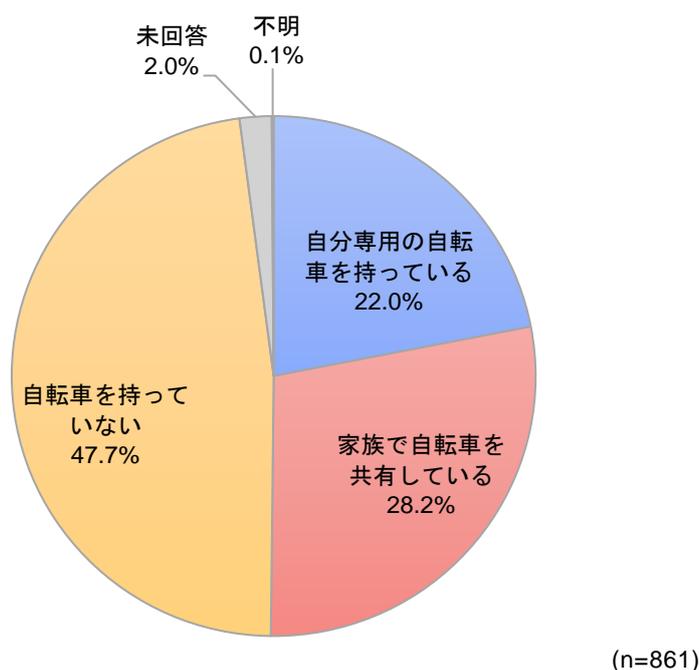
| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 8.4% | 9.3% | 9.5% | 4.1% | 10.8% | 7.6% |
| 週に3回程度 | 11.4% | 8.5% | 13.8% | 13.0% | 9.5% | 9.1% |
| 週に1~2回程度 | 22.5% | 23.0% | 23.7% | 20.7% | 24.3% | 18.2% |
| 月に1~2回程度 | 14.6% | 15.7% | 15.1% | 16.6% | 8.1% | 10.6% |
| 年に1~2回程度 | 9.8% | 9.7% | 7.2% | 10.7% | 10.8% | 18.2% |
| 全くしない | 30.5% | 30.2% | 29.3% | 30.8% | 31.1% | 36.4% |
| 未回答 | 2.8% | 3.6% | 1.3% | 4.1% | 5.4% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

問 13. 安曇野市では市民の健康づくり等を目的に、市民の自転車利用率向上に取り組んでいます。あなたは、自転車を保有していますか。(1つに○)

「自転車を持っていない」(47.7%) が最も高く、次いで「家族で自転車を共有している」(28.2%)、「自分専用の自転車を持っている」(22.0%) の順となった。

居住地域別では、「家族で自転車を共有している」は豊科(35.5%) で高かった。「自転車を持っていない」は明科(65.2%) で高かった。

図表 108 自転車の保有状況



図表 109 【年代別】自転車の保有状況

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|----------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 自分専用の自転車を持っている | 22.0% | 26.1% | 18.7% | 21.0% | 19.6% | 22.4% | 23.5% | 0.0% |
| 家族で自転車を共有している | 28.2% | 21.7% | 25.3% | 36.2% | 35.7% | 23.5% | 26.0% | 66.7% |
| 自転車を持っていない | 47.7% | 52.2% | 56.0% | 42.9% | 44.8% | 52.4% | 45.8% | 33.3% |
| 未回答 | 2.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.8% | 4.4% | 0.0% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.3% | 0.0% |

図表 110 【居住地域別】自転車の保有状況

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 自分専用の自転車を持っている | 22.0% | 24.6% | 19.7% | 21.9% | 31.1% | 12.1% |
| 家族で自転車を共有している | 28.2% | 35.5% | 26.6% | 23.7% | 25.7% | 22.7% |
| 自転車を持っていない | 47.7% | 37.1% | 52.6% | 52.1% | 37.8% | 65.2% |
| 未回答 | 2.0% | 2.8% | 1.0% | 1.8% | 5.4% | 0.0% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.6% | 0.0% | 0.0% |

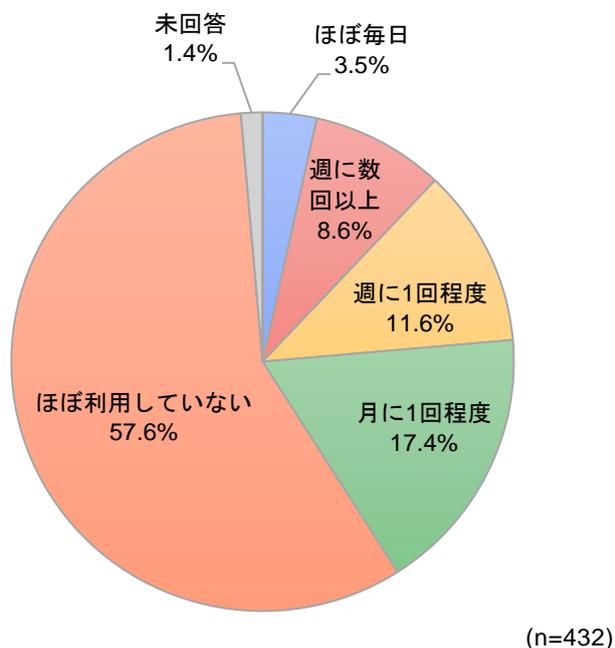
問13で「1. 自分専用の自転車を持っている」「2. 家族で自転車を共有している」と回答した方のみご回答ください。

(1) あなたは、普段どのくらいの頻度で自転車を利用していますか。(1つに○)

「自分専用の自転車を持っている」及び「家族で自転車を共有している」と回答した方に聞いたところ、「ほぼ利用していない」(57.6%)が最も高く、次いで「月に1回程度」(17.4%)、「週に1回程度」(11.6%)の順となった。

年代別では、「週に数回以上」は70代以上(15.2%)で高く、50代(1.3%)で低かった。「ほぼ利用していない」は18~29歳(72.7%)で高かった。

図表 111 自転車の利用頻度



図表 112 【年代別】自転車の利用頻度

| | 全体 (n=432) | 18~29歳 (n=22) | 30代 (n=33) | 40代 (n=60) | 50代 (n=79) | 60代 (n=78) | 70代以上 (n=158) | 未回答 (n=2) |
|-----------|---------------|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 3.5% | 9.1% | 9.1% | 3.3% | 1.3% | 2.6% | 3.2% | 0.0% |
| 週に数回以上 | 8.6% | 9.1% | 9.1% | 3.3% | 1.3% | 6.4% | 15.2% | 0.0% |
| 週に1回程度 | 11.6% | 0.0% | 12.1% | 8.3% | 7.6% | 12.8% | 15.2% | 50.0% |
| 月に1回程度 | 17.4% | 9.1% | 18.2% | 23.3% | 16.5% | 24.4% | 12.7% | 50.0% |
| ほぼ利用していない | 57.6% | 72.7% | 51.5% | 61.7% | 72.2% | 52.6% | 51.3% | 0.0% |
| 未回答 | 1.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.3% | 1.3% | 2.5% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 113 【居住地域別】自転車の利用頻度

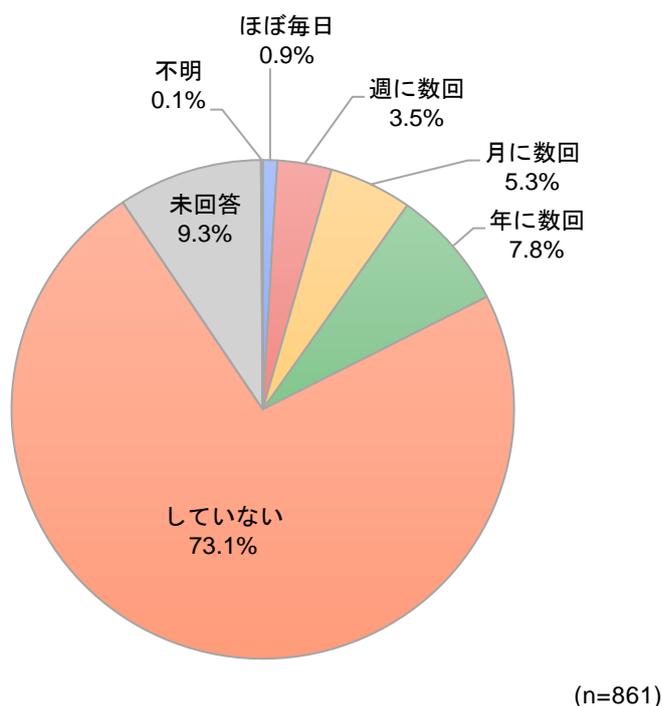
| | 全体 (n=432) | 豊科 (n=149) | 穂高 (n=141) | 三郷 (n=77) | 堀金 (n=42) | 明科 (n=23) |
|-----------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 3.5% | 4.7% | 2.1% | 1.3% | 7.1% | 4.3% |
| 週に数回以上 | 8.6% | 10.7% | 7.1% | 9.1% | 7.1% | 4.3% |
| 週に1回程度 | 11.6% | 10.7% | 11.3% | 13.0% | 11.9% | 13.0% |
| 月に1回程度 | 17.4% | 17.4% | 14.2% | 23.4% | 19.0% | 13.0% |
| ほぼ利用していない | 57.6% | 56.4% | 63.1% | 53.2% | 54.8% | 52.2% |
| 未回答 | 1.4% | 0.0% | 2.1% | 0.0% | 0.0% | 13.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

問 14. あなたは、健康増進や趣味のためにサイクリングをすることはありますか。ある場合、どれほどの頻度で行いますか。(健康志向からの自転車通勤、買物等での自転車の積極的な利用なども含みます。)
(1つに○)

「していない」(73.1%) が最も高く、次いで「年に数回」(7.8%)、「月に数回」(5.3%) の順となった。

年代別では、「ほぼ毎日」は30代(4.0%) で高かった。「年に数回」は40代(15.2%) で高く、70代以上(4.4%) で低かった。

図表 114 サイクリングの頻度



図表 115 【年代別】サイクリングの頻度

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 0.9% | 2.2% | 4.0% | 1.0% | 1.4% | 0.0% | 0.3% | 0.0% |
| 週に数回 | 3.5% | 4.3% | 5.3% | 1.0% | 0.7% | 4.7% | 4.4% | 0.0% |
| 月に数回 | 5.3% | 4.3% | 4.0% | 7.6% | 7.0% | 4.1% | 5.0% | 0.0% |
| 年に数回 | 7.8% | 8.7% | 9.3% | 15.2% | 8.4% | 7.6% | 4.4% | 33.3% |
| していない | 73.1% | 78.3% | 69.3% | 72.4% | 79.0% | 75.3% | 69.6% | 66.7% |
| 未回答 | 9.3% | 2.2% | 8.0% | 2.9% | 3.5% | 7.6% | 16.3% | 0.0% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% | 0.0% | 0.0% |

図表 116 【居住地域別】サイクリングの頻度

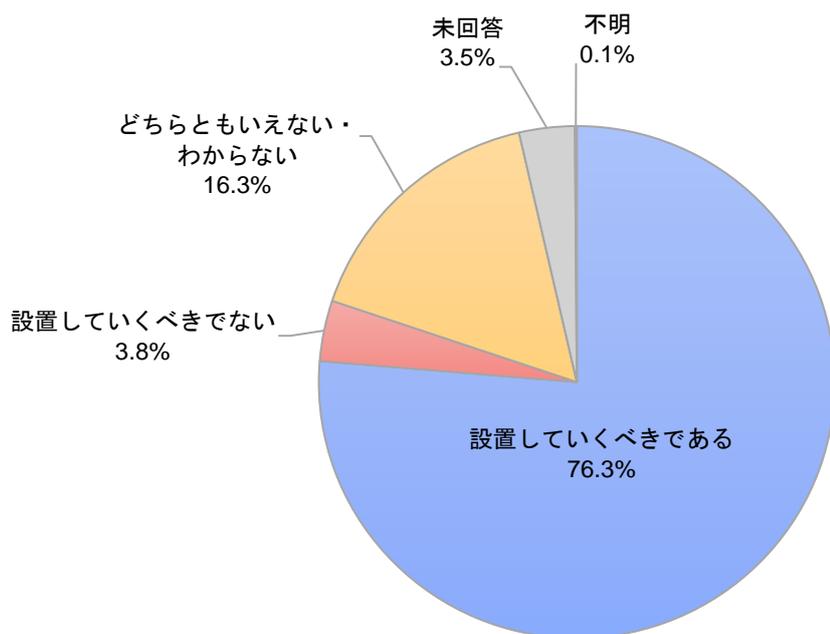
| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| ほぼ毎日 | 0.9% | 2.4% | 0.0% | 0.6% | 1.4% | 0.0% |
| 週に数回 | 3.5% | 5.2% | 3.0% | 2.4% | 4.1% | 1.5% |
| 月に数回 | 5.3% | 7.7% | 3.6% | 5.3% | 5.4% | 4.5% |
| 年に数回 | 7.8% | 8.9% | 6.3% | 11.2% | 6.8% | 3.0% |
| していない | 73.1% | 68.1% | 77.3% | 73.4% | 71.6% | 72.7% |
| 未回答 | 9.3% | 7.7% | 9.9% | 7.1% | 9.5% | 18.2% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.4% | 0.0% |

(8) 防災・防犯について

問 15. 安全・安心なまちづくりのため、今後、通学路や公園、駅周辺等公共空間への防犯カメラの設置をしていくべきだと思いますか。(1つに○)

「設置していくべきである」(76.3%)が最も高く、次いで「どちらともいえない・わからない」(16.3%)、「設置していくべきでない」(3.8%)の順となった。

図表 117 公共空間への防犯カメラの設置



(n=861)

図表 118 【年代別】公共空間への防犯カメラの設置

| | 全体 (n=861) | 18~29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-----------------|---------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 設置していくべきである | 76.3% | 67.4% | 76.0% | 75.2% | 75.5% | 75.9% | 78.4% | 100.0% |
| 設置していくべきでない | 3.8% | 6.5% | 1.3% | 7.6% | 4.2% | 4.1% | 2.5% | 0.0% |
| どちらともいえない・わからない | 16.3% | 26.1% | 22.7% | 15.2% | 18.2% | 16.5% | 12.9% | 0.0% |
| 未回答 | 3.5% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 2.1% | 3.5% | 6.3% | 0.0% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 119 【居住地域別】公共空間への防犯カメラの設置

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 設置していくべきである | 76.3% | 76.6% | 76.0% | 75.1% | 74.3% | 81.8% |
| 設置していくべきでない | 3.8% | 2.0% | 4.6% | 4.7% | 4.1% | 4.5% |
| どちらともいえない・わからない | 16.3% | 17.3% | 16.4% | 17.8% | 14.9% | 9.1% |
| 未回答 | 3.5% | 4.0% | 3.0% | 2.4% | 5.4% | 4.5% |
| 不明 | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.4% | 0.0% |

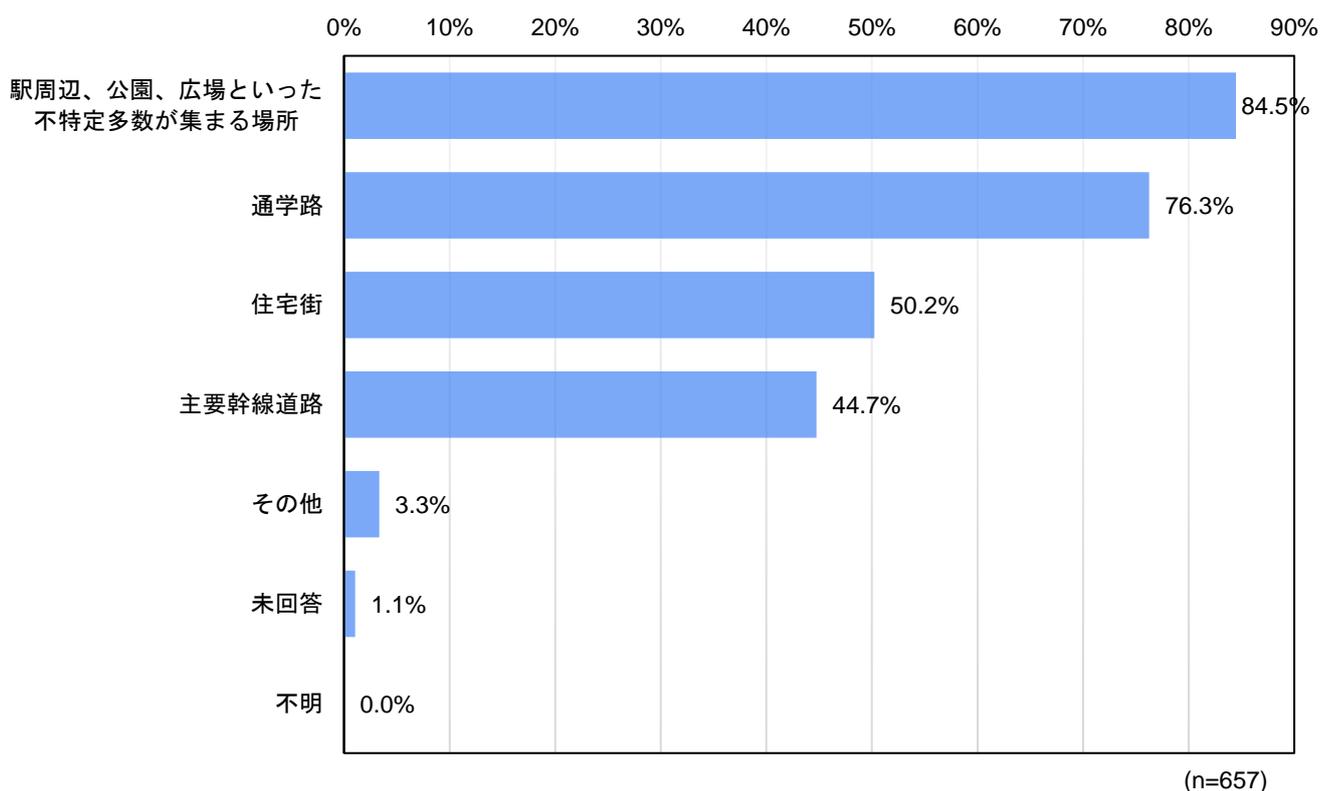
問 15 で「1. 設置していくべきである」と回答した方のみご回答ください。

(1) 具体的に防犯カメラを設置すべき公共空間はどこですか。(〇はいくつでも)

防犯カメラを「設置していくべきである」と回答した方に聞いたところ、「駅周辺、公園、広場といった不特定多数が集まる場所」(84.5%)が最も高く、次いで「通学路」(76.3%)、「住宅街」(50.2%)の順となった。

年代別では、30代～50代で「住宅街」より「主要幹線道路」の方が高くなった。

図表 120 防犯カメラを設置すべき公共空間



図表 121 【年代別】防犯カメラを設置すべき公共空間

| | 全体 (n=657) | 18～29歳 (n=31) | 30代 (n=57) | 40代 (n=79) | 50代 (n=108) | 60代 (n=129) | 70代以上 (n=250) | 未回答 (n=3) |
|--------------------------|---------------|------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 駅周辺、公園、広場といった不特定多数が集まる場所 | 84.5% | 83.9% | 89.5% | 88.6% | 88.0% | 79.8% | 82.8% | 100.0% |
| 通学路 | 76.3% | 80.6% | 78.9% | 82.3% | 84.3% | 77.5% | 68.8% | 100.0% |
| 住宅街 | 50.2% | 58.1% | 43.9% | 35.4% | 51.9% | 58.1% | 50.8% | 33.3% |
| 主要幹線道路 | 44.7% | 32.3% | 45.6% | 44.3% | 53.7% | 43.4% | 42.4% | 100.0% |
| その他 | 3.3% | 3.2% | 1.8% | 6.3% | 1.9% | 5.4% | 2.0% | 33.3% |
| 未回答 | 1.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.8% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 122 【居住地域別】防犯カメラを設置すべき公共空間

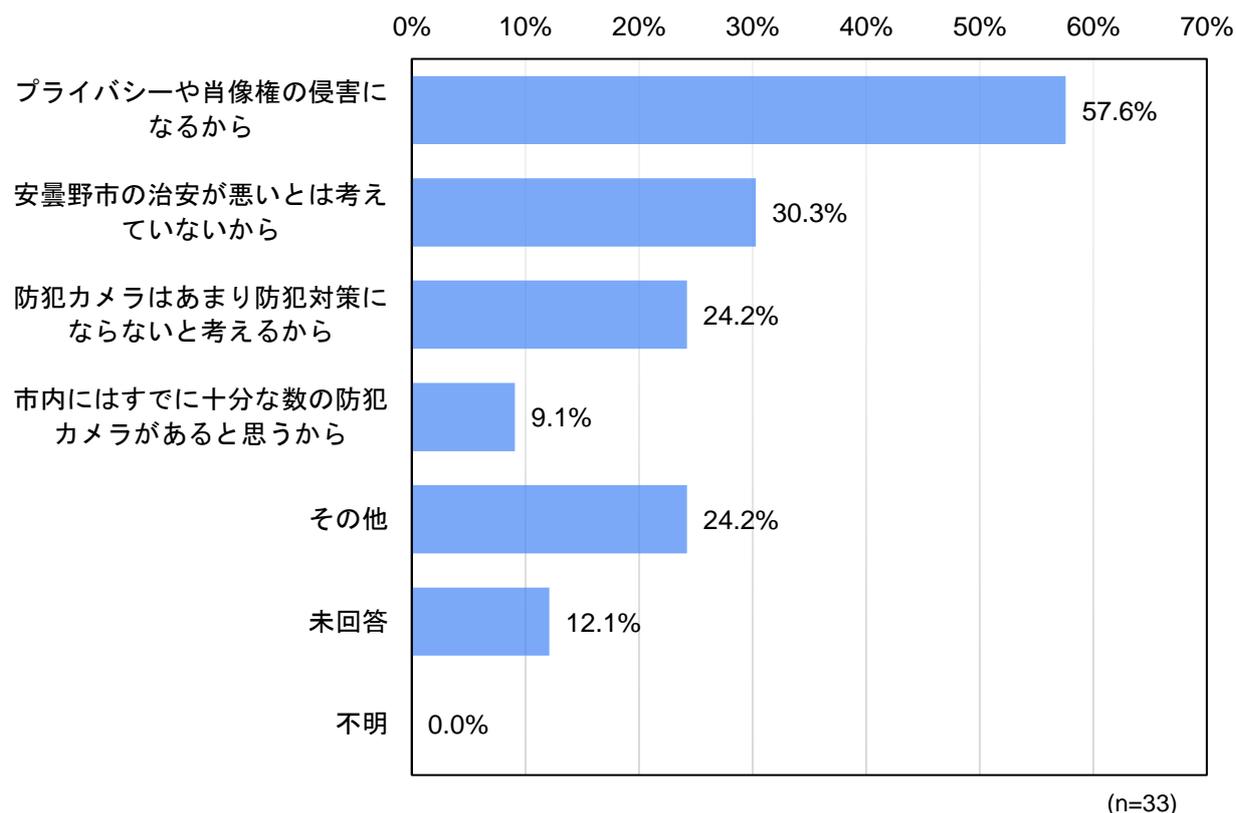
| | 全体 (n=657) | 豊科 (n=190) | 穂高 (n=231) | 三郷 (n=127) | 堀金 (n=55) | 明科 (n=54) |
|--------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 駅周辺、公園、広場といった不特定多数が集まる場所 | 84.5% | 83.7% | 82.3% | 89.0% | 80.0% | 90.7% |
| 通学路 | 76.3% | 75.8% | 75.8% | 76.4% | 83.6% | 72.2% |
| 住宅街 | 50.2% | 45.8% | 53.7% | 55.1% | 50.9% | 38.9% |
| 主要幹線道路 | 44.7% | 43.2% | 45.9% | 45.7% | 40.0% | 48.1% |
| その他 | 3.3% | 3.2% | 3.5% | 3.9% | 3.6% | 1.9% |
| 未回答 | 1.1% | 1.6% | 0.4% | 0.8% | 1.8% | 1.9% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

問 15 で「2. 設置していくべきでない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 設置すべきでない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

防犯カメラを「設置していくべきでない」と回答した方に聞いたところ、「プライバシーや肖像権の侵害になるから」(57.6%) が最も高く、次いで「安曇野市の治安が悪いとは考えていないから」(30.3%)、「防犯カメラはあまり防犯対策にならないと考えるから」(24.2%) の順となった。

図表 123 防犯カメラを設置すべきでない理由



図表 124 【年代別】防犯カメラを設置すべきでない理由

| | 全体 (n=33) | 18~29歳 (n=3) | 30代 (n=1) | 40代 (n=8) | 50代 (n=6) | 60代 (n=7) | 70代以上 (n=8) | 未回答 (n=0) |
|---------------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| プライバシーや肖像権の侵害になるから | 57.6% | 66.7% | 100.0% | 50.0% | 50.0% | 85.7% | 37.5% | 0.0% |
| 安曇野市の治安が悪いとは考えていないから | 30.3% | 33.3% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 42.9% | 25.0% | 0.0% |
| 防犯カメラはあまり防犯対策にならないと考えるから | 24.2% | 33.3% | 100.0% | 25.0% | 16.7% | 14.3% | 25.0% | 0.0% |
| 市内にはすでに十分な数の防犯カメラがあると思うから | 9.1% | 0.0% | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | 0.0% |
| その他 | 24.2% | 66.7% | 100.0% | 25.0% | 33.3% | 14.3% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 12.1% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | 37.5% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 125 【居住地域別】防犯カメラを設置すべきでない理由

| | 全体 (n=33) | 豊科 (n=5) | 穂高 (n=14) | 三郷 (n=8) | 堀金 (n=3) | 明科 (n=3) |
|---------------------------|-----------|----------|-----------|----------|----------|----------|
| プライバシーや肖像権の侵害になるから | 57.6% | 40.0% | 57.1% | 62.5% | 100.0% | 33.3% |
| 安曇野市の治安が悪いとは考えていないから | 30.3% | 0.0% | 28.6% | 62.5% | 33.3% | 0.0% |
| 防犯カメラはあまり防犯対策にならないと考えるから | 24.2% | 40.0% | 21.4% | 0.0% | 33.3% | 66.7% |
| 市内にはすでに十分な数の防犯カメラがあると思うから | 9.1% | 0.0% | 14.3% | 12.5% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 24.2% | 40.0% | 21.4% | 0.0% | 66.7% | 33.3% |
| 未回答 | 12.1% | 0.0% | 21.4% | 12.5% | 0.0% | 0.0% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(13) 地域ブランドについて

問 16. 小説『安曇野』を知っていますか。(1つに○)

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の白井吉見氏です。

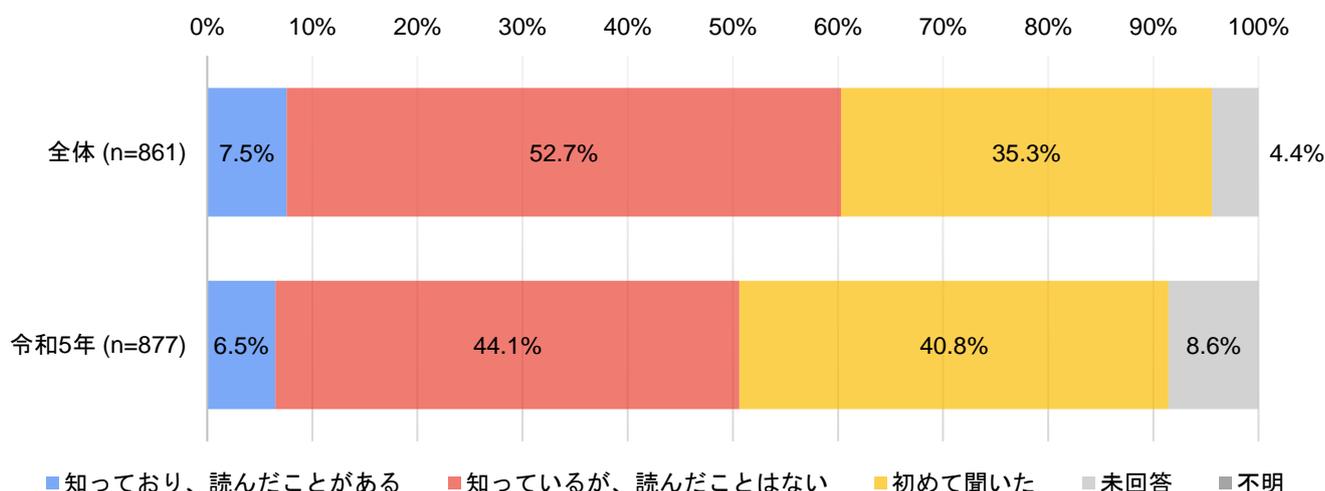
「知っているが、読んだことはない(52.7%)」が最も高く、次いで「初めて聞いた」(35.3%)、「知っており、読んだことがある」(7.5%)の順となった。

年代別では、「知っているが、読んだことはない」は年代順で高くなっているが、「知っており、読んだことがある」は70代、60代、18～29歳の順となった。

過去調査(令和5年)と比較すると、「知っているが、読んだことはない」は44.1%から8.6ポイント増加し、52.7%となった。

居住地域別では、堀金において「知っており、読んだことがある」(12.2%)で高かった。

図表 126 小説『安曇野』の認知度



図表 127 【年代別】小説『安曇野』の認知度

| | 全体 (n=861) | 18～29歳 (n=46) | 30代 (n=75) | 40代 (n=105) | 50代 (n=143) | 60代 (n=170) | 70代以上 (n=319) | 未回答 (n=3) |
|-----------------|------------|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-----------|
| 知っており、読んだことがある | 7.5% | 4.3% | 0.0% | 1.0% | 0.7% | 5.3% | 16.3% | 0.0% |
| 知っているが、読んだことはない | 52.7% | 15.2% | 37.3% | 48.6% | 49.0% | 58.2% | 62.1% | 33.3% |
| 初めて聞いた | 35.3% | 80.4% | 61.3% | 48.6% | 49.7% | 32.4% | 13.5% | 33.3% |
| 未回答 | 4.4% | 0.0% | 1.3% | 1.9% | 0.7% | 4.1% | 8.2% | 33.3% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

図表 128 【居住地域別】小説『安曇野』の認知度

| | 全体 (n=861) | 豊科 (n=248) | 穂高 (n=304) | 三郷 (n=169) | 堀金 (n=74) | 明科 (n=66) |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 知っており、読んだことがある | 7.5% | 8.5% | 6.9% | 5.3% | 12.2% | 7.6% |
| 知っているが、読んだことはない | 52.7% | 49.6% | 55.9% | 49.1% | 56.8% | 54.5% |
| 初めて聞いた | 35.3% | 37.1% | 32.2% | 43.2% | 25.7% | 33.3% |
| 未回答 | 4.4% | 4.8% | 4.9% | 2.4% | 5.4% | 4.5% |
| 不明 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

その他

問 16. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

【自然環境】

〈自然環境の保全〉

- 水資源を守ってほしいと思っています。
- 山森、関連施設の補助金を検討いただかないと、山森は崩壊します。
- 自然環境改善の柱に「山林」の有効活用がほしい。
- 除草剤の使用の制限など、自然に影響がありそうな事に対する条例づくりを進めてほしい。小動物、昆虫などが減っている原因だと思う。
- 自然が何よりの魅力の安曇野ですが、りんご畑には草もなく、量販店にも根まで枯らすような強い除草剤が並び、強力な殺虫剤が野放しにされています。地下水は汚染され、下流の地域を思いやり、日本の屋根から環境を守ることを真剣に取り組んでいただきたいと思っています。

東北のりんご狩りの風景は草が緑に茂り、その上でシートを敷いて、子どもたちがたわむれてました。除草剤は蓄積していきますので、案じております。

大地を傷ますより、大地を元気にする政策を一刻も早くお願いします。人も同じです。

ちなみに環境にやさしい習慣やアイデアを取り上げ広報で紹介していったらいかがでしょうか。一人でもまねしていったら地球にやさしい行動が習慣化します。

〈生活環境〉

- 農家の何か燃やしている煙の量が、異常なほど多いことがあり、子どもたちが遊べない状況のことがあります。燃やす物、燃やし方の指導をお願いしたいです。
水や景色がきれい、市役所の方も親切（都市は怖い）、いい所もたくさんあります。協力できること、環境に心がけた生活を将来のために私たちも努力していきたいと思っています。大変なお仕事と思いますが、頑張ってください。
- 野焼きの臭いがひどいので、対策をお願いします。
- とにかく、農業の方でも野焼きを厳禁にしてほしい。
個人で落ち葉とごみを燃やす方を知っています。
- 敷地内での、木や草などの焼却を規制してほしい。日曜日の朝から焼かれると洗濯物も干せない。
- 家の敷地の隣に畑があり、野焼きをされることがあるので、煙が家の中にも入ってくるので困っています。
- 家でごみを燃やす人がまだいるので徹底してほしいです。
- 焼却ごみ削減=田畑で家庭ごみの野焼き、をどうにかしてください。夜間と役所が休業の日にはダントツ多いのです。豊科より穂高は本当に家庭ごみの野焼きが多い。
- 三郷温地区ですが、気候が暖かくなるにつれて、朝、夕のふん尿の臭いで窓が開放できない時間帯があり、エアコン等の使用が多くなり、電気代等が多くなり出費に影響がある。

〈野生鳥獣被害対策〉

- サル対策にしっかり、取り組んでいただきたい。共存も含めて。

- サルがよく出る。追い払い隊を見かけるが全くといってサルはいなくならない。むしろ多い。クマが出て前のように広報車も回って注意しに来なくなった。どうしてでしょうか。
- イノシシ、シカの駆除に力を入れてほしい。
- 野生動物との共存と対策のあり方。サルの出没が目立ち安全に生活できるか心配。
- サル対策においては、サル追い払い隊がありますが、被害が起きた後に来たり、サルを見つけれなかったり、空振りの様子を見たりするのがっかりとします。また、その人たちは、お金を支払っていると効果のない仕事に矛盾も感じます。(頑張っている人もいるかも知れませんが)
野菜などを作っても「それは好きで作っているんでしょう」などと言われると、役場の立場としては寄り添う気持ちがないのを感じました。もっとあたたかい安曇野を望みます。
- サルに農作物を荒らされるのが悲しいです。

〈自然エネルギーの普及〉

- 太陽光発電をはじめとした自然エネルギーについて言及がなされていましたが、最近では太陽光パネルの設置など、自然エネルギーの普及は間違いなく進展していると感じていますが、その方法に問題があると考えます。安曇野市以外でも問題化している事ではありますが、太陽光発電用のパネルを建設するために農地や二次林で乱開発が行われてしまっているケースが急増しています。本当に SDGs やカーボンニュートラルに向けて取り組むのであれば、このようなケースは逆効果にもなりかねない由々しき事態だと思います。このような事態を抑制していくために、乱開発防止のための条例の策定など(既に行われている場合は申し訳ありません。)を早急に進めていただきたいと思います。
- 太陽光発電等の安易な開発、拡大を許さないでほしい。
- 太陽光発電は屋根にのせると、事業を行っている所は収益事業になり、課税対象となる。東日本大震災の後エコと思い設置したが、年数により買取り額が下がり、太陽光パネルの経年劣化など悪循環。また、空き地に太陽光パネルが多数設置されているさまは、誰がやっているのでしょうか? 「太陽光発電などの自然エネルギーが普及している」という質問の「太陽光発電などの」はいらなくと思う。エコを考えるなら他の方法を考えた方が良く思う。エコを考えてのせた人が損をするようではエコどころではない。やめた方が良く。
- 太陽光パネルの設置は問題があり、特に大規模なものは禁止すべきと思います。
- 小水力発電の普及を広げてほしい。

〈ごみの減量〉

- ごみステーションに落ち葉や草が焼却ごみとして出されているけれど、コンポスター等でできるだけ各自庭の一角に置くなどすれば、ごみは随分減ると思うのですが、どうでしょうか。
- プラごみを分別して出しているが再生処理できず多くは燃やされていると聞くが、分別しながらいつも疑問に思っている。使用済み食用油の回収を身近な所にあると良い。
- 環境。生ごみの循環として生ごみ収集。

家庭からの生ごみを液体肥料化。農業の安定化を進めることができると考えます。

- ごみの分別はそこまでやる必要があるのか。
- 商売の方の事業ごみを有料にしたほうがいいのでは。

〈その他〉

- 地球温暖化対策やプラスチックごみの細分解による空気、水の汚れ等環境問題にも力を入れてもらいたいと思います。

【医療・福祉・人権】

〈健康づくり〉

- 子宮頸がんの無料の検査を安曇野市以外の産院でも受けられるようにしてほしい。市外で二人産んでいるので、そういう人は特例でも良いのでしてほしい。
- 健康診断が無料や格安にできるなら是非受けたい。
子どものインフルエンザなどの予防接種をワンコインでどの病院でも受けられるようになったらうれしい。
- 最近、テレビなどでも取り沙汰されているが、帯状疱疹ワクチンをもっと気軽にできる価格の補助を市でしてほしい。

〈地域福祉〉

- 高齢の母と同居しています。昼間は一人です。何かケアマネさん等に相談しても、デイサービスを利用することしかアドバイスしてくれませんが、誰もがそれを望んでいるわけではないと思います（苦手な老人もいる）。そのために地域（区の社協の役員さんとか隣組のコミュニケーション等）でできることも考えていただけるといいと思います。
安曇野市の中でもいろいろな地区、町内会、自治会があると思いますが、私のところは高い区費だけ徴収されているだけで「皆で支え合い助け合う」という印象は全くありません。いざという時の防災や福祉については不安です。良い関係づくりが築けているところの成功例を、区長さん同士が共有して、形だけでないものにしてほしいです。

〈医療体制〉

- 女性専門外来（診療所）を希望。
- 眼科が少ないので増やしてほしい。
- 医療に至っては、医師高齢化が進み閉院するところが増えると思われる。地域医療の見直しをお願いいたします。
- 大きな病院（クリニックではなく）が近いのですが、選定療養費が不要で受診しやすいはずの病院の小児科が「ネットで予約以外は受け付けない」というスタンスで、急に具合が悪くなった時に診てもらえないのがとても不満に思います。松本市であればとても柔軟に対応してくれるので、今は松本市に受診しに行っている状況です。
- 医療費が高い。診察でお金、薬局でまたお金、少々の不調でも我慢してしまう。月1回の定期的な主治医の通院は大変お金がかかる。
- 後期高齢者につき医療費控除
- 子どもの医療費の無償化を進めてほしい。
- 他の市では医療費（子ども）が無料なので安曇野市も無料にしていきたい。

〈障がい者福祉〉

- 現在就職活動中の身だが精神・身体障がい者に対する就職支援対策などを積極的に行ってほしい。現在松本市にある就労移行支援団体に通所をしているが、市内でそういった取り組みが増えれば良いのにと常々思っているところだ。
- 障がいがあり働けない所得のない者に対しての入院した際の制度を、改善していただきたいです。
- 身体障がい者、特に視覚障がい者等への支援が少ないように思います。高齢者福祉は十分なのに。もし自分だったらという思い、考えが昔の「道徳」から学べるのが少なくなったからでしょうか。
- 障がい者が就職しても雇用先での理解は全く得られない。雇用募集が少なすぎる。役所での手続き等、複雑すぎて理解できない。受けれるはずの制度も質問しなければ案内もされない。障がい者の生きづらさはなくならないまま。

〈高齢者福祉〉

- 96歳の義母の介護をして改めて介護職員の大変さを知りました。給料も安いと聞きます。もっと考えてほしいです。市としても高齢者が自由に行って運動したり、ゲームをしたり歌をうたったりできるような場所があったら健康寿命が延びると思います。
- 老人ホームが少ない。子どもが親の介護している場合、自宅での介護が難しくなっても、なかなか施設に入れない。親を施設に入れた場合も入所費用が高額で、子どもは年金暮らし、親の年金も少なく、子どもの負担が大きく生活が大変である。
- 老人施設になかなか入所できないので改善してほしい。
- 子育て支援だけでなく、高齢者にも充実した支援、対策をしてほしい（年金生活者）。公共入浴施設などの無料券を配布してほしい。

〈生活困窮者支援〉

- 高齢者及び生活困窮者に補助、給付を増やしていただきたい。
- ひとり親家庭など、本当に困っている人たちのサポートが足りない。生活に追われ相談にも行けないので、お役所仕事でなく、しっかりサポートしてください。
- 母子家庭への支援の充実を希望します。
- 会社の給料が減ってしまって生活にすごく困っていて、相談に行っても全然協力的ではなかった。生活が苦しいのに話しても意味なかった。
給付金が欲しいです。アパートの家賃が高くて生活が困っているので、1000円くらいからでいいので補助金下さい。水道料金も高いので下げてほしいです。生活の経済的補助が欲しいので、補助金出してほしいです。（本当に困っているので補助金出してください）

〈その他〉

- 生活に対する相談が気軽にできることを教えてほしい。
- 介護・福祉の人材育成と確保が必要。
- 障がい児、障がい者、老人の介護職に付いている方々の質を向上させるためにも、賃金アップ希望します。（本当にひどい介護です。人手不足からなのか、声に出して訴えることができない弱者に対してあまりにもひどすぎる現場が実際あります。）

ケアマネジャーの向上も希望します。

【子育て支援】

〈出産・子育て〉

- 夏に子どもが遊べる場所が必要。
- 子どもが室内で遊べる場所を増やしてほしい。温暖化により夏場など公園で遊べません。他市町村には魅力的な子どもの室内遊び場があります。おもいきり体を動かせる室内の遊び場を作ってください。
- 子どもの遊べる場所や施設を増やしてほしい。
- 公園の遊具を増やしたり、日曜日でも行ける児童館などを作ってほしい。
- 児童館と児童センター、両方運営してほしい。
- 豊科南小の児童クラブが6年生までの利用について、早期の実現を願います。今の現状でできるようにしてほしいです。学校の空き教室利用など。児童クラブを利用できない地域に住んでいて、不公平を感じます。
- 働く親の子どもたちを児童館に預けるにあたって、祖父母がいるとその書類も提出しなければならず、働く親の気持ちを考えてほしいと思います。安心して預けられる環境を整えてほしいと思います。
- 子どもが小さいので、よく公園や児童館を利用します。公園は、駐車場が付いている所が多く、休みの日に車で家から離れた公園にも遊びに行けるのでとても助かっています。市内には児童館、図書館も多く、子ども用トイレがあったり、授乳室があったり、子どもを育てるのにすごく最適な環境だと思います。ただ、子どもが高校、大学と進学すると、安曇野から通える場所に学べる場（特に大学）が少ないので、将来的に子どもを一人暮らしさせるか、家族で県外に出るか、と考えてしまうので、安曇野市内に家を建てて住み続けることに迷ってしまうところがあります。
- 就園前の子どもを育てている親たちが、気軽に子どもを預けられる場所がもっとあればよいと思う。
- 自分の娘が子どもを保育園に預けるのになかなか入れず、仕事に復帰することができず困っている。もっとすんなり子どもを預かっていただけるよう、体制を整えてほしい。
- 保育園について。きょうだい関係のある家庭は、同じ園に入園させてほしい。上の子が現在通園中で、今春下の子どもも同園に申し込んだが、落選してしまった。職場が市内で近ければまだいいが、塩尻市までの通勤になるので朝も早いのに、2園へ送るのがとても大変です。特に未満児で仕事復帰を控えている人には、かなりの負担です。
- 保育園在園中に妊娠出産した場合に、職場復帰が半年後に控えていても保育園を一回退所して再度入園手続きをしないと聞いたが、その部分の対象事項の緩和をしてほしい。共働きがメインなので。
- 未満児の保育料高いので、それが理由で松本に引っ越します。
- 保育料を無料とまでいかななくても少しの補助が市から出るととても助かる。今の時代物価も高く夫婦共に働かないと子どもの今後の資金をためることができない。しかし二人で働くと世帯年収が増えてしまうため保育料が高くなってしまい、十分に資金だめが行

えていないのが現状。収入が増えても税金が高くなるため「税金が高い」、「保育料が高い」というダブルで取られる額が増えている。世帯年収ではなく働いている人の数で金額が変わるといふなら納得がいく（年収が高すぎる世帯は別だが）。

例) 夫一人が働いている→2万円、夫婦で働いている→4万円みたいな感じで。

子どもにかかるお金が減らないと少子高齢化は良くなれないと思う。今のままでは習い事や部活をやらせてあげられない。大学へ行きたいと言っても行かせられないとなってしまうため、少しの改善でも良いので取り組んでいただきたい。よろしくお願ひします。

- 子の医療受給負担の無料化は大変有り難いが、不必要な受診による無駄遣いの防止策はあるのでしょうか。それよりも、未満児の保育料の更なる軽減に力を入れてほしい。サポートのない核家族での子育てが充実できない。十分な仕事を割けず、保育料が高く、仕事を辞めざるを得なくなってしまう。

赤ちゃんの体重測定などに保健センターの予約が必要なのはなぜですか？今相談したい事を、タイミングよく相談できるべきです。松本や塩尻はいつでも相談できるようです。

- 給食を無料にしてほしい。
- 私立高校授業料無償化の公立高校潰しの本末転倒の政策もありますが、安曇野市では給食の無償化を是非実現していただきたいと思ひます。
- 給食費（学校）が無料になるのは良いことだと思ひますが、内容を充実してほしい。
- 給食費無償化など手厚い子育て支援を願っています。
- 学校給食の無償化。学校用品の購入に補助金を（クーポン等）出してほしい。
- 合計特殊出生率がどんどん減っている。子どもが育ちやすいような補助金を考えてほしい。
- 子育て支援額を増やしてもらえたらうれしいです。子育て支援は未来への投資であり何よりも重視すべき政策だと考えています。
- 子育て支援。物価高により、赤ちゃんにミルクを薄めて飲ませる報道があります。子ども一人に対して2年分の粉ミルクを現物支給、又は現金給付（紙おむつも同様に）。将来を担う子どもたちを支援することで社会へと貢献すると思ひます。
- ごみ袋の値段が年々高くなっている気がします。子育て世帯にとってはおむつ等でごみの量が多いことがあります。子どもがある程度の年齢に達するまでは何割か安い値段での販売等の検討をお願いしたいです。
- 子どもへの支援をもうちょっと手厚くしてほしい。出産したらごみ袋をもらえるのはうれしいが、ほかにもあれば良いなと思ひます。
- 安曇野は住みやすく好きですが、年金世帯やお年寄りへの支援ばかりに力が入っていて、子育て世帯への支援が足りていません。生活費が足りないのは、お年寄りではなく、子育て世帯や若い世帯だと思ひます。サービス業をしていて、高いランチを食べに来るのは60代以上がとても多く感じます。本当に必要なところへの支援をお願いしたいです。
- 生き残りをかけて今後をどう見据えていくのか、安曇野市も他人事ではないはずですが。ポイントは子育てしやすい地域であることではないでしょうか。議会での論点は議員の

住んでいる地域を守るための話題や、高齢者や昔ながらの文化を守るための話題が多い印象です。

人が増えないなら労働力を確保しないといけません。特に子育て世帯への支援は大切です（明石市などをみても）。安曇野市はそこが手薄だと思います。障がい者への支援もです。

この調査も、健康とか食品ロスとか市政の方向について意識を聞いているものだと思いますが、子育てに関することや今後の市のあり方（労働者や財源など）についてほとんど聞かれないのか。考えられてないからでないでしょうか？と不安になります。

- 母子の育成への切れ目ない支援が少し遅れている気がします。
- これからの時代、もっともっと少子化が進む中、国はどうであれ、市はもっと子どもに手厚い環境をつくってほしい。
- 自然保育園ステキで移住してきたが、農薬や食べ物の取り組みがなされていないように感じます。
- 私立の幼稚園もあった方がいい。移住者のお母さん方皆さん物足りないと言われてます。
- 子どもが自然の中で自由に遊べる環境づくりを望む。
- 子育て支援の充実をお願いしたいです。物価高が続く中、働きながら子どもを育てていくことはとても大変なことです。少子化が進む中、とても重要となることだと思います。また、難病を抱える子、その親への支援を充実させていただきたいです。重度の難病は支援され、発達障がいの子もたちへの支援もされますが、重度でない難病指定されている家庭への支援は全くありません。仕事が制限されたり医療費や生活費の負担は大きいです。ご検討ください。
- 共働きでの子育て支援の充実。PTAでの仕事量減らす又は廃止など。
- PTA 活動について。働くママがほとんどなので、ただ負担になるだけなので保育園のPTAもやめてほしい。
- 子育て支援の環境が変わりつつあるが、子のいる共働き世帯の母方の労働時間帯や急な用件による休みの取得など、法や条例で整備することが難しい事案などを、各企業と課題としてもう一步踏み込んだ取り組みを進め、心労等の負担軽減にも配慮した子育てしやすい安曇野市づくりを構築してほしい。
- 子育てがしやすい地域になってほしい。
- 子育てについて、結婚、妊娠する前の段階から必要では？

【スポーツ】

〈スポーツ環境〉

- メインのスポーツ施設がない。他の市町村に比べ貧弱である。
- 人工芝のサッカー場を造ってほしい。
- 安曇野ハーフマラソンなどスポーツも盛んでよいので、この市の規模で陸上競技場がないのは不思議です。是非 ANC アリーナ周辺に造ってください。
- 誰もが気軽に利用できるスポーツ施設を造ってほしい（テニス、バスケ、ボルダリング、

スケートボード、アスレチック etc.予約なしでいろいろ楽しめる場所)。

- 子どもが雨の日でも、夜間（18時～20時）でも運動できる場所が少なすぎる。せっかく山があるんだからボルダリング施設も造るべき。
- ウォーキングコースの整備拡充を。
- 安曇野市には個人経営のプールしかなく1年のうち3分の1は休館であり、プールの水も不衛生です。市営のプールができたなら競争相手もでき今のような経営は不可かと思えます。この後高齢者が増え、高齢者の医療費の削減のためにも造ってほしい。
- 自宅周辺は田や畑があり環境は良いのですが、子どもたちが野球をしたり、サッカーをしたりする場所がありません。近年、安曇野市はプールを廃止したり、大きな体育館を造ったりしていますが、水や空気がきれいな安曇野市で子どもたちがのびのび身体を動かせる場所が各所にあってほしいと思います。
- あづみ野ランドのスタジオでラーラ松本のように、エアロビクスなどのレッスンをしてほしいです。
- 市内にはテニスコートがたくさんあるが、老人になるとマイペースで壁打ちをやりたい。しかし、全てのテニスコートには壁打ちエリアがない(昔はピフの所に一つだけあった)。一人でボールは打てないのでしょうか。グラウンドの隅でも良いのでフェンスに板を貼るだけでも良い。
- 小学校の子どもに運動をさせたくて、スポ少への参加を検討しています。たくさんの活動があり、興味のあるものもいくつかあるのですが、子どもが一番興味のあるバドミントンの団体の活動時間が、午後7時～9時半です。早寝早起きが大切な子ども時代なので、参加をためらっています。午後5時～6時半くらいだと、無理なく参加できるのですが、残念に思っています。
- アンケートに自転車の利用率の向上への取り組みの項目がありました。市街地で自転車で買い物できる店まで行ける方には、自転車を利用してもらえば良いかと思いますが、大半の市民は自動車を使った方が、安全な移動ができると思います。JRの駅や、会社への通勤での利用も距離が限定されると思います。可能な方には取り組んでもらえると良いと思いますが。

〈アウトドア環境〉

- かじかの里キャンプ場を通年で利用できるようにしてほしい。
- キャンプやBBQエリアを増やしてほしい。山奥でなく、町の近くに作ってほしい（松本のスポーツ公園、梓水苑など）。
- 市が自転車利用などアウトドアを盛んにすることに尽力していることは、うれしく思います。山や川、私も長峰山や光城山に登ったり、ラフティングを体験しましたが、より安曇野が好きになりましたし、地形などを体感することができました。是非、多くの人に体験してほしいと感じました。自然に親しむと、自然を大切にしたいという気持ちが芽生えます。市内の小学生にラフティングを体験してもらったりというのもいいなあと思います。

【教育・学習】

〈学校教育の充実〉

- 教育。子どもは国の宝。
学校環境にもっと目を向けてほしい。学業内容、部活動、PTA、ゲーム、通学、健康（交通事故）etc.
教育のあり方（学業内容）。子ども誰もが自主性、心豊かで人間味のある人に育って社会に出る。
- 小中学校の給食費の無料化を（憲法で義務教育は無償とある。給食も教育の一環）。
- 現在の小中学校の教員の多忙化は著しく、教員増を図り、授業の充実を進めてほしい。現在の学校教育では、授業がわからず苦しい学校生活を送っている小中学生が数多くいる。遅れのある児童生徒を回復する専門教員を置き、全員が授業についていける環境をつくってください。競争させて学力を伸ばす方法を取る限り、いじめは学校現場からなくならない。
- 子どもが進学するにつれてお金がかかるので、小・中学校はなるべく費用を抑えるようにお願いします。学校の一クラス30人未満になるようにしてほしい。
- 小学校の設備の古さが不満です。小学校の先生の人数の少なさや、質に問題を感じます。学力の低下を感じます（宿題の少なさや、やらない子どもへの親の対応も問題ですが、学校での指導も問題がある気がします）。
- 小中学校の支援級クラスがどんどん増えている印象。教員の教育の機会を増すべき。子どもが安曇養護に通っているが、バスの送迎時間などで仕事に支障が出る。安曇野市内に分校など作ってほしい。
- 豊科南小だけ高学年の学童（放課後預かり長期休暇預かり）がないのはなぜでしょうか。同じ税を払っているのに他校にはあって南小だけないのが納得できません。児童や子どもに対して充実した施策を真剣に取り組んでほしい。
他県より給食費が高いのはなぜですか。その分内容がいいということなのですか。不登校で月1日しか行っていない子も毎月給食費、学年費払うのはおかしいです。日割計算したり工夫していただきたい。食べなかった月は返却していただきたい。こういう理由だからこうなんだと説明して選択の自由があってほしい。
- 小学校の支援級利用児が近年とても増えています。対応できる先生の人数がなかなかそろっていない様子があるので、加配等の支援強化があれば先生方の負担も少しは減るのでは、と思います。
また、小中で支援級を利用している子どもたちが高校進学する際、今までのような支援が途切れてしまう現状があります。市と県で連携を図って、不安なく進学先を選べる未来になればいいなと思っています。
また、お母さんたちへの支援も（悩み相談や息抜き）併せて積極的に行ってほしいです。
- 三郷小学校について、耐震工事でなく建て直しが必要。人数が多すぎるので分散すべき。教育レベルが低い。
- 自然保育はいいのですが、その先の義務教育が硬直しています。無言で礼をさせる、は

い！と答える、など昭和の小学校でもなかった軍隊のような教育がいまだにされています。

体を動かす機会を増やすなどしてほしい。

- もし今度信州大学が新学部の設置を検討することがあれば、安曇野市も立候補してほしいです。
- 有名大学のキャンパス、学部を誘致し、若者が集まるまちづくりの形成。

〈生涯学習〉

- 年齢にあった活動場面や、勉強ができる機会、種類がもっとあるとうれしいです。
- スマホやPCが苦手な人々が学べる場をつくってほしいです。
- シニア世代の学び、活躍の場があるのですが、なかなか周知されていないと思います。

【地域の伝統】

〈伝統・文化〉

- 豊かな自然環境に恵まれた郷里の文化（農畜水産、衣食住、歴史資産等）の教育を、食育や体験学習などを通じて伝承し、安曇野の各地域に残る風習や行事の理解を深め、郷土愛を育む人材育成に力を入れてほしい。
- 常念岳から白馬まで見通せるロケーション。10年前に越してきて最高の場所を「終の棲家」にできたと喜んでいきます。芸術家、思想家、多くの文化人を育んだ風土。こうしたレガシーを是非大切に市政であってほしいと思います。
- 美術館、博物館の見直し、効率化を提案します。市民が身近に感じ、魅力的と考える施設に限定して施策を検討してはどうでしょうか。礫山美術館は、いつまでも大切にしたい地域の美術館です。安曇野市で支援すべきと思います。

〈文化・芸術〉

- 文化的活動を増やし、参加しやすくしてほしい（体力向上面も同様に）。
- 安曇野市は大好きだし、ずっと住み続けたいと思えるけど、まちのビジョンがはっきりしないことや、文化の正しい知識への誤解などがみられ。シビックプライドを高める方法があると良さそうですね。

安曇族とは？穂高神社にまつられているのは誰？道祖神って誰が作ったの？「安曇野の良さ」って何？多田加助さんって誰？井口喜源治さんのこと、何で誰も興味ないの？いわさきちひろさんのこと、もっと知ってほしい。すごく面白いまちなのに、市民が興味をもっていないのはもったいないなあと思います。

- 保育士や図書館職員、学芸員が正規職員ではない割合が高い。文化ホールがないのは極めて寂しく体育館などいない。早く文化ホールを建ててほしい。これでよく教育文化都市なんていえるのか。
- 文化会館を建設してほしいです。
- 音楽、芸術を楽しめる施設等がない。
- コンサートや観劇ができるようなホールを造ってほしい。
- コンサートホールを造ってほしい。

- 市で映画上映を常設でやってほしい（毎土日だけでも）。不定期では短かすぎ、上映コンテツがカタすぎ、塩尻東座を勉強してください。

【防災・防犯】

〈防災対策〉

- 地区により災害時避難場所がない（地震の時）。
- 地震による被害時、災害時避難所がない。公民館は指定所でないため。
- 防災無線で火事の場所を流してほしい。
- 防災・防犯等に場内放送が聞き取れない地域にいるため、情報がない。場内の状況を一度点検し、早急に対処してもらいたい。
- 防災意識を市民に意識させるためにも、近隣の自治体のように防災士の取得資金などを補助するのも良いと思う。

〈交通安全〉

- 踏切改良について（柏矢町駅南）。歩行者と車両との分離がない。交通事故防止及び交通の円滑化をしていただきたい。
- 歩行者等安全性の向上を県及国土交通省へ支援等実施要望願います。
- 他県から引越し、通学路の整備が全くなされておらずびっくりしました。トラック等多いし、交通マナー特に車の運転が自己中心。信号を守らない、人優先度なし。道路が狭いのでなおさらびっくりでした。歩行者優先で運転すると後車から「ピッピー」されることもあります。小さい頃よりの道路でのマナーを歩行者、車目線での教育の必要性をととても感じます。
- 子どもたちの通学で使用する歩道について十分なエリアを確保してほしい。
一日市場地区については駅前から周辺道路にかけて日暮れ後は暗すぎるので、街灯の設置拡大を希望する。
- 自転車通学の子どものための道路の整備。外灯、交差点等、防犯対策。事故などないように整備してほしい。あまりにこぼれている場所があるのではないか。
- 小学生等の通学路の整備を。
- 道路についてです。堀金に住んでいます。小学校の通学路で、上堀北浦の神社の辺り横断歩道を考えていただきたいです。また、それぞれの通学路で急カーブの所などにガードレールをつけていただきたいです。堀金中学校前も横断歩道なく。少子化、子育ての安全安心のためにも道路の歩道、横断歩道、ガードレールなどの整備や拡充を是非お願いいたします。
- 現状大変満足しています。子どもの集まる場所（児童館・宿・ダンス教室）の周りには歩道を設けるなど子どもの安全の確保をし、必要箇所には信号機を設置していただくと有り難いと思います。
- 街灯を増やすことで、交通事故を減らすことにつなげてほしい。
- 住宅地以外で周りにあまり家がないところの街灯の設置等を検討してほしい。
- 健康維持のためにウォーキングを日課にしているが、仕事や家事が落ち着いた夜間は、暗くて不安がある。公園や住宅街の外灯をもっと増やしてほしいです。（通学路も暗いで

す。)

- 通学路の街灯が非常に少なく危ない。
- 一日市場から小倉までの道路に外灯を増やしてください。通学の子どものために必要です。
- 道が狭くて自転車に乗れない。街灯が少なくて危ない、真っ暗で何も見えない場所もある。点字ブロックが少ない。

〈防犯対策〉

- たまに不審者がいるのでパトロールしてほしい（特に穂高公園は怖くて行けない）。

【都市基盤】

〈道路など整備〉

- 以前に比べて週末の車道の渋滞箇所がかなり増えた。
- 朝の光橋の渋滞を何とかしてほしい。
- 道路の整備について。駅や公共施設へのアクセス道路が不十分（JR 豊科駅周辺）、道路の狭い場所の改善（一本道は幅員を一定に）。
- 柏矢町駅北側の踏切を過ぎた歩行者用の舗装道路に、クラックが多いので整理してほしい。
- 車道が凸凹で大変走行しづらい。
- 道路の陥没などの整備を積極的に行ってください。
- 市道で、穴のあいている所が多いように思います。大変危険なので、早めの修理をしていただきたい。
- 国道 147 号線と広域農道間のアクセスが悪いので、接続道路を増やしてほしいです。
- 国道・県道に限らず、歩道が設置されていない箇所が多く、設置し始めてもなかなか進捗しない。また県道では狭隘道路に近い道路もあり特に明科穂高間の 85 号線は早急の改善を望みます。なお同道路は主要地方道に確定されていますので、尚更の改善・改良を望みます。
- 踏切について。柏矢町駅の南側踏切改善をお願いいたします。車等すれ違いができない。安全性の向上を。
- 市内交差点において、右折レーン及び右折専用信号を整備していただきたいと感じます（豊科駅入口や防災広場等）。
- 生活道路の保全と整備
- 市道整備がされていますが、地域の方の散歩コースになっているにもかかわらず、進入防止のポールを立ててしまい、通行が難しくなりました。足の悪いお年寄りや車いすはポールを避けて通行が難しくなりました。車が進入できない通路なのにポールを立てる必要があるのか。歩路を造るために道路を広げるのは必要ですが、少しでも広くなったために車のスピードが加速され反対に危なくなっている。
- 明科デリシアの出入口が危ないので信号機あれば助かります。
403 号線は交通量が多くなって大型車も多く高齢者の歩行は困難です。
- 立石信号付近の交差点にカーブミラーを設置してほしい。

- しゃくなげの湯の北側の交差点（山麓線）に信号を設置してほしい。交通量が多く非常に危険です。何回もヒヤリ・ハットの経験有り。一考願います。
- サイクリングロードの整備を。
- 歩道・自転車道の整備が必要。
- 自転車が安全のために、運転できるように整備してほしいです。
- 道路の拡張や、歩道を増やしてほしい。右折レーン含む。
- 道路を広げてほしいと思います（特に山麓線）。温泉客やサイクリングをする人が歩けないし、自転車も側溝が閉じてないので乗れない（危なくて）。
道路（小路も含め）の木・草の伐採をお願いしたい。木や草が倒れています。電線にかかり、停電もあります。高齢化していてなかなか住民では対処できません。
空き家の対応も持ち家の方に対応してもらいたい。
- 通学生徒、高齢者が安心して歩きやすい道路環境（歩道が分断して造られている。道に大木がはみ出している。三郷）
- 歩行者や自転車にとって通行しにくい道路が多い。例えば、一日市場駅から三郷中学校までの途中の道には歩道がなく、夜は怖いこともある。
- 山麓線は生活道路としてばかりでなく、観光の点からもいい道路だと思っていますが、道幅が狭く、サイクリングをしている人やウォーキングをしている人がいると危険を感じます。また、街灯が少なく、ミラーの設置もしてほしい（夜の運転は怖い）。
公道は細くても整備をしてほしいです（除雪も可能ならしてほしい）。
- 山麓に人が住んでるのにもかかわらず、相変わらず道路がガタガタで舗装等整備してもらいたい（山麓に故人たちの残した文化がある）。 例）安曇野市明科東川手柏尾地区
- 道路が悪く運転しにくい、整備してほしい。通学路が狭い（特に三郷地域危ない）。
- 側溝に蓋のない狭い道路が多く雪が降ると危険。駅に向かう道、割と交通量の多い道でも狭い。通勤通学で使う人が多い道もしっかり整備してもらえたら。
- 佐久から安曇野に出戻りし、道路環境の悪さを非常に感じます。ツギハギが多くポコポコ、歩道や街灯のない子どもも通る道、幹線道路の渋滞、除雪や凍結対策への始動の遅さ。これら整備されるとより住みよいです。
- 地域によるかもしれないが、住宅街であり他の道ともつながっているが、道の長さにおける住宅街地の割合が少ないという理由でいまだに舗装されていない。そのため雪が降っても除雪車も入ってこない。近くの田んぼ道はほぼ舗装されているのに、なぜ舗装していただけないのか理由がよくわからない。せめて住宅のある生活道路は舗装をしていただきたいと思う。
- 側道や道路の雑草が多く、草取りしてほしい。
- 主道以外の道路脇の枯れ木、枯れ草なども整備していただけたら有り難いです。
- せっかく道路が整備されているのに歩道横が草だらけで残念です。いつも気になって車を走らせています。
- 明科の県道など少し狭い道を走ると、山からの草木が道路にはみ出て危ないときがあるので定期的に草刈りしてほしい。

- 高齢化が進み、縦道だけでなく横道の市道（4 m幅）も積雪の時除雪をお願いしたい。
- 降雪時の道路の除雪を通勤時間に間に合うようにやっていただけると有り難いです。
- 山沿いの除雪が来ない（来ても遅い）。合併前はいち早く除雪が来ていたが全然来ない。高齢、障がい者がいる所で困る。ほかは来ているのに忘れられたのか疑問に思う。
- 高家バイパス（豊科南小付近）、脇にトラック止めて、ごみを散らかしたり学校の生徒通勤しているにもかかわらず、立小便したり、雑草も多い。いつまでもそのまま道整備など対応してほしい。

〈計画的な土地利用〉

- 景観を大切、経済活動も大切だと思っています。移住者が便利だと思うまちづくり、観光客が満足する自然や景観。自然を残すところはしっかり残して、開発して良い場所は農地であっても、開発雇用を優先して企業誘致を進めていただきたい。
- 空き土地の有効活用。レジャー施設、公園、ドローン練習場、道の駅など。
- 土地利用条件の緩和をお願いします。
- 空き家についてはいろいろと対策をされていて情報も多いのですが、耕作されていない農地については高齢化により今後増えていくと思います。（9）都市基盤についての1に「農地とのバランスの取れた開発」という項目がありましたが、農政課など関係する他の課との連絡を取り合いながら、是非、耕作放棄地の利用について考えていただけたら有り難いです。
- 安曇野市の魅力は、自然環境に恵まれていることです。自然環境という財産を維持・拡充していくためには、山林・農地、住宅地のバランスに配慮が必要と考えます。特に山林の保全、農地の乱開発防止、農林業従事者の育成支援等に行政の力を発揮していただきたいと思います。田畑が宅地化されるのを見るたびに、「きれいな水と空気」の安曇野の将来が不安になります。
- 空き家がたくさん残っている一方で、家の周りの自然が失われて、どんどん宅地になっています。以前のような自然豊かと言えなくなってきたと思います。
- 農地の開発が進みすぎている。空き家の有効活用を進めるべき。
- 田畑をつぶして住宅地が増えすぎている気がする。その反面、最近自分の家の周りでも空き家が増えている。その兼ね合いをうまく調整できないものか。
- 虫くいの的に大手の住宅メーカーが土地を細かく分けて販売し、敷地の狭い家が軒を接し、ゴチャゴチャした環境が広まっている。
- 現状を超える箱物の建設を止めてほしい。
- これ以上の空き地開発は不要。安曇野らしさがなくなっている。
- 外国人の土地取得には、十分な注意が必要だと思います。特に水資源に関係する場所、景観に関する場所等。
- 安曇野市にお願いがあります。景観保護による土地の保護はすごく素晴らしいです。農家の方がいるから、国産の食物を守れる。美しい安曇野を守れる。外国人に土地を売らないようにお願いします。
- この地に移り住んでもう40年になろうとしています。そして気に入っており終の棲家と

決めています。しかし最近心配なことが起こっています。それは居住地の上流が、無計画・無秩序な造成により自家が危険にさらされているからです。その原因は、埋め立てにより従前の水路が複数潰され、残された自家裏の水路に豪雨が集中し、氾濫した濁流がすぐ下流の住宅敷地に侵入しました。(以前の住宅では玄関まで侵入しましたが近年の建て替え「基礎嵩上げと玄関の向き変更」で被害を何とか免れました。) 今後上流に住宅開発が進行すると、自家も間違いなく将来床下浸水などが憂慮されるからです。

この件については、柏原区経由して安曇野市の担当部署に状況を連絡し、対策をお願いしておりますが遅々として解決に至っておりません。

住宅造成時なぜ従前の水路を壊すのか。埋め立てにより下流の住宅地(低地)に豪雨が集中するシミュレーションが描けないのか。さらに、JR大糸線の下部暗渠が詰まれば大きな問題が起きかねません。そして、なぜこのような無計画・無秩序な住宅計画を、安曇野市は許可するのかも理解できません。

先祖代々から引き継がれた土地を簡単に宅地化するのではなく、従前開発した空き地や空き家を有効活用することにより、優良な農地は将来の農業者や、これからの若者のために絶対残す必要があると思うのでご高配をお願いします。

〈景観保全〉

- 三郷の黒沢川の桜並木はとてもすばらしいと思うが、ほとんど手入れされていない状態で非常に残念である。駐車場もなく、また畜産農家が多いためか周辺はかなり臭っている。ごみも散乱しておりせっかくの名所が台無しと感じる。一方、南部公園(豊科)はとてもきれいに手入れされており、周辺のサイクリングロードの桜並木はすばらしい。黒沢川の周辺は工場の廃墟も多く、景観を損なうとともに防犯の不安も感じる。対策をされているのかもしれないが、桜並木の手入れや廃墟問題など、もっと魅力ある観光地の場所とするため検討をしていただきたい。
- 40年暮らした東京からの移住先(終の棲家)を安曇野に選んだ理由は、北アルプス連峰の景観もさることながら、水と空気がきれいであったことです。また、建築物の高さが制限(20m)されていたことにも感激いたしました。先人たちが、貴重な景観を早くから守っていたからですね。感謝です。この美しい景観を無数の電線が、台無しにしているのはもったいないです。
- 他県からの移住者です。水田と山並の美しい安曇野が大好きですが、畑や田が宅地などに、どんどん変わっていきっているように感じています。(私も、住宅メーカーの住宅に住んでいます)スタイリッシュな、でも味わいの少ない新しい住宅が増えているなあと残念にも思っています。古くて味わいのある建物を有効に活用できれば、宅地造成ばかり目にする、というのも減るのかなあと。
- 移住者が多くて山などの景色が変わっている。田や畑があるとほっとします。
- 安曇野の風景が好きですが、電線が多く景観を損ねていると感じています。無電柱化を進めていただきたいです。観光客が増えると思います。
- 電信柱・電線の埋設を希望。
- 穂高の国道沿いの看板、のぼり旗の林立。北アルプスの景観を邪魔している。

- 安曇野の景観の保全。自然環境（河川、山林、山）と田畑の保全。建築物、太陽光パネルの自粛。「冠雪のアルプスの峰々が、田植えされた田んぼに映す景観は全国でも安曇野市のみです。」
- 安曇郡から安曇野市になったけど、野の部分がだんだん減っているような気がするの、れんげ畑などが復活してれんげのはちみつが取れるといいですね。
軽井沢くらいとはいかなくても森や林緑化の街希望です。

〈河川の整備〉

- 梓川、犀川の河床整備は早い方が良いと思います。
- 黒沢川は桜がきれいな場所です。川の中もきれいに整備が必要です。

〈公園、緑地の整備・維持管理〉

- 松枯れがひどく、風が強い日や雪の日には倒木も多く怖い思いをする。
- 空き地などの松の木が風や雪で多く倒れて危険です。市では地主は把握できると思いますので、倒木の整理を勧告してほしいです。

〈公共施設〉

- 豊科南部総合公園について。遊具の近くに手洗い場を造ってほしいです。
- 北穂高方面に公園を造ってほしい。
- 地域によっては公園が遠く子どもを遊ばせづらい。大きくなって良いので公園を充実させてほしい。
- 穂高有明に住んでいますが、子どもが遊べる遊具のある公園が近くにあったらいいのになと感じています。
- 公園、スポーツ施設、図書館等の場所が、市の南部、中心部に偏りがあるように思う。
- 子ども、老人等、日々憩いのあるスペース（広場等）、運動場が地域に欲しい。
- 誰でも使用できる公衆トイレの新設を。
- 市内施設の温泉を刺青厳禁にしてほしい。

〈公共交通網〉

- バス、電車を増やしてほしい。
- バスがない。電車の本数が少ない。
- 市内を回るバスなどの移動手段と本数をもっと増やしてほしい（車がなくても移動に困らないくらいの交通機関）。
- バスなどの公共交通機関をもっと充実させてほしい。
- 市営バスがなく、不便を感じています。自家用車がないとどこも行けない悲しい市、それが安曇野市。
- 車を持たない市民が行動しやすい市バス等の運営をしてほしい。
- バスが走っていない。交通の便が全くない（タクシーのみ）。年寄り免許がないと駄目な市である。年寄りに冷たい市である。
- 高齢者や学生等、自動車を運転できない人たちのための定期バスの運行が必要では？
- 公共機関として路線バスがあってほしい。
- 周遊バス等、市民の足を充実させてほしい。人は皆、年を取ります。自分で運転しなくな

った時、この安曇野市で暮らす時に車は必ず必要です。困っている人たちは既にたくさんいます。

- 車が運転できないと暮らしにくい。公共交通機関の充実が必要。
- 公共交通を充実してほしい。車が乗れなくなった時が不安。コミュニティバスだと範囲が限られる。
- 車の運転できるうちは良いが、免許返納してしまえば移動手段に不安がある。あづみんを利用するのも地域が限られていて不便と聞いている。交通網を使いやすいようにしていただきたい。
- 主人の仕事の都合で安曇野に来ましたが、今は車に乗れるから移動できていますが、乗れなくなったら、買い物、病院と移動が大変。年を取ってからは更に大変。だから、茨城に帰ることにしました。ここ数年の内に。米、野菜、果物、水、空気とおいしい物はいっぱいあるのは離れがたいが。バスがあれば「考える」ともいえるが、「あづみん」じゃ心配です。
- 今現在は夫婦とも元気で買い物や通院、レジャーにも車を利用して快適に暮らしています。しかし、10年先のこととなると気持ちが沈みます。「あづみん」の乗り物によく出合うので、運転手さんを何とか確保して市民バスを走らせていただきたいです。1時間に1本でも良いのです。連絡予約に送迎依頼してまで「あづみん」を利用することは難しいと思います。少し歩いて停留所でバスに乗って出かけて用を足して、帰りも少々時間調整をしてもバスで帰りたいです。松本の人羨ましいです。是非お願いします。
- 池田のあづみ病院に通院しています。あづみんのるーとが通るようにしてほしい。都合が悪いので。買い物は生協を利用しているので良いですが、車を運転しなくなるとすごく困ります。
- 今後の高齢化に伴い公共の乗り物（例あづみん）等の使い方をもっと考えてほしい。例えば妻が急病（夜中）夫は認知低下の場合、救急車かタクシーしかないので困ることが多い。昼間の場合も、相互の助け合いがもっと気軽にできる方法は？
- あづみんの利用の仕方を、もう少し使い易いようにしてほしいです。
- あづみんの運行をもう少し考えてください。
- 高齢化社会の中、安曇野市もお年寄りが多いが、車でないと生活できない。免許を返納しても市の周遊バスは予約制だし、全く駄目だと思う。年寄りのために予算をたくさん費やすことはあまり賛成しないが、運転能力の衰えた人が危険運転で事故を起こした場合悲惨である。人口的に難しいとは思いますが公共交通をもう少し利便性を考えて計画的に充実させてほしい。高齢者が免許を返しても困らない生活のできる市であってほしい。タクシーも心もとなくてあきれる。
- 車を手放した後の交通手段を安くしてほしい。他町へ行けば、600円・往復1200円はどこを基準にしているのかわからない。時間を決めて循環バス等検討してほしい。
- のるーとを利用しています。他の地域へも行きやすくしてほしいです。乗合エリアからでなく、運行エリアから他地域への移動ができるように（料金はアップされても可）、検討していただきたいです。

- 高齢化社会に対する行政の取り組みが不十分だと思います。
公共交通機関が住民のためになっていないと感じます。本当に高齢者のためになっているか再度検討する必要があると思います。
安曇野市は、子育てやこれからの高齢者社会で住みやすい街であると言われるような街を目指してもらいたいし、日本の中でもリードしている街になってもらいたい。
- 子ども中心でなく高齢者にやさしい市になってほしいです。今高齢者が車を運転していますがそのうち皆返納する時期にきていますので、あづみんを 100 円台にしてほしいです。ほかでは無料でスーパーへ連れていってくれる、松本～新島々まで 70 歳以上は 100 円と聞きます。あづみんは往復 600 円もかかります。とても 600 円は使用できず、どうにか考えてもらわないと他地区に恥ずかしいです。
- 高齢者用の公共交通機関の拡充を希望する。このままでは、生きていけない人口が増える。安曇野を離れる者も多くなると考える。具体的には、市内を巡回するバスを増やすべき。運転者不足、財源など、定年退職直後のシルバー人材の活用など検討してほしい。
- 高齢化社会に向け公共の乗り物など増やしてほしい。
- 自然が豊かで気に入っていますが、これから車の運転が（年々）できなくなったら買い物や病院など、どうしたらいいか不安になります。
- 車を返してしまったので主人の都合もありやや不便と感じている。
- 高齢者が免許返納しても生活しやすい安曇野市であるよう望みます。
- 車がなくても生活ができる環境を整えてほしい。免許返納につながる。
- 高齢者の移動手段（特に買い物、医者通いなど）に不安がありますのでその手段など詳しい情報など知りたいと思います。
- 今後の高齢化へ向けての交通網の整備、ごみステーションの設置（マイカー必須の生活改善）が必要。
- 公共交通機関が不便です。五つの地域によっても差があるように思う。使う人が少ないから交通機関を減らすよりも、整えて使用しようとする人を増やす方が、観光客にとっても良いと思う。
- 梓橋駅階段は公共交通機関利用の大きなバリア、なくしてください。

〈上下水道〉

- 安曇野＝きれいな水ですが、水道水はおいしくないと感じています。老朽化が心配です。
- 水道水が臭います。まずく飲めません。
- 数年前と比べ水道水が苦くなりました。
- 水道水がおいしくなくなったと思う。原因が知りたい。
- 水道水でカルキが強いのか、蛇口が白く固まってしまい体に悪い感じがして気になります。
- おいしい水が飲めることが市の魅力であると思うので、今もしているとは思いますが、水道管の点検、補修に力を入れてほしい。
- 水道等社会公共インフラの維持管理に優先支出する等、持続可能性を高めて安心安全に暮らせるまちづくりに尽力してほしい。

- 浄化槽の維持、点検にかかる費用が高すぎる。下水道がないために導入せざるを得ないものなので、補助を出してほしい。
- 一人暮らしなので水道料が高すぎる（下水道）も。
- 水道、下水道代を安くしてください。
- 水道代が高い。

〈その他〉

- 神奈川から移住してきました。水と空気がおいしい地域で生活（暮らし）には満足しています。困っている事は、県外から友人が遊びに来た際、雨天だと行くところがないことです。あと、外灯が少なく、夜は怖いことです。よろしくお願いします。
- 今まで生活してきた時代より今はだいぶましになっていると思う。ライフラインの充実をお願いしたい。

【農林水産業】

〈農業振興〉

- 農業施策に対する積極度が低いと感ずる。
- 食料の地産振興に重点的な取り組みをしてほしい。孫子の代に食で困ることのないよう配慮してほしい。農業の生産基盤保全を大切にしてほしい。
- 農地の減少には心を痛めていますが自分ではできないので、市の対策として農地を減らさないよう対策をとることができれば有り難いです。
- 耕作放棄地がありとあらゆる所にあります。現在私も知人をお願いして耕作してもらっていますが、その方ができなくなり田を返された場合（穂高地区）市に譲りたいと思いますが、そのようなことは可能でしょうか（寄付）。また、それも駄目ならば草等が伸び放題になってしまいます。早急な対策をお願いします。高齢になり一番の悩み事です。
- 農家への扱いに不満。作業中の苦情がストレス。もちろん農家も意識して作業していかないといけないのはわかるので、農家にも意識するよう伝える。
移住者には農業が盛んでこのような事が起こるなど先に伝え理解していただきたい。
- 安曇野の景観を守るためにも高齢化に伴う耕作放棄地を防ぐためにも、農業政策を検討してください。耕作放棄地は、わさび田も含み、付帯する水路等の管理も問題となっています。
- 市として、農業者への支援をしてほしいと思います。休耕地となり荒れている田畑を見かけます。特に新規就農者には援助を。国の施策に期待できない現状、自治体ができるだけのことをしていただきたい。
- 荒廃農地、雑木林等の管理改善必要。
- 耕作放棄の田んぼが多々あります。一年中草刈りもせず、種子が飛び田畑、次の年には草になり、高齢なのでできなくなり本当に困っております。道路沿いの木の手入れをしないので、道路まで伸びて道幅も狭くなり、車のすれ違いにも危険を感じることもあり（事故起きてからでは遅い）。市役所の方から連絡取り、いい方法を考えてほしいです。
- 休耕地があちこちに目立っているが活用できないものか。
- わさびがあるが、田で休耕地をまたわさび田として復活していくとよい。少しずつ増え

ているように感じているが、田んぼも増えるとよいと思う。

- 農業の活性化を（特産品の開発及び支援を）。
- 豊科光地区、田沢地区へクライנגアルテン施設をお願いします。
- 物価上昇で厳しい世の中ですが、ここ自然豊かな安曇野は地産地消で心も身体も豊かな暮らしができないかなあ。野菜もお米もガソリンも高い。
- 小学生は学校で拾ヶ堰について学習します。中央道建設計画の折には「安曇野の米作り、緑の農地を守れ」と大反対があったと聞きます。是非、農業を守っていただきたい。農地を守っていただきたい。南農高校の生徒は「国産大豆で味噌を作る加工の実習」が、大豆が足りなくてできないと聞きます。国防は、武器だけでなく、国民・市民の食糧の自給を守るものと考えます。

以前は農家の周辺に宅地が分譲されていくのを乱開発とと思っていましたが、今は駅や学校の近くに宅地が開発されて、農道周辺に広大な農地が残る。そういった住み分けは良いのではないかと考えるようになりました。

〈商業振興〉

- 転勤して来まして、穂高に家を建てましたが近くにお店も、たくさん出来、便利になりました。とても良い所です。
- 山麓線沿いに個性的なお店が多いのは観光の面からもとても良いと思う（コンビニは無理なのでしょうか）。
- 個人経営などのお店をより支援し増やしてほしい。大型のショッピングモールなどで、他のお店が潰れるのはもったいない。
- 全国展開するチェーン店など増えていますが、安曇野らしい場所、お店がなくなっている気がします。
- 商店街の活性化と整備。店（個人）が少なくなり、高齢者には不便。
- 明科駅前いつまでもたっても整理されず薬・衣料店などが必要です。気軽にみんなが寄れるような飲食店があれば良いと思います。
- 気の利いた飲食店（飲み屋、料理店）がない。郷土料理の店とか訪問者等を接待する所もない。また、第二の人生を楽しむ、寄り集う所があればいい。昔のように、市の職員等が積極的に夜の飲み会でもやってほしい。地域、活性化なし。
- もっと若い世代に魅力的な施設やショッピングモールをつかってほしい。
- 安曇野市に他近隣地域にない商業施設を誘致してください。長く安曇野市に住んでいますが、いつまでも田舎ですね。他地域と同じ施設があっても、若者は都会に出て行ってしまおうと思います。合併する前の方が楽しい店もあった気がします（飲食店なども）。自然は大切ですが、今後住宅地域も増えると思いますが、ショッピングモールを中心に生活しやすい住宅街づくりを（今の時代に合った）市で考えて実行していただけることを願います。（便利で楽しい市）
- 穂高有明あたりに大きなスーパーが欲しい。穂高有明にモール（パン屋、オーガニック商品の多いスーパー、本屋、安曇野のお土産屋さん）。観光客も必ず来ます。駐車場が大きければ。

穂高駅前、もう少し活気が必要。駅そのものもダサいです。

子ども服のお店が少ない、結果松本へ。

- 映画を月1回は観に行くのですが、松本まで行かないといけないので市内にも造ってほしい。今は運転できてるが今後どうなるかわからないので、あると安心するので。同様に娯楽も松本はたくさんあるが市内で考えるとパツとしないから年齢ごとに楽しめる場所があれば良いと思います。自分が年を重ねた時そういう所があるとうれしいです。あと気持ち飲食店が多いです。そんなに要りません。
- 遊べる面白い施設やのんびり過ごせるような施設がもう少しあったらいいと思う。
- 安曇野市内には雨が降ると遊べる場所がないです。雨でも利用できる大型施設が出来たら良いと思います。
- 子ども用品店や、子連れでも楽しめる施設、飲食店を増やしてほしい。
- 娯楽施設が少ないので増やしてほしい。
- 本屋をもっと増やしてほしい。

娯楽施設（カラオケ・映画館など）があれば良いと思う。

市民プールや屋内プールができる施設が欲しい。

駅に駐車場が欲しい。

駅前に多数飲食店があれば良い。

〈労働・雇用〉

- 移住者・定住者が増えることは大歓迎ですが、若者の定住者が増えてほしい。少子化対策が課題です。若者が生きがいを持って働ける企業、会社が増えてほしい。若者の流出を防ぐ対策を検討。
- 女性の県外流出が多いです。仕事をする場所をつくってあげた方が良いと思います。
- 高齢者のアルバイト、求人情報（国、県、市の市内での仕事）に関し、まとめて公開する場を作ってほしい。市の求人はハローワークへも公開してほしい。（松本市や塩尻市は公開しています。）
- 難病の人でも在宅で働ける仕事があれば、ご紹介いただけると有り難いです。

〈その他〉

- 私的の件ですが、私は高齢者ですが、経済面での市政が進んではない。特に観光面、資源はあるので活用が進んでいない。わさびなど特産品を市を挙げて進めるべきです。宿泊業、飲食業などが少なすぎる。工業面でも、もっと多く誘致すべき。農業も市政がもっと若者が育つ政策が必要だ。

【観光】

〈観光振興〉

- 私はあまり観光業に力を入れる必要ないと思いますが、障がい者や子ども、高齢者とその家族が、旅行で来たくするような宿泊施設を多くして安曇野からその他の地域に広がっていったら良いと思う。
バリアフリーと記されているが、実際に行くとユニットバスの入口に段差があって、手すりもなく困ったホテル。バリアフリー、w/c 可と書いてあっても間口が狭くてうまく

身動きがとれないホテル。使い勝手の悪い高さの手すり。

障がいがあったり子どもだったり高齢者も楽しめるけど、介護している人も日常を少し離れて楽しめるような所ができるとうれしいと思います。

- 富山美術館をお手本にして子どもが体感で楽しめる美術館を。これだけ美術館があって子ども連れてきたい所はほぼゼロ（東京より美術館が多いとうたってる割に）。松川村のちひろ美術館・ちひろパーク・ちひろ体験館、ここは最高です。友人や親戚が来ると連れていきます。

観光客ファミリー、移住者、子連れの安曇野への期待（自然、川、キャンプ、りんご狩り、体験型美術館、雨天の時のための屋内の運動施設も（遊具））。

- 公共交通機関や安曇野市として観光地、知名度がもっと上がるようにいろいろな店舗が増えてくれるとうれしい。
- 松本や白馬に比較すると、インバウンドの集客が弱すぎる。特に冬期の閑散具合がひどいので、行政を挙げて取り組んでほしい。
- 安曇野の観光をもっと真剣に市として力を入れた方が良いと思います。白馬と松本に来ていて、安曇野を素通りされてしまいもったいないです。
- 最近、全国的にも登山（山歩き）が人気だが、安曇野市と言えば北アルプスの玄関口である、穂高駅からは燕岳へのアクセスだけでなく、常念などへのシャトルバスなど、もっと積極的にやった方が良いのではないか。
- 安曇野の山・川・谷・平は景観の良い観光地、またレクリエーション等も楽しめる自然の宝庫。

各地域の主な資源を生かし、分散観光地ではなく、中心から円形型観光の構想。

そのためにはまずメインの観光道路（自動車道・自転車道・歩道・街路樹）、また必要に応じて駐車場の整備・新設が必要不可欠。

特に安曇野は穂高駅（穂高神社）を中心とした東西・南北の観光を生かす構想。

穂高駅前には北アルプス登山口、また観光の出入口としてイメージアップが重要。

・穂高駅から観光のメイン道路拡張整備（～100年計画）

ワサビ田～穂高駅（穂高神社）～穂高（安曇里）高原温泉郷

・穂高神社にメイン参道があってよい。旧参道・駐車場の拡張整備（～100年計画）

・東の長峰山・光城山、また西山等見晴し山の整備・開拓

・烏川沿いの河川敷・堤防の良い場所に癒やしの公園等の新設

・須砂渡（烏川）と中房川の上流の谷沿いのアウトドア等の開拓

人口・家・工場・商業施設・自然などバランスの良い景観の良い観光地。

- 最近、白馬が全国的に有名になり、観光客の増加が著しいが安曇野市を通り越して、白馬の方へ流れて行ってしまっているように思える。もっと安曇野市に留まってもらえるように、観光地を開発した方が良いのではないか。例えば長峰山や光城山から見える北アルプスの眺望がすばらしいが、もっと全国の人に見てもらえるように、簡単に車などで登れたり、ロープウェイなどで登れて北アルプスを見てもらえるようなことを考えたらどうか。長峰山からのあの景色を一部の人が知らないのはもったいない。将来のため

にも観光化した方が良いと思う。白馬のように一年を通して安曇野市に観光に来てもらえるようなことを考えていった方が良いのでは。

- 県外登山客には駐車料金を依頼。
- あまり観光地がない。
- オーバーツーリズム対策をしっかりとしてください。

〈特産品の創出〉

- 私たち夫婦は旅行が好きで車中泊をしながら出かけています。安曇野市には道の駅があり、休みの日にはそこで休んでいるキャンピングカーなど見かけます。安曇野のお米でおにぎりの朝食があったら、もっとたくさんの人たちが道の駅で一泊しておいしいお米でできたおにぎりでも食べて、また楽しい旅に出かけてほしいです。朝の早い時間ですので、自動販売機などいいと思います。リピーターでたくさんの人たちに楽しんでもらいたいです。
- オーガニックの安全なお米で安曇野の名を広めてほしい。りんごもせめて低農薬・減農薬、できればオーガニック。

【地域ブランド】

〈地域ブランド〉

- 自動車の安曇野ナンバーで安曇野の名が全国に広まることを期待しています。
- 今年5月に「安曇野ナンバー」が誕生するが安曇野ナンバーだけではなく「池田・松川・生坂」も安曇野市に統合できることを期待しています。
- 安曇野ナンバーは本当に必要だったのか疑問。市の公用車全てを安曇野ナンバーに変えて予算もだいぶかかっていると聞いた。
- 安曇野ナンバー導入の目的は何のためでしょうか。選択可能にすべきです。安曇野の知名度を全国に届けたい目的でしょうか。安曇野が好きな方なら、今の時代ご自身で調べて移住などもされると思います。導入されるにあたりアンケートも車所有(免許のない)していない高齢者にアンケートが届きました。安曇野ナンバー導入されたことが本当にアンケート結果だったのか不思議です。
- どの誰の公約で目にしただろうか。「安曇野」は大好きだが「安曇野ナンバー」は住民の権利の侵害でしょうか。選択制にしていきたい。引っ越そうかしら。
- 車の安曇野ナンバーはあまりつけたくなかった。安曇野ナンバーになりたくなくて松本に引っ越ししたいと思うくらいです。市民アンケートをやっていたようですが、全く知らなかった。
- 安曇野ナンバーより、松本ナンバーがいいです。
- 松本市は城下町というだけあって、松本駅から徒歩で商店を回ったり美術館や文化に触れられる街で、観光客にとっても市民にとっても魅力的だと感じる。安曇野に住んでる私も買い物にしても遊ぶにしても松本の方へ向いてしまう。
安曇野市って名前はブランドだけど、これといった場所がないなと思う。観光だって歩いて回るなんてできないし、不便な街だなと感じてしまう。
- 日本のスイス、というイメージで信州全域は、自然豊かで良い所、というブランドイメー

ジを持たれていると思います（特に県外者から）。ただ、自治体としてこのブランドを活用して積極的に売り出していこう、という意志は感じられない。良い意味でも悪い意味でも、「来る者拒まず、去る者追わず」と感じます。群馬や埼玉など、決して信州ほどのブランドのない地域は、積極的に映画化したり、ゆるキャラを売り出したりして努力しているように見えます。でも、今さら後追いしてもうまみはないので、別の方向性で売り出すのがよいと思います。例えば、冷涼地域であることと首都圏、中京圏に近いことを活かして、データセンターを誘致して、IT デジタル田園都市構想の一角を担うとかすると、信州の地域的プレゼンスを高められると思うのですがいかがでしょうか。

- 特色ある市になれば面白いと思う。例えば、自然、山岳、スキー、温泉、そばという財産を JR の駅直結のトラムを敷設して、スイスのようになれば観光客も集まるし、地元住民も利用できて良いと思う。他市町村とも連携して、松本空港や松本駅、あづみの公園、大町・白馬スキー場などトラムで行けたら良い。

松本は大型店が潰れている。そこを山岳専門店など特色ある店が集まる店として安曇野市が運営して、安曇野市を売ればいい。安曇野の方が面白い市になればよい。

- 安曇野市歌

いつ、誰がどんな所で歌うのでしょうか？

- 小説「安曇野」の復刊ありがとうございました。感謝しています。これからもどうぞよろしく。

- いつも市民全体の生活を考えながら行政を担っていただきありがとうございます。

小説「安曇野」の大河ドラマ化進めてほしいと思います。昭和 44 年 TBS テレビ、ポラテレビ小説（12 時 40 分～13 時）「パンとあこがれ」で中村屋に集まる人間模様がドラマ化放送されました。黒光は宇津宮雅代、碌山は中学生日記で先生役の方、ボース役は河原崎さん（確か父様も役者さんと思います）でした。碌山が粘土で「女」を作制中、中村屋アトリエが冷え込み、「女」に外套をかけるシーン。また、ボースが警察に追われて、橋の下に逃げるシーン、思いつめる河原崎さんの顔が今も忘れることができません。できることならば、この「パンとあこがれ」を市役所ロビーで放送あれば大河ドラマ化への熱も市民全体で盛り上がるのではないのでしょうか。

昭和 44 年、私は有明小学校 6 年生でした。教室に白黒テレビがあり波打つ画面とにらめっこしていました。

勝手な事ばかり書いてしまいました。職員の皆様が健康で働き続けられること希望しています。

【移住・定住】

〈移住・定住〉

- 人口の増加施策を重点的に取り組んでほしい。
- 人口減少していく中で、どうやって歯止めをしていくか。
- 安易な外国人の移住を促進しないでほしい。
- 産業の活性化をして、子どもが大学等卒業後地元に戻ってくれるように。
- もっと移住したいと思えるようなサービスがあった方がいい。

- 移住や定住に力を入れるべき。佐久市みたいに。
これからどんどん少子高齢化が進み年寄りの国、街になっていくが年寄りには生産性がなく声ばかりがでかい印象。現役子育て世代にこそ支援を。
- 移住したい人を「ようこそ！ ウェルカム！」という雰囲気でも迎えてあげるようにしてあげた方が良いと思います（市全体で）。
- 「安曇野に住みたい」という話はよく聞きます。しかし「定年してからね」です。失礼ながら非労働者の増加のメリットがわかりません。生産者人口の増加のため若年移住者も歓迎しますが人口流出も抑えたいです。長野新幹線のある東北信にはかないませんが、あずさに頑張ってもらえば2時間で東京です。空港もあるのでリモートワーク中心なら東京も関西も九州も北海道も通勤労働圏内です。ここでも働ける企業の求人を集めては？
- 結婚祝い金がない時に結婚したため（次の年より開始）、祝い金をもらえていない。全額とはいわないが少しでも祝い金や、移住した人へ補助金が出てくれるとうれしいです。
（例えば結婚祝い金が支給開始された年の前2～3年で婚姻届を提出し、住民票が安曇野にある人だけなど。）
- 若い人たちが家を建てられるように何か支援をつくってほしい。サイトを見ると県外移住者たちの補助はあるのに、この地域に昔から住んでいる自分たちには何も金銭支援がないのか疑問に思うときがある。
結婚新生活支援事業も、令和6年から生活している夫婦には補助が出るようになってくるが、それ以前に結婚をした若い人たちは報われない気持ちになった。その政策を行うようであれば昔から行ってきてれば良かったのにも思う。
- 昔に比べて「安曇野」の名前は有名になり、移住者も増えていると思いますが、「しやすさ」が大切。茅野市など、人気の場所に学ぶところがあると思う。若い人が住みやすい場所を提供することが、税収が増え、大切なことだと思う。
- 安曇野市の資源は、緑豊かな自然だと思います。県外で育ち、緑があって、松本、安曇野に住んで25年以上になりますが、国内外でこれほど風景が良く、夏に過ごしやすい場所はなかなかないと感じています。これからの少子高齢化、人口減の中、安曇野市に移住者を増やしていく施策の中で、産業（工業）の育成も大事ですが、自然環境保全を最優先（前提）で進めてほしいです。また、子育て環境、地域医療が見劣りするところがありますので、充実してほしいです。
- 昨年、山口県より移住して来ました。この一年間は人生で一番充実していたと思います。公園等しっかり整備されているし街もきれいだと思う。あまり安曇野が有名になってほしくないのは、休日、連休に人が（特に夏休み）集まりすぎるため。それ以外はとても満足しています。

【空き家】

〈空き家対策〉

- 水田地帯の農地の荒廃は所有者がしっかりしていれば解決できるが、住宅及び屋敷林については居住者がいなくなった時は今後の問題が残ると思うので、一層の対策の強化を

望む。

- 空き家が増えているように感じる場所がある。
- 空き家の維持管理。崩れて危険な家屋が散見されるので、対策してほしい。
- 空き家対策・活用への促進に力を入れていただきたいと思います。
- 空き家を（一軒家）を賃貸などに活用してほしい（家賃を安めに）。

【地域】

〈協働・コミュニティ活動〉

- 20年くらい前は近所所行き来が盛んであったが、近頃は近所でも1年に1回も会わない方が多くなり話合いの場がなくなりました。仕方ないでしょうが私も高齢なため外に出ることが少なくなったことも原因かも知れません。何とか話合いの場へ出向くよう考えています。
- 高齢者ばかりで、コミュニティの再編に消極的。新たな居住者に厳しい状況も多い。
- 地域住民活動を実施することで差別がある。
- 移住した早々は近隣の方が移住者同士で自由に話し合う会をつくってくださり、親しい友人を持つことができました（感謝しています）。
- 地区行事の見直し。もう少し減らしてほしい。
- 町・区への町民・区民としての参加。市民であるが区民としての参加者が減少している（転入者、世帯分離 etc.による）。
- 地域の人は優しい。

〈自治会〉

- 常会への退出者が増えていて、今後の運営が難しくなるのでは？入会していなくても何ら不自由がない。入会しているとお金はかかる、役員をしなくてはならない、不平等さに困惑しています。
- 地区役員の事で高齢化が進み成り手がいない。仕事量、人数とも簡略してほしい。押し付けないでほしいが。
- 昔から住んでいる安曇野ですが、高齢者の方も多く、一人で住んでいる高齢者が亡くなったりすると、そこが空き家になってしまったり、知らない土地からそこへ住むようになったり、そうすると寂しさを感じます。また、組合というものがあり、どうにもできなくても、どうにかして組合に入れさせようとしたり。今の時代は、組合の必要性を感じないし、組合長を決める時になると、皆やりたくなく一人組合になる現状なので、そこまでして組合なくても良いと思います（それぞれなので、できる人で組合やれば良い）。昔からいる方がいなくなり、知らない人たちが入って、いろいろ変えられている感じがします。本当に残念です。（大変なことはわかりますが、自分たちのことばかりでなく、周りにも気を配ってほしい。）
- 高齢化により地域役員をできる人が少なくなっている。区費を払っているメリットが感じられない。
- 市域の役員の仕事を減らしてほしい。
- 隣組は必要性がなくなっている。高齢化が進み、若い人は入りたがらない。地域の役

員が来ても務めることができない。

- 隣組（常会）に入らない人、脱会する人が非常に多い。役ばかり多くてやりたくないものだからみんな脱会していきます。区費だけ払う人がとても増えていますが、常会に入っていないこのような人のフォローを区長が足を運んでいるのもおかしな話で、区自体を抜けてほしい。常会に入っていないければ区運営で何もメリットがない。
- 転入者の常会加入の件。転入者のみならず、常会脱会の方が多い。常会役員の拒否や区役員の拒否は更に。長野市みたいに、全員加入とはならないか。不公平感がかなり強い。安曇野市職員でも入っていない者もいるかと聞いている。私は10年前に転入してきましたが、後悔しています。
- 高齢化社会で、区民活動が衰退化していくことが見て取れます。行政の仕事も大変（予算等）かと思いますが、区の活動も思うように進まないの、デジタル化も必要ですが、マンパワーの活用が大切と思われま。区からの脱退者も増加。
- 市（行政）指導で各地区の統合を見直して（人口減による）ください。
- もろもろの似たような団体や組織が多すぎる。統合整理して、役員になった人への負担感を減らしたらどうか。
- 地区の運営に行政が関与してほしい。地区に任せすぎ。地区会は役職が増えて住民の負担になり、地区会を脱退する人が増えて回らなくなっている。若い人の意見は一切通らない。
- 自治会に入会する人が少なくて、いろいろな役員がやるのが大変。必要ないを排除してほしい。各区内の中の細かい班をなくして、一本化してほしい。
- 隣組のメリットを感じない。隣組の取り組みや会費が地域により大幅に異なるが、それが公にされていないのは移住者からすると異常。

〈ごみ捨て〉

- 茨城県より移住して9年になります。自然環境はすばらしい。だが、生活環境は最低です。穂高柏原地区に在住ですが、道路舗装がされていない所が多数ある。ごみ捨て問題で原畦地区にもえるごみ、プラごみ等の集積所はあるが、びんなどの資源ごみは隣の地区まで行かないと捨てる場所がない。高齢化で車の運転ができないと、ごみを捨てることもできなくなり、近い将来移住を考えている。ごみ収集問題は安曇野市は最低である。自分が高齢化しても100m歩けばごみを捨てられる環境整備が重要。他の市町村ができる事は安曇野市もやる。
- ごみステーションの管理は区（自治会）で行っているが、入らない人も多い。その人々が出すごみの管理を自治会で行うのは間違っている。区に入っていない人のごみの管理をなぜ自治会で行わなければならない。ごみについての業務は全て、市で管理すべきである。ごみステーションの管理を自治会で行うのであれば、自治会に入っていない人のごみは別で処理してほしい。ごみステーションの費用は市と自治会と折半では？その費用も含め市の手抜き感を強く感じている。
- びんや割れ物の処分をしやすくしてほしい。決められた日に、遠くの公民館へ行くのは不便です。

- ごみ袋が高い。
- ごみ袋が高い。特殊なごみを捨てにくい。
- 可燃ごみ袋がもっと安くなったらうれしい。
- 燃えるごみの袋が高すぎる。隣接の市町村より高いので何とかしてほしい。
- ごみ袋高すぎます。隣の松本市を見習ってください。
- ごみ袋に記名するのが個人情報的に世の中に逆行している。

〈その他〉

- 安曇野はいいところだと思います。
- 住所、公民館、ごみ袋の地区名、各違って地区名になじめない。市名のブランド力はあるが町村合併の名残は大きく住みやすい所、好きな所とは言えない。
- 雪が降ると川へ雪を入れて詰まってしまう大変な思いをしました。特に、アパートの方がしているようで、アパートのオーナーさんや経営会社などへ連絡等をしていただけるとよいのですが、放送をかけても聞いていない方もいてトラブルになっています。
- 生まれ育ったところ、代々生活している家で最後まで住むつもりでいたが、まさか突然こんな場所になるとは思わなかった。十数年前から近隣の環境が、かなり変化がでてきた。空き家解体、更地、新築、移住者が増え、隣組等の近隣環境が大きく悪い方向に変化した。生活モラル、ルールを守らない人々が集まって来て、静かな場所が騒がしく、まともな毎日がおくれず、健康被害も出てしまった。「住む場所」ではなくなってしまった。さらに3年前に飲食店が狭い家のど真ん中に何の前触れなく、翌日から工事が始まり、とても安心した暮らしができなくなった。住宅街のど真ん中に飲食店ができると、どうなるかは予想していたので、やっぱり現実はそうなった。365日、ごみ収集車、車の往来、代行の車、人々の騒ぐ声（夜中2、3時早朝）。近隣は高齢のお宅ばかりで、自身も家族も寝不足の毎日、血圧も上昇。不思議な出来事に、毎年亡くなる人が3年連続、この元隣組だけで3人続いた。救急車が4回来た。偶然とはいえ、環境が大きい。飲み屋の駐車場客のあて逃げ。車の出入りが狭く3年間に3回家を壊され、警察呼んだり、費用はかかるし、この先このままではこの地で暮らすことはできないであろう。いくつかの機関に相談したが難しく、自分たちが避難しない限り、悩みは解消されないらしい。（7年9か月前～包括には、何十回も相談済）
近隣に認知症の疑いある人を通報しても「よその家だから」と全く取り扱ってもらえない（虐待は通報可）。都道府県等によっては、市町村によっては、取り扱ってもらえると思ったが。とにかく、もうこの地で住むには毎日が苦しい。

【デジタル社会・行政サービス】

〈デジタル社会・行政サービス〉

- 水道代、クレジットカード払いに対応してほしい。学校の集金はキャッシュレス決済にしてほしい。
- 請求書に印をつくのを廃止してほしい。市の助成、補助申請がもっと電子でできるようになればいいと思う。
- 紙ベースの情報伝達を減らしてほしいです。

- 紙類をもっとデータ化してほしい（特に若い世代）。何枚も重要書類を書いたり、保管しておくのは大変だし、紙の無駄にもなっていると思う。
- 効率化＝行政サービスの低下、だと思うので効率化ばかり考えないでほしい。
職員の負担が大きいのではないか。職員を増やした方が良いと思う。
- 今はデジタル社会ですがスマホの使えない年寄りをおいてきぼりにしないでほしいです。
- 高齢者はデジタル化に慣れないので紙面での配布物も引き続きしてほしい。
- 全てデジタル化にせず、アナログな方法も残して行ってほしい。選択肢が多いことが豊かさにつながると考えている。

現在の状態で、とても有り難いです。文化面でも、家族の介護でも、いろんな情報や支援があって助かっています。

- この1月埼玉県八潮市で、下水道管破損で道路陥没が起きました。安曇野市でも同ような災害が起きないか不安になるので、市では従来からこのような下水道管理対策を行っているとか又は今度はこのような対策を行うとか「あづみの」等の広報で知らせて安心させてほしい。

水道水に有機フッ素化合物が基準値以上含まれていた事が問題になった時がありますが、これも上記同様、市では現状どうしてるのか。例えば水道管・給水栓や浄水設備など定期的に水質検査を行っており、異常等を確認していますとか、市民に周知方をお願いしたい（安心させてほしい）。

今後、他市町村で行政が関わるような災害や事故が発生した場合、当市ではその件についてどういう扱いをしているのか、又は今度どう対策をして行くか等「あづみの」等を利用して知らせてほしい。

もしすでに周知されており私の見落としであったら申し訳ございません。

- 広報あづみの「広報紙」の印刷はカラーでなく、白黒で十分だと思います。用紙も薄くて十分だと思います。
- 「広報あづみの」は充実していて満足しています。関係者の方々に感謝しています。同紙は新聞で配布され、ほかにポスティングでも配布されていますので無駄です。改善を望みます。
- もっと様々な情報がひと目でわかるようなシステムができたら良いと思う。
- 市で行っていることに無関心な人、否定的な人が一部にいる。難しいが、広報活動で、もう少し身近なこととして考えていけるような方向に工夫できないだろうか。
- どんな政策が行われているか見えてこない（PRが悪い）。
- 市政に関する情報を広めないで、こうしたアンケートもあまり参考にならないと思います。SNS や公式サイトでの積極的な情報発信を期待しています。

【SDGs】

〈SDGs 達成への取り組み〉

- SDGs やカーボン推進が全ての人に善である前提でアンケートを作らないでください。これらの政策がアメリカから来ており、それらはこの国、土地において優先事項なのかも考えることなく取り入れるのに反対です。アメリカ民主党がこれに失敗し、経済が破

綻、先日は温暖化ガス規制の根拠を否定する報道がアメリカでありました。税金が無駄にこのような政策に使われもうけている人々がいるのです。

マイノリティ（性的）についても、元々日本は差別をしていません。これも過剰になったのはアメリカは未成年の性転換手術に税金での補助金を出し、親の同意なしにできるようにしました。親が「許可していない」と反対すると児童相談所と警察が来て親を調査対象にするケースも有名です。このように、アメリカで大失敗した政策は今オワコンであり、これを良いものとして公的に受け入れる国も市もよく考えた方が良いです。皆さんが思っているより、国民市民が「世界で起きている事実」を知っています。英語のニュースはより簡単に見れる時代なのです。翻訳アプリ・AIが発達し優秀です。

【市への意見・要望・提案】

〈意見・要望・提案〉

- 市役所はコンシェルジュさんがいたり、職員の方の対応も親切だと思います。
- 入口に総合案内の方がいて、相談できるのは大変有り難いです。
- 今の市長により、市が良い方向へ動いているように感じます。リーダーシップが重要です。
- 職員の皆様のおかげで安全に心配なく生活しています。ありがとうございます。このまま続くことを願います。
- 今までいろいろな場所に住み、市役所という場所が苦手というか嫌いでしたが、安曇野の市役所の方々は本当に穏やかな人が多くて、それだけでうれしかったです。この場を借りて、ありがとうございます。毎日お疲れさまです。
全国的にも子どもが減ってきているので、子どもを産み育てたいと思えるような環境が必要だと強く感じます。この国をつくり守ってきた高齢者の方々には感謝していますが、その方々だけでなく、若い世代が生き生きと過ごしやすい街・安曇野に変化できるように、政治の中に若い声を積極的に取り入れてほしいです。今までや昔を否定することではなく、良い物は残して土台として生かし、今の時代やその時々合った考えなど、固執することなく柔軟に動かしてほしいです。子どもの声は核心をついてきます。子どもの声を聴いてください。感謝。
- 近隣の環境の事で相談に行っても話を聞くだけで進展もなく連絡もない（もう何年も）。市の管理（市道等々）は市でしっかり整備してほしい。お願いしてもそのたびもめる。
- 市の手続きなどが、ほとんど豊科の市役所本庁舎へ行かなければならないことが多く不便。住んでいる地域の支所をもっと活用できるようにしてほしい。（認定こども園のことなど。）
- 職員についてですが新人ならともかく、「私はそこの生まれではないので知りません」と言うことは無しにしましょう。知ったかぶりも良くないですが、私もこの年になってわからないことがたくさんですが、調べに行ってみたりします。知らなければすぐ調べましょう。一人一台パソコンに向かっているのですから、ちょっと暇をみて。
- 「行政の仕事だから」と考えると形式的になる。住民からの意見要望、困り事相談等については、相談者の立場になって、「何ができるか」を真剣に考え幅広い知識をもって対応

していただきたい。できないことでも、何か方法を考える。単なる「できない」という言葉は極力避けるべき。

- 前回市役所に行った際とても残念な思いをしました。市役所の方々ほどの窓口でも丁寧で、地元としてとても安心、誇りに思っていました。しかしある一部の方の対応を受けて、残念としか思えませんでした。人を見下す話し方、忙しいんだから早く終わらせろと言わんばかりの話し方、ため息。市外や、県外の方にも対応していると思うと恐ろしくなりましたし、幻滅しました。年齢的にも年配の方だったので余計に残念です。人前には出てほしくないし、接客や話し方を見直さないと一人のせいで市の印象を壊す可能性を感じてください。久しぶりに怒りを乗り越したので記入しました。
- 支所スタッフの知識が少なすぎ、もっと勉強してほしい。結局、豊科の本所へ行って聞いてくれと言われる。このスペックで各支所のハコは恵まれすぎです（フリースペースに解放してほしい）。
- 市の職員に要望です。勤務時はもちろん、時間外であっても「あいさつ」「ありがとうございます」最低限大人のルールの見本を示していただきたい。職場では市の職員を見せていた方が、外に出たら品のない正反対の大人の顔を見せていた職員に会いました。人間として、大人として、当たり前でいていただきたい。
- 確定申告に行った際に、担当の人の態度が悪かったです。また、設置してある看板もわかりづらかったです。
- 市への意見とは少し違ってしまうかもしれませんが、市役所の職員さんの中に対応が悪い方が何人かいて、市役所に行く用事があっても正直行きたくないなあと感じてしまい、市での生活に不満を感じてしまうことがあります。子どもが発達障がいの診断を受け、特別児童手当について聞いた時に対応した女性の方は「誰から聞いたんですか？」とまるで不正受給を疑うかのような対応をされ、こんな職員さんが障がい福祉課にいるのは障がいのある方や家族にとっても不快な思いをさせ、住みにくくさせるのではないかと強く思いました。医療費控除の確定申告の際も、控除になるもののレシートを出したのに「これはなりません！」と強く言われ、市政などの前にまずは市役所の職員の教育などを優先すべきではないでしょうか。良い方もたくさんいる中で一部のそういう人たちのせいで行くたびに不快な思いをします。
- 意見や思いをここに書いても、何も変わらないと思うので書きません。以前、電話で意見や思いを伝えたことがありましたが、「検討します、ありがとうございました」とありき通りの返答。その後、検討した様子なく変化なく。残念な市政です。生まれ育った安曇野ですが、好きな場所ですが、もう少しまともな市政になりませんか？
- 税金減らせ。支所へ行ったら何しに来たか？って顔をする。嫌気がさす。
- 市議の方で意欲を持って活動に取り組まれている方もおられると思います。一方で議会の中で目を閉じておられる方も見られ、目を閉じて聞いているのと居眠りをしているのは違いますが、見分けが難しいので目を閉じている＝居眠りとして、罰金制を設けるのはどうでしょうか。罰金は聞こえが悪いので「寄附」としても良いかもしれませんが。大変重要なお仕事なので、そのような制度があっても、それでも、市を良くしたいと思ってい

る方に市のことを考えていただきたいと思います。

- 市議員に行政の相談をすると区を通して行政への返答。市議員は何のためか、区の役員が大変です。

長野県交通共済について、市の前、町村の時はあったが市になっただけなくなってしまった。中信4市で加入していないのは安曇野市だけです。事務量は増すが市民のために加入を。

全国交通安全協会表彰は少数の安曇野市のものであってはならない。一般会員の中にも優秀な人が多くおります（交通栄誉章緑十字）。

- 議員定数の削減を実施し、合理的な議会運営をしてほしい。
- 若い人を市役所職員に採用してほしい。
- 職員の方々が公用車だけでなく、電動アシスト自転車や自転車を使用すると良いと思います。
- 住民税が高いので安くしてほしい。公共料金も。(全般に税金が高いと思う。上下水道料、介護保険料、固定資産税 etc.)
- 松本市と比較しても、市税が高く不満がある。補助金関連（エコキュート、リフォームなどの）補助金がない。
- 生活困窮者以外への支援が他の市町村に比べて少ない。
- 中間層への支援をしっかりとしてほしい。
- 給付金などがたまに欲しい。
- 松川村の市民に対する補助金制度がありますが、安曇野市はないですね？
- 国民年金で生活している人も多い中、年金支給金額が少なく生活はギリギリ。国民年金の支給金額増やしてほしい。

国民年金より生活保護受けている人の方が支給額が多い。国民年金の人はずっと年金掛けてきて、やっと年金もらえるようになるのに、本当に不公平である。(市議員に話してもそんなことはないと言うが、もっと理解してほしい。)

- インフレがきつい。少しでも生活を楽にしてほしい。
- 物価上昇などで家計が厳しい世帯もあるが、補助金などの対応がない。
- 現在の物価高に対して市の（安曇野市）独自の減税ができないのでしょうか。生活に大変な人が大勢いると思います。生活に優しい安曇野市になってほしいと思う。
- 最近あらゆる品々が値上がりし、高齢者は少ない年金で生活しているので大変苦しく苦労していると思われます。何か良い方法でお助けくださることをお願いいたします。楽しい人生100歳時代を迎えたいと思います。
- 他市町村では物価対策等市町村民に対しての対応が聞かれますが、安曇野市ではあまり積極的に取り組んでいる姿が見えません。今や給与対策で企業中心の活動でなく市民の生活に直接かかわる施策をもっと現実に認識できる市施策を御検討いただきたい。
- ガソリン代、灯油代などの高騰のため生活が苦しいことがあります。何か補助金的なものがあればうれしいです。
- この辺では移動手段は自動車を使用することになり、ガソリンなどの価格が他県より高

く、自動車の使用を控えています。また灯油も含めて光熱費が高く困っています。3年前に東京より自然を求めて引っ越してきましたが、この費用が高く、何か助成金などを考えていただけると幸いです。

- 便利で優れた物が出回る世の中になっておりますが公共料金、ガソリン、冬用の備品等（タイヤ、灯油）、全て値上がって生活を苦しめています。

税金を支払うために働く市民もいることをわかってほしい。

移住して感じた事は、農産物の値が高いことでした。「農家の方々が近くで生産した野菜類なのに、都会より地方の値代が倍違う」のに驚きました。しかし農業者の収入は少なく、中間業が値を上げているのでしょうか。（都会で70%のオレンジジュース150円が、農協で350円でした。）

ある話を聞きました。観光地に力を入れて（インバウンドを対象とした施策・市場）市にお金を落としてもらうことうんぬん。市を豊かにするためでしょうが一番大切なのは住民の生活の豊かさを守る政策をお願いします。

- 他県と比較して一人暮らしで借りるアパートの家賃が高いので、安くできないでしょうか。賃貸でも太陽光などの環境にやさしいエネルギーを使用できればうれしい。
- 貧富の格差大きく不公平、富裕層の税負担を多くするべき。
- 高齢者よりも子どもの生活のためにお金を使うべきである。
- 市議、県議、国議へいくほど、大きなうねりに飲み込まれ市民はどうしたらいい。
- 市が何について取り組んでいるのかの周知が必要。
- 市民にわかりやすい政策説明を、皆に届く形でお願いしたい。2025年問題、待ったなしの超高齢化社会、地域ケアの充実をお願いしたい。
- 産業振興の進展が何を目標しているのかわからない。人を呼ぶものなのか、税収を上げたいのか、観光を促進したいのか。生活している人たちが暮らしやすく楽しめるまちづくりに期待している。
- 若い世代がいきいき暮らせる地域づくりをお願いしたい。
- 市施設（各種）の活動について「もっと活発に、工夫が足りない」。

交流センター、各種博物館等の立派な施設がありますが、それぞれの施設としての活動を「工夫・考えて」、市民の「物」として存在感を示してほしい。

各種施設（公民館も含めて）の館長を「公募制」にする。名誉職の「天下り」の方法では、活動に工夫が足りない。

活動例）一例を挙げれば、「安曇野美術館」について。活動の具体例、下記を参考に。

県内の現・旧を問わず、絵画、彫刻、写真、書画等県出身者で多くの方が故人を問わず紹介する。

- ・児童生徒の作品（絵・書・工芸作品、桜の花が咲く時季に写生大会（安曇野風景）その作品の展示等々）
- ・大人の作品（サークル活動の紹介、常念岳をテーマにした絵画・写真の毎年の公募作品の展示、安曇野風景の絵画・写真等の公募作品の展示）

予算の関係もありますが、「受益者」負担（内容により大・小を）を考えて。

高校生の参加を工夫し活動的にしては。

- 高齢者のため大した協力もできなくてすみません。私は今のこの地での生活にほぼ満足しています。しかし、やはり気になるのは今以上の老後のことです。交通の関係、また福祉の面で高齢者が安心して暮らせる市をつくってほしいと思います。今でも一生懸命働いてくださっている皆様方には感謝しております。ありがとうございます。いろいろ大変ですが、頑張ってくださいね。

- 自分は地区の祭りの運営にも携わっていますが、コロナ禍以降、規模の縮小などが続いてしまっています。また、コロナ禍以前からも祭りの運営を担ってきた団体への加入者は減少していて、伝統行事に対する関心（特に若い世代の人々からのもの）がどんどん薄れてきているように感じます。自分たちでも行動を起こしていかなければならないというのは重々承知していますが、市の方でも、特に子どもたちが伝統行事などに目を向けてくれるような政策を展開していただけないかと思います。

自分が中学校の時には林業体験などの地域の自然に目を向けるような教育活動も多少は行われていましたが、最近ではそういった活動もなくなってきてしまっていると耳にします。「自然保育」に関する設問もありましたが、より盛んに行っていくべきではないかと思えます。

ほかにもいろいろと記したい事はありますが、やはり自分は安曇野市が好きなのだと感じます。市の方々も、多くの課題がある中で解決しようと奮闘してくださっていると感じます。感謝しております。これからもどうかよろしくお願いします。

- このアンケートが市にとってどの程度に市民に反映されてくるのか不安です（何か市の人気投票的な気がして）。机の上の書類上ではなく、もっともっと人間らしい心のある行政になれば良いなあ、と思います。せっかく頑張ってお仕事されてますでしょうから、市民に温かく伝わってほしいです。
- 大きな視点で安曇野市をどうしたいかが市政として定まっていな気がします。全市民の要求に100%応えるのは不可能として、市民に70%なら良さそうな印象はありますが、それでは安曇野市の印象が希薄になってしまうと思います。極端な話、オール4の人よりほとんど1でも1個2個5のある人の方が魅力的です。埼玉県くらい開き直って、ある程度の文化事業やアミューズメントは東京に任せてしまうぐらいで良いかもしれません。つまり松本市に任せてしまうということです。多少なりとも安曇野市よりは「街」な地域で生まれ育ち生活してきた私の考えでは、安曇野の良いところ、特長は「田舎」なことだと感じています。下手なアーバナイズが涙ぐましく思います。
- 近隣市町村より先行した施策をしていただきたい。
- 市より合併前の町の頃の方が町営の管理（草刈り、雪かき等々）、福祉の面では勝っていた。
- 人口減少に思うこと。

人口減少に対し、県が昨年後半に若者を対象に出前講座や、県民会議を立ち上げ、対策を始めたけれど、既に時遅しと考えられる。

およそ6年前に、内閣官房より、人口減で地方銀行の統廃合について甲信越では、長野県

は1行、山梨県では生き残り無理の話があり、その直後、長野銀行に頭取は3年ごとに財務省又は日銀から派遣されていたが取りやめ、はしごを外した。

山梨では山梨中央銀行が静岡銀行に援助を要請し、傘下に入った。

そしてまた、今年に入り再び金融庁は人口動態、減少予想、預金への悪影響等、地方銀行、第二地銀に対し、将来の経営プランを各頭取から直接聞き取り対話を始めている。このことは、財務省、日銀、金融庁は詳細に分析し、各自治体の人口減を考えている。

さて、今、各地方自治体は人口減に対しいろいろな対策を始め、また行おうとしているが、その効果は疑問（速効性はない）、財政への大きな負担となる可能性がある。人の数ではなく、将来の日本を背負い、発展させることのできる人を育成することへの投資が鍵となろう。

今の日本は世界の中で、経済は世界をリードする力はなく二～三流クラス、文化・芸術・伝統等で一流を保っているが、これが廃れれば世界の国々の中で忘れられる国となるのではないかと考えられる。このことを十分に理解されていると思います。よって、長編小説「安曇野」の復刊や文化芸術等に造詣が深いことに安心と期待があります。

- 基本的に移動は自家用車が必要、自身に何かあったとき（病気・怪我もしくは車の故障など）移動手段がなくなることへの慢性的な不安がある。ライドシェア・カーシェアの提供が安全性と利便性が高まり普及していく必要性を感じている。
- 農業・林業の充実を図ってほしい。また、自然エネルギーによるエネルギーの自給自足のできる市づくりを進めてほしい。

上記二つを基盤に子育てのしやすい教育環境を整えてほしい。

- 安曇野市は自然がたくさんあり、交通の便も良く、いろいろなスーパーやお店があり、とても住みやすい所です。娘が二人いますが、二人ともこの安曇野市に暮らしたいと言っています。二人とも30代になったのですが、なかなかこの地域でも出会いがありません。安心してパートナーが見つけれられるような取り組みを市でも考えていただけたらうれしいです。
- 老人が多いのに車がないと生活ができない安曇野市。畑や田んぼが多いのに、その恩恵も乏しく野菜や米も都心よりも高額である安曇野市。子ども世帯には優遇があっても、いない人には何のメリットもない。逆に安曇野市の「ここがすごい良い」点がわかりません。ごみ袋も他の市町村より高い。安曇野市の良いところ（自治体のおかげで）を知りたいです。
- 調査内容が広範多岐にわたり、特に「3. 安曇野市の行政に関する事」の設問内容で、自分が多少なりとも関わったものと、そうでないもので、「現状の満足度」に答えやすいものと、そうでないものがあった。

五つの町村が合併して10年目頃、「市の水道料金の一本化」など、市の行政仕組みや機能がしっかり整ったんだらと思う報道に接した。その10年間くらいで、「区長会」をはじめ、「交通安全協会」など外部団体も一体化され、市も行政との連携も進んできたと思う。そして、市政30年に関わる「第2次総合基本計画」の内容は承知していないが、この意識調査からも、広範多岐にわたっていると思う。そして、どの計画も重要だ

と思う。けれど、現体制で第3次計画に発展・充実させていくには、思い切った重点化が必要だ。でも、この年寄りには無理で、「今後の重要度」は答え難かった。

子育て支援等による人口減からの脱却。防災に強いまちづくり、市・区・常会・隣組が一体となり支え合う協働のまちづくりなど、重点施策を2、3本に絞って、全ての市民がそれに関われるようにしてはどうか。

- 住みやすさ、また来たいと思える観光地など、一つ一つの施策は良いように感じますが、全てが点になっていて、全体感としての魅力が引き出せていません。将来的に目指す未来像(安曇野市はこうなりたい)が定まっていないのか、目先の事だけに手を着けているのでは?観光地としても多くの自然、景観、おいしい産物、温泉、人も動物も楽しめる所はありますが、点在しています。個人的に安曇野インター窓口にある、スイス村とハイジの里は非常にもったいないと感じています。地元野菜等の販売、それを使った食スポット、人も犬も遊べるスポットとして地元民も観光客も楽しめる場所に生まれ変わってほしいです(長野県最大の道の駅のような)。昔から受け継がれている物で変えてはいけないこと、新しい時代となり変えなくてはいけないことがあると思いますので、それをしっかり見定めてほしいです。また、今後、更に高齢化が進むことも踏まえると、交通課題は解決に向けて、早期に考えていく必要があると思います。現在の利用率は増えているのか、使っていない人はなぜ利用しないのか、分析、検証し、10年後、20年後に向けて手を打ってほしいと思います。
- 今頃になって明科駅前の工事をして車道が増えるわけでもなく、駅周辺の商店、医者等がなくなり閑散としてしまった。本来駅前が一番にぎやかでなくてはならないのにどうしてこうなったのか不思議である。市は何の目的でやったのか教えてほしい。まちづくりには点と線が必要でないか。また、駅前が階段ばかりになって私たち年寄りには階段が一番つらい道だ。
- このアンケートは中心部に居住する方々のためのみに作られた内容だと思います。安曇野市は広くなりすぎました。隅々まで広く見てほしいと思います。端の方に居住している方々は、市の職員が何をして働いているのかわからないと思います。市役所のある中心部のみが安曇野市ではないんです。端の方々も税金を同じように払い同じ援助を受けたいと思っているはずです。
- 先送りにしない住民等のサービスや問題。特に問題やトラブルの原因は行政側にあると考え早急に対応する意識、組織改革が重要。市民力を傷ることないように、そのような時代であると熟考するべき時であると思う。
- 市役所職員の皆様、毎日お疲れさまです。アンケートの「どちらともいえない」は「よく知らない」の意味で答えさせていただきました。
最近、老若男女問わず、道德観の欠如した人が増えた気がします。横のつながりが、希薄なのではないでしょうか。四つの助をもっとアピールして住みやすい安曇野市にしてほしいです。
- 松本から引っ越して1年未満ですが、安曇野の自然が好きで引っ越してきたので、そこは維持して行ってほしいと思っています。その他の問いに関しては、通勤時に感じる事なので、改善があればうれしいです。

- 現在、安曇野市は、本当に生活に困っている人にちゃんと補助ができていますか？いまいち、そこが見えていません。SNS などを見ると、来日して数週間の外国人の方に生活保護を簡単に出しており、元々住んでいる日本人の生活困窮者にはなかなか生活保護を出してもらえない、などの話がよく出てきます。安曇野市はどうでしょうか？日本人、外国出身の方々に限らず、「ちゃんと安曇野市やこの国に税金を納めてくれる人々」で、本当に困っている人々にお金を渡していただきたいと思っています。皆、汗水たらして働いています。正しい税金の使い方を是非、お願いいたします。
その他、無線（広報）が聞こえたり、聞こえなかったりするのをどうかしていただきたいですが、なかなか難しいでしょうか。お年寄りなどは、現在、行ってくるメール配信のことなど知らない方々も多いかもしれません（若い方々も知らない人が多いですよ）。もっと、それを皆に知らせるべきです。
市役所、支所にある、住民が読める全ての文書を、もっと簡潔に。住民が読んでも、障がい者が読んでも、だんだん機能低下してきたお年寄りが読んでも、すぐわかるような文章にすべきです。読むのが面倒になるような文や難しい、回りくどい言葉は駄目です。その方が、職員さんたちの説明する時間も省けますし、仕事が効率的になるはず。作り直すまでには労力がいらしますが、よろしくお願いいたします。
- 国保税高すぎませんか？18 歳までの子どもはいいかもしれませんが大人の医療費高く、教育費（大学、高校無償化といっても授業料以外にかかる費用も高い。例えば毎年学年費というのか授業料とは別で3万円近く払っていました。半年間）、ほかタブレット代、修学旅行費なども、入ってみたいとわからないなんてひどすぎます。各高校で細かく去年の例など1年間にかかる費用を公開してくれたらいいですね。で大人は病院よほどでないとお金かかるので時間もかかるし、行くの控えてしまいます。市の就学支援はだいぶ助かりました。ありがとうございます。
- 安曇野の自然はすばらしいので、老後も安心して暮らせる場所にしてほしいです。子どもにとってはのびのびと遊べる公園があるといいと思う。
- 正しい行動をしている人が住みやすい環境にしてもらいたい。
- 終活情報登録制度を検討してほしいです。
- 安曇野市さんとお仕事する機会がもっと提供されると良い。この点で、特化したメールマガジンの配信があるといい。高齢者が多いので、あまり活用されていない IT 分野への投資は、もう少し考えた方が良い。
- 安曇野市に愛着があり、お役に立ちたいと考えているが、具体的な活動に結びついていない。何かマッチングしていただけるシステムなどがあればいいと思う。
- 自宅から小学校・中学校へ通学する道の歩道が狭いところがあり、心配です。また、明科北小が、区外からの生徒受け入れを目指す方針であることに不安を抱いています。それであれば、明科南小に通わせたいです。
- 高齢者優遇の町で将来に希望がない。大河より長期的視野をもった市政を。
- 公募の選考は公正・平等にしてほしいです。くだらない政治的圧力のない街であることを切に願います。

- 保育士、教員への給与が少ないと思う。
- 移住して私的には何の不自由も不満ありません。住みやすい地です。若いこれからの人たちのために、より良い地にしていただけることを望みます。ありがとうございます。
- 安曇野市に住んでまだ年が浅いので、日々の生活に追われていて、安曇野のことにあまり目を向けることがありませんでした。これを機に、もっと考えてみたいと思いました。
- 経済的に豊かな安曇野市になってほしいです。
- 安曇野が大好きです。何か協力できることがあれば積極的にお手伝いしたいと思っています。今後どうぞよろしく願いいたします。

〈質問〉

- 安曇野市の活性化のために何か PR していることはありますか？
- 三郷堆肥センター閉鎖の代替りの施設は、何も考えていませんか？

〈アンケート〉

- アンケート結果が見れたら有り難いです。
- 当アンケートで感じたことは、出問が市民の心に感じる問いが少ない。市民がワクワクするような問いがあっても良いと思う。市民が話し合う時があってほしい。
- お年寄りにばかり意見を聞くのではなく、子育て中のお母さん、移住者を集めて意見交換の場を。
- 回答に「何の施策をしているか知らない」が欲しかったです。
- 市外に勤めているため詳細がわからずに、「どちらともいえない」が多くなってしまいました。住んでいて、不自由はありませんので、現在の状況に大きな不満はありません。
- 行政に関する事はあづみの広報等の中でのみ知ることであるため、充実度をはかる物差しがない。施策に対する評価では、評価基準のその物差しが見えないので満足度に異和感があった。
- 住み始めて3年弱ですが知らないことが多いなと思いました。よく知らない項目に関しては「3」とさせていただきましたので「3」が多くなってしまい、申し訳ありません。
- アンケートとるのはいいですが、内部の方の満足度から確認したらどうでしょうか。例えば道路は他県に比べて道が悪すぎるのは明白で、整備に関して満足できるはずないです。大変だと思いますが頑張ってください。
- 市からのアンケート度々来ます。なぜですか？いろんな方をお願いしてください。どういうふうに使われているのでしょうか？怖いと思っています。
- 迷惑なので、こういうの、やめてほしい。

設問別 その他の意見（自由記載）

問1（3） 主に従事している職業等 その他の内容

- 農業
- 兼業農家 農業収入はマイナス
- 農業・団体役員
- 主婦、稲作農業
- 野菜作り
- 飲食業
- 画家
- 非常勤役員

問1（4） 通勤先、通学先の市町村 その他の内容

- | | | | |
|--------|----|----------|----|
| ● 長野市 | 4件 | ● 山形村 | |
| ● 上田市 | | ● 朝日村 | |
| ● 岡谷市 | | ● 松川村 | |
| ● 諏訪市 | 2件 | ● 中信地区 | 2件 |
| ● 伊那市 | 2件 | ● 東京 | 2件 |
| ● 下諏訪町 | 2件 | ● 茨城県水戸市 | |
| ● 箕輪町 | | ● 仕事先による | |
| ● 池田町 | 7件 | | |

問1（6） あなたの出身地は その他の県内市町村の内容

- | | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| ● 長野市 | 21件 | ● 山ノ内町 | |
| ● 上田市 | 6件 | ● 信濃町 | |
| ● 岡谷市 | 4件 | ● 川上村 | |
| ● 飯田市 | 6件 | ● 阿智村 | |
| ● 諏訪市 | 5件 | ● 宮田村 | |
| ● 須坂市 | 2件 | ● 麻績村 | |
| ● 小諸市 | 2件 | ● 生坂村 | 3件 |
| ● 伊那市 | 5件 | ● 山形村 | |
| ● 中野市 | 3件 | ● 筑北村 | 5件 |
| ● 茅野市 | | ● 松川村 | 11件 |
| ● 佐久市 | | ● 白馬村 | |
| ● 千曲市 | | ● 小谷村 | |
| ● 下諏訪町 | | ● 木島平村 | |
| ● 箕輪町 | | ● 小川村 | |
| ● 飯島町 | | ● 北安曇郡 | 2件 |
| ● 木曾町 | 4件 | ● 旧北城村 | |
| ● 池田町 | 13件 | ● 南佐久郡 | |
| ● 坂城町 | | ● 上高井郡 | |

問1 (6) あなたの出身地は その他の道府県の内容

| | | | |
|-------|----|-------|----|
| ● 北海道 | 5件 | ● 岐阜県 | |
| ● 青森県 | | ● 静岡県 | 4件 |
| ● 岩手県 | | ● 三重県 | |
| ● 宮城県 | | ● 滋賀県 | |
| ● 秋田県 | | ● 京都府 | 6件 |
| ● 山形県 | | ● 兵庫県 | 3件 |
| ● 福島県 | | ● 岡山県 | |
| ● 茨城県 | 3件 | ● 山口県 | 2件 |
| ● 栃木県 | 3件 | ● 香川県 | 2件 |
| ● 群馬県 | 4件 | ● 愛媛県 | 3件 |
| ● 千葉県 | 7件 | ● 高知県 | 4件 |
| ● 新潟県 | 4件 | ● 福岡県 | 3件 |
| ● 富山県 | | ● 佐賀県 | |
| ● 石川県 | | ● 長崎県 | |
| ● 福井県 | 2件 | ● 熊本県 | |
| ● 山梨県 | 4件 | ● 沖縄県 | |

問1 (6) あなたの出身地は 外国の内容

| | | | |
|--------|--|------|--|
| ● ブラジル | | ● 中国 | |
|--------|--|------|--|

問1 (7) 移住前の居住地 その他の県内市町村の内容

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| ● 長野市 | 26件 | ● 池田町 | 11件 |
| ● 上田市 | 8件 | ● 南箕輪村 | |
| ● 岡谷市 | 6件 | ● 阿智村 | |
| ● 飯田市 | | ● 天龍村 | |
| ● 諏訪市 | 6件 | ● 生坂村 | 4件 |
| ● 須坂市 | | ● 山形村 | |
| ● 小諸市 | | ● 朝日村 | |
| ● 伊那市 | 4件 | ● 筑北村 | 3件 |
| ● 中野市 | | ● 松川村 | 6件 |
| ● 茅野市 | 3件 | ● 白馬村 | |
| ● 佐久市 | 2件 | ● 北安曇 | |
| ● 千曲市 | 2件 | ● 大桑村 | |
| ● 東御市 | | ● 豊科 | |
| ● 立科町 | | ● 上高井郡 | |
| ● 下諏訪町 | 2件 | ● 山内 | |
| ● 箕輪町 | 2件 | ● 島内 | |
| ● 飯島町 | | ● 県内 | |
| ● 木曾町 | 3件 | | |

問1 (7) 移住前の居住地 その他の道府県の内容

- | | | | |
|-------|----|-------|----|
| ● 北海道 | | ● 静岡県 | 3件 |
| ● 青森県 | | ● 三重県 | 2件 |
| ● 宮城県 | | ● 滋賀県 | |
| ● 秋田県 | | ● 京都府 | |
| ● 茨城県 | 6件 | ● 兵庫県 | |
| ● 群馬県 | 5件 | ● 奈良県 | |
| ● 千葉県 | 7件 | ● 岡山県 | |
| ● 新潟県 | 6件 | ● 山口県 | |
| ● 石川県 | | ● 愛媛県 | |
| ● 福井県 | | ● 高知県 | |
| ● 山梨県 | 6件 | ● 福岡県 | |
| ● 岐阜県 | 3件 | | |

問1 (7) 移住前の居住地 外国の内容

- | | |
|--------|--------|
| ● イギリス | ● ブラジル |
| ● 台湾 | |

問2 世帯状況について その他の内容

- 四世代同居
- 同居人と二人
- 恋人と2人暮らし
- 兄・本人・妹・嫁
- 親一子一義息子
- 夫婦と知人のおばあさん
- 今は1人生活 別の家で

問3 生活にどの程度満足しているか その他の内容

- 体育館と使える場所は割に多いでもプールは一つしかないしかも水が汚い使ってほしい。
- 人口が減り続けている。

問4 これからも安曇野市に住み続けたいか わからない・その他の内容

- 以前住んでいた茨城県に帰る。
- 数年の予定で来ているのでいずれ高知に帰る。
- 夫婦が1人になったら愛知県へ戻る。
- 長男であるため家業継承のため、いずれ家族で出身地に戻る予定。※ただし、住居(戸建て)は資産運用予定(計画)
- 地元に戻るかもしれないから。
- 県外の子供の所へ行くかも。
- 免許返納後は都会移住

- 今のところ暮らしていく予定だがずっと住み続けるかはわからない。
- 将来のことはわからない。
- まだわからない。
- 住まざるをえない。
- こだわりはない。
- 出て行くにしても経済的にダメ。
- 転居したいと考える程悪くもなく、積極的に永住/帰住を考える程良くもなく。又、良い点もあれば悪い点もあるということ。
- 今から他地域に移れない。
- 住みたいが、両親の状況変化などもありそうなため不明。
- 両親が亡くなったらわからない。
- 高齢になっても住めるか疑問
- 移ってもいい
- 仕事の都合を優先する。
- 年令的に
- 住み続けたい強い理由も転居したい強い理由も無い。
- そこまでまだ愛着がない。
- 公共交通機関や買い物の不便さがなくなれば、ずっと住みたい。
- 状況次第で変わる。
- 将来的に車の運転ができなくなったときの生活が心配。
- 二拠点生活中
- 機会があれば別の地域に住んでみたい。

| |
|-------------------------|
| 問4 (1) 住みたいと思う理由 その他の内容 |
|-------------------------|

- 近隣住民のマナーがいい、車の運転が優しい、景観がいい
- 景観が良い。空気がきれい。水がおいしい。
- 水のキレイさ
- 災害が少ない
- アルプスのおかげで災害がない。
- 景色がいいから
- 人生最後の地と思い移住した。
- 移住してきたので
- 農業をしているから(農地管理)
- 自分が子どもをもてたら、子どもにも安曇野の魅力を感じてほしいから。
- 子供2人(世帯で)も移住してきたので。孫4人
- 山がきれい
- 長男の嫁のため、家をまもらなければいけない。
- 安曇野市で私は、様々な面で助けられたから。市、知人、友人等。
- 山が近い
- 生活に慣れているので。

- 安曇野市の自然が好き。
- 親と同居
- スーパーなど近くにあるから。
- 気候、風度に合っている。
- ゴルフ場が多く近いから。
- 他に行く場所が無いから。
- 北アルプスが好きだから。
- 常念岳ほか北アルプスがよく見え、楽しいから。
- 別荘地の為近所付き合いが無いのは楽。
- 近くに商業施設があり、生活するのに便利。
- 自然環境と利便性のバランスが良い。
- 実直な人が多いから。
- めんどくさいから。
- 趣味 アウトドア
- 家を建てたため。

| |
|------------------------|
| 問5 (1) 愛着を感じる理由 その他の内容 |
|------------------------|

- ずっと住んでいる場所だから。
- 長年住みなれた場所、駐車場が広く買物に便利。
- 家があるから。
- 先祖からの受け継がれた土地、家
- 生まれ育った地だから。
- 気候が良く、災害が少ない。
- 自然が豊かで災害が少なく住みやすい。
- 北アルプスがキレイだから。
- 北アルプスの存在。
- 景観がすばらしい。
- 人が少なく静か
- 自然災害に備える体制が整っていると感じないが、全般的に自然災害が少いと感じている。
市の政策で他と比較してこれだ、というものありますか。
- 愛着は、よいと感じてる。でも理由の答えとしては、どの問いにたいしても、整えてるとは思えない。
- まだまだ、発展途中と思う。
- 空気と水がきれい
- 自然災害もなく安心して暮らせる。
- 夫がまちづくりに関わっているので皆様のご協力が必要です。
- あづみんが最高である。(運行や対応 etc)
- 安曇野市には愛着を感じるが、行政には失望している。
- 住めば都的感觉
- 空気がうまい(さわやか)。農村きれい(住環境が)。

- 人口が程々にあると世間が狭くなりにくいから悪い思い出が少ない。
- 小さい頃から身近な土地だったので。自然が豊かで山などの景色が良い。
- 山の景色がきれい、温泉もある。緑の風景がよい。水がおいしい。
- 松本市に近い。
- 夏が過ごしやすい。

問5 (2) 愛着を感じない理由 その他の内容

- こだわりが無いので何とも言えません。
- 活気がない。若者が少ない。
- 土地の人間が嫌いである
- どこに住んでもいい所悪い所があり、比べられないから。
- 生まれた市に帰りたい。
- 中心地区のみ活発化しているように感じる。末端までは届いていない。
- 自治体が住民に寄り添ってない。封建的、時代遅れ、住民ファーストでない。
- 自然環境を破壊する農薬や除草剤、殺虫剤の規制がゆるすぎる。
- 安曇野市が広すぎて、穂高地区以外は知らないため。
- 有害鳥獣対策が良くない。特に猿対策。温泉を安価利用を望む。
- どこでも同じだと考えているため。
- 子どもを預ける場所がない。ガゾリン、給食費すべてが他県より高い。
- 補助金などの制度が少ない。
- ただ住居がある場所という感じ。
- 地区の活動が煩わしい。

問6 家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容

- 野菜の作りすぎ
- 家庭菜園の野菜が消費しきれない。
- 食品ロスはあまり出ない。
- 野菜をたくさんもらったが使いきれず食べきれなかった。
- 冷凍するなどロスが出ないように努力している。
- 食品の食べられる期間を長くしてほしい。因みに都内ですと1ヶ月くらい先まで大丈夫です。
- 食べ残りの時は手を加えて食べきる。
- 戦中子供時代を過ごしたので食品ロスは考えられない。食べものを粗末にはならない。粗末にすると眼がつぶれると子供の時からやかましかった。
- たくさんある場合、まわりの方にお渡しする。また、いただいています。
- 少量ロスは出ている。
- 高齢の母の食欲が不安定で残す。
- 少量の販売があるとよい。
- できるだけ出さない。
- 子どもの好き嫌い

- 子どもが残すから。
- 母の介護であまり家にいないため、気付くと期限が切れている。
- 買うときは使う気だが、仕事で忙しく使う前に傷ませてしまう。

問7 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容

- 外食はしない。
- 持ち帰りができないため。
- テイクアウト/持ち帰りができない場合→食品衛生法の件は理解していますので単純な批判ではありません。小食/大食の基準の曖昧さ、量の足りない不満に対する店側の恐怖心。(多すぎるという不満への認識の低さ) 割勘(会費別)か個別払いか等々、客同士や客と店のコミュニケーション不足。最近「当店の普通盛りはゴハン〇〇gです。」と示されていたりもしますが、「女性向けに少なめ設定」というのも失礼な話で、何か共通する量の基準が示されると良いかも。
- 出された料理は全部食べる。
- 機会無し
- 宴会等に行かないので分かりません。
- 今の宴会など関係ない生活をしているので、わからない。
- 自分はしっかり食べるが、他の人が残す。
- きらいな料理が出された場合
- 外食は年に1,2度程度。
- コース料理等食べきれなかったときに対し、テイクアウトをできるよう周知を。
- 飲みが主になってしまう。
- 食べられる期間が、あまりにも短か過ぎます。
- 宴会の時、生物以外は持ち帰る様にする。
- 業界の懇親会のメンバーに自分と合わない人がいる。いやみばかりで食べる気になれない。
- 外食で食べきれたことがない。量が多すぎ。
- 幹事の采配ミス
- 全てが完全予約制ではないのだから仕方ない。原因を考えるならば外食、宴会を請け負う側がビジネスであるから。
- 本人たちの意識が一番の問題
- 注文時に量を少量にできる場合お願いをする。食べ物をむだにしないために。
- 足りなくなるより残る方が良いと考え、多く注文、手配するため。
- 持ち帰れるメニューを選びロスしないようにしている。
- 急に人数が減ったりする。

問8 健康診断を受診していない理由 その他の内容

- 定期的に通院している。
- 職場で受けている。
- 主従医に検査してもらっている。
- 老令

- 年齢的に
- 高齢であり、特に異状はない。
- 2～3年に1回
- 予約するのを忘れてしまう。
- 地区活動に時間がなくなる。健康診断を受診すると地区活動に参加できないため、地区住民よりおこられる。
- 今時点では、長生きは希望していない。
- 忘れてしまう。
- 病院へ行く手段がない。
- 現在、難病にて病院に週一回行っている。
- 自然体で生きる
- 育休中のため。
- 持病が多いため。
- 知った人に会うから。
- 体調が悪くないから。
- いそがしい
- 今後受診予定
- 色々病院通っている。
- 条令化すべき。
- 具合が悪くなったら病院に行く。
- 受診したい医療機関がない。
- 検査が害に感じる。
- 予約が先すぎて予定が見通せない。
- 医療を信用していない。自分で健康管理をしている。
- 受診したいが予約がいっぱいで取れない。
- 受診の仕方がわからない。
- 5年前から脳ドックを受けているため。それに対し補助を受けていてありがたいです。
- コロナ後、受診してない。
- 掛かりつけ医(高齢)
- 今年度初めて受診しました。
- 必要を感じない。

| |
|---------------------------------|
| 問15 (1) 防犯カメラを設置していきべき場所 その他の内容 |
|---------------------------------|

- 学校・幼稚園など
- 学校周辺
- 人気の少ない場所
- 取り扱い方に理解が必要
- 公共施設等
- 交差点
- 空き家が多い地域

- 駐車場、通学路、トイレ入口
- 交通事故多発箇所、ゴミステーション
- 商業施設の駐車場
- 防犯が発生する場所
- なるべく多くの箇所
- カメラだけでなく街灯が必要。何 m につき 1 つというのではなく、暗い所に設置必要。
- ショッピングセンター近くの道路
- まちなか、飲食店集中地域
- 街灯のない、少ない道路や家が点在する場所
- 公衆トイレ

| |
|---------------------------------------|
| 問 1 5 (2) 防犯カメラを設置してくべきでない理由 その他の内容 |
|---------------------------------------|

- 他により優先しなければならない事案があると思うから。
- 景観が損なわれる。
- 防犯カメラだけで解決する、全て安全とはならず。お年寄りが増えるなか、詐欺の備えやネットでの個人情報やセキュリティ意識を高めるべき。
- 気持ちが穏やかでない。
- きりがなし、税金としてもったいない、基準がない。
- この先治安の悪化状況で設置しても良いと思うから。
- 正しい行動をしている人達が、不便を感じるように。
- 監視されているようで気持ちがよくないから。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない・その他 |
|-------|-------|---------------|

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業(専業) | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人(常勤) |
| 4. 勤め人(パート・アルバイト、派遣等) | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() | |

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------|--------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 塩尻市 |
| 4. 大町市 | 5. その他() | |
| 6. 通勤・通学していない | | |

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 | |

(6) あなたの「出身地[※]」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

- | | | | |
|-----------------|--------|-------------|---------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 大町市 | 4. 塩尻市 |
| 5. その他の県内市町村() | | 6. 東京都 | 7. 神奈川県 |
| 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | |
| 11. その他の道府県() | | 12. 外国(国名) | |

(7) 安曇野市での居住を始める前(直前)に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-------------|
| 1. 安曇野市以外での居住経験はない | 2. 松本市 | 3. 大町市 |
| 4. 塩尻市 | 5. その他の県内市町村() | |
| 6. 東京都 | 7. 神奈川県 | 8. 埼玉県 |
| 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | |
| 11. その他の道府県() | | 12. 外国(国名) |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居(親-子) |
| 4. 三世帯同居(親-子-孫) | 5. その他() | |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. その他 () |

問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. ずっと住みたい |
| 2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい |
| 3. 他の市町村へ移りたい |
| 4. わからない・その他 () |

問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから |
| 2. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから |
| 3. 友人がたくさんいるから |
| 4. 職場が近いから |
| 5. 持ち家があるから |
| 6. 両親や祖父母の近くで生活したいから |
| 7. (親などから) 地元で生活するように言われているから |
| 8. その他 () |

問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 12. 子育てしにくい環境だから |
| 13. 職場が近くなるから | 14. その他 () |

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |

問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている
2. 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている
5. 学校教育や生涯学習が充実している
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれている
7. 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している
8. 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる
9. 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある
10. 農林水産業が盛んである
11. 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である
12. 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである
13. まちの知名度・ブランド力が高い
14. 移住・定住者が多い
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である
16. 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である
18. その他 ()

問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2. 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことができない
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5. 学校教育や生涯学習が充実していない
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7. 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8. 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことができない
9. 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10. 農林水産業が盛んでない
11. 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12. 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13. まちの知名度・ブランド力が低い
14. 移住・定住者が少ない
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16. 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない
18. その他 ()

3. 安曇野市の行政に関すること

■ 市の全般的な施策等について

以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】

各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。 (1つに○)

【② 今後の重要度】

各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。 (1つに○)

(1) 自然環境について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|--------------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 河川、山林などの自然環境が保全されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問6. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため
2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため
3. 家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため
4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため
5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため
6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

問7. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 少量のメニューが提供されていなかったため
2. 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため
3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため
4. 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため
5. 味が好みでなかったため
6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

(2) 医療・福祉・人権について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|---|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 医療体制が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 地域において、支え合える関係が築けている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 障がい者が安心して生活しける地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 生活に困ったときに相談できる体制が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 性別に関わらず、能力を発揮できる地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 互いの個性や立場を尊重している地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問8. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。（1つに○）

| | |
|-----------|------------|
| 1. 受診している | 2. 受診していない |
|-----------|------------|

問8で「2. 受診していない」と回答した方のみご回答ください。

(1) 健康診断を受診していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

| | | |
|----------|--------------------------------|---------------|
| 1. 時間がない | 2. 金銭的余裕がない | 3. 受診しなくても大丈夫 |
| 4. 面倒くさい | 5. その他（ ） | |

問9. 安曇野市では市民の健康長寿に向けて、フレイル予防の普及啓発に取り組んでいます。

あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(1つに○)

※「フレイル」とは、年齢とともに筋力の低下や記憶力の低下など、要介護ではないが心身が弱ってきている状態のことです。高齢者だけでなく、若い世代でもフレイル状態の人がいることが近年の調査でわかってきており、生活の見直し等により予防できます。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 言葉は知っているが、内容は知らない |
| 3. 初めて聞いた | |

問10. 「子どもの権利」を知っていますか。(1つに○)

※「子どもの権利」とは、子どもの権利条約で定められた「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」といった子どもたちが持つ基本的な権利のほか、おとなと同じように、ひとりの人間として持つ様々な権利や子どもならではの権利のことです。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 言葉は知っているが、内容は知らない |
| 3. 初めて聞いた | |

(3) 子育て支援について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 出産、子育てしやすい地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問11. 安曇野市では豊かな自然環境を保育に取り入れ、子どもたちの学びや感性を育む「自然保育」に取り組んでいます。そのことを知っていましたか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

(4) スポーツについて

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 スポーツを楽しめる環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 アウトドアを楽しめる環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問 12. あなたの運動またはスポーツの頻度について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3回程度 | 3. 週に1～2回程度 |
| 4. 月に1～2回程度 | 5. 年に1～2回程度 | 6. 全くしない |

問 13. 安曇野市では市民の健康づくり等を目的に、市民の自転車利用率向上に取り組んでいます。あなたは、自転車を保有していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 自分専用の自転車を持っている | 2. 家族で自転車を共有している |
| 3. 自転車を持っていない | |

問 13 で「1. 自分専用の自転車を持っている」「2. 家族で自転車を共有している」と回答した方のみご回答ください。

(1) あなたは、普段どのくらいの頻度で自転車を利用していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に数回以上 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. ほぼ利用していない | |

問 14. あなたは、健康増進や趣味のためにサイクリングをすることはありますか。ある場合、どれほどの頻度で行いますか。(健康志向からの自転車通勤、買物等での自転車の積極的な利用なども含みます。)(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に数回 | 3. 月に数回 |
| 4. 年に数回 | 5. していない | |

(5) 教育・学習について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 小中学校での教育が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 小中学校と地域・家庭の連携が図れている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 年代に関わらず、学びの機会が提供されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(6) 地域の伝統について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(7) 文化・芸術について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(8) 防災・防犯について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|----------------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 地域において、地震や台風などへの備えができています | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 交通安全の取り組みが行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 防犯対策が行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問 15. 安全・安心なまちづくりのため、今後、通学路や公園、駅周辺等公共空間への防犯カメラの設置をしていくべきだと思いますか。(1つに○)

| | |
|--------------------|----------------|
| 1. 設置していくべきである | 2. 設置していくべきでない |
| 3. どちらともいえない・わからない | |

(10) 農林水産業について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|---------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(11) 経済活動について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 市内に个性的で魅力的なお店が増えている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 工業・製造業が盛んな地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 働きやすい地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(12) 観光について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 安曇野市は魅力的な観光地である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 安曇野らしい産品が生み出されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(13) 地域ブランドについて

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 全国的に「安曇野市」の地名が知られている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 市外在住者に誇ることのできる地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問 16. 小説『安曇野』を知っていますか。(1つに○)

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

| | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 知っており、読んだことがある | 2. 知っているが、読んだことはない |
| 3. 初めて聞いた | |

(14) 移住・定住について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 移住者、定住者が多く活気のあるまちである | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(15) 協働・コミュニティ活動について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|--------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 地域住民によるコミュニティ活動が行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 NPO、ボランティア活動が行われている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 まちづくりへの市民参画が進んでいる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(16) デジタル社会・行政サービスについて

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 情報化社会に対応した基盤が整備されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 行政運営の効率化が図られている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 市政に関する情報が入手しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 広報紙「広報あづみの」が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 市公式ホームページ、SNS が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

(17) SDGs（持続可能な開発目標）について

| 市の施策に対する評価 (満足度・重要度) | ①現状の満足度 | | | | | ②今後の重要度 | | | | |
|----------------------------|---------|----------|-----------|---------|-------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| | 満足している | まあ満足している | どちらともいえない | やや不満である | 不満である | 重要である | やや重要である | どちらともいえない | あまり重要でない | 重要でない |
| 例) 当てはまる番号を○で囲む → | ⑤ | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 SDGs の達成に向けて取り組んでいる地域である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問 17. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

同封いたしました返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和7年3月10日(月)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
(インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただかなくて結構です。)